

事項5 中国およびその他各地における排日状況

日、支両国代表部ト協議ノ上一案（往電第五八三号）ヲ作成セル次第ナルカ余ハ右案ノ実行ニ関シテハ公表時刻迄絶対ニ秘密扱ト為スコトニ付両国政府ニ信頼セサルヲ得ス而シテ右ニ関シテハ情報部長ハ両代表部ヨリ明確ナル保証ヲ取付ケタリ依テ両国政府ハ交付ト公表トノ間ニ何等漏洩ノ虞ナキ様之ヲ確保スルコトト確信シ居レリ」云々ト回答シ

(四三八文書)

居レリ

本件ハ種々困難ナル交渉ヲ重ネタル末右ノ如キ経緯ヲ以テ事務局側ハ漸ク支那側ヲ抑ヘタル次第ナルニ付支那側カ如何ナルコトヲ為スヤハ別問題トシ我方トシテハ公表迄報告ニ関スル一切ノ情報外間ニ漏レサル様嚴ニ御処置相成度シ（本電長岡理事ヨリ）

事項5 中国およびその他各地における排日状況

1 昭和7年1月1日 在広東須磨（弥吉郎）總領事代理より

犬養外務大臣宛（電報）

広東において邦人殴打殺害事件発生について

広東 1月1日後発
本省 1月2日前着

第七号（至急）

病院ニテ死体ヲ検視セルニ三十歳前後ノ中肉ノ服装余り宣シカラサル一見職工風ノ者ニテ刃物ニ依ラサル鈍体ニ依ル打撲傷無数アリ致命傷ハ後頭部ノ破壊ナル趣ナリ

三、遭難現場ハ広九鉄路停車場ノ西北方四丁ノ地点ニシテ公安局秘書ノ語ル処ニ依レハ被害者ハ手荷物ヲ持ソテ徒步ニテ右地点ニ至リ人力車ヲ雇ハントセルニ言語不通ノ為口論シタルニ付近ノ群衆ノ為殴打セラレタルモノノ如ク現場ニ急行セシ公安局巡警數名ハ極力群衆制止ニ努メタルモ群衆多勢ニテ遂ニ四名傷ツキ中一名ハ重態ナルカ急報ニ接シ最寄公安局ニ応援巡警ヲ派遣セル時ハ最早群衆四散ノ後ナリシモ逃げ遅レタル苦力一名ヲ逮捕シ目下嚴重取調中ナル趣ナリ

四、尚矢野ヨリ右両秘書ニ対シ正月早々斯ル不祥事ヲ惹起查セシメタルニ名刺及書簡等ヨリシテ被害者ハ大阪市此花区玉川町一〇二番地居住多羅尾義広ナル者ニテ台灣經由來広シタル者ト推定セラレタル趣ナリ

二、依テ矢野及博愛会医師ハ右公安局秘書ト立会ノ上私立

顧末ヲ述へ且遺憾ノ意ヲ表スルト共ニ別ニ当政府ヨリ適當官憲ヲ當館へ派遣シ遺憾ノ意ヲ表シ他方加害者ヲ捜査シ厳重ニ处罚スル等機宜ノ措置ヲ執ル事然ルヘシト述ヘタルニ兩秘書ハ早速省政府当局トモ相談スヘシト語リタル趣ナリ

右不取敢

尙前記住所ニ付被害者ノ遺族ニ通知方然ルヘク御取計ヒ相成度シ

支、北平、奉天、天津、南京、香港へ転電セリ

支ヨリ上海へ転報アリタシ

2 昭和7年1月1日 在広東須磨總領事代理より
犬養外務大臣宛（電報）

広東邦人殺害事件に対し省政府遺憾の意表明

について

第八号（至急）
一日午後省政府主席代理金（脱）自ラ市政府代表ト共ニ本

官ヲ來訪從来当地政府ト貴国政府トノ関係極メテ良好ナリ

本官ハ目下中国各地カ排日運動ニテ騒然タルニ拘ラス單リ当地ノミ極メテ平穏ナルヲ喜ヒ居タルヲ而モ統一政府成立ノ新年早々斯ル不祥事ノ発生ヲ聞クハ御同様遺憾ニ堪ヘス殊ニ被害者カ對華感情最モ激昂シ居ル大阪人ナルニモ鑑ミ本件影響力如何ニ波及スヘキヤ甚タ懸念ニ堪ヘサルモ私見トシテハ既ニ省市両政府ヨリ遺憾ノ意ヲ表示シ越サレタル次第ニモアリ旁々加害者モ夙ニ公安局ニ拘引近ク法ニ依リテ夫々处罚セラルヘキニ付此際貴方ヨリ相当ノ慰問金等ヲ贈呈セラレ至急之ヲ解決スルコト必要ナルヘシト述ヘタルニ右兩人ハ貴見至極御尤モナリ何レ丁市長モ明二日帰任ノ筈ナレハ其上ニテ至急解決方取計フヘシトテ引取レリ就テハ大体右「ライン」ニテ至急本件解決ノ上ニテ屍体ヲ引取ル所存ナリ

前電ノ通り転電セリ

広東 1月1日後発
本省 1月2日前着

3 昭和7年1月2日 在広東須磨總領事代理より
犬養外務大臣宛（電報）

広東邦人殺害事件に関する市政府当局との善後交渉について

広東 1月2日後発
本省 1月2日後着

第九号

（三文書）

往電第八号ニ閲シ（大至急）

村事件以上トモ云ハルヘシ其影響極メテ甚大ナリ本事件ヲ輕々ニ解決センカ貴國民衆ヲシテ益々侮目的態度ニ出テシムル結果トナリ斯ノ如キハ貴國政府ノ為ニモ執ラサル所ナレハ慰問金ハ少クトモ五千円ヲ越エサルヘカラスト卒直ニ申聞ケタル処同秘書ハ追テ本二日市長ノ帰任ヲ待テ貴見ニ副フ様取計方努力スヘシトテ引取リタリ

三、就テハ往電第七号ノ通此上更ニ支那側ヨリ公文ヲ以テ

遺憾ノ意ヲ表セシメ且加害者訴追ヲ誓約セシムルト同時ニ

遺族ニ対シ邦貨五千円ノ慰問金ヲ提供セシメ大体本件ヲ解

決シテ差支ナキヤ何分ノ儀明三日午前中ニ到達スル様御回電ヲ請フ

支ヨリ上海へ転報アリタシ

支ヨリ南京へ、北平ヨリ天津へ転電アリタシ

支、北平、奉天へ転電シ、香港へ暗送セリ

ルヲ理由トシ僅少ノ涙金ニテ事件ヲ片付ケントスルヤノ口吻ヲ洩シタリ

二、依テ本官ハ本事件カ過去ニ於ケル誤解又ハ過失ニ基ク事件トハ較フヘクモアラス全ク殘忍不法ナル殺人行為ニシテ而モ大文明都市ニ於テ行ハレタルモノナルヲ以テ所謂中

シニ拘ラス不幸今回ノ如キ突發的不祥事ヲ惹起シタルハ遺憾ニ堪ヘス事件ハ極メテ瑣細ナル点ヨリ生シタル誤解ニ基クモノト察セラルルカ何レニセヨ至急之力解決方希望ニ堪ヘストテ頗ル恐縮ノ面持ニテ慎重遺憾ノ意ヲ表示シタルニ付

本官ハ目下中国各地カ排日運動ニテ騒然タルニ拘ラス單リ当地ノミ極メテ平穏ナルヲ喜ヒ居タルヲ而モ統一政府成立ノ新年早々斯ル不祥事ノ発生ヲ聞クハ御同様遺憾ニ堪ヘス

クモノト察セラルルカ何レニセヨ至急之力解決方希望ニ堪ヘストテ頗ル恐縮ノ面持ニテ慎重遺憾ノ意ヲ表示シタルニ付

広東 1月2日後発
本省 1月2日後着

4 昭和7年1月2日 在広東須磨總領事代理より
犬養外務大臣宛（電報）

広東邦人殺害事件の穩便解決方について

本官ハ目下中国各地カ排日運動ニテ騒然タルニ拘ラス單リ

付

事項5 中国およびその他各地における排日状況

第一〇号
(三文書)

往電第九号ニ関シ

ノ言質ヲ裏切りタル慘殺事件トモ見ラルヘキヲ以テ之ヲ切掛ニ中国側ノ無誠意ヲ詰リ例へハ新ニ成立セル統一政府ヨリ遺憾ノ意ヲ表セシムル等大仕掛け交渉案件トモナシ得ヘキモ何シロ本人ハ当地ニモ知辺モ無キカ如ク忽然トシテ殺害セラレタルハ言語ノ不通等ヨリ物言ヒヲ生シタル結果ト覚シク単ナル排日ノ為トノミ見エサル節モアル一方時節柄過去半歳ノ間別段ノ事モ無カリシ当地モ最近ハ流石ニ排日氣勢昂リ来リ居ル際ナルニモ拘ハラス前記往電ノ通り先方ヨリ逸早ク神妙ニ詫ヲ入レ來リタル次第ナルニ付右ハ中国側殊ニ金總長ハ本官ト昵懇ニモアリ日本出身ナレハコソ素直ニ右様ノ措置ニ出テタリ例ノ程天固ハ御承知ノ排日家ナレハ彼カ初ヨリ在広中ナリシニ於テハ之レ程迄ノ事モ或ハ出来サリシトモ思ハレ殊ニ程ハ從来排日標語等ニ対スル本官ヨリノ抗議ノ公文ヲ公表シテ迄排日氣勢ヲ煽リタルコト一再ナラサルハ御承知ノ通ナレハ本件ヲ取扱フ方法ノ如何ニ依リテハ程ノ如キハ却テ之ヲ拗リ廻ハシ一層當方面排日

ヨリ逸早ク神妙ニ詫ヲ入レ來リタル次第ナルニ付右ハ中国

側殊ニ金總長ハ本官ヨリハ早速當局ニ対シ本件ヲ筆直ニ右様ノ措置ニ出テタリ例ノ程天固ハ御承知ノ排日家ナレハ彼カ初ヨリ在広中ナリシニ於テハ之レ程迄ノ事モ或ハ出来サリシトモ思ハレ殊ニ程ハ從来排日標語等ニ対スル本官ヨリノ抗議ノ公文ヲ公表シテ迄排日氣勢ヲ煽リタルコト一再ナラサルハ御承知ノ通ナレハ本件ヲ取扱フ方法ノ如何ニ依リテハ程ノ如キハ却テ之ヲ拗リ廻ハシ一層當方面排日

文ヲ以テ嚴重申入レ置キタリ
支ヨリ上海へ転報アリタシ

支ヨリ南京へ転電シ北平ヨリ天津へ転電アリタシ
支、北平、奉天へ転電シ香港へ暗送セリ

5 昭和7年1月3日 在福州田村(貞治郎)總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

福州において軍艦北上艦長等市中視察中群衆の投石により負傷について

第一号

省政府ニテハ當館再三ノ抗議ニ對シ一般ノ遊行大会等ヲ禁止シ來レル處二日各中等学校生徒ノ反日遊行アリトノ報ニ接シ不取敢省政府ニ電話ニテ詰問スルト共ニ當館警察官ヲシテ實地視察ニ赴カシメタルカ折柄右ニ関連シテ本官會見中ノ北上艦長草鹿^(任二)大佐砲術長杉野少佐(共ニ平服)及本官ハ一般市中狀況視察ノ為自動車ニテ城内ニ入り午後三時半西湖公園ニ至リ徒步ニテ公園ヲ一巡中途中日本兵カ馬上ヨリ支那兵ヲ刺シ殺シ居ル「ベンキ」画大型「ボスター」ノリ

氣勢煽ルコトトモナルヘキニ付テハ此ノ上ハ適當ノ慰問金ヲ取付ケテ死体ヲ引取り一応地方的ニハ鳲ヲツケ置クコト然ルヘント存ス
二、尤モ本件ハ地方的ノ一出來事トシテ當座ノ鳲ハ右ニテ一応ツクヘキモ親日ヲ標榜シ大亞細亞主義等ヲ唱ヘ來レル當政府ノ膝下ニ於テサヘ本件ヲ起シタルハ中國側ノ無秩序ナルヲ如実ニ示ス案件トシテ連盟殊ニ實地視察委員等ニハ大イニ此ノ点ヲ「インプレッス」スヘキハ勿論機會アル毎ニ公使等ヨリ統一政府ニモ之ヲ指摘シ中國側ノ無法非道ノ實例トシテ將又帝國臣民ニ対スル重要ナル危害トシテ兩國交渉ノ器具ニ之ヲ利用セラルコト固ヨリ肝要ナリト存ス

三、加之本件ヲ端緒ニ本官ヨリハ早速當局ニ対シ本件ヲ筆頭トシ最近頻發セル抗日会ニ依ル邦人貨物ノ沒收(何レモ返還セリ)支那街邦人家屋ノ盜難事件(別報)等ヲ指摘シテ右等ハ支那側カ公文又ハ口頭ヲ以テ本官ニ与ヘタル言質ヲ覆スモノナル点ニ強ク注意ヲ喚起シ此ノ際一般政府機關ニ対シ更ニ嚴重從来言明ノ通邦人保護ノ実ヲ挙ケシムル様切実ニ命令スルト共ニ新聞報道等ヲモ真面目ニ取締リ方公

日本國旗ヲ侮辱セル「ボスター」數葉貼リ付ケアリ艦長ハ之ヲ剥取り其ノ儘出口ニ差掛けヤ當日同所ニテ反日大会残リノ学生等待受ケ居リ一人毎ニ國旗侮辱ノ「ボスター」ヲ手渡シセルニ付先頭ノ艦長等ハ之ヲ引破リテ投ケ棄テタル一方本官ハ皮肉ニ數葉ヲ求メ「ボケット」ニ収メ出テ來ラントスルヤ艦長等ノ行手ヲ遮レルモノアリ艦長等ハ一喝シテ前進シ本官ト數十歩ヲ隔ツルヤ本官ノ後ノ群衆(主ニ学生)ハ一斉ニ惡口雜言ヲ浴セ中ニハ日本語ニテ馬鹿野郎ト叫フモノアリ本官ハ振返リ静ニ手真似ニテ之ヲ制シ居ル中先方ノ艦長等ヲ目懸ケテ約二百ノ群衆ハ一斉ニ走り出シ本官自身ハ群衆中ニ捲込マレテ何等暴行ヲ加ヘラレサリシモ艦長及杉野少佐ハ投石ノ為顔面及後頭部ニ微傷ヲ負ヒ特ニ艦長ヲ庇ヘル杉野少佐ハ稍多數ノ打撲傷ヲ負ヒ何レモ帽子ヲ失ヒ幸ニ現場付近ヨリ駆付ケタル軍警等ニ依リ群衆ヲ喰止メタルカ本官ハ不取敢数丁ノ距離ニ在ル公安局ニ一時落着カントシ自動車ヲ要求スルモ応セス已ムナク前後ヲ軍警ニ護ラレ多數野次馬モ加ハリ甚タ不体裁ノ儘公安局ニ入リタルモ局長ハ折柄不在漸ク歸来セルニ付省政府ヨリ陳培銕モ來リテ陳謝シ応急手当ヲ施スト共ニ本官ノ嚴談ニ依

事項5 中国およびその他各地における排日状況

		ト共ニ検屍ニ立会ハシメ現状ノ模様ヲ実検セシメ引続キ同 人ニ対シ前日艦長ニ対スル暴行事件（往電第一号）ニ引続 キスノ如キ重大事件ノ発生セルハ省政府累次ノ誓約ニ悖リ 在留民ハ今ヤ生命ノ危険ニ曝サルル状態ニ在リ此際全力ヲ 挙ケテ在留民ノ保護ヲ期スヘキハ勿論一刻モ早ク犯人逮捕 方手配スヘク我方要求条件ハ追テ提示スヘキ旨厳談ヲ遂ケ 林ハ只今ヨリ（脱？）省政府ニ引返セリ（四日午前三時 半）本件支那側ニ対スル交渉上本官ニ於テ特ニ心得フヘキ 点折返シ御訓令相成リ尚事件ノ重大性ニ鑑ミ速ニ公使ヨリ モ中央ニ嚴重抗議御取計ヲ得度シ
		前電ノ通り転電セリ
	11 昭和7年1月4日	水戸訓導殺害犯人の国籍等について 〔五文書〕 在福州田村總領事より 犬養外務大臣宛（電報）
	12 昭和7年1月4日	公使ヨリ上海ニ転報アリ度シ 大臣、広東、南京、汕頭、廈門ニ転電セリ
	第五号（暗）	北上艦長ら被害事件に關する我方要求条件について 〔八文書〕 本官發在支公使宛電報
	第五号（暗）	貴電第一号ニ関シ
	三日付当方要求条件左ノ通	一、省府代表者カ正式來館ノ上負傷者ニ対シ鄭重見舞ノ 意ヲ表スルコト
	二、事件ノ元兎タル反日会ノ解散	四、今月中ニ暴行首謀者ノ逮捕並ニ嚴重処分
	三、反日集合游行路傍演説ノ絶対禁止	五、今月中ニ市内反日宣伝「ボスター」ノ全部撤廃（五
		名カ表門及裏門ヨリ遁走セル血痕跡ハ道路上ニ數十間伝ハ リ居ルヲ発見シ林知淵及程時煃両名ヲ現場ニ同道検分セシ メ尚公安局長モ亦实地検分ヲナシ省政府ヨリハ本件犯人ニ 付密告者ニ三千弗逮捕者ニ一万弗懸賞ノ布告ヲ發セルカ本 官ヨリハ四十八時間以内ニ犯人検挙ノ手掛リヲ得ル様嚴重 申入レ先方之ヲ承諾セリ
		二、本件ハ支那側ニ対シテハ反日「デモンストレーション」 トシテ前日艦長等ニ対スル暴行ニ引続キ反日会一派ノ 仕業トシテ同会ノ解散方ヲ強硬主張セル次第ナルカ前記台 湾人カ關係シ居レルハ此機会ニ於テ現省政府倒壊ヲ目論見 居ル支那側不平分子ノ手先キトナリテ政府ヲ窮地ニ陥レ我 方ヲ手先キニ使ハントスル筋書ナラントノ見込ニテ支那側 トハ別ニ目下内々捜査ニ努力中

ト共ニ検屍ニ立会ハシメ現状ノ模様ヲ実検セシメ引続キ同
人ニ対シ前日艦長ニ対スル暴行事件（往電第一号）ニ引続
キスノ如キ重大事件ノ発生セルハ省政府累次ノ誓約ニ悖リ
在留民ハ今ヤ生命ノ危険ニ曝サルル状態ニ在リ此際全力ヲ
挙ケテ在留民ノ保護ヲ期スヘキハ勿論一刻モ早ク犯人逮捕
方手配スヘク我方要求条件ハ追テ提示スヘキ旨厳談ヲ遂ケ
林ハ只今ヨリ（脱？）省政府ニ引返セリ（四日午前三時
半）本件支那側ニ対スル交渉上本官ニ於テ特ニ心得フヘキ
点折返シ御訓令相成リ尚事件ノ重大性ニ鑑ミ速ニ公使ヨリ
モ中央ニ嚴重抗議御取計ヲ得度シ

貴電第一号ニ関シ
〔七文書〕

一、水戸訓導ハ死亡直前当館署長ニ対シ犯人ハ一台湾人ト
支那人二名ナリト告ケタル處右台湾人ノ点ハ支那側及外部
ニ対シ絶対秘密トシ犯人ハ支那人二名ナリトシテ省政府ヲ
督励シ犯人捜査並ニ在留民各住宅ニ警戒兵ヲ配置セシメ居
レリ前記台灣人ハ犯行後行衛不明ニ付且下嚴探中尚犯人二

名カ表門及裏門ヨリ遁走セル血痕跡ハ道路上ニ數十間伝ハ
リ居ルヲ発見シ林知淵及程時煃両名ヲ現場ニ同道検分セシ
メ尚公安局長モ亦实地検分ヲナシ省政府ヨリハ本件犯人ニ
付密告者ニ三千弗逮捕者ニ一万弗懸賞ノ布告ヲ發セルカ本
官ヨリハ四十八時間以内ニ犯人検挙ノ手掛リヲ得ル様嚴重

申入レ先方之ヲ承諾セリ

二、本件ハ支那側ニ対シテハ反日「デモンストレーション」
トシテ前日艦長等ニ対スル暴行ニ引続キ反日会一派ノ
仕業トシテ同会ノ解散方ヲ強硬主張セル次第ナルカ前記台
湾人カ關係シ居レルハ此機会ニ於テ現省政府倒壊ヲ目論見
居ル支那側不平分子ノ手先キトナリテ政府ヲ窮地ニ陥レ我
方ヲ手先キニ使ハントスル筋書ナラントノ見込ニテ支那側
トハ別ニ目下内々捜査ニ努力中

右ハ即時実行ヲ要シ時日ノ遷延ヲ許サス
右ニ依リ四日午前十一時政府代表トシテ林知淵及責任当局
トシテ教育庁長程時煃當館ニ來訪本官ニ対シ正式ニ陳謝ヲ
表シ杉野少佐（艦長不在）ニ対シ見舞ノ辞ヲ述ヘ當方提示ノ
条件全部承諾ノ旨申出タルニ付右各条件ハ單ニ誓約ニ止マ
ラス其実行ヲ以テ絶対ノ必要条件トスルコトヲ念ヲ押シタ
ル上南京發貴公使宛電報第八号及第九号ノ次第ヲ告ケ斯ク
ノ如キ事ノ正邪本末ヲ顛倒シ却ツテ外交部ヨリ公使ニ抗議
スルカ如キハ不都合千万ニテ斯クテハ先方ノ陳謝乃至其他
ノ条件承諾モ何等意義ヲナサス全然其場限リノ欺瞞行為ナ
リト難詰シタルニ林ハ外交部ハ省政府ヨリノ最初ノ電報ニ
基キ抗議セルモノト思料セラルモ省政府ヨリハ次イテ第
二報ニテ更ニ調査ノ結果前電ニ誤アリタル旨ノ訂正電報
ヲ発セリト弁解シタルニ付更ニ省政府ヨリ南京へハ事ノ正
邪顛倒ノ旨ヲ述ヘ外交部ヨリ貴公使ヘノ不当抗議ヲ撤回シ
既ニ右要求条項ハ省政府ニ於テ之ニ同意シ陳謝ヲ実行セル
旨通報方電請スヘク其電文写ヲ當方ニ送致シ外交部長ヨリ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

- 抗議撤回事件解決ノ旨貴公使へ正式公文ノ接到ヲ待テ各条
件履行済ミトスルコトニ意見一致シ四日付公文ヲ以テ右ノ
旨申越済ミ尚第四項ノ実行不可能ノ際ハ責任当局トシテ教
育庁長ハ辞職スヘキ旨表明セリ依テ解决各条項ヲ文書ニ認
メ本件ハ之ニテ解决トスル筈
- 公使ヨリ上海へ転報アリタシ
- 大臣、公使、南京、廣東、廈門、汕頭ニ転電セリ
- 13 昭和7年1月4日 在廣東須磨總領事代理より
犬養外務大臣宛(電報)
- 広東邦人殺害事件に対し程市長遺憾の意表明
について
- 第一三号 (三文書)
往電第九号ニ関シ
- 四日程市長來訪本件ニ対スル深甚ナル遺憾ノ意ヲ表シ午後
ニ至リ公文及慰問金邦貨五千円ヲ持參越シタリ依テ五日死
体ヲ引取り火葬ニ付スル筈ナルカ右葬儀ニハ市政府代表モ
出席ノ筈右遺族へ御電報相成タシ
- 広東 1月4日後発
本省 1月5日前着
- 陳部長ヨリ三日付公文ヲ以テ大要左ノ通申越セリ
- 往電第八号ニ関シ
- 第九号
本官發在支公使宛電報
- 14 昭和7年1月4日 在南京上村領事より
犬養外務大臣宛(電報)
- 福州日本総領事、北上艦長等の行動に対する
陳外交部長の抗議について
- 内容について
- 上海 1月5日後発
本省 1月5日前着
- 第五号 (暗)
南京発本使宛電報第八号及第九号ニ関シ
(一四文書)
- 外交部公文ニ対シテハ當方ヨリ左記趣旨ニテ抗議ヲ提出シ
同時ニ之ヲ公表スルコトト致度キ處(先方ニテ要領既ニ公
表セリ)御意見アラハ折返シ御回示ヲ請フ
- 一、福州地方ニ於ケル運動熾烈ナル為總領事ヨリ之カ
取締ヲ再三要求セルモ効果無シ
- 一、總領事及艦長等ハ二日外出ノ際公園ヲ通過セルニ民國
學生ハ日本國旗及軍隊ヲ侮辱スル過激ナル「ボスター」ヲ
貼付シ且總領事等ニ右「ボスター」ヲ交付シ罵詈ヲ浴セタ
ルニ付艦長等ハ憤激ノ余リ其ノ或モノヲ破棄セルモ何等
直接行動ニ出テ斯其ノ儘歩行ヲ続ケタルニ學生等ノ群衆ハ
大挙シテ一行ニ対シ暴行ヲ加ヘ負傷セシメタリ總領事等ハ
巡警護衛ノ下ニ辛シテ公安局ニ避難シタルモ公安局ハ群衆
ノ暴行ヲ制止シ得ス直ニ一行ノ總領事館ニ到ルヲ護衛スル
コト能ハス同日夜十一時頃迄之ヲ公安局ニ抑留セリ
- 15 昭和7年1月5日 在上海重光公使より
犬養外務大臣宛(電報)
- 北上艦長ら被害事件に対する外交部への抗議
- 原文郵送ス、冒頭往電ノ通転電ス

事項5 中国およびその他各地における排日状況

一、総領事等ハ何等挑発的行為ニ出テサルニ群衆ヨリ忍フ
ヘカラサル侮辱暴行ヲ受ケタルモノナリ即チ一国ノ軍人カ
他國ノ群衆ニ依リ自國ノ軍隊及国旗ヲ侮辱スル「ポスター」ヲ顔前ニ示サレタル場合憤然トシテ之ヲ破棄スルハ素
ヨリ当然ノコトニシテ之ヲ以テ何等挑発的行為ト言フヲ得
ス且民國當局ノ取締上誠意無キ為總領事等ハ長時間抑留セ
ラレタリスノ如キハ民國政府ニ於テ屢々言明シタル邦人生
命財產保護ノ責ヲ尽ササルニ依ルモノナレハ民國側ニ於テ
完全ニ責ヲ負フヘキ筋合ニ有之右ハ省政府當局ニ於テ事件
後直ニ總領事ニ対シ陳謝シ居ルニ鑑ミ明白ノ事ニシテ我方
ニ何等責任ナキコト勿論ナリ

一、外交部公文ニ於テ總領事等ハ拳銃ヲ携ヘ学生等ニ対シ
侮辱ヲ加ヘ挑発的行為ニ出テタリ等全然虛構ノ事實ヲ陳述
シテ抗議セラルルハ専ラ地方當局カ責任回避ノ為ニスル虚
偽ノ報告ニ基ク宣伝的行為ニ出テラル次第ニシテ我方ノ
了解ニ苦シム所ナリ

一、加之最近數日間ニ於テ福州ニ於テハ三日夜邦人小学校
教師夫妻カ民國人ノ為ニ慘殺セラレ廣東ニ於テハ卅一日夜
無辜ノ邦人力民國人群衆ノ為ニ慘殺セラル等不祥事件頻
繁ニシム所ナリ

ヨリ当然ノコトニシテ之ヲ以テ何等挑発的行為ト言フヲ得
ス且民國當局ノ取締上誠意無キ為總領事等ハ長時間抑留セ
ラレタリスノ如キハ民國政府ニ於テ屢々言明シタル邦人生
命財產保護ノ責ヲ尽ササルニ依ルモノナレハ民國側ニ於テ
完全ニ責ヲ負フヘキ筋合ニ有之右ハ省政府當局ニ於テ事件
後直ニ總領事ニ対シ陳謝シ居ルニ鑑ミ明白ノ事ニシテ我方
ニ何等責任ナキコト勿論ナリ

一総領事ノ取締要求ハ当然ノ職責行使ニシテ之力実行セ
ラレサル場合必要ナル措置ヲ講スルハ已ムヲ得サル所ニシ
テ之ヨリ生スル結果ニ対シテハ貴國側ニ於テ其責ニ任スヘ
キコトハ固ヨリ当然ノコトニ属ス

福州ニ転電セリ

16 昭和7年1月5日 犬養外務大臣より
在福州田村總領事宛(電報)

水戸訓導殺害事件に対する要求条件指示につ
いて

本省 1月5日後3時40分発

第二号(暗)
福州邦人殺害事件

貴電(〇文書)
第三号ニ関シ

北上艦長等ニ対スル暴行事件ニ引続キ又々本件慘事ヲ惹起

ス
貴電通り転電セリ

17 昭和7年1月5日 犬養外務大臣より
在福州田村總領事宛(電報)

水戸訓導殺害事件発生の政治的背景調査方に
ついて

本省 1月5日後4時30分発

セルハ我方ノ頗ル遺憾トル所ニシテ斯クテハ邦人保護ニ
關スル貴地省政府從来ノ誓約モ信賴シ得サルモノト認ムル
ノ外無キニ至ルヘキ處本件ハ兇行ノ原因ノ如何及下手人ノ
何者ナルヤヲ問ハス中國官憲側ノ不取締ノ責任ハ到底免ル
可ラサル次第ナルノミナラス被害者ハ公職者タル身分ヲ有
シ而モ兇行ノ場所ハ我方公共施設タル小学校校舎内ノコト
ニモアリ本件報道ハ内地各新聞ノ目立チタル箇処ニ掲ケラ
レ不勘輿論ヲ刺激セムトスル情勢アリ我國論ノ激昂ヲ防止
スル為ニハ此際中國側ニ於テ本件解決ニ付十二分ノ誠意ヲ
披瀝スルノ必要アリト認メラルニ付貴官ハ至急省政府責
任者ニ對シ以上ノ次第ヲ懇説セラレタル上(ト)艦長等ニ対ス
ル暴行事件トハ別ニ本件ノ發生ニ付テモ誠実ニ陳謝ヲ行フ
ト共ニ(ト)邦人ノ身體財産ニ対スル危害ノ再發防止ニ付切
実有効ナル保障ノ途ヲ講シ以テ本件ヲ至急解決スヘキ旨嚴重申入
テ善後措置ニ關スル誠意ヲ示ス外(ト)被害者ニ對シテハ鄭重
レラレ度ク慰藉料ニ付テハ被害者ノ社會的地位ヲモ考慮シ
兩名ヲ併セ一万五千円ヲ下ラサルヲ要スト認メラルニ付

右御含ノ上交渉セラレ度尚貴電第一号解決方ニ付テハ追電
(五文書)

支、南京、上海、廈門、汕頭、廣東ニ転電セリ

発ノ為南支各地ニ於ケル邦人ノ生命ハ多大ノ危險ニ曝サレ
居レリ斯ノ如キハ民國側ニ於テ法律ノ範囲ヲ超越セル排日
運動ヲ取締ラス却テ之ヲ煽動セルカ為ニ外ナラスニテ民國
側ニ於テ事態拡大防止ノ義務ニ反スル處ナレハ速ニ嚴重取
締ノ実ヲ挙ケラレント要請セサルヲ得ス

一、総領事ノ取締要求ハ当然ノ職責行使ニシテ之力実行セ
ラレサル場合必要ナル措置ヲ講スルハ已ムヲ得サル所ニシ
テ之ヨリ生スル結果ニ対シテハ貴國側ニ於テ其責ニ任スヘ
キコトハ固ヨリ当然ノコトニ属ス

福州ニ転電セリ
(六文書)
第三号ニ關シ

福州邦人殺害事件

往電第一号ニ關シ

客年十二月三十一日廣東ニ於ケル邦人殺害事件ニ引続キ貴
地ニ於テ貴電第一号及第一号ノ事件發生シ南京政府ノ改組
後俄カニ此種邦人ノ身體生命ニ關スル不祥事件ノ統発ヲ見
タルコトニ付テハ其間或ハ地方政府ニ纏ハル政争乃至大ニ
シテハ蔣介石派對廣東派反噬ノ策動ニ邦人力犠牲ニ供セラ
レ居ルモノニ非スマトノ多少ノ疑念ヲ起サシムルモノ無シ
トセサル處貴地今回ノ事件ニハ斯クノ如キ事情無キヤ貴見

事項5 中国およびその他各地における排日状況

文ニハ措辞不遜ニ亘ルモノアルニ加ヘ先方ニ於テ既ニ其ノ要領ヲ公表セル以上我方トシテモ不問ニ付シ難キ次第ナルニ付貴電冒頭ノ通り取計ハルコトニ異存無キモ御来示ノ案文中第二項末段「同日夜十一時頃迄」以下ヲ「同日夕刻ヨリ午後十時半頃迄公安局ニ残留スルノ已ムヲ得サルニ至ラシメタリ」トノ趣旨ニ改メ第三項前段「群集ヨリ」ノ次「忍フ可ラサル」ヲ削リ同項中段「民国当局ノ取締上」ヨリ「抑留セラレタリ」迄ヲ「能力無キ為總領事等ハ長時間帰還ヲ妨ケラレタリ」ノ趣旨ニ改メ且適當ノ箇処ニ「艦長等ニ対スル暴行事件並邦人殺害事件ノ両件ニ付我出先官憲ノ既ニ提出シ又ハ提出スヘキ条件ヲ容レ注意ヲ以テ之ヲ実行スヘキ様省政府ニ厳重飭命方ヲ要求スル」趣旨ノ字句ヲ挿入シタル上提出セラルト共ニ公表セラル様致シ度ク尤モ福州發責官宛電報第五号末段ノ措置ニ依リ夫レ迄ニ両件共地方的ニ解決シ且外交部長ニ於テ本件抗議ヲ撤回スルニ於テハ中央ニ対スル関係ニ於テハ貴方ヨリ本件反駁文ヲ送ラル必要無カルヘシ

福州ニ転電アリ度

文ニハ措辞不遜ニ亘ルモノアルニ加ヘ先方ニ於テ既ニ其ノ要領ヲ公表セル以上我方トシテモ不問ニ付シ難キ次第ナルニ付貴電冒頭ノ通り取計ハルコトニ異存無キモ御来示ノ案文中第二項末段「同日夜十一時頃迄」以下ヲ「同日夕刻ヨリ午後十時半頃迄公安局ニ残留スルノ已ムヲ得サルニ至ラシメタリ」トノ趣旨ニ改メ第三項前段「群集ヨリ」ノ次「忍フ可ラサル」ヲ削リ同項中段「民国当局ノ取締上」ヨリ「抑留セラレタリ」迄ヲ「能力無キ為總領事等ハ長時間帰還ヲ妨ケラレタリ」ノ趣旨ニ改メ且適當ノ箇処ニ「艦長等ニ対スル暴行事件並邦人殺害事件ノ両件ニ付我出先官憲ノ既ニ提出シ又ハ提出スヘキ条件ヲ容レ注意ヲ以テ之ヲ実行スヘキ様省政府ニ厳重飭命方ヲ要求スル」趣旨ノ字句ヲ挿入シタル上提出セラルト共ニ公表セラル様致シ度ク尤モ福州發責官宛電報第五号末段ノ措置ニ依リ夫レ迄ニ両件共地方的ニ解決シ且外交部長ニ於テ本件抗議ヲ撤回スルニ於テハ中央ニ対スル関係ニ於テハ貴方ヨリ本件反駁文ヲ送ラル必要無カルヘシ

福州ニ転電アリ度

18 昭和7年1月6日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

水戸訓導殺害事件に関する我方要求を福建省政
府側全面受諾について

政府側全面受諾について

福州 1月6日後発
本省 1月6日後着

第七号(暗、至急)
(六文書)
貴電第一号ニ閑シ

六日前九時林知淵ニ來訪ヲ求メ事態ノ重大性ヲ篤ト説明シ懇談ヲ遂ケ直ニ省政府委員会ヲ招集シ我方要求全部ヲ容レ午後五時半當館ニ於テ左記条件ニテ仮調印ヲ了セリ七日

朝省政府代表陳培鋐、林知淵両委員公安局長及海軍陸戦隊旅長同伴來館正式陳謝實行ノ筈不取敢

一、省政府代表者海軍陸戦隊旅長及公安局長來館ノ上總領事ニ對シ正式ニ陳謝ノ意ヲ表スルコト

二、犯人ヲ速ニ検挙シ嚴罰ニ処スルコト

三、治安維持ノ直接責任者ヲ处罚スルコト

四、弔慰金銀五万弗ヲ支払フコト

五、日本小学校ニ対シ銀一万弗ヲ寄付スルコト

ノ警備ヲ嚴ニシ若ハ同意無クシテ濫ニ之ヲ撤退スヘカラサルコト

但巡警駐劄所設置地点ハ別ニ協定ス
公使ヨリ上海ニ転報アリタシ

19 昭和7年1月6日 犬養外務大臣より
在上海重光公使宛(電報)

公使、北平 南京、廣東、汕頭、廈門へ転電セリ

第六号(暗)
(五文書)
貴電第五号ニ閑シ

陳部長カ省政府ノ報告ヲ鶴呑ミニシテ矢継早ニ両回ノ抗議ヲ提出シタルコトニ付テハ彼力就任早々我方ヨリ難題ヲ持チ掛ケラレ不体裁ナル立場ニ陥ラムコトヲ惧ルト共ニ対日強硬態度ヲ示シテ多少トモ人気ヲ博セムトル対内的考慮ヨリ先手ヲ打チタルモノナルヤニモ察セラルル處右抗議

北上艦長等ニ対スル暴行事件

貴電第七号ニ閑シ

陳部長カ省政府ノ報告ヲ鶴呑ミニシテ矢継早ニ両回ノ抗議ヲ提出シタルコトニ付テハ彼力就任早々我方ヨリ難題ヲ持チ掛ケラレ不体裁ナル立場ニ陥ラムコトヲ惧ルト共ニ対日強硬態度ヲ示シテ多少トモ人気ヲ博セムトル対内的考

慮ヨリ先手ヲ打チタルモノナルヤニモ察セラルル處右抗議

七日前十一時省政府代表陳培鋐林知淵等四名來館先ツ林及陳ヨリ水戸事件ハ警備上ノ手落チヨリ斯ル慘事ノ發生ヲ見ルニ至リタルハ省政府ノ甚々遺憾トスル所ニシテ本日茲ニ警備担当者ヲ伴ヒ來館陳謝スル次第ナリト申述ヘタルニ付本官ハ之ヲ承スル旨ヲ答ヘスルコトハ実ニ當地在留民トシテ空前ノ慘事ニシテ前日ノ北上艦長等ノ暴行事件發生ニ引続キテノ事トシテ帝国政府ノ最モ遺憾トセル処ナル省政府カ事態ノ重大性ヲ覺リ速ニ解決シ拡大スルニ至ラサリシハ不祥中ノ幸ヒナリ殊ニ本日ハ湯地司令官ト更ニ四隻ノ軍艦入港(合セテ七隻トナル)セルニ付テハ省政府力余合ト思フ惟フニ暴行事件ハ其原因反日運動ニアルヲ以テ從

20 昭和7年1月7日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

水戸訓導殺害事件に対し省政府代表陳謝の意

表明について

福州 1月7日後発
本省 1月7日後着

第八号(暗)
(八文書)
往電第七号ニ閑シ

七日前十一時省政府代表陳培鋐林知淵等四名來館先ツ林及陳ヨリ水戸事件ハ警備上ノ手落チヨリ斯ル慘事ノ發生ヲ見ルニ至リタルハ省政府ノ甚々遺憾トスル所ニシテ本日茲ニ警備担当者ヲ伴ヒ來館陳謝スル次第ナリト申述ヘタルニ付本官ハ之ヲ承スル旨ヲ答ヘスルコトハ実ニ當地在留民トシテ空前ノ慘事ニシテ前日ノ北上艦長等ノ暴行事件發生ニ引続キテノ事トシテ帝国政府ノ最モ遺憾トセル処ナル省政府カ事態ノ重大性ヲ覺リ速ニ解決シ拡大スルニ至ラサリシハ不祥中ノ幸ヒナリ殊ニ本日ハ湯地司令官ト更ニ四隻ノ軍艦入港(合セテ七隻トナル)セルニ付テハ省政府力余合ト思フ惟フニ暴行事件ハ其原因反日運動ニアルヲ以テ從

事項5 中国およびその他各地における排日状況

ツ

テ我方トシテモ其解决ハ反日会解散其他専ラ反日会運動ノ絶滅ヲ期待ス又惨殺事件ニ付テハ其罪中国側ノ警備ノ怠慢ニ帰スルヲ以テ之カ解决亦自ラ今後ノ有効適切ナル警備ヲ期待且監視スヘシト告ケタルニ先方モ右ノ二点ヲ同様繰返シ我方ノ期待ニ背カサル様努力スヘシト答ヘ尚本官カ彼我両者ノ間ニ立チテ冷静善処シ事件ノ拡大ヲ免レタルハ中国側官民ノ感謝措カサル處ナリト述ヘテ辞去セリ尚米国領事ノ談ニ依レハ杜錫珪モ一二日前略同様ノ演説ヲナセリト本日午後領事団會議ヲ招集シ本官ヨリ事件顛末概要説明ノ筈

前電ノ通転電セリ

21 昭和7年1月7日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

北上艦長ら被害事件に対する省政府側の措置について

第一二号(暗)
(九文書)

暴行事件解決ニ関シ

福州 1月7日後発
本省 1月7日後着

22 昭和7年1月7日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

往電第九号ノ通り転電セリ

水戸訓導殺害事件主犯に対する措置請訓について

23 昭和7年1月7日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

福州における放火事件の内容問合せについて

第四号(暗)

福州放火事件問合ノ件

公使ヘ転電セリ

本官ハ右ハ台湾人ノ仕業ナリトノ目星ヲ付ケ内偵セシメ居リシ処愈々張本人ハ旧閩報館員李爐已(無職妻ハ当地台灣学校教員)カ主謀ニテ予テ何等カ一大問題ヲ惹起シテ日本軍ノ占領ニ乘シ一仕事セントノ陰謀ヲ藏シ(嘗テ矢矧艦長ニ夫ラシキコトヲ語リタルコトアリ)最近廈門方面ヨリ流レ込ミタル無頼漢ヲ語ラヒ強大党ナル暴力團様ノモノヲ組織シ予テ機会ヲ窺ヒ居タル処一日ノ北上艦長等暴行事件ニテ我方態度強硬ナルヲ見テ取り台灣総督府官吏ノ身分アル水戸夫妻カ大ナル校舎内ノ一室ニ住ヒ四隣ヨリ隔タリアルニ見込ヲ付ケテ決行セルモノラシク下手人ノ見当モ付キタル處今検挙スル時ハ折角事件ノ解決ヲ見タルニ局面ヲ逆転シ大局上一般ニ悪影響アルヲ顧慮セラルモ此ノ儘ニテハ今回目的ヲ達セス我多数警備艦アリテ両者ノ関係緊張状態ニアルヲ窺ヒ更ニ第二石ヲ投センモ知レス甚タ危険ニテスクテハ多數警備艦アルニ拘ラス大事ヲ見ルニ至ルヘキニ付直ニ検挙シ差支ナキヤ折返シ八日中ニ何分ノ御回訓ヲ待

24 昭和7年1月8日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

水戸訓導殺害と同時発生の警察官宿舎等放火事件について

第一四号(暗)
(三文書)

貴電第四号ニ関シ

(一)五日午後林知淵ト共ニ巡視セルニ市内各種「ポスター」ハ全部取去リタリ

(二)市内各学校ハ教育厅ノ命令ニテ旧正月休暇ヲ二週間繰上ケ四日ヨリ全部休校中ナリ

(三)当日ノ責任者タル省党部宣伝部長甘漢ハ三日上海ニ去り辞職セシムル筈

(四)教育厅長程時煃亦引責辞職ヲ申出テタルハ既報ノ通りナルカ外ニ水戸事件ト二重ノ責任上公安局長亦辞職シ戒嚴司令劉尚志モ引責辞職ヲ申出テ慰留サレタリ省政府ハ既ニ反日会解散ヲ命令セリトノ事ナルカ布告其他何等カノ方法ニテ之ヲ具体的ニ立証セシムル筈ナルカ事実ハ既ニ解散済ノ由

(五)五日午後林知淵ト共ニ巡視セルニ市内各種「ポスター」ハ全部取去リタリ

(六)市内各学校ハ教育厅ノ命令ニテ旧正月休暇ヲ二週間繰上ケ四日ヨリ全部休校中ナリ

(七)当日ノ責任者タル省党部宣伝部長甘漢ハ三日上海ニ去り辞職セシムル筈

事項5 中国およびその他各地における排日状況

- 惨殺事件ト前後シテ七時半頃当館警察官宿舎（田口部長以下四家族居住）階段下ニ付木ニ新聞紙ト麦酒瓶入石油ニテ燃上リ將ニ大事ニ至ラントスル処ヲ発見シ大事ニ至ラスシテ消止メタリ又略々同時刻ニ台灣公会ニモ同様ノ放火アリ之亦大事ニ至ラスシテ発見セルカ惨殺事件ノ翌朝台灣銀行階下ニテモ屑ニテ同様放火仕掛けアルヲ発見セリトノ届出アリシモ右放火ニアラサル見込ニテ惨殺ト連絡アル陰謀ナリトノ見込在支公使ヘ転電セリ
- 25 昭和7年1月8日 在広東須磨總領事代理より
犬養外務大臣宛（電報）
水戸訓導殺害事件犯人は日本人との新聞報道について
- 第二〇号（暗）
- 八日ノ民國日報ハ七日福州特電トシテ「日本人殺害事件ハ既ニ目撃ツキタルカ右ハ台灣人ノ所為ナリト言フ」ト報道シ居レリ御参考迄
- 本省 1月8日後発
廣東 1月8日後発
- 本省 1月8日後着
- 26 昭和7年1月8日 在福州田村總領事宛（電報）
水戸訓導殺害事件主犯に対する措置について
- 本省 1月8日後7時発

- 第五号 暗、大至急極秘
- 福州邦人惨殺事件張本人検挙方ノ件
貴電第一三号ニ関シ
- 本人ヲ今直ニ検挙スルハ貴見ノ通り局面ヲ逆転スルノ惧無シトセサルヲ以テ出来得ヘクンハ當分ノ間ハ検束、尾行其ノ方法ニヨリ支那側ニ感付カレスシテ本人今後ノ策動ヲ防止シ置ク方得策ナリト思考スルモ右ノ如キ方法ニテハ到底策動ヲ予防スルコト困難ナルカ又ハ本人逃亡ノ危険切迫セルカ如キ実情ナルニ於テハ即時之ヲ検挙セラルコト已ムヲ得サルヘシト認ム但シ検挙ニ当ツテハ本件真相ノ支那側ニ漏洩スルカ如キコト無キ様最モ細心ノ注意ヲ加ヘラルノ必要ナルハ申ス迄モ無ク且本件ハ訓導殺害事件ニ全然無関係ナル様取締ヒ置カルコト可然尚本件ハ貴地ニ於テ
- 支へ転電セリ
- 27 昭和7年1月8日 犬養外務大臣より
太田（政弘）台灣總督宛（電報）
水戸訓導殺害事件解決条件福建省政府側と仮調印について
- 本省 1月8日後8時30分発
- 第一号（暗）
- 福州邦人惨殺事件解決ニ關スル件
- 本月三日夜福州日本小学校宿舎ニ於テ貴府派遣訓導水戸三雄夫妻カ支那人ノ為惨殺セラレタル事件ニ付テハ同地帝国總領事ニ於テ福建省政府当局ト交渉中ナリシ處六日支那側ハ我方要求全部ヲ容レ左記条件ニテ仮調印ヲ了セリ右不取敢
- 28 昭和7年1月9日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛（電報）
水戸訓導殺害主犯李爐巳の逮捕について
- 福州 1月9日前発
- 本省 1月9日後着
- 第一六号（暗、至急極秘）
- 往電第一三号ニ関シ
- 不敢李爐巳ヲ賭博犯ニテ極秘裡ニ収容中
在支公使ヘ転電セリ
- 29 昭和7年1月9日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛（電報）
福卅における反日不敬記事掲載新聞の取締について

事項5 中国およびその他各地における排日状況

福州 1月9日後発
本省 1月10日後着

第一七号（暗）

北上艦長等暴行事件ノ解決条件トシテ反日会ノ解散、反日「ポスター」、集会、游行、路傍演説等ノ絶対禁止（永久的性質ヲ有ス）ヲ承認セシメ得タルモ新聞紙ノ排日的言論

標語記事等ニ付テ取締方從来トモ要求スルモ要領ヲ得サリシカ偶々本日發行ノ当地新潮日報ニ不敬事件ニ関スル「ル

「ターナー」電報掲載ニ際シ「旺ナルカナ韓人抛弾シテ日本天皇ヲ撃ツ安重根ヲ学ヒ遂ニ張子房トナル祝盃ヲ挙ケテ惜シクモ撃チ洩ラセリ」トノ意味ノ甚タ不敬ナル標題ヲ掲ケタリ又最モ過激ナル排日新聞東方日報（省党部系）ハ今次事件ニ関連シ在泊中ノ我警備艦ヲ指シテ猥俗ナル語ヲ用ヒ甚

タ不都合ナル論説ヲ掲ケタルヲ以テ直ニ省政府ニ對シ艦長暴行事件解決スルヤ否ヤ新聞紙カスノ如ク在泊中ノ我艦船ニ對シテ侮辱挑發のノ言辞ヲ弄スルコトハ断シテ怒シ難ク況シヤ友邦ノ元首タル我天皇陛下ニ對スル不敬事件ノ報道ニ當リ斯ノ如ク不埒千万ナル標題ヲ付スルカ如キハ未タ其例ヲ知ラス本官ニ於テ寸毫モ仮借シ得サル所ナルニ付テハ

皇ヲ撃ツ安重根ヲ学ヒ遂ニ張子房トナル祝盃ヲ挙ケテ惜シクモ撃チ洩ラセリ」トノ意味ノ甚タ不敬ナル標題ヲ掲ケタリ又最モ過激ナル排日新聞東方日報（省党部系）ハ今次事件ニ關連シ在泊中ノ我警備艦ヲ指シテ猥俗ナル語ヲ用ヒ甚タ不都合ナル論説ヲ掲ケタルヲ以テ直ニ省政府ニ對シ艦長暴行事件解決スルヤ否ヤ新聞紙カスノ如ク在泊中ノ我艦船ニ對シテ侮辱挑發のノ言辞ヲ弄スルコトハ断シテ怒シ難ク況シヤ友邦ノ元首タル我天皇陛下ニ對スル不敬事件ノ報道ニ當リ斯ノ如ク不埒千万ナル標題ヲ付スルカ如キハ未タ其例ヲ知ラス本官ニ於テ寸毫モ仮借シ得サル所ナルニ付テハ

本件ハ過日來ノ二大事件ニモ増シテノ重大事件ニシテ支那側官民ニ於テ我ニ對シ斯ノ如ク不誠意ナル態度ヲ表示スルニ於テハ畢竟前二大事件ノ解決モ充分ナル効果ヲ収メタルモノト云フヘカラス就テハ

一、省政府代表者ノ陳謝

二、党政党外直接責任者ノ処罰

三、新潮日報主筆ノ逮捕及現行刑法ニ依ル最高体刑ニ處シ之カ判決賸本ヲ送致シ又東方日報主筆ニ對シテモ法ニ依リ同シク処罰スルコト

四、両新聞ノ即時發行禁止並再發行ヲ許ササルコト

五、一般新聞紙取締ヲ厳ニシ反日標語ヲ撤廃シ将来斯ノ如キ毎日的論説記事標題、標語等ノ掲載無キ様嚴重取締ルヘキ旨

ノ五項ヲ提出シ即時党政連席會議ヲ開キ之カ回答ヲ要求セル處結局我方ノ要求ヲ容レ両新聞共發行禁止及封票ヲ行ヒ新潮日報主筆吳某ハ既ニ法院ニ送致シタルニ付正規裁判ノ結果賸本ヲ送付スヘク又政府代表者ハ十日午前九時來館陳謝ノ旨回答アリ本件ハ之ヲ公文トシテ取付ケ解決ノ筈

支、北平、南京、廣東、汕頭、廈門ヘ轉電セリ

30 昭和7年1月9日

在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛（電報）

北上艦長等被害事件解決に関する楊主席あて

公文について

別電

一月九、十日在福州田村總領事より犬養外務大臣

宛第一九、二〇号

福州事件解決条項および事件の真相について

福州事件解決条項および事件の真相について

福州 1月9日後発

本省 1月10日後着

第一九号（別電）

福州 1月9日後発
本省 1月10日後着

第一九号（別電）

福州 1月9日後発
本省 1月10日後着

以書翰致啓上候陳者本年一月二一日午後當市西湖公園ニ於テ發生セル本總領事北上艦長並ニ杉野少佐ニ對スル群集ノ暴行事件ニ關シ該事件ノ真相ハ別紙付屬書記述ノ通ニシテ之カ円満解決方ニ關シ本總領事ト貴省政府トノ間ニ於テ左記各条件実行方ニ付意見完全ニ一致致シ候

一、省政府代表者ハ日本帝國總領事館ニ來リ總領事ニ對シ事件ノ發生ニ対シ深甚ナル遺憾ノ意ヲ表シ且負傷者ニ対シ丁重見舞ノ意ヲ表スルコト

二、福建省改革會反日救国会等ノ解散及将来類似ノ団体ヲ組織セサルコト

三、反日集合游行路傍演説絶対禁止

四、即時暴行責任主謀者ノ嚴重处分但シ事件發生後一週間以内ニ之カ實行ヲ見サルトキハ暴行学生等ノ最高監督當局

公使ヨリ上海へ転報アリタシ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

者ヲシテ之カ完全ナル責任ヲ負ハシムルコト

五、一月五日迄ニ市内一切ノ反日宣伝「ボスター」類ヲ全
部撤廃セシメ将来此種「ボスター」ヲ厳禁スルコト

前記第二項第三項第五項ハ其ノ完全ニ履行シタル後該狀態
ノ有効ナル繼續ヲ絶対必要条件トシ日本總領事ニ於テ万一
之ニ違反スルカ如キ事実ヲ發見スル時ハ即時省政府ノ注意
ヲ喚起シ若シ省政府ニ於テ之カ履行ヲ躊躇スルカ如キ場合
ニハ日本總領事ハ自ラ之カ實行ニ必要ナル手段ヲ講スルノ
権利ヲ留保ス

右本件解決ノ証トシテ茲ニ前記各項ニ對スル貴省政府ノ
確認ヲ得度ク此ノ段照会貴意ヲ得候 敬具
支、北平、南京、廣東、汕頭、廈門ニ転電セリ
支ヨリ上海ニ転報アリタシ

(二)

福州 1月10日前發 本省 1月10日後着
付属書 第二〇号(別電)

福建省政府ハ予テ在福州總領事ニ對シ在留日本臣民ノ生命

一ノ撤去方ヲ求メタル処応セサルニ付其職責上之ヲ看過
シ難キモノト思考シ之ヲ剥キ取り其儘歩行セリ
斯クテ公園出口ニ差掛ルヤ多數学生風ノ群衆集リ居リテ一
行ニ対シ前記艦長カ剥キ取りタルト同様ノ日本國旗侮辱ノ
「ボスター」ヲ手渡シタルニ付艦長及杉野少佐ハ之ヲ廢棄
セリ然ルニ一部群衆ハ艦長等ノ行手ヲ遮リタルニ付之ヲ却
ケ帰途ニ就キタル處該群衆ハ一行ニ対シ極度ノ罵詈謔謗ヲ
浴セ掛ケタリ依テ總領事ハ静カニ群衆ヲ制シ退散スヘキヲ
諭シタルニ拘ハラス前面歩行ノ艦長等ヲ追跡シ投石其他ノ
暴行ヲ加ヘ顔面ニ負傷セシメ斯クテ漸クニシテ急ヲ聞キ驅
ケ付ケタル貴國巡警ノ手ニ依リ暴行者ヲ制止スルコトヲ得
タルカ巡警等ハ總領事カ嚴重自動車ノ差廻シ方ヲ要求セル
ニ拘ハラス公園出口ヨリ公安局ニ至ル長距離ヲ艦長等負傷
ノ儘歩行セシメ之カ為群衆ハ漸次其数ヲ増シ一行ニ対シ侮
辱の言辭ヲ弄スルモノアリタルヲ見受ケタリ

斯クテ午後四時公安局ニ到リ局長ニ面会ヲ求メタルモ不在
ノ故ヲ以テ更ニ省政府ニ電話シ責任當局ノ即時來着ヲ求メ
タルカ漸クニシテ六時頃ニ至リ公安局長次イテ省政府委員
陳培鏡氏來リテ始メテ事件ノ顛末ヲ告ケ之カ迅速解決方ニ

財産保護ニ付完全ナル責任ヲ負フ可ク之力為ニ治安維持ノ

為一般反日游行集会ヲ禁止セル旨再三公文及口頭ヲ以テ保
障スル処アリタリ然ルニ日本政府總領事ハ一月二日省政府

ノ前記誓約ニ拘ハラス市内中等学校学生ハ省黨部ノ命令ニ

依リ反日大会及市中游行ヲ行フ可キ旨ノ報道ニ接シタルヲ
以テ直ニ電話ヲ以テ省政府ノ注意ヲ喚起シ之カ差止メ方ヲ
要求セリ之ニ對シ省政府ヨリ右ハ南較場公共体育场ニ於テ

学生ノ集合アルモ反日大会ニ非ス又ハ游行ノ事実ナシトノ

回答アリシカ省政府ノ回答ハ折柄帝国總領事ヨリ派遣セル
視察館員ノ報告ト一致セサルニ付親シク其真否ヲ視察スル

ノ必要ヲ感シ偶々同事件ニ付總領事ト協議中ナリシ北上艦
長及杉野少佐ヲ伴ヒ午後二時半總領事館ヲ出發シ自動車ニ
テ南較場公共体育场ニ到リタル処何等大会進行中ノ模様ナ
カリシヲ以テ転シテ南街鼓樓ニ出テ同所ニ於テ帝国ヲ侮辱

スルカ如キ各種ノ「ボスター」及一學生カ群衆ニ向テ演説
シ居ルヲ認メ更ニ転シテ西湖公園ニ至リ公園一巡ノ途中偶
偶集会所ノ壁ニ大小多数ノ反日「ボスター」ノ貼付アルヲ

認メタルカ其中ノ一ハ正シク帝国海軍旗ヲ侮辱セルモノト
認メラレタルヲ以テ艦長ハ付近ノ巡警ニ對シ該「ボスター」

スルカ如キ各種ノ「ボスター」及一學生カ群衆ニ向テ演説
シ居ルヲ認メ更ニ転シテ西湖公園ニ至リ公園一巡ノ途中偶
偶集会所ノ壁ニ大小多数ノ反日「ボスター」ノ貼付アルヲ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

(2) 右ニ対シ抗日会ハ未タ何等ノ回答ヲモ発セサルモ商人側ノ態度強硬ナルニ鑑ミ去ル五日ノ會議ニ於テ九日ヨリ勸導隊ヲ出動セシメ封存ニ応セサル時ハ店頭ニ「コールター」ヲ塗ルコト但シ商人ノ立場ヲ考慮シ封存日貨ハ適當ノ規定ヲ設ケ二月五日迄先却ヲ許スヘキ旨決議シ更ニ翌六日ノ會議ニ於テ検査ヲ容易ナラシム為日貨ノ売上帳ヲ作成スルコト及購買者ニ壳渡証ヲ交付スルコトヲ条件トシテ之ヲ発売セシムヘキ旨決議シ同日其通告書ヲ配布セリ

(3) 今九日果シテ同文、中華兩中学生建築工會員等約三十名ヨリ成ル勸導隊出動各商店ノ日貨封鎖ヲ強要シ午後一時引揚ケタルカ之ヲ拒絶シテ窓硝子等ニ「コールター」ヲ塗ラレタルモノ八軒ニ達セリ

(4) 右勸導隊ニハ往電第三号省政府ノ命モアリ警察署長及戸口調査員各一名付添ヒ警戒シ邦商乃至台灣籍商ニ対スル勸導ヲ防止セリ

(4) 「コールター」ヲ塗ラレタル商店ハ直ニ洗落シ午後ハ市中平常ト異ナル處ナキモ抗日会ヲ牛耳ル張聖才ハ更ニ来ル十一日勸導隊ヲ出動セシムヘシト語リ居リタル趣ナリ在支公使、北平、奉天、上海、南京、汕頭、福州、廣東へ転電セリ

32 昭和7年1月10日 在福州田村總領事より

犬養外務大臣宛(電報)

水戸訓導殺害事件解決条件に関する楊主席あて公文について

福州 1月10日後発
本省 1月10日後着

第二二号

(1) 水戸事件ニ関スル七日付本官発楊主席宛公文左ノ通
以書翰致啓上候陳者本年一月三日午後八時半福州市倉前山日本小学校校舎内ニ於テ同校教員タル台灣總督府訓導水戸三雄及同人妻光子ノ両名カ何者カニ襲撃セラレ光子ハ銃利ナル短刀ヲ以テ四ヶ所ニ亘ル重傷並ニ拳銃傷一ヶ所ヲ受ケテ即死シ夫三雄ハ前額ニ拳銃ニ依ル重傷ヲ受ケ隣接ノ日本俱楽部ニ逃レ応急手当ノ上博愛病院ニ赴ク途中絶命セリ

慎重交渉ノ結果左記各条件ノ通实行方双方ノ意見一致致シ候

左記

一、省政府代表者海軍陸戰隊旅長及公安局長來館ノ上總領事ニ対シ正式ニ陳謝ノ意ヲ表スルコト
二、速ニ犯人ヲ逮捕シ嚴刑ニ処スルコト
三、治安維持ノ直接責任者ヲ处罚スルコト
四、弔慰金銀五万弗ヲ支払フコト
五、日本小学校ニ対シ銀一万弗ヲ寄付スルコト
六、在留民保護ニ關シ新ニ巡警駐劄署ヲ各所ニ設置シ軍隊ノ警備ヲ厳ニシ予メ同意無クシテ猥ニ之ヲ撤退スヘカラサルコト
但シ巡警駐劄署設置地点ハ別ニ協定ス

前記各条項ハ当然直ニ之カ完全ナル履行ヲ要シ特ニ第六項

ハ本總領事ノ最モ重キヲ置ク処ニシテ将来些カタリトモ弛怠アルヲ許サス以テ将来再ヒ斯ル事件ノ発生ヲ見ルカ如キコト無之様切実励行スヘキモノニ有之候依テ右本件解決ノ証トシテ前記各条項御確認相成度ク此ノ段照会得貴意候言ヲ俟タサル処ニ有之候

就テハ本件円満解決方ニ関シ貴省政府ト本總領事トノ間ニ

敬具

事項5 中国およびその他各地における排日状況

支ヨリ上海ニ転報アリタシ
支、北平、南京、廣東、廈門、汕頭へ転電セリ
キニ依リ努メテ日貨抵制運動ヲ取締リ中国ト日本トノ国交ヲ増進シ以テ中日両国交渉ノ急速解決ニ資スルヲ要スヘシ」云々トノ趣旨ノ訓令ニ接シタリト云フ

33 昭和7年1月11日 在漢口坂根總領事より
犬養外務大臣宛(電報)
「中華全國商會對日經濟絕交總會」の設立に
関する情報について

第八号(暗)

上海、南京、漢口、天津、北平等各地總商會間ニ「中華全國商會對日經濟絕交總會」ヲ設立シ本部ヲ上海ニ各省重要都市ニ支会ヲ各縣市ニ分会ヲ設置シ以テ日貨排斥問題ニ付

党部ノ干渉圧迫ヲ免レントスル運動漸次最近具体化シタル結果漢口總商會ハ代表トシテ王仲權ヲ近ク上海ニ派遣シ上海總商會ト打合セラ遂ケシムルコトトナレル由

因ニ最近湖北省政府ハ行政院長孫科ヨリ密電ヲ以テ「救國ノ唯一方法ハ實業ヲ振興シ工商業ヲ發展セシメ國貨ヲ愛用スルニアルモ人民カ愛國ノ熱心ノ余リ日貨ヲ抵制セル結果ハ日本商人ニ大打撃ヲ与ヘタル一面ニ中國商人モ絶大ノ損

ル陰謀事件タルコト充分ノ確信ヲ得タルモ何分ニモ一味ハ相当多数ニ上ル無頼漢ノ集團ナルヲ以テ下手ニ手ヲ下セハ其報復トシテ更ニ第二、第三ノ不祥事件ナシトモ限ラス且之カ一網打尽的検挙ヲ為スニハ省政府ノ全力ヲ挙ケテ万遺漏ナキ十二分ノ手配ヲ行フ必要アルヘシ一両日中ニ代理主席方声濤帰來ヲ俟チ受ケ万事其指揮ノ下ニ之カ遂行ヲ期シ居ル次第ナルカ仄聞スルニ李ハ貴館ニ於テ既ニ拘禁中ナリトノ説アルカ果シテ然レヤ承知シタシト言ヘルニ付本官ハ先方ノ趣旨ハ克ク諒解セリ本官ニ於テモ種々ノ聞込アリ先方ノ如キ説モ耳ニシ内々必要ノ調査ヲ進メ度キ意向ナルモ何分果シテ斯クノ如キ相当大掛リノ國際的陰謀ナリトセハ我方ニテ生ジツカ部分のニ着手スルコトハ却テ貴國側ノ呑舟ノ魚ヲ逸スルノ結果ヲ招来スヘキヲ慮り実ハ先方ノ進行振焦慮シ居ル次第ナリト告ケタルニ林ハ下手人カ果シテスル國際的陰謀ニシテ事實ナリトセハ彼等ハ畢竟省政府ニ取りテモ亦我方ニ取リテモ徒ニ國際問題ヲ攪乱セントスル共同ノ敵ト言フノ外無キニ付其ノ非カ何レニ屬スルヲ問ハス速ニ逮捕サレタシト述ヘタルニ支那側ニテ専ラ犯人

害ヲ蒙ムレルカ斯クテハ國際關係ヲ際限ナク紛糾セシムヘ
公使、北平、南京、奉天、廣東、濟南、天津、青島ニ転電セリ
34 昭和7年1月11日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)
水戸訓導殺害犯人逮捕などに關する林知淵との会談について

第二二号(暗、極秘)

福州 1月11日前後
本省 1月11日前着

林知淵本官限り極秘ニ相談シタキコトアリトテ十日午後四時來館水戸事件ノ犯人検挙方ニ付テハ大体目星付キ過般來自身ニテ変装危険ヲ犯シテ偵察シタル次第ナルカ要スルニ本事件ハ先年当地ノ独立党首領林樹莊カ一味ト共ニ李爐巳通謀シ一騷動ヲ持チ上ヶ現省政府ヲ窮地ニ陥レ自己ノ野望ヲ達成セント企テ下手人トシテ台湾人ヲ手先ニ使用シタ

ハ台灣人ナリトノ説有力ナルモ政府側ハ支那人ナリト突張リ居ル行懸アリ愈々台灣人トシテ取扱フニ至ラハ解決条件ニ対スル不平勃發ノ虞アリ大局上適當処分方無キヤトノ意ヲ洩ラセルニ付兎モ角犯人ハ日支ノ區別ナク一網打尽的ニ逮捕サレタシ尤モ其他ノ解決条件ハ交換公文中ニモ明示シアル如クニ支那側カ本官累次ノ要求ニ拘ハラス警備ノ責任ヲ果ササリシニ依ル次第ナルヲ以テ保護ノ責任當局トシテ仮令其犯人カ台灣人タル場合ト雖モ其責任ヲ回避スヘキニアラサルニ付何時迄モ条件ノ履行ヲ遷延シテ責任問題ニ引掛け更ニ紛糾ヲ來スコトハ大局上相互ニ不利益ナルニ付速ニ実行シテ双方ノ人心安定ノ要アリト告ケタルニ右全然異議ナク一両日中ニ取運フ所存ナリト述ヘ引取りタリ

35 昭和7年1月11日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)
水戸訓導殺害主犯李爐已に關する情報について

公使ヘ転電セリ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

福州 1月11日後発
本省 1月11日後着

第二三三号（暗、極秘）

(三四文書)

往電第二二二号ニ関シ

李爐已ハ大正六年天津総領事館ヨリ退去命令ヲ受ケタルコトアリ元台灣總督府国語学校出身ニテ相当悪才ニ長ケ先年ニ際シテモ省政府当局ヨリ睨マレ内外人間ニモ兎角ノ評アル人物ニテ昨年閩報退社後ハ定職ナク妻カ東瀛学校教員タル収入ニテ生活スル内台灣人無賴漢ヲ手懐ケ台灣人阿片煙館ヨリ捲上ケテ支那側警察ニ渡リヲ付ケ表面支那側要人ニア之ト懇意ナル如ク装ヒ出入リスルヲ得意トセルカ平常一廉ノ熱血愛國家ナルカ如ク自称シ当地政局等ニ関スル謄写版通信ヲ台灣軍司令部其他ノ方面ニ配布シ軍トハ一廉ノ諒解アル如ク吹聴シ現ニ過般一時帰台セル際充分打合ヲ了シタルヤノ口吻ヲ漏シ居タルヤニ伝ヘラレ帰来後ハ兎角本官ヲ煙タカリ避ケ居ル氣配アリ當館警察ニモ同人ノ行動ヲ注意セシメ居タル處過般閩江下手ノ長樂県ニ於テ農民ト海軍陸戰隊トノ衝突事件アリテ隣縣福清県ニモ飛火シテ紛擾ヲ

手人ハ邦人居住区域内ニ支那人ト共同洋服屋ヲ営ミ被害者方ニモ出入リセル通称進吉事洪進玉カ手引キシ外ニ二名ノ台湾人無賴漢ノ所為ナルコト略ホ確實ナリ犯人ハ何レモ姿ヲ晦マシ未タ逮捕ニ至ラス尚李爐已カ平素台灣軍ヨリ或種ノ密令ヲ受ケテ重大使命遂行ノ任務ヲ有スルカ如ク匂ハセ居タル点支那側ニモ知ラレ居リ恐ラク前記謄写版通信ノ關係ヨリ司令部情報係浅井大尉位ニハ酒席ニテモ例ノ壯語ヲ進言セルコトモアルヘキカト推測セラル林知淵モ李ト知合ヒニテ事件發生以来密ニ両三回本邦人料亭ニテ会食密議シ現ニ當館ニテ李收監ノ前々夜モ其事実アリ林ハ一台湾人ニ対シ李ト会食直後本官カ李ヲ拘禁セルヨリ李ニ於テ或ハ林カ本官ニ密告セル為ト邪推シ報復行為ニ出ツル危険アリト一台灣人ニ漏セリトノコトナリ李ニ対シテハ態ト未タ取調ヲ開始セサル処本人ハ覺悟セルモノカ何時ニナク態度柔順冷静ニテ絶食ヲ企ツル模様ナリシカ漸ク攝食シ始メ

タリ犯行カ李ノ使嗾ニ依ルコトハ殆ト疑フノ余地ナキモ充分ナル物的証拠ヲ挙クルニ至ラス又下手人逮捕ニ至ラサル今日ニモアリ且李ヲ早急ニ台灣ニ送致スルコトハ前來ノ事情ヨリ却テ支那側ヲシテ我方ノ真意ヲ疑ハシムルモノアリ寧口此儘常習賭博犯トシテ拘留シ置キ支那側ノ措置ヲ俟テ対策ヲ講スルノ外ナキカト思料ス

公使ヘ転電セリ

36 昭和7年1月11日 在福州田村總領事より
廈門反日会の解散方について 犬養外務大臣宛（電報）

福州 1月11日後発
本省 1月11日後着

第二四号（暗）

本官發廈門宛電報

第一七号

大臣宛電第一〇号ニ関シ

当地ニ於ケル反日運動禁遏ヲ励行セシムル為ニハ同シク福建省政府ノ行政区域内ニ在リ且党部モ同シク当地省党部ノ管轄下ニアル貴地反日会モ解散セシムル事必要ト思考セラ

37 昭和7年1月11日 在福州田村總領事より
大臣宛電第一〇号ニ関シ

本官發廈門宛電報

第一七号

大臣宛電第一〇号ニ関シ

支ヨリ上海へ転報アリタン

当地ニ於ケル反日運動禁遏ヲ励行セシムル為ニハ同シク福建省政府ノ行政区域内ニ在リ且党部モ同シク当地省党部ノ管轄下ニアル貴地反日会モ解散セシムル事必要ト思考セラ

台灣軍司令部付淺井大尉との関係等に関する

李爐已の申立てについて

テ概要左ノ通述ヘタリ

一、客年滿州事変勃発後間モナク台灣軍司令部付淺井大尉
(情報係)当地ニ出張ノ際同人宅ヲ訪問シ國策遂行上當

地ニテ我出兵ノ口実トナルカ如キ一事件ヲ惹起スヘシト

ノ相談ヲ受ケタル處李ハ淺井トハ面識モナキニ斯ル重大
ナル相談ニ面喰ヒタルモ淺井ノ説明ニテ軍ニ於テ特ニ同

人ヲ見込ミテノコトナリトノコトナリシニ付深ク感激ス
ルト共ニ淺井ノ当地ニ於ケル待遇等内偵セルニ本官初メ

(脱)中ノ処十二日林知淵弔慰金等モ持參シ其他ノ条項モ

实行ノ誠意アリ事態逆転ノ虞レモ薄ラキタルニ付本件發生
以来本官ニ於テ懸念シ居レル本件陰謀ノ背後ニ台灣軍司令
部ノ指金アリシヤノ点ヲ確メタル上之ニ依リ慎重處理ノ要
アリト思考シ同夜十時ヨリ一時迄留置所内ニテ一切人ヲ斥
ケタル上ニテ李ニ対シ何等カ本官ニ話シスヘキコトナキヤ
ト尋ネタルニ最初ハ既ニ一身ヲ君國ニ奉シ新付ノ民トシテ
國策ノ為ニ身ヲ擲チタル以上陸軍關係等ニ累ヲ及ホスニ於
テハ罪ヲ一身ニ引受ケ自ラ処決シタシトテ容易ニロヲ開カ
サリシカ多方説示ノ結果公判ノ席上ニテハ否認スヘキモ本
官平素ノ温情ニ絆サレ個人タル本官ニ一切ヲ告白スヘシト

放火シ支那側カ治安維持ノ能力ナキコトヲ曝露セシメタル上我軍出動ノロ実ヲ作ルヘシトノ密令ヲ受ケタルニ付
為念夫レトナク總督府内ノ知合並ニ鎌田前閩報館長又台灣人先輩タル辜頭榮等ノ意見ヲ求メタルニ福建ハ台灣トシテ根本的解決ヲ要スルモノナリトノ説多カリシニ付愈

一身ヲ擲チテ國家ノ為任務遂行ヲ引受ケタリ

一、爾來數回書面又ハ電報(総テ隱語使用)ニテ指令ヲ受
ケ打合セ客年十一月二十七日夕刻ノ居留民会爆破(往電
第一〇八号既報)閩報館放火等モ同人カ支那人ヲ使用シ
テ行ラセ置キ同日歸台セルモ事件カ小サ過ギテ何等反響
ナキニ鑑ミ三四人位慘殺セヨ天津、上海、廈門等一斉ニ
事件ヲ起ス手筈ナリトノコトニ急キ帰来シタルカ天津以外ニハ何事モナク時機ヲ失シタルニ付又モヤ旧臘歸台決
行方ニ付念ヲ押シタルニ近ク錦州占領ノ予定ニ付南北呼
応出兵我立場ヲ有利ナラシムル必要アリトノコトニ急遽
帰来シ無頼漢十名程手懷ケ時機ヲ狙ヒ居タリ此ノ間李ハ
本件陰謀ニ付軍司令官等カ承知シ居ルヤ否ヤヲ試ムル為
数回直接司令官宛ニ發信セリ

一、出兵ノ場合盧興邦ヲシテ福建獨立ヲ宣言セシメントシ

テ計画セルカ當地郊外ノ長樂事件農民側ヲ率ヒル王天銳

ニ軍ノ承諾ヲ得テ彈丸五六万發供給ノ手筈トナリ居レ

リ

水戸訓導夫妻惨殺事件首謀者李爐已ハ一応形式(的)ニ賭

博犯トシテ取調ヘノ上其儘留置所ニ収容シ外部ト一切交通
ヲ断チ態ト本件犯行ニ付テハ一切取調ヘヲナサス支那側ノ

(脱)中ノ処十二日林知淵弔慰金等モ持參シ其他ノ条項モ

実行ノ誠意アリ事態逆転ノ虞レモ薄ラキタルニ付本件發生

以来本官ニ於テ懸念シ居レル本件陰謀ノ背後ニ台灣軍司令

部ノ指金アリシヤノ点ヲ確メタル上之ニ依リ慎重處理ノ要

アリト思考シ同夜十時ヨリ一時迄留置所内ニテ一切人ヲ斥

ケタル上ニテ李ニ対シ何等カ本官ニ話シスヘキコトナキヤ

ト尋ネタルニ最初ハ既ニ一身ヲ君國ニ奉シ新付ノ民トシテ

國策ノ為ニ身ヲ擲チタル以上陸軍關係等ニ累ヲ及ホスニ於

テハ罪ヲ一身ニ引受ケ自ラ処決シタシトテ容易ニロヲ開カ

サリシカ多方説示ノ結果公判ノ席上ニテハ否認スヘキモ本

官平素ノ温情ニ絆サレ個人タル本官ニ一切ヲ告白スヘシト

兵トモ成ラハ何トテモスルトテ僅ニ金四十円ヲ与ヘラレ
タリト云ヘリ事件当日李ハ前日ノ艦長事件ニ関スル居留
民会起草委員ノ一人トシテ起草中淺井ニ概況ヲ打電シ最
後ニ「今後ヲ注視セヨ」ト付加ヘテ午後一時頃打電同二
時頃下手人ニ命令シ大会後李自身ハ居留民一同ト共ニ當
館ニ來リ下手人ハ其儘犯行ヲ準備セリ下手人ハ犯行後上
流ニ逃走セリ

以上李ノ告白ハ本官個人ニ対スル申立トシテ部外ニハ絶対
極秘トサレタシ

42 昭和7年1月14日 在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

水戸訓導殺害犯人に關する記事差止め方台灣
総督府より申出について

福州 1月14日前発
本省 1月14日前着

第三二号(暗)

台灣總督府ヨリ水戸訓導惨殺犯人ニ関スル件記事差止め方取
計済ノ旨並内地及植民地ハ手配済ナリヤトノ注意アリタル
居ラス過般帰台打合ノ節困リ居ルコトヲ打明ケタルモ出

公使ヨリ上海ニ転報アリタシ、公使ニ転電セリ

43 昭和7年1月14日

在福州田村總領事より
犬養外務大臣宛(電報)

日本人居住区域に巡警詰所、見張所等設置に

ついて

第三四号(暗)

水戸事件解決第六項ニ依ル邦人居住区域巡警特別派出所三箇所立番所廿一箇所ハ全部我方提案ヲ容レ設置スルコトニ省政府委員会ニ於テ決定シ該方面ニ巡警約百名ヲ増加シ目下邦人住宅毎ニ巡警ヲ配置警戒シ右ノ外軍隊一營ヲ以テ右要所ヲ警戒シ居レリ

支ヨリ上海ヘ転報アリタシ

支、廈門、汕頭、廣東ヘ転電セリ

44 昭和7年1月14日 犬養外務大臣より
太田台灣總督宛(電報)

水戸訓導殺害事件首謀者李爐已の措置について

て

四隣ヨリ隔リタル校舎内ニ住ヒ居ルニ目ヲ付ケ本件犯罪ヲ決行セルモノノ如シ

(同)李ハ大正六年天津總領事館ヨリ退去命令ヲ受ケタルコト

アリ貴府國語学校出身ニシテ相当惡才ニ長ケ内外人間ニ兎

角ノ評アル人物ニシテ昨年閩報退社後ハ定職ナク妻(東瀛

学校教員)ノ収入ニテ生活スル内台灣人無賴漢ヲ手懐ケ台

湾人阿片煙館ヨリ金品ヲ捲上ケ居タルモノニシテ我方ニ対

シテハ一廉ノ愛國家ナルカ如ク自称シ支那側ニ対シテハ民

族自決ノ為奔走スト称シ我方事情ヲ通報シテ金錢ヲ受ケ居

タル形跡アリ

(同)尚李ノ審理ニ付当省ヨリ八日田村總領事ニ対シ本件ハ福

州ニ於テ予審ヲ行フヨリモ成ルヘク速ニ身柄ヲ台灣ニ移送

スル方大局上有利ト認メラル場合ニハ大正十年法律第二

五号第四条ヲ適用スルモ一法ナリト思考セラル処右ニ依

ルヲ可トスル場合ニハ其旨申出ツヘキ旨訓令シ置キタルニ

対シ同総領事ヨリ諸般ノ関係上暫ク此儘常習賭博犯トシテ

拘留シ置キ支那側ノ措置ヲ待チ対策ヲ講シタキ旨回電アリタリ

本省 1月14日後8時30分発

第三号 暗、極秘

福州水戸事件主謀者ニ闕スル件
告ヲ綜合スルニ寒情次ノ通ナル處本件ハ国交ニモ関係シ且今後ノ搜査上ニモ影響スル所アルヘキニ鑑ミ本電内容ハ絶対ニ極秘扱ニセラル様致度

(一)内偵ノ結果本件主謀者ハ旧閩報館員李爐已ニシテ下手人ハ洪進玉他二名ノ台灣人ナルコト略々判明セルヲ以テ不取敢主謀者李ヲ賭博犯ニテ極秘裡ニ収容セルモ下手人ハ何レモ姿ヲ晦シ未タ逮捕ニ至ラス

(二)十一日李ノ家宅捜索ノ結果兇行ニ使用セルモノト覺シキ血痕付着セル兇器ヲ発見シ又兇行ニ用ヒタル拳銃ハ在留一邦人ヨリ旧臘前頭洪ニ壳渡セルモノナルコト判明セリ

(三)李ハ予テ同地ニ於テ何等力事端ヲ釀シ日本軍ノ占領ニ乘シ一仕事セントノ陰謀ヲ藏シ最近廈門方面ヨリ流レ込ミタル無賴漢ヲ語ラヒ強大党ナル暴力團ヲ組織シ機ヲ窺ヒ居タル折柄本月二日ノ北上艦長等ニ對スル暴行事件發生シ我方ノ態度強硬ナルヲ見テ取り貴府官吏ノ身分アル水戸夫妻カ

45 昭和7年1月14日 在南京上村領事より
犬養外務大臣宛

上海、杭州学生団の国民政府への請願について

て

南京 1月14日付
本省 1月26日着

普通第二五号

昭和七年一月十四日

在南京

領事 上村 伸一(印)

外務大臣 犬養 育 殿

上海及杭州学生ノ中央請願ニ闕スル件

上海及杭州両地ノ学生代表各數十名宛ハ過日來京国民政府

ニ赴キ孫科ニ面会ヲ求メタルモ孫科ハ上海ニ赴キ不在ナル

為目的ヲ果サス国民政府内ニ居据リ其帰京ヲ俟チ居タルカ

孫科ハ上海ヨリ更ニ奉化ニ赴ク事トナリタル趣ニテ十一日

行政院副院長陳銘枢代リテ右代表ト会见セル處代表ヨリ(一)

出兵抗日並失地回復(二)銃器ノ發給(三)民衆ノ愛國運動保護(四)

外交方針ノ確定(五)國際連盟脱退(六)汪兆銘、蔣介石、胡漢民

ノ來京方督促等ヲ政府ニ請願シ之ニ対シ陳銘枢ヨリ政府ノ

立場ノ困難ナル次第ヲ縷々説明スルト共ニ学生等ノ自重ヲ
希望シ且請願条項ニ就テハ可然応答ヲ与ヘ一応代表等ヲ引
取ラシメタル趣ナリ尚当地金陵大学々生数百名ハ汪兆銘及
蔣介石等ノ入京ヲ促ス為ト称シ十一日鉄道部ヨリ乗車ノ便
宜ヲ受ケ上海へ赴キタルカ其一部ハ奉化ヘモ赴ク由

右報告ス

立場ノ困難ナル次第ヲ縷々説明スルト共ニ学生等ノ自重ヲ
希望シ且請願条項ニ就テハ可然応答ヲ与ヘ一応代表等ヲ引
取ラシメタル趣ナリ尚当地金陵大学々生数百名ハ汪兆銘及
蔣介石等ノ入京ヲ促ス為ト称シ十一日鉄道部ヨリ乗車ノ便
宜ヲ受ケ上海へ赴キタルカ其一部ハ奉化ヘモ赴ク由

本信写送付先

公使 上海 北平 奉天 広東 杭州

46 昭和7年1月15日 在福州田村總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

水戸訓導殺害事件等台湾軍司令部の策動に關する対策について

福州 1月15日後発 本省 1月16日前着

第三五号(暗、極秘)

既報ノ通今回ノ水戸訓導夫妻惨殺事件ヲ始メ當館警察官宿
舎其ノ他ニ対スル放火事件ハ勿論客年十一月二十七日居留
民会外一箇所ニ対スル爆發物及聞報館、東瀛学校ニ対スル
放火事件等總テ台灣軍司令部ノ旨ヲ受ケタリト称スル李爐

已等ノ所為タルコト判明シ特ニ李申立テノ如ク總領事暗殺
ト共ニ第一目標ニ總領事館爆破又ハ館員警察官乃至警備海
軍軍人ノ襲撃ノ如キヲ司令部員カ支持スルカ如キハ誠ニ危
険千萬ナル次第ニテ今回ハ水戸訓導夫妻カ陰謀ノ犠牲トナ
リテ犬死シタルカ田口部長等宿舎ニ対スル放火モ今五分遅
ノ話ナリ陰謀ハ巧ニ闇ヨリ闇ニ行ハレ物的証拠ニ乏シキモ
犯行直前李カ浅井ニ宛テタル電報ノ如キハ有力ナル証拠ノ
一トシテ台北電報局ニ就キ確ムルヲ得ヘシ此種陰謀ヲ根絶
セサル限り如何ニ出先ニ於テ支那側ノ警備ヲ督励シ幾隻ノ
我警備艦ヲ配置スルモ其ノ効無ク今次ノ如キ本官ニ於テモ
警備艦ニ於テモ最善ヲ尽シ乍ラ内部ヨリノ陰謀ノ為スル事
件ノ発生ヲ見ルニ至レルハ内外ニ対シ誠ニ遺憾千万ト言フ
ヘク現ニ台灣方面ニテハ占領ニ至ラサリシ腹癪的言説記事
等アリ台灣軍部ニテハ切ニ出兵ヲ焦リ要港部ニ対シ連絡將
校派遣方提議セリトノコトナルカスル大陸政策論者ハ在留
民ノ一部ニモ共鳴者アリ旁單ナル水戸事件ト言フヨリハ此
種陰謀策動ニ付全般的方針トシテ然ル可ク対策御決定ノ上
李爐已身柄处分問題ト共ニ何分ノ御訓令ヲ仰ク

47 昭和7年1月15日 在廈門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

抗日会員の中国商人示衆行為に対する公安局の処置について

廈門 1月15日後発 本省 1月16日前着

第一六号(暗)

(三九文書)

往電第一二号李文瑞ノ示衆事件ニ關シ十四日公安局長ハ當
館警察署長ニ対シ公安局ニ於テ該計画ヲ探知シタルハ前夜
抗日会幹部会ニ於テ決議後ナリシ為無理遣りニ圧迫中止セ
シムルヲ差控ヘタル次第ニテ何トモ申訳無シト弁疏シタル
趣ナルカ別途探聞スル所ニ依レハ公安局ヨリ抗日会ニ対シ
右中止方交渉シタルハ事實ニシテ結局目抜ノ場所ニ於テ二
時間示衆ノ予定ナリシヲ余リ人通り無キ場所ニ於テ一時間
示衆ノコトニ改メシメ妥協シタル次第ナル由ナリ尤モ實際
ノ時間ハ公安局側ノ取計ニ依リ四十五分ニ短縮サレタリ

支、上海、南京、北平、奉天、汕頭、廣東、福州へ転電セ

リ

48 昭和7年1月15日 在廈門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

抗日会の封存措置等に対する商人の反撥について

廈門 1月15日後発 本省 1月16日前着

第一七号(暗)

(三九文書)

往電第一二号ニ關シ
一、綱布業公会ハ其組合員カ市内商民中最モ高額多量ノ日
貨ヲ擁シ年末ヲ控ヘテ窮地ニ在ルニ顧ミ抗日会ニ対シ票封
実施延期方交渉中往電第七号ノ如ク強制票封「コールタ
ー」塗抹等行ハレタルヲ痛ク憤慨シ居リタル折柄更ニ李ノ
示衆事件アリタルヲ以テ一層激昂シ十二日役員会ヲ開キ抗
日会ノ行動ニ対スル為罷市ノ決行ヲ討議シタルカ一部役
員中抗日会ノ暴行ヲ恐レ之ニ反対スルモノアリ結局採択ニ
至ラサリシカ差当リ司令部及公安局ニ対シ地方經濟ヲ顧慮
セサル暴戾ナル反日行動ノ取締ヲ要求スルコトトナレリ
尚一般商民中ニモ抗日会ニ対スル反感ハ漸次濃厚ヲ加ヘ
ツツアルモ未タ先頭ニ立チテ氣勢ヲ挙クルモノナキ状態ナ

リ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

二、一方抗日会側ニ於テモ右商民側ノ反感大ナルヲ察知ス
ルヤ幹部ハ硬軟両派ニ分レ今後ニ於ケル予定計画遂行方ニ
付異見ヲ生シタルモ外部ニ対シテハ今猶虚勢ヲ張リ宣伝ニ
努メ居レリ

(三一文書)

三、往電第七号ノ通票封日貨ニシテ抗日会ニ届出テタルモ
ノハ二月五日迄ハ壳捌キ得ルコトトナリ居ルヲ以テ商人側
ハ二三日来実際手持高ノ数倍ノ数量ヲ申告シ密ニ新規仕入
ヲ為シ成ルヘク多量ノ日貨ヲ取引セント試ミツツアリ尙前
記商民側ノ反対氣勢並官憲側ノ取締等ニ依リ抗日会側ニ於
テハ票封等ヲ左程厳格ニ行ヒ居ラサル実情ナリ

四、抗日会側ノ運動ハ籍民側ニハ未タ全然及ヒ居ラサル処
兎ニ角顧客側ニ於テ日貨ノ購買ヲ焦慮シ居レルヲ以テ前項
支那商ニ倣ヒ甚シキハ手持高ノ十倍近クノ数量ヲ登記シツ
ツアリ

五、尚漳州反日会ハ同地医師会ノ懇請ヲ容レ最近日本品中
医療用薬品機械等九十七種ハ買入使用差支ナキコトニ決議
シ此旨告示シタル趣ナリ

支、北平、奉天、上海、南京、汕頭、廣東、福州へ転電セ
リ

(別電)

第二三号(暗、至急)

北平 1月18日後発
本省 1月18日後着

貴館海軍武官官舎ニ發生セル爆弾事件ニ關シ客年十二月五
日付貴參事官ノ五項条件ヲ列記セル照会ヲ接到シ既ニ閱悉
セリ查スルニ右各項条件中第一、第三、第四ノ三項ニ付テ
ハ曩ニ客年十二月二日貴參事官ヨリ御來翰ノ次第アリ各御
申越ニ照シ指置シ並ニ客年十二月四日回答済ナリ第二項責
任者处罚ノ一節ニ關シテハ公安局長鮑毓麟ヨリ本市警察ハ
地方ノ防備在留外人ノ保護ニ付テハ從來職責ヲ尽ササル点
ナカリシモ只右事件發生後既ニ一ヶ月ヲ経過セルニ拘ラス
未タ犯人ヲ逮捕処分スルニ至ラサルハ實ニ怠慢ノ次第ニ付
当該管轄署長ニ対シ嚴重申斥ヲ加フルト共ニ三ヶ月ノ嚴重

49 昭和7年1月18日 在北平矢野參事官より

芳沢外務大臣宛(電報)

北平海軍武官室爆弾事件解決方に關する中國

側回答について

別電 同日在北平矢野參事官より芳沢外務大臣宛第二三
号

右中國側回答について

北平 1月18日後発
本省 1月18日後着

第二三号(暗、至急)

客年貴電(一一七一三一七文書)

至急解決方引続キ支那側ト折合中ナリシカ支那側ニ於テハ
本件犯人未逮捕ノ今日責任者ノ処罰等ニ付的確ノ基準ヲ見
出シ難シトノ理由ヲ以テ今日迄解決遷延シ居レルカ本官ヨ
リ累次嚴重督促ノ結果十六日別電第二三号ノ回答ヲ送付シ
来レリ

右ニ付海軍武官ト協議セル處同武官ハ何レニセヨ本件ハ一
応海軍省ニ問合スコトトシヘシト述ヘ尚同武官ハ責任者ノ
処罰トシテ當時同官舎門前ニ在リタル巡警二名ノ免職ヲ加
ヘ度キ希望ナル處右ハ本官ニ於テモ異議ナキニ付更ニ支那
ナル罰俸ニ処シ以テ懲戒スルコトシタキ旨申出アリタル
ニ依リ右様措置方承認シ置キタルカ第五項損害賠償ノ一節
ニ關シテハ犯人逮捕ヲ待チテ調査措置致シタシ但シ睦誼ヲ
敦厚ナラシムル為既ニ該局長ニ對シ當時官舎房屋窓壁等調
査ノ上多少ニテモ破損アルニ於テハ即時狀況ニ応シ工人
ヲシテ修補セシムル様飭令セリ右御承知相成タシ此段回答
ス

支、天津、奉天ニ転電セリ

第二三号(暗、至急)

別電

50 昭和7年1月19日 在福州田村總領事より

芳沢外務大臣宛(電報)

李爐已と台灣軍司令部浅井大尉との連絡方法

について

福州 1月19日前発
本省 1月19日後着

第三六号(暗、極秘)

往電(四六文書)

李爐已ノ申立ニ依レハ淺井大尉ト同人トノ往復ハ大阪商船

当地出張所船客係井上啓太郎カ在郷軍人ナルニ付基隆憲兵
隊ヨリ商船ニ托シ井上氣付ニテ受取り来レルモノニテ一二

事項5 中国およびその他各地における排日状況

海軍武官室爆弾事件ニ関シ支那側へ申入公文

文写送付ノ件

本件ニ関シ左記支那側トノ往復公文為念別添送付ス

一、昭和六年十二月五日付当館公文

二、昭和七年一月十五日付北平綏靖公署來翰
本信写送付先 公使 奉天 天津

昭和六年十一月五日

大使館参事官 矢野 真

中華民国陸海空軍副司令 張學良 殿

(二)

北平綏靖公署照会 総字第一号

中華民国二十一年一月十五日

敬具

(付属書)

(一)

以書翰啓上致候陳者當公使館付海軍武官官舎ニ対スル爆弾投擲事件ニ關シ曩ニ十二月二日付書翰ヲ以テ不取敢申進シ

置キタル処今般帝国政府ノ回訓接到セルニ付茲ニ左記諸項

ニ對シ貴副司令ニ於テ誠意アル措置ヲ執ラレ何分ノ儀御回答アラムコトヲ要望致候

一、貴副司令ヨリ本官並酒井海軍武官ニ対スル陳謝

二、当該責任者ノ処罰

三、犯人ノ搜查及嚴罰

四、此種不祥事件ノ發生防止ニ関スル将来ノ保障

五、損害賠償

右申進旁本官ハ茲ニ重ネテ貴副司令ニ向テ敷意ヲ表シ候

貴使館海軍武官住舎発現炸弹一案接准

貴參事官去年十二月五日照会一件並付列条款五項業已閱悉

查原列条款第一第三第四等三項前准

貴參事官去年十二月二日來照均經分別照弁並於去年十二月四日函復查照在案至第二項处罚責任者一節換公安局局長鮑毓麟声称本市警察對於防範地面保護外僑尚無不尽職責之處

惟自該案發生以來已逾一月迄未將犯人緝獲歸案法弁失屬疏懈除將該管署長嚴加申斥外並從嚴罰俸參個月以示懲戒各等

語應予照弁又第五項損害賠償一節本處拏獲犯人再行核弁但為敦篤睦誼起見已飭該局長查明當時住舎房屋窗壁等處如

果稍有損壞應即察酌情形飭工代為修補相應照復

動停止ニ止マラス徹底的ニ退引キナラヌ実証特ニ省党部側ヲシテ解決断行ヲ宣言セシメント過般來引続キ交渉中右ハ党部ノ面目モアリトテ結局党政連席會議ニ於ケル當該決議錄ト之ニ基キ各機關ニ發シタル命令写トヲ送付スヘシトノ事ニ折合ヒ先方ヨリ右決議事項写ヲ齎セル處右ニ依レハ單ニ一律反日工作ヲ停止ス(思明県ニ命令)トアリテ解散ナル字句無ク從テ一時的停止ニ終ル虞アリト認メラレタル処省政府ニテハ該決議ニ基キ永久工作ヲ停止シ實質上解散以上ノ効果ヲ収ムヘキ旨声明スヘキヲ申出テタルモ五日當方ヘノ誓約ト内部の措置ノ一致セサルハ結局省政府ノ無力ヲ暴露シ彼我紛糾ノ基トナルニ付当然解決条項通り完全ナル取消ヲ要求シ省政府ニテハ再ヒ党政連席會議ヲ開キ本週中ニ右解決スヘキ旨書面回答シ越セリ御参考迄

支ヨリ上海へ転報アリタシ

支、南京、廈門、汕頭、漢口へ転電セリ

事ヲ掲ケ居リ実際的ニハ漸次効果ヲ収メ得ヘキモ差当リ北方軍事ト国交断絶ノ声ト二月一日ヨリ各学校休暇明ケトヲ停止シ居リ事件發生當時店頭ヨリ影ヲ潜メタル本邦呉服雜貨類モ弗々現ハルニ至り在留台灣商人中ニハ台灣ニ先物注文ヲ發シ支那側新聞紙モ日貨活動盛ナリトテ不平的記事ヲ掲ケ居リ実際的ニハ漸次効果ヲ収メ得ヘキモ差当リ北方軍事ト国交断絶ノ声ト二月一日ヨリ各学校休暇明ケトヲ停止シ居リ事件發生當時店頭ヨリ影ヲ潜メタル本邦呉服雜貨類モ弗々現ハルニ至り在留台灣商人中ニハ台灣ニ先物注文ヲ發シ支那側新聞紙モ日貨活動盛ナリトテ不平的記事ヲ掲ケ居リ実際的ニハ漸次効果ヲ収メ得ヘキモ差当リ北方軍事ト国交断絶ノ声ト二月一日ヨリ各学校休暇明ケトヲ停止シ居リ事件發生當時店頭ヨリ影ヲ潜メタル本邦呴

主要条件トシテ解散ヲ約セシメタル以上之力单ニ一時的活

部指示について

反日団体を抗日救国会と改称に関する中央党

事項5 中国およびその他各地における排日状況

- 中央党部ハ曩ニ福建省党部ヨリ反日团体ハ一律ニ抗日救国会ノ名称ニ付請訓アリタルニ対シ自今反日团体ハ一律ニ抗日救国会ノ名称ヲ用ヒ之ヲ統一スヘキ旨回訓アリタル趣ニテ当地党部ハ省党部ノ訓令ニ基キ昨廿日各反日团体ニ対シ總テ抗日救国会ト改称スヘキ旨訓令ヲ発セリ訓令全文郵送ス**
- 支、北平、奉天、南京、上海、福州、汕頭、廣東へ転電セリ**
- 57 昭和7年1月22日 在廈門三浦領事より 芳沢外務大臣宛（電報）**
- 水戸訓導殺害事件犯人洪進玉の逮捕について**
- 58 昭和7年1月24日 在福州田村總領事より 芳沢外務大臣宛（電報）**
- 水戸訓導殺害犯人李、洪を台湾における予審に移管方について**
- 59 昭和7年1月24日 在福州田村總領事より 芳沢外務大臣宛（電報）**
- 反日会解散実施に関する省政府よりの公文受**
- 第四〇号（暗、極秘）**
- 累報ノ通水戸事件ハ結局台灣軍司令部ノ国策遂行ト称シテ淺井大尉カ李爐已ニ命シテ事ヲ起サシメントセルモノニシテ元兎ハ寧ロ浅井ニアリ共犯又ハ少クモ教唆シタルハ明白ナルニ付テハ右ノ関係ニ触レスシテ審理スルコトハ不可能ナル處下手犯人洪進玉廿二日廈門領事館ノ手ニ逮捕セラレタルニ付当館ヘノ押送ヲ見合セ中山警部ヲ急派シ取調ノ上可成竹内司法副領事ト同道帰還李ニ対スル一応ノ予審取調ノ上両犯人共台灣法院ノ予審ニ移シ度所存ニ付貴電第五号末段ノ裁判移管発令方御取計ヲ請フ**
- 第三号**
- 貴地ヨリ手配中ノ重大犯人洪進玉ヲ廿二日当地ニ於テ逮捕シタリ身柄廿四日当地発ノ大球丸ニテ押送ス**
- 56 昭和7年1月24日前發 福州 1月24日前發 本省 1月25日前着**
- 領について**
- 第四二号（暗）**
- 往電 第三八号ニ閲シ**
- 57 昭和7年1月24日 後發 廈門 1月24日後發 本省 1月25日後着**
- ついて**
- 第二七号（暗）**
- 去ル廿日支那雑貨店源泰号一台湾商人ヨリ日本毛糸編機械百台護謨管廿五封度ヲ購入シタルコト抗日会ニ発見セラレタル處其後同会ヨリ幾度カ呼出スモ頑トシテ応セサル為廿三日午後抗日会ノ為同店主ハ奸商ト墨書セル紙製帽子及衣服ヲ被セラレ貨物自動車ニテ市中ヲ引廻ハサレ且ツ中山公園門前ニ於テ更ニ面部ニ「コールター」ヲ塗ラレタル上約二時間示衆セラレタリ**
- 支、南京、天津、北平、福州、汕頭、奉天、廣東へ転電セリ**
- 58 昭和7年1月24日 在廈門三浦領事より 芳沢外務大臣宛（電報）**
- 北平海軍武官室爆弾事件当時の当番巡警免職**
- 59 昭和7年1月25日 在北平矢野參事官より 芳沢外務大臣宛（電報）**
- 処分について**
- 60 昭和7年1月24日 在廈門三浦領事より 芳沢外務大臣宛（電報）**
- 日本毛糸編機械購入の中國商人市中引廻しに**

事項5 中国およびその他各地における排日状況

第四二号（暗）

貴電（五三文書）第六号ニ閻シ

交渉ノ結果支那側ヨリ廿五日付文書ヲ以テ事件当時ノ当番巡警蘇世馨、張俊山ノ両名ハ既ニ免職済ミノ旨申越セリ
支、奉天、天津へ転電セリ

62 昭和7年1月25日

在福州田村總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

水戸訓導殺害犯人の処分および台灣軍側の責

任について

福州 1月25日前発
本省 1月26日後着

第四三号（暗、至急極秘）

其ノ後ノ取調ニ依レハ慘殺當夜本官及署長等ヲ狙ヒタル力
結局兎行ニ便ナル水戸訓導夫妻ヲ襲ヒタルモノニテ兎器ハ
當日民会ニテ大会中別室ニテ下手人洪進玉ニ交付セルモノ
ナリ取調進行ニ伴ヒ在留民中ニモ情ヲ知レルモノヲ出ス模
様ナルカ本件ハ早クモ台灣ニテ右ハ台灣軍ノ教唆ニ出タル
モノナリトノ噂高ク或ハ李ハ當館ニテ他トノ関係ニ付携問
ニ付サレアリトカノ噂アリトテ李ノ友人内地人ヨリ二名ノ

代表者来ル等本件ヲ台灣法院ニ移スノミニテハ同法院ノ特
殊性ニ鑑ミ充分ナラス且ツ審理上種々不便ノ虞ナシトセス
東京又ハ長崎ニテ裁判スル方適當ナルヘキカ浅井大尉ハ勿
論少クモ小杉（武司）參謀長ノ責任ヲ免レサルヘク右ニ対スル処置
併セテ至急御配慮ヲ請フ

63 昭和7年1月25日

在廈門三浦領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

廈門における排日運動嚴重取締方申入れにつ

いて

廈門 1月25日後発
本省 1月25日後着

第二八号（暗）

往電第一五号ニ閻シ

一、最近当地ニ於ケル排日運動活発トナリツツアル一方上
海方面ノ事態極度ノ緊張ヲ來セル今日支那当局ノ深甚ノ注
意ヲ喚起シ同時ニ福州発本官宛電報第一七号廈門反日團体
解散問題ニ触ルルニハ適當ノ時期ト認メラレタルニ付十四
日林司令ヲ往訪シ同司令從来ノ努力ハ多トスルモ過去三ヶ
月即チ滿州事変勃発ノ直後貴我両国民ノ感情最モ尖銳化シ

居リタル時期ニ於テ全然行ハレサリシ諸種ノ排日運動最近
一ヶ月（脱）結果漸ク緩和シ且大多数ノ省民カ鮮カラス迷
惑ヲ感シ居ル今日ニ於テ相次イテ起リツツアルハ甚タ諒解
ニ苦シム処ナリ自分ハ從来在留邦人殊ニ多数ヲ占ムル台灣
人ニ對シ林司令ハ誠意ヲ以テ生命財産ノ保護並ニ排日運動
ノ取締リニ當リ居ルニ付之ヲ信賴シ輕拳盲動スヘカラサル
旨諭示シ居リタル次第ナル処曩ニハ福州並ニ青島ノ事件最
近ニ於テハ上海方面ニ於ケル重大ナル事態ニ刺戟セラレ在
留民ハ異常ノ緊張ヲ來シツツアルニ付此ノ上不羈ノ排日運
動続行セラルルニ於テハ如何ナル不測ノ出来事ヲ招来スル
ヤモ計ラレサルヲ以テ此際嚴重ナル取締リヲ勵行セム事ヲ
要望ストノ趣旨ヲ敷衍屢述シタリ

二、右ニ對シ林司令ハ甚タ苦シ氣ナ面持ニテ自分等カ全力
ヲ挙ケテ治安維持生命財産ノ保護ニ任シツツアル点ハ諒ト
セラレタシ現ニ廈門ハ他ノ何レノ地ニ比スルモ最泰平無事
ナルハ御承知ノ通ナリ抗日会ノ行動モ事前ニ知リ得タル場
合ハ之ヲ制止シ居リ然ラサル場合ニ於テノミ正面衝突ヲ避
ケテ治安ヲ維持シ居ル次第ナリト答ヘタルヲ以テ本官ノ重
キヲ置クハ生命財産ノ保護ハ勿論貴司令累次ノ声明通り

カ往電第二九号ノ如ク結局説明カサルニ付一応之ヲ打チ切
リ更ニ前記ノ問題ニ立チ帰リ何ノ途最近ニ於ケル抗日会ノ
野蛮ナル行動殊ニ國法ヲ無視篡奪シテ日貨ヲ票封又ハ没収
シ且売買者ヲ处罚スルカ如キハ断シテ容認シ能ハサル処ニ
シテ調査糾察隊ノ活動ノ如キハ今後絶対ニ禁止セラレタシ
此点本官ノ最モ重キヲ置ク處ナリト声ヲ励マシ申述タルニ
林司令モ遂ニ公安局長ヲシテ特ニ注意セシム可シト答ヘタ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

ルヲ以テ右禁止ノ言明ヲ得タルハ欣快トスル処ナリトオツカブセテ話ヲ切り上ケ辞去シタリ
支、上海、南京、奉天、北平、福州、廣東、汕頭へ転電セリ

64 昭和7年1月25日 在広東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛

国民救国会廣東総会成立の状況について

広東 1月25日付
本省 2月9日着

公第一二三三号

昭和七年一月二十五日

在広東

外務大臣 芳沢 謙吉殿

国民救国会廣東総会成立ニ閲スル件

春秋召集セラレタル当地四全大会ニ於テ国民救国總会設置ノ議起リ其ノ後当部ヲ中心ニ陳李博其ノ他數名ヲ是力籌備

委員トシテ設立準備中ナリシ処予定ノ通り一月二十三日市立師範学校ニ於テ本總会（国民救国会廣東総会）ノ成立式

舉行セラレタリ右式上ニ於ケル陳李博ノ開会ノ辞ニ依レハ本總会ノ使命ハ「暴日ニ対抗シ國難ヲ挽救スル為メ全國民一致シテ政府ヲ協助スル」ニ在リ先ツ上海總会成立シ次テ今回当地總会ノ成立ヲ見タル次第ナル趣ナルカ成立式當日ノ議決事項ノ主ナルモノ及總會委員ノ顔触等ハ左ノ如シ

記

一、議決事項

(1) 馬占山及其ノ部下將士並ニ東北義勇軍ニ奮起抗日方電請ス

請ス

(2) 政府ニ対シ張字良憲弁方電請ス

(3) 全国將士ニ対シ対日死戰方電請ス

(4) 支会ヲ縣ノ下ニ区分会ヲ設ク

(5) 本会ノ經費ハ政府ノ補助、會員ノ寄付及救國貯金等ヲ

以テ之ニ充ツ

二、委員ノ顔触

(1) 執行委員（十五名）

黃玉明、曾西盛、王乃文、趙靜山、李一堅、李文超、

二於ケル領事官ノ裁判ニ閲スル法律」第四条ニヨリ管轄領事官ニ対シ本件ヲ管轄スヘカラサルコトヲ命シ被疑者李爐

已及洪進玉ノ両名ヲ貴府台北監獄ニ移送方發令シタシ何分ノ儀至急御回電ヲ乞フ

福州總領事ヘ転電セリ

65 昭和7年1月26日 在華公使、北平參事官、奉天、天津、青島、濟南、上海、漢口、香港、南京、汕頭

66 昭和7年1月27日 在廈門三浦領事より
芳沢外務大臣宛（電報）
水戸訓導殺害犯人の取扱について

本官発福州宛電報第三号（暗）
本官発福州宛電報第三号（五七文書）
本官発福州宛電報第三号ニ閲シ

(2) 監察委員（五名）
鄒魯、陳融、熊長鄉、謝瀛洲、唐允恭
右何等御参考迄報告申進ス

本信写送付先

在華公使、北平參事官、奉天、天津、青島、濟南、上海、漢口、香港、南京、汕頭

65 昭和7年1月26日 芳沢外務大臣より
太田台灣總督宛（電報）
水戸訓導殺害犯人の台北監獄への移送方につ
いて

本省 1月26日後9時15分発

66 昭和7年1月27日 廈門 1月27日後発
本省 1月30日後着

第四号 暗、至急

福州水戸事件裁判移管方ノ件
(四四文書)
往電第三号ニ閲シ

下手犯人洪進玉ハ二十二日廈門領事館ノ手ニ逮捕セラレタル處累次電報ノ通本件ハ国交ニモ関係シ福州ニ於テ予審ヲ行フハ大局上不得策ト認メラルルニ付大正十年「南部支那

シ
（2）廈門ニ於テ逮捕セル犯人ハ福州ニ押送セス廈門ニ於テ予審ヲ進行スルコト

事項5 中国およびその他各地における排日状況

- (3) 福州ニ在ル犯人ハ竹内同地ニ出張取調ヘシムルコトト致シタキ旨申出テアリタルニ付異存ナキ旨答ヘ置キタリ
本事件ハ性質上立会書記トシテ専門家ヲ要スルニ付当館水元書記生ヲ参与セシメ居ル処竹内福州出張ノ際ニモ同行セシムル必要アリ且後日ノ為法理上ノ手続ヲ完備シ置ク必要アルニ付水元ニ一時福州兼勤ヲ命セラレタル上竹内ト同時ニ福州ニ出張方御発令相成度シ
支、福州ヘ転電セリ
- 67 昭和7年1月29日 在漢口坂根總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)
武漢反日救国会の活動停止処置に関する何湖
北省主席の申出について
- | | |
|----|---------|
| 漢口 | 1月29日後発 |
| 本省 | 2月2日後着 |
- 第四三号(暗)
- 二十九日何成濬ハ楊揆一ニ命シ本官へ左ノ通申入レ来レリ
一、現在支那政客ノ対日意見ハ硬軟両派アリ硬派ハ國際連盟ニ頼リ又米国ヲ動カス等ノ方法ニ依リ列国ヲシテ日本ヲ圧迫セシメ以テ支那ノ対日外交ヲ有利ニ導カントシ中ニハ
- 疲弊ニ陥リ商民ハ塗炭ノ苦ニ呻吟シ省財政モ全ク行詰リ居リ旁々自分トシテハ郷土タル湖北省カ無理解ナル為政者ニ支配セラレ此ノ上商民ノ苦メラレルコト情ニ於テ忍ヒス為ニ病軀ヲ押シ犠牲的ニ奉公シ居ル次第ニテ此ノ故ニ省内商民ノ繁榮トナルヘキ反日会解散ヲ決意セル次第ナルカ今次上海事件ニ付テモ商民ノ対日反感ヲ抑圧シ其ノ余波ノ当地及沙市、宜昌、武穴、大治等ニ及ハサル様本日早速手配セルニ付此ノ意ヲ諒トセラレ日本人ノ輕挙妄動無キ様貴総領事ニ於テ善導方切望ス(新聞発表暫時見合ヲ請フ)
支、北平、南京、濟南、奉天、廣東、天津、青島、宜昌、沙市ヘ転電シ長沙、九江ヘ暗送セリ
- 68 昭和7年1月30日 在上海村井總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)
上海における罷市、罷工状況について
- | | |
|----|---------|
| 上海 | 1月30日後発 |
| 本省 | 1月31日前着 |
- 69 昭和7年1月30日 在英國松平大使、在仏國栗山臨時代理芳沢外務大臣より
付屬書 亞細亞局第一課作成の調書「中國本土其他に於ける排日運動概況」
排日運動調書の送付について
- 亞一機密合第九〇号
排日運動調書(第八編)送付ノ件
客月十六日付亞一機密合第一四六六号往信ニ関シ中國本土ニ於ケル排日運動概況(第八編)送付ス(別添調書写各一
往電第一五六号ニ関シ
「ジエネラル、ストライキ」ハ先ス支那商店側ノ一切閉鎖

対日外交ハ一步モ譲ルヘカラストノ硬論ヲ吐ク分子モアリ全体トシテハ相当有力ナルカ他ノ一半ハ支那ノ現状ニテハ適當ノ時機ニ日本ト直接交渉ヲ為シ日支諸懸案ヲ一掃シ支那ノ國際的地位ヲ建直ス必要ヲ認メ居ル穩健論者ナル處自分(何)ハ即チ後者ニ属シ少クトモ湖北省ノ関スル限り上海事件カ如何ニ發展ストモ絶対ニ省内ニ於テ日本関係ノ涉外事件ヲ起(サ)サランコトヲ期シ居レリ
之カ為折角種々苦心シ居リ二十七日武漢反日救国会ニ対シ一切ノ行動停止ヲ厳命シタルモ畢竟他日之ヲ解散センカ為ノ下準備ニ外ナラス何レモ反日会ノ不良分子ヲ徐々ニ検挙シ処分シテ禍根ヲ絶滅シ内外商人ノ利益ヲ増進セント考へ居ル處自分ヲ以テ觀レハ今次上海事件ハ余り急進的ニ反日会解散ヲ為セシ反動ナルニ付当地ニ於テハ治安ノ紊レサル程度ニ之ヲ実行シ度キ所存ナリ尤モ之カ實行ニハ内部ニ非常ノ困難アリ自分ハ之カ為民衆特ニ党人ヨリ非常ナル反対ヲ受クヘキモ之ヲ押切ル覺悟ニテ元来自分ニ於テ適当ノ後任者アラハ夙ニ閑地ニ就キ悠々自適シ度キ素志ヲ有スト雖現在湖北省内ハ共匪ノ禍ヲ受クルコト甚シク剿匪問題ハ容易ニ解決ノ見込無ク加之省内ハ昨年大水災以(來)極度ノ
ニ依リ開始セラレタル模様ニテ二十九日ヨリ三十一日迄罷市実行ノ宣言ヲ市商会、銀行業、取引所及各種同業工会連盟ニテ三十日發表シタルカ前回ノ区域以外共同租界、仏租界及支那街共一齊ニ罷市ヲ斷行セリ工人側モ總罷業參加ニ賛成シタル模様ニテ閉鎖セル邦人紡績工場工人ハ自ラ罷工ノ形ニテ船舶倉庫棧橋等苦力モ三十一日ヨリ罷工スルヤニ伝ヘラル尚邦人商店及住宅使用支那人ハ或ハ交通不自由ノ為或ハ他ノ支那人ヨリノ脅迫ヲ恐レ漸次邦人ノ所ヨリ退去シツツアル有様ナリ
冒頭往電ノ通転電セリ

部添付ノコト寿府連盟ヘハ二部、一部ハ杉村公使ヘ転報ト
付記ノコト)

(付属書)

昭和七年一月十三日

中国本土其他ニ於ケル排日運動概況（第八編）

亞細亞局第一課

中国本土ニ於ケル排日運動概況（第八編）

一、一般状況

二、各地状況

- 一、天津
- 二、濟南
- 三、芝罘
- 四、上海
- 五、杭州
- 六、漢口
- 七、長沙
- 八、宜昌
- 九、福州
- 十、廈門

十一、廣東
三、各地ニ於ケル学生運動概況
一、一般状況

(1) 滯邦貨カ他ノ諸事情ト共ニ金融ヲ圧迫スルハ各地トモ
同シク漢口ノ如キハイチ早ク錢莊ノ倒産ヲ見タルモノ
多カリシカ旧正ノ近ツクト共ニ各地ニ同様ノ事態ヲ引
キ起スモノト観測セラル

(2) 本年ニ至リ福州ニ於テ海軍將校ニ対スル暴行、水戸訓
導慘殺警察署官舎放火廣東ニ於ケル邦人慘殺事件等相
次キテ起リタルカ今次滿州事変ニ際シテ排日運動起ル
ヤ長江筋ノ排日最モ激烈ヲ極メ南支方面ハ官憲ノ取締
嚴重ナリシ為比較的溫和ナリシカ昨年末（十一月十二
日）ヨリ稍盛ントナリタルカ如キ感アリシカ今回事
件勃発ハ全クノ突發事件トスルモ尚将来注目ニ值スヘ
シ

ニ裏書ヲ与ヘタル傾向アリ
二、各地状況

(1) 天津

紡績会社裕大公司（支那会社）ハ我東拓ニ対スル債務
関係ニ依リ數年来邦商大福公司ニ於テ委任經營ヲ為シ
來レル處不良工人ノ煽動ニテ怠業狀態ヲ持続シ成績思
ハシカラサリシガ最近天津事變ノ影響ニ依リ作業中止
ノ已ムナキニ至リ十二月七日千六百ノ工人ヲ解雇セ
リ

(2) 济南

(1) 伊藤洋行ノ支那商ニ売却セル綿糸及綿布（価格一万
二千元）輸送ノ途次德平縣劉家集ニ於テ日貨ノ故ヲ
以テ抑留セラレタル旨十二月二十八日願出タルニ付
我總領事ハ早速韓主席ニ嚴重取締方ヲ申込ミタリ
(2) 山東省ハ比較的排日運動盛ナラズ日貨ノ動キハ各地
ニ比シテ盛ナルカ上海筋商人モ同地方ニ商品ノ捌ケ

口ヲ求メ居り、往々投売ニモ等シキ取引ヲ試ムルヲ
以テ從来ノ現金取引ハ漸ク行ハレザルニ至レリ、反
日救国会ハ此等日貨ニ對シ保護費等種々ナル名目ニ

(3) 上海

(1) 抗日会ノ活動

(1) 抗日会ト市商会派ノ輒轢ハ從来モ屢々繰返サレタ
ル處十一月上旬市商会側抗日会役員常務委員王曉
籟（市商会主席）、同方椒伯（市商会執行委員）、設

489

事項5 中国およびその他各地における排日状況

問題商會側トノ紛争等ヨリ幹部役員間ニ内訌ヲ生シ

最近同会員ニシテ辞職スルモノ統出シ又検査員中ニ

ハ不良ノ徒鮮カラス不当ノ要求ヲナシ屢次商人側ト

紛争ヲ醸セル実例アルニ鑑ミ武漢警備司令部ニテハ

反日会対商會ノ紛擾ヲ避クル一面土共匪ニ於テ反日

会ノ名ヲ藉リ強盗類似ノ行動ニ出ツルヲ防ケ必要ア

リトシ総検査ノ停止ヲ反日会ニ命令セル由ニテ一時

検査ノ停止ヲ命シタルモ十二月六日警備司令派遣ノ

兵員監視ノ下ニ五十名ノ検査員ニテ検査ヲ再開セ

リトシ総検査ノ停止ヲ反日会ニ命令セル由ニテ一時

検査ノ停止ヲ命シタルモ十二月六日警備司令派遣ノ

兵員監視ノ下ニ五十名ノ検査員ニテ検査ヲ再開セ

リトシ総検査ノ停止ヲ反日会ニ命令セル由ニテ一時

検査ノ停止ヲ命シタルモ十二月六日警備司令派遣ノ

兵員監視ノ下ニ五十名ノ検査員ニテ検査ヲ再開セ

リトシ総検査ノ停止ヲ反日会ニ命令セル由ニテ一時

検査ノ停止ヲ命シタルモ十二月六日警備司令派遣ノ

兵員監視ノ下ニ五十名ノ検査員ニテ検査ヲ再開セ

シ学生十数名ノ負傷アリタリ

(八) 宜昌

宜昌県党部ハ十二月三日第三一次常会ニ於テ宜昌反日救国会ノ申請ニ基キ各地駐屯軍ヲシテ反日運動ニ協助セシムル様通令アリタキ旨中央ニ請願ノ件ヲ決議セリ

(十二月八日)

(九) 福州

(一) 一般状況

電気公司事件（第七篇参照）ハ裏面ニ反日会幹事ト

電気公司当事者間ニ平常宜シカラザル感情ノ行違ア

アリ一方邦貨処分ニ関シテモ保管中ノ沒收日貨ガ盜

難ニ掛リタリトカ種々ノ事情アリテ反日会ノ活動ハ

休止状態ニアリ邦貨取引ハ秘密裡ニ弗々見受ケラル

一般經濟状況日貨封存等ノ為金融逼迫セルハ他ノ各

地ト同ジ然ル處昭和七年ニナリ劈頭西湖公園事件水

戸訓導事件放火事件等種々排日侮日運動ニ関係アル

(一) 西湖公園事件

「ガン」鉛、「アンチモニー」、麻袋

第二項 牛骨、黃蠟、豚毛、麩、棉美、生漆

（三）排日貨ノ為邦貨手持ノ華商ノ困窮甚シク延イテハ錢

莊ニ及ヒ昨今ノ一般經濟状況ト相俟ツテ錢莊ニ倒産

者統出セルハ既報（第七編参照）ノ通リナルカ倒産

又ハ停業セル主ナル錢莊左ノ如シ

錢莊名	資本金	欠損額	倒産又ハ停業時期
惠恒裕	五万元	五万元	十月月中旬
通安大益	三	四、五	十一月中旬
茂茂	二	三	十一月末
源源	二	二	明
德	不明	不明	明
源	四	五	十一月中旬
怡慶	五万元	五万元	十一月末
恒	三	四	十一月末
裕	二	三	明
元	二	二	明
源	二	二	明
松	二	二	明
茂	二	二	明
怡	二	二	明
慶	二	二	明

(十) 長沙

天津事変及錦州問題等ニ依リ一時同地ノ空氣緊張シタルモ漸次緩和シ海軍集会所ニ避難セシメ居リタル婦女子モ夫々十二月四日帰宅セシメタルカ排日運動ハ決シテ下火トナラス、十一月二十八日ニハ排日運動ニ帰因

福建省府ハ治安維持ノ為一般反日游行集会ヲ禁止

ニモ拘ラス一月二日市内中等学校学生ハ市党部ノ命令ニ依リ反日大会及市内游行ヲ行フベキ旨聞キ込みタルヲ以テ直ニ省政府ニ注意ヲ促スト共ニ午後二時

我總領事ハ北上艦長及杉野少佐ヲ伴ヒ現場ヲ視察セントテ西湖公園ニ至リタル処集合所ニ反日「ボスター」アリタル故之ヲ剝取り公園出口ニ至ラントスル時学生風ノ群集ハ剝取りタルト同様ノ「ボスター」

ヲ手渡シタルニ北上艦長等ハ之ヲ廢棄セルニ激昂セ

タル群集ハ艦長等ニ暴行ヲ加ヘ顔面ヲ負傷セシメタリヨツテ總領事等ハ巡警ノ力ヲ借り難ヲ公安局ニ避ケ

タルガ数百ノ群集ハ公安局ヲ包围シ不穏ノ形勢ナリシヲ以テ退出スルヲ得ズ午後十時ニ至リ漸ク帰来スルヲ得タリ、本事件ハ誠ニ不都合千万ニシテ嚴重當

局者ニ抗議スルコトトナリ一月六日省政府主席ヨシ

一、省政府代表者ハ日本帝国總領事館ニ來リ總領事ニ對シ深甚ナル遺憾ノ意ヲ表シ負傷者ニ丁重見舞

事項5 中国およびその他各地における排日状況

ノ意ヲ表スルコト

二、福建省改革会、反日救国会等ノ解散及将来類似ノ団体ヲ組織セザルコト

三、反日集合游行路傍演説絶対禁止

四、即時暴行主謀者ノ嚴重处分ヲナスヘク事件発生後一週間以内ニ之ガ実行ヲ見ザルトキハ暴行学生等ノ最高監督当局者ヲシテ之ガ完全ナル責任ヲ負ハシムルコト

五、一月五日迄ニ市内一切ノ反日「ボスター」ヲ全部撤廃セシメ将来此種「ボスター」ヲ嚴禁スルコト

ノ我方要求全部ヲ承認セシメ先事件ヲ解決セリ

(3) 水戸訓導事件

一月三日夜日本小学校舎内宿舎ニ支那人壮漢押入り

台灣總督府派遣訓導水戸三雄(二八)同人妻ミツ子

(二七)ヲ慘殺セリ右ハ時節柄誠ニ遺憾ノ事ナレバ早速犯人検挙方ヲ督励スルト共ニ今後治安維持ニ遺憾ナキ様嚴重申込交渉中ナリ

(4)(編注、表題記載なし)

(4) 廈門 反日団体ノ活動

(1) 党部主催ノ反日会ト建築工会ヲ主体トスル抗日会ト

ノ間ニ確執アリタル處省党部ヨリ派遣セラレタル余

文均ニ依リ合併ノ運動起リ十一月五日兩者ヲ合シテ

廈門抗日救国会ト称スルコトナリタルカ七日ノ会

議ニテ再ヒ分裂シ旧抗日会側ハ飽ク迄強硬ナル態度

ヲ持シ閩南各地反日団体連合会ノ名ヲ以テ対日強硬

政策ヲ宣言シ国民政府ニ通電ヲ發スル等活動ヲ統ケ

居リタルガ一方前反日会ノ幹部タリシ民治工会代表

郭礼宗ハ新ニ廈門工会反日救国会ナルモノヲ組織シ

自ラ脱退ノ形トナリ一方廈門抗日救国会ハ旧抗日会

ノ經濟絶交計画ヲ踏襲シ十二月十二日及十七日勧導

翌十日白昼暴徒十余名ハ支那人質商ヲ襲ヒタル事件消止タルガ九日邦人居住区域対岸馬路裏手ヨリ發火シ百二十戸ヲ焼失セリ

アリ人心極メテ不安トナレリ

隊(学生)ヲ各商店ニ派シ対日經濟絶交ノ宣誓ヲ求メ更ニ二十六日ニハ各商店ニ日貨ヲ自發的ニ票封シ其ノ結果報告ヲ求メツツアリタルガ自發的ニ票封ニ応シタルハ洋雜貨店ノ大ナルモノ三件ノミニテ右ハ率先进シテ排日ヲ標榜シ廣告ニ資スルト共ニ爾余日貨ヲ巧ニ処分セントスル便宜ノ為ニナシタルニ過キサル実情ナリ之ヨリサキ十二月二十三日市党部ヨリ反日会ト抗日会トハ既ニ合併シテ廈門抗日救国会トナリタルモノナルニ付之ヲ以テ最高反日機関トシ從来ノ反日会ノ職權ヲ停止スヘキ旨命令アリタルヲ以テ結局旧抗日会ヲ主トセル新ナル廈門抗日救国会ヲ生シタルワケナリ

(2) 厦門抗日救国会ハ十一月二十六日以降日本滯貨ハ当分自發的ニ封存ヲナスヘキ旨宣言ヲ発シタルカ各商人ハ年末金融逼迫ノ折柄トテ一十八日金融ヲ円滑ナラシムル為右緩和方ヲ抗日会ニ要求スルコトトナリ

(3) 福州事件ノ為同地排日団体ノ解散命令昭和七年一月

(4) 十二月十九日二十日ニ亘り廈門大同小学校ニ於テ昼間ハ反日展覽会ヲ催シ生徒ノ手ニナル反日ヲ主題ト

事項5 中国およびその他各地における排日状況

セル作文漫画手芸品標語ヲ陳列シ一般ノ観覧ニ供シ
夜ハ職員生徒ニヨリ反日演劇ヲ行ハシメタリ
之ニ対シ我領事ハ二十四日付ヲ以テ嚴重抗議ヲ申込
ミタリ

一般経済状況

(一) 排日貨ニヨリ問屋筋小売商共ニ甚大ナル打撃ヲ受ケ
同地ノ排日貨運動ハ他所ニ比シテ消極的ナルニモ拘
ラス日本貨ヲ購入セントスルモノ少ク十二月末日ニ
於ケル日本品ノ滞貨ハ大体七八百万弗ニ上ルヘシト
観測セラル

(二) 各地ト同様一般経済状況日本金ノ下落日本品ノ滞貨
等ニ依リ金融逼迫シ遠カラス錢莊ニ倒産者ヲ生スヘ
シト憂慮セラル

(三) 金益美ハ銀細工店ニシテ錢莊ヲモ經營シ同地ニ於
テ相当信用アリタルモノナルカ十二月三十日遂ニ倒
産セリ)

排日運動ニヨリ生セシ事故

十二月十七日安記公司ハ台灣炭九百噸ヲ購入セリトテ
同店經理ノ楊某ヲ審問シタルモ要領ヲ得ス石炭ノ封存

ヲ迫リ店員ト抗日会員ト衝突ヲ生シ運動会帰途ノ学生
之ニ合流シ某ハ奸商ノ帽子ヲ被セラレ市中ヲ引廻サレ
タリ

(二) 広東

(一) 一般状況
在貨投物統出シ經濟界不振ヲ極ム、石炭屯当リ四弗
方下落塊炭二十六弗唱ヘ硫安引合ナシ大沽(ママ)十一弗唱
ハ極メテ大ニシテ其額二百万弗トモ四百万弗トモ伝
ヘラル形勢ノ如何ニ依リテハ旧正前後破産者統出ス
ベシト観測セラル

(二) 第一、第四両集団軍及海、空各軍將領ハ一月八日付
連名ニテ「勦共、抗日ハ救國ノ急務ナルニ付環境ノ
如何ニ拘ラズ絶対ニ之ヲ忽ニスヘカラス吾人ハ既ニ
積極的準備ヲ整ヘ中央ノ命令ヲ待テ發動セントス全
国同胞ノ蘇起ヲ求ム」旨ノ「勦共抗日」ノ通電ヲ發
セリ

(三) 十二月廿二日邦商加藤洋行取扱ノ「マンガン」三十
八桶(価格四百余弗)ヲ運搬ノ途中抗日會員ニヨリ
差押ラレ我方抗議ニ対シ右ハ中國商ニ壳却済ナリト
ノ理由ニ依リ返還ヲ肯ゼズ次テ二十八日再ビ加藤洋
行取扱ノ電氣材料四十一個ヲ「トラック」二台ニテ
運搬中ヲ取押ヘラレタリ

(四) 十二月三十一日広九鉄道停車場付近ニ於テ多羅尾義
広(本籍大阪市)ナルモノ苦力ト口論ノ上殺害セラ
レタリ右ハ勿論突発事件ニハ相違ナキモ治安取締ニ

遺憾ノ点アリタルハ云フ迄モナク又一般排日風潮モ
關係アルコト大ナレバ遺憾ノ意ヲ表スルト共ニ被害
者遺族ニ弔慰金(五千円)ヲ送ルト共ニ今後治安及
支那人毎日行動ノ取締ヲ一層嚴重ニスベキコトヲ
月四日省政府ニ誓ハシメタリ

三、各地ニ於ケル学生運動

濟南

十二月十七日來曲阜濟寧方面ノ中學生ハ兗州地方ニ集合
シ汽車ニテ赴京ヲ企テ又臨城棗莊地方ニモ中學生數百名
集合シ南下ヲ計リ為ニ津浦線ハ南行ハ奉安ヨリ北行ハ滕

県ヨリ各々引返シ泰安滕具間ハ不通トナリ居リタルカ十
九日過般南下セル濟南育英中學生三十名及北平學生團一百
七十余名南京ヨリ帰来セルカ兗州通過ノ際抑留中ノ學生
赴京団ニ対シ在京中ノ状況ヲ語リ寒氣ト飢トノ為非常ナ
ル苦痛ヲ嘗メタル次第ヲ告ケ旁々鐵路局カ車輛ヲ給セサ
リシヲ以テ何レモ帰校解散スルコトナレリ

二十日學生赴京請願團ノ歸済者約二千三百名アリタルモ
何事モナク極メテ平穩ニ解散セリ

上海

(一) 十二月九日各大學抗日救國連合会席上公安局ノ密偵カ
南京當局ノ請願團迫害状況報告演説ヲ為セル學生代表
ヲ逮捕シタルニ憤激セル學生側ハ直ニ公安局ニ赴キ学
生ノ即時釈放、關係者ノ処罰等ヲ要求セルモ要領ヲ得
サリシヲ以テ約五千ノ學生ハ更ニ市政府ニ到リ逮捕學
生ノ即時釈放、公安局長ノ懲罰等ヲ要求シテ退カス張
市長ハ已ムナク陳公安局長ノ停職及市黨部委員陶百川
ノ逮捕令ヲ發令スルト共ニ警備司令等ト共ニ徹宵學生
團ノ慰撫警戒ニ努メタリ尙前記陶百川カ本件使嗾者ノ
一人ナリシ學生團ト市黨部ヲ襲撃シ暴行狼藉ヲ行ヘ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

り公安局密偵王某ハ学生団ニ捕ヘラレ一旦法院ニ押送セラレタルカ学生団ハ之カ引渡ヲ要求シ張市長之ヲ容

レ学生団ニ引渡シタル処学生団ハ即座ニ「民衆臨時予審法廷」ヲ組織シ学生中ヨリ裁判長及判事ヲ出シ市政府代表立合ノ下ニ審問ヲ行ヒタルカ同人ハ市党员ニシテ公安局長ノ命ニ依リ学生ヲ逮捕セルコトヲ自白セルヲ以テ張市長学生団ニ対シ陳公安局長及陶百川ノ逮捕処罰スヘキヲ声明セルカ市長自身モ引責辞職ヲ中央ニ電請セリ

(一)今回ノ学生運動ノ背後ニハ共産党ノ勢力アリトハ夙ニ喧伝セラレ居リタルカ十二月十一日ノ中国共産党ノ公衆暴動紀念日ニハ西部方面ニ大夏大学生約五百名及北部方面ニ学生工人等二百名ノ示威游行アリタル以外格

別ノ学生運動ナカリキ然ル所十二月十三日汪精衛派党员仮租界法政大学内ニ二千三百余名ヲ集合シ

(二)汪精衛主唱ノ国民救国会案擁護

(三)張学良ノ懲罰

(四)市党部委員ノ改組

(四)上海市抗日救国会内部ノ肅正ヲ議決セリ

(三)十二月十四日、十五日ニ亘リ約五百名ノ学生団ハ再度赴京請願スルコトトナリタルカ市政府ハ十二月二十五

日付ヲ以テ学生取締令ヲ出シ学生游行ヲ禁止シタリ然ルニ支那軍ノ錦州撤退ニ関シ政府ノ無能ヲ憤慨セル学生抗日会ハ市商会及全市商人ニ対シ「ゼネラリストライキ」ヲ強要セルヲ以テ市商会側ハ学生側ノ態度強硬ナルニ鑑ミ事態ノ悪化ヲ恐レ一月十日臨時執監委員緊急大会ヲ開催シ協議ノ結果一月十七日市民大会ヲ開キ「ゼネラリストライキ」ニ關シテハ更ニ協議スルコトトナレリ

蘇州

同地ノ大中学生ハ十二月十一日以来「ストライキ」ヲ起シ宣伝運動日貨検査ニ没頭スル一方各校代表二百余名ヲ南京ニ送リ居リタルガ十二月十七日党部ニ各校代表者ト懇談ヲナシタルガ其ノ際党部員ガ学生運動ハ共産党ニ利用セラレ易シ云々ト発言セルヨリ学生ハ激昂シテ党部員ヲ殴打負傷セシメタル外總理遺像遺囑其ノ

他ノ器具ヲ破壊シ打倒国民党打倒国民政府ヲ叫ビ引揚ゲタルガ党部側ハ現場ニ中国青年党及国家主義青年団ノ宣言文等遺棄シアリタリトノコトニテ其ノ旨通電陳情ヲ発セルガ学生側ニ於テハ十二月十八日公共体育场ニ約七百名集合ノ上陳謝要求ノ為党部ニ押掛ケ更ニ県

政府ニ至リ一、学生ノ愛國運動ニ対スル保護ニ、總理遺像遺囑党規破壊否認等ニ付請願セリ南京ニ赴ケル学生請願団ハ十二月十九日帰蘇セリ

他ノ器具ヲ破壊シ打倒国民党打倒国民政府ヲ叫ビ引揚

ゲタルガ党部側ハ現場ニ中国青年党及国家主義青年団ノ宣言文等遺棄シアリタリトノコトニテ其ノ旨通電陳情ヲ発セルガ学生側ニ於テハ十二月十八日公共体育场ニ約七百名集合ノ上陳謝要求ノ為党部ニ押掛ケ更ニ県

政府ニ至リ一、学生ノ愛國運動ニ対スル保護ニ、總理遺像遺囑党規破壊否認等ニ付請願セリ南京ニ赴ケル学生請願団ハ十二月十九日帰蘇セリ

南京

(一)十二月八日中央大学武漢大学及北平大学示威学生約一千名ハ大旗ヲ押シ立テ(二)連盟脱退(三)東北ノ武力恢復(四)打倒日本帝国主義ヲ連呼シテ国民政府外交部中

央党一帯ヲ示威游行セリ

(二)北平学生団ハ十二月十一日濟南学生団ハ十二月夫々

国民政府ニ請願セリ

(三)十二月十五日北平学生団二百名ハ外交部ニ到リ之ニ面接セントスル蔡元培及陳銘枢ヲ殴打シ重傷ヲ負ハ

シメタリ

(四)十二月十七日約千五百名ノ各地学生団ハ中央党ニ押送

廈門

(一)十二月十五日同文大同、英華三中学生約二百四十名中山公園ニ集合シ廈門中等学校義勇軍独立団ノ宣誓

式ヲ挙行セルガ極メテ静肅ニ行ハレタリ

学生赴京請願團三百余ハ一月八日當局ヨリ旅費ノ補助

廣東

学生赴京請願團三百余ハ一月八日當局ヨリ旅費ノ補助

ヲ得テ海路離広赴寧セリ同地ニハ他所ニ見ルガ如キ学

生団ト党部トノ衝突ヲ見ズ

(編注)本調書は、在外各公館へも送付された。

転電セリ

(本電支那電報局発日時二月一日午後一時五分トアリ 電

信課)

70 昭和7年1月31日

在南京上村領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

南京における排日運動激化の状況について

南京 1月31日後発
本省 2月2日後着

第一〇三号(暗、遅着)

国民政府ノ洛陽移転及我驅逐隊ノ入港ニ依リ支那人ハ極度ニ狼狽シ統々避難シ居レルカ同時ニ反日空氣モ俄然悪化シ休暇明ケニテ弗々帰京シツツアル学生数万名ハ本三十一日軍政部ニ赴キ対日宣戰ヲ請願シ又市中ニハ倭奴ヲ塵ニセヨト大書セル反日「ボスター」貼出サレタルカタ刻ニ至リ從来我海軍ニ糧食ヲ供給シ居タル一支那商店ハ多数ノ抗日会員及学生等ノ為壳國奴トシテ襲撃セラレタリ之カ為今後海軍及邦人ノ食料買入レハ頗ル困難トナル見込ニテ目下対策攻究中ナリ

支、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州ヘ

其ノ履行振ヲ監視シ居ル次第ニ付右ニ御了知相成度シ
支、廈門、汕頭、廣東へ転電セリ

72 昭和7年2月1日

※在汕頭戸根木(長之助)領事館事
務代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

県党部前反日会看板の撤去要求について

汕頭 2月1日後発
本省 2月1日後着

第一二号(暗)

福州発貴大臣宛電報

第四七号

二十九日省政府外事係主任ノ來館ヲ求メ本官ヨリ方声濤代

表主席ヘノ伝言トシテ上海ニ於テモ我方要求ヲ容レ反日諸

団体ノ解散ヲ決行シ漢口ニテモ右ノ大勢ニ鑑ミ同様禁遏ス

ルコトトナレル趣ナルニ付テハ既ニ当地ニテハ省政府ニ於

テモ之カ解散方公文ヲ以テ誓約シアリ万一之カ実施ヲ見サ

ル際ニハ我方ハ之カ実行ニ必要ナル措置ヲ講スルノ権利迄

留保シ省政府亦之ヲ承諾シ居ルニモ鑑ミ曩ニ本官ヨリ公文

ニテモ指摘セル通り県党部前ニ掲ケアル反日会ノ看板ニ付

テハ本月中未タニ其儘ト成リ居ル折ハ即時ニ撤去スル事必

尚右同一趣旨ニテ廈門反日運動禁遏方要求シ置キタリ

71 昭和7年2月1日

在福州田村總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

福州反日会解散要求実施振りについて

福州 2月1日後発
本省 2月2日後着

第五一号(暗)

貴電(七八号ニ関シ

警備艦側ハ該項ノ実行方ニ付何カト註文ヲ持出シ本件海軍電報モ其ノ一ニシテ本官ハ先方ノ履行振ヲ見送リタル上適當ノ時機モアラハ相当期間内ニ解散命令ノコトモ話シ置クヘシト云フ程度ニ応酬シ置キタル処屢電ノ通當方迭次督励ノ結果省政府側ニ於テモ既ニ反日会ノ看板モ取下ケ又久シク撤去シ得サリシ檻ヲモ思ヒ切り撤去セル等少クトモ表面的ニハ満足シ得ヘキ程度ニ履行シ居ルニ鑑ミ其ノ実績サヘ挙クルニ於テハ必シモ警備艦長注文ノ如ク形式ニ重キヲ置キテ期限付ニ無理押ニ解散命令ヲ迫ルノ意向ナク目下

支、広東、汕頭、廈門へ転電セリ
支ヨリ上海へ転報アリタシ

本電汕頭ヨリ大臣、公使（第三六号）広東（第一七号）廈門（第三八号）へ夫々転電アリ度シ

支、廈門、汕頭、広東へ転電セリ

（略）

73 昭和7年2月1日

芳沢外務大臣より

在福州田村總領事宛（電報）

福州反日会解散に關し期限付要求差控え方に

ついて

本省 2月1日後7時発

第八号（暗）

福州反日会解散实行方ノ件

貴電（五九文書）第四二号ニ閲シ

海軍電報ニヨレハ貴官並警備艦側協議ノ上上海事件ノ影響モ考慮シ適當ノ時機ニ於テ更ニ省政府ニ対シ反日会解散命令ヲ発スル様期限付抗議ヲ発スルコトセラレタル趣ナル結果シテ事実ナリトセハ此上期限付要求ヲ為スコトハ夫レ自身对外関係上誤解ヲ招ク虞アルノミナラス先方ノ回答不満足ナル場合勢ヒ強力手段ニ出テサルヘカラサル破目ニ陥ルノ虞アリ上海事件紛糾ノ此際大局上面白カラサルニ付斯

カル手段ハ之ヲ差控ヘラレ警備艦側トモ充分御連絡ノ上引続キ支那側ノ本件履行振ヲ嚴重監視督励セラルコトト致度支、廈門、汕頭、広東へ転電セリ

第一〇号 暗、極秘

福州水戸事件審理移管ニ閲スル件

貴電（六〇文書）第四三号ニ閲シ

本件管轄ヲ貴地ヨリ直接東京又ハ長崎ニ移スコトハ法規上不可能ニシテ結局台灣總督府ニ移ス外無カルヘキ處同總督發本大臣宛電報第二号ノ通同府トシテモ本件ニ付テハ慎重ニ審理スルノ必要ヲ認メ其ノ為貴官トモ充分打合セラ希望シ居ルハ理由アルコトト存セラレ當方トシテハ貴官ノ台灣出張ニ異存ナキ次第ナルモ若シ貴官ニ於テ此際貴地ヲ離ルルコト困難ナルカ又ハ不得策トセラルル事情アルヘキヤニモ察セラルニ付貴官出張ノ代ハリニ直接通信又ハ館員ノ

代理出張等ニヨリ總督府側ト必要ナル協議ヲ為シ得ルニ於テハ當方ヨリ總督府ニ對シ時局關係上日下ノ處貴官ノ離任出来難キ旨ヲ以テ断ハリ置クコトトスヘク右ニ閑シ何分ノ貴見回電アリタシ

尚貴電末段台灣軍將校ノ所為ニ閑スル問題ハ當方ニ於テモ別ニ考慮中ナルニ付御含置アリタク尤モ本件犯人ノ審理ノ進行ニ伴ヒ右將校等ノ所為カ自然ニ判明スルニ至ルコトア

ルヘキモ右ハ已ムヲ得スト思考ス

（付属書）

昭和7年1月二十日

外務次官 永井松三殿

在福州台灣總督府所管日本小學校職員遭難ノ件

本件ニ閑シテハ一月七日付管一警第三号ヲ以テ通報致置候処今般台灣總督府ヨリ其ノ後ノ経過ニ閑シ別紙写ノ通報告越候ニ付及通報候

（付属書）

昭和7年1月二十日

拓務次官 堀切善次郎 殿

総文第二号ノ三

福州日本小學校教員遭難ニ閑スル件

台灣總督府總務長官代理内務局長 小栗一雄

（略）

75 昭和7年2月1日

堀切拓務次官より

永井外務次官宛

水戸訓導殺害事件に関する台灣總督府よりの

経過報告について

付属書

一月二十日付小栗台灣總督府總務長官代理内務局長より堀切拓務次官宛總文第二号ノ三

右経過報告

2月1日付

2月2日着

管一警第三号

昭和七年一月一日

拓務次官 堀切善次郎（印）

カル手段ハ之ヲ差控ヘラレ警備艦側トモ充分御連絡ノ上引続キ支那側ノ本件履行振ヲ嚴重監視督励セラルコトト致度支、廈門、汕頭、広東へ転電セリ

（略）

74 昭和7年2月1日

芳沢外務大臣より

在福州田村總領事宛（電報）

水戸訓導殺害犯人の審理移管について

本省 2月1日後9時20分発

第一〇号 暗、極秘

福州水戸事件審理移管ニ閑スル件

貴電（六〇文書）第四三号ニ閲シ

本件管轄ヲ貴地ヨリ直接東京又ハ長崎ニ移スコトハ法規上不可能ニシテ結局台灣總督府ニ移ス外無カルヘキ處同總督發本大臣宛電報第二号ノ通同府トシテモ本件ニ付テハ慎重ニ審理スルノ必要ヲ認メ其ノ為貴官トモ充分打合セラ希望シ居ルハ理由アルコトト存セラレ當方トシテハ貴官ノ台灣出張ニ異存ナキ次第ナルモ若シ貴官ニ於テ此際貴地ヲ離ルルコト困難ナルカ又ハ不得策トセラルル事情アルヘキヤニモ察セラルニ付貴官出張ノ代ハリニ直接通信又ハ館員ノ

会葬執行セルヲ以テ本官代理トシテ赤堀学務課長ヲ臨席セシメ候省政府ヨリハ当日代表者ヲ参列セシメ支那軍隊一個中隊ヲ儀仗セシメラレ候当地ニ於テモ本月十八日盛大ニ葬儀執行致候次第ニシテ遺族一同福州居留民及官庁ノ手厚キ待遇ニ感謝致居候

右報告ス

76 昭和7年2月(3日) 上海
※在上海重光公使より
芳沢外務大臣宛(電報)

南京における日本人保護対策について

上海 2月3日後着
本省 2月3日後着

南京発本使宛電報

第七〇号

本二日午後六時外交部及憲兵警察ノ代表四名來訪シ今後ハ日清「ハルク」付近ヲ徹底的ニ警戒スルノミナラス各方面ノ取締ヲ一層嚴重ニシ絶対ニ事故ヲ起スコトナキヲ期シ尚食糧等ノ供給ヲモ行フヘキニ付雲陽丸ヲ再ヒ日清「ハルク」ニ横付シ支那側トノ円満ナル連絡ヲ執ル様考慮アリタキ旨申出テタリ右ニ対スル回答ハ之ヲ留保シ置キタルカ明

支那側ハ一日夜ノ我方反撃ニ余程恐怖ヲ感シタル結果斯ル申出ヲ為シ来レル次第ナリヤニ認メラル就テハ貴見ノ通り其後ノ模様ニ依リテハ右申出通り実行セラレ先方ノ態度ヲ見守ラルコト然ルヘク尚此機ヲ捉ヘテ蘇州居留民ノ汽車ニ依ル南京輸送及杭州領事館員等ノ自動車ニ依ル輸送ニ付至急便宣供与方支那側ニ懇談セラレ出来得レハ両地ニ人ヲ派シ保護輸送ニ当ラシムル様申入レラレ其結果ニ依り大至急両領事ト連絡シ避難措置ヲ取ラシムル様セラレタシ

77 昭和7年2月3日 蘇州居留日本人等の避難措置について
在上海重光公使より
芳沢外務大臣宛(電報)

蘇州居留日本人等の避難措置について

上海 2月3日前発
本省 2月3日後着

本官発南京宛電報第一五五号

貴電第一〇二号ニ閲シ

第七一号

大臣へ転電シ上海へ転報セリ

78 昭和7年2月3日 芳沢外務大臣より

在上海重光公使宛(電報)

長江および華南方面居留日本人引揚げについて

本省 2月3日発

第一〇二号

上海事件(居留民引揚關係)

長江方面居留民ノ引揚避難方ニ関シテハ曩ニ守屋書記官發漢口宛電報第四号等手配済ノ次第ハアルモ上海ノ事態其後ノ推移ニ鑑ミ今ヤ長江方面ノミナラス南支各地ニ於テモ居留民ノ保護ニ関スル非常手段ニ付具体的な配意ヲ要スル時機ニ立到レルモノト認メ漢口宛往電第七号、長沙、宜昌、沙市、九江宛往電合第三六六号及廣東宛往電第九号ノ通り夫電訓シタルニ付テハ關係各領事ヲシテ情勢ノ判断及臨機ノ措置ニ違算無カラシムル為メ今後貴官ノ裁量ニ依リ各領事ニ対シ引揚ノ時機並方法等ニ関シ隨時必要ノ指示ヲ与ヘラレタシ

長江(蘇州、杭州、蕪湖ヲ除ク)及南支各領事香港ニ転電
本省 2月3日後着

第三七号(暗)
上海事件(居留民引揚關係)
上海事件(北支地方居留民ノ姿動取締方ノ件)
上海事件(北支地方居留民ノ姿動取締方ノ件)
上海事件ノ貴地方方面ニ対スル影響ニ付テハ細心ノ注意ヲ払ハレ居ルコトト存スル処同事件ハ貴地居留民ニ少カラス衝動ヲ与ヘタルモノト思ハレ殊ニ一部不心得者ノ間ニハ上海ノ例ニ刺戟セラレ出兵其他何等為メニスル極メテ無思慮危険ナル策動ヲ為ス者アルヘキハ想像ニ難カラス是等徒輩力不純ナル動機ヨリ故ラニ支那人トノ間ニ事ヲ醸スヤウノコトアリテハ現下ノ事態ヲ一層拡大シ大局上甚々面白カラサルニ付貴官ハ一般的ニ居留民ノ不必要ナル動搖防止ニ留意セラル一方支那責任官憲ヲ督励シテ民衆ノ挑発的行動ヲ嚴戒セシムルト共ニ居留民中ノ不良分子ノ姿動ニ対シテハ海軍側トモ十二分ノ連絡ヲ執ラレ此ノ際特ニ嚴重ニ取締ヲ励行セラレ度シ御如才無キ儀ナカラ為念訓令トシテ各出張

バンコク 2月10日後発
本省 2月10日後着

天津軍司令官、総領事等に対する暗殺計画について

第二〇号（暗）

当地ノ華僑排日ハ昨年末來ノ微温的状況ヲ継続シ殊ニ一月

以来一層緩和ノ徵候スラアリテ格別ノ事故モ無ク暹羅米ノ

買付輸出並印度商人ヲ經由スル綿布其他雜貨ノ輸入モ相当行ハレ來レリ然ルニ上海事件以來華僑間人心再ヒ緊張シツツアリ一、二組合ノ態度更ニ硬化シテ從来日本向ケ輸出米ヲ取扱ヘル支那人仲買ニ対シテ「ボイコット」スルニ至リ

タル由ナルカ其他ニハ鉄血團活動スヘシトノ噂モアリ又當館ニ二通ノ脅迫状郵配セラレタル事實ハアルモ懸念スヘキ程度ノ事態ノ変化ヲ見ス心配セラレタル支那正月モ無事ニ経過セリ尤モ當局官憲ハ一時幾分弛メラレタル本邦人ノ身辺商社等ニ対スル警戒ヲ上海事件以來再ヒ嚴重ニシ居レリ

支ヨリ上海へ転電アリタシ

支へ転電シ新嘉坡、蘭貢へ暗送セリ

84 昭和7年2月11日 在天津桑島總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

第六一号（暗）

九日朝当館警察ハ日本租界天津飯店（支那人經營ノ旅館）ニ拳銃及爆弾ヲ所持スル挙動不審ノ一支那人客ノ投宿シ居ルヲ探知シ格闘ノ上之ヲ逮捕シ目下嚴密訊問中ナルカ其自白ニ依レハ左ノ通り

一、同人ハ四川人周啓桂（二十三歳）ナル者ニシテ客年十月南京ニ於テ李宗仁、張先如、陳繼漢等ノ発起ニ依リ成立シタル驅日敢死隊（第一隊ハ楊希万ヲ隊長トシ隊員百七十名、第二隊ハ張先如ヲ隊長トシ隊員百六十名）ノ第二隊ニ属シ本年一月初メ来津シ北平灤州方面ヲ徘徊シ居タル者ナリ

二、京津地方ニ於テ各方面ヨリ同情金品ヲ得タルモ武器ノ入手容易ナラサル為代表ヲ徐州方面ニ特派シ最近漸ク拳銃六十挺爆弾五百個ヲ買入レタルヲ以テ之ヲ各隊員ニ配給シ夫々任務ニ就ケリ

三、同人ノ外ニ邱希賢、王增漢、張維明、康頂占等ハ専ラ

日本要人暗殺ノ任務ヲ担当シ本月五日以来毎日兩三回當館

及司令官官邸付近ヲ徘徊シ爆弾投擲ノ場所ヲ研究シ九日朝

軍司令官及本官ノ出勤ノ途中自動車ヲ爆撃セントシタルモ

果サス十日更ニ之ヲ決行スル予定ノ処ヲ逮捕セラレタリ

四、軍司令官及本官ヲ暗殺セハ日本軍ハ學良軍ニ対シ戰闘ヲ開始スヘク其誘發手段トシテ暗殺實行ヲ決意シタルモノナリ

第三六号（暗）

「エディー」ノ支那ニ於ケル言動ニ関スル件

桑港發本大臣宛電報第一〇号ニ閲シ

「エディー」ノ福州ニ於ケル行動等ニ閲シテハ客年往電第

一二九六号及合第一四三〇号（一八一八五文書）ノ通ナル處其ノ後同人ハ廈

門、汕頭、廣東、南京等ヲ巡歷セルカ各地共到着ノ際ハ党部学生其他各筋ヨリ救世主ヲ迎フルカ如キ盛大ナル歡迎ヲ

受ケ各地ニ於テ數回ノ演説ヲ為シタリ其ノ内容ハ大同小異ニテ所論ノ骨子ハ日本不法ニ対シ武力ニテ対抗スルモ詮

ナシトテ支那ヲ滅ホスハ日本ニ非ス支那國民ノ腐敗セル精

神ナリ目下ノ急務ハ右精神ヲ一新シ内政ヲ改革シ統一政府ヲ建設シ以テ國家ノ内容ヲ充実スルニアリトテ支那及支那

人ノ痛キ急所ヲ露骨ニ摘發シ之カ為ニハ基督教ノ精神ニ依

ルコト必要ナリト結論スルモノナルモ其ノ道程トシテ奉天

事件ハ日本ノ計画的行動ナルヲ確言シ又朝鮮ノ例ヲ引キ満

州ノ運命ニ論及セリ然ルニ右所論ハ聴衆殊ニ一般青年ノ期

待ヲ甚シク裏切りタルモノノ如ク同人ハ宗教宣伝ノ為奉

天事件ヲ持出シタルヤノ印象ヲ与ヘ新聞紙上ニ余リ反響無カリシハ勿論右宗教云々ニ對スル反対的記事等掲載セラレ

説の反響について

85 昭和7年2月12日 芳沢外務大臣より

在米国出席大使宛（電報）

シャーワード・エディの華南各地における演

事項5 中国およびその他各地における排日状況

各地共第二回以後ノ演説ハ聴衆中中途退席スルモノ多ク出

発ノ際ハ到着ノトキノ歓迎振トハ反対ニ青年会関係者數名

ニ送ラレ不人気ノ裡ニ淋シク出発セル次第ナリ

福州ヲ初メ廈門、汕頭、廣東等ニ於テ我方領事ヨリ米國領

事ヲ通シテ夫々「エ」カ日本ニ対シ事實ニ反スル偏狭ナル

議論ヲ為スコト無キ様注意方ヲ依頼シ又支那官憲ノ注意ヲ

モ喚起スル所アリタルカ「エ」モ其不人気ニ氣付キタルモ

ノカ其ノ日本攻撃ハ最初福州等ニ於ケルカ如キ極端ナル言

説ヲ幾分緩和セル模様ナリ

前記往電及本電ノ趣旨管内各地領事ニ対シ可然「インフォ

ーム」シ置カレ度

86 昭和7年2月15日 在上海重光公使より
芳沢外務大臣宛(電報)

鎮江における日本海軍士官等被傷事件に関する解決策について

第一九九号(暗) 上海 2月15日後発
本省 2月15日後着
本使発南京宛電報

上海へ転報シ大臣へ転電セリ

87 昭和7年2月15日 ※在上海重光公使より
芳沢外務大臣宛(電報)

鎮江における日本海軍士官等被傷事件に関する我方要求条件について

上海 2月15日後発
本省 2月15日後着
南京発本使宛電報

第一〇一號(暗、至急)

南京発本使宛電報

第一七三号

在鎮江望月驅逐艦長來電ニ依レハ十四日午後望月士官及在

留民田口公安局ニ赴キタル帰途群集ニ包囲セラレ田口ハ輕

傷ヲ負ヒタルニ付直ニ外交(部)ニ対シ誠意ヲ以テ本件解

決ニ當ル様同地官憲ニ電報方申出タル処次長徐謨ヨリ本官

ニ対シ電話ヲ以テ本日同地ニ派遣セル汪揚宝(旧横浜總領

事)ニ電訓セルニ付本件ハ必ス円満ナル解決ヲ見ルヘキヲ

以テ更ニ軍艦ヲ増派スルカ如キコトナキ様申越セリ就テハ

當地平戸艦長トモ協議ノ上館員一名ヲ至急同地ニ派遣シ大

体

第一八一号

貴電第一七三号ニ関シ

望月艦長ヨリノ報告ニ依レハ其後公安局長來艦艦長トノ問

ニ解決条件ニ付話合ノ上(新闻記事及排日伝單ノ取締)慰

藉料三千円(一人一千円)ノ支払(公安局下責任者ノ処

罰並(犯人ノ逮捕处罚ノ件ハ承諾シタル趣ニシテ残ルハ謝

罪及将来ノ保障ノ問題ナルカ支那側当局ニ於テハ既ニ相当

誠意ヲ披瀝シ居リ我方トシテ出来得ル限り各地ニ於ケル事

件発生ヲ避ケル趣旨ニ基キ謝罪ハ貴電一、省長ノ陳謝困難

ノ節ハ公安局長カ艦長ヲ訪問シテ遺憾ノ意ヲ表シ将来ノ保

障ニ付テハ例へハ支那側ニ於テ将来前記(ノ外民衆ノ取締

ヲ厳重ニシ充分ニ事端発生ヲ防止スル旨公文ニ依リ誠意ヲ

以テ保障スル位ノ程度ニ止メ例へハ排日団体ノ解散又ハ貴

電五、沿岸防備築造物ノ撤去等ニ付最後通牒的ノ条件ヲ強

要スルコトハ之ヲ避ケ本件ハ出来得ル限り地方的ニ解決ス

ルコト致シタシ右海軍側トモ打合済ミニテ海軍ヨリハ望

月艦長ニ対シ其ノ趣旨訓令スル筈ナリ就テハ右ノ趣旨ニテ

解決方必要ニ応シ南京側ヲ説得セラレタシ

88 昭和7年2月15日 在南京上村總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

鎮江の我軍艦引揚実行方について

南京 2月15日後発
本省 2月16日前着

第一七五号(暗)

本官発支宛電報

第一七四号

往電第一七三号ニ関シ

一、平戸艦長ヨリ司令官宛電報ノ通下鎮江ニ殘留セル在

留民ハ事実上田口一人(他ニ海軍糧食供給商桜井及「ハ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

ルク、マスター」ノ二人居ルモ此等ハ軍艦引揚ト共ニ当然

引揚クルモノナリニテ田口ハ軍艦居ル限り残留スト称シ

軍艦ハ在留民居ル限り引揚得スト称シ居ル次第ナルニ付テ

ハ同地軍艦力在留民ノ保護以外別ニ目的無キ限り本事件ノ

解決ヲ機会トシ居留民及軍艦ヲ引揚ケシムル方可ナルヤニ

認メラル

二、同地官憲ハ我海軍カ事毎ニ高圧的ニ出ツル為ニ詰合常ニ荒立チ交渉凡テ円満ヲ欠クトテ軍艦トノ直接交渉ヲ嫌ヒ居ル次第ナルニ付テハ若シ今後モ我軍艦同地ニ止ルコトトモナラハ適當ナル書記生一名ヲ同地軍艦ニ派遣シ置クコト適當ナルヤニ存セラル（尤モ当館書記生ハ手一杯ニテ派遣ノ余地ナク巡查ニテハ心許無キニ付蘇州若ヘ杭州引揚ノ書記生中ヨリ選任セラレテハ如何カト存セラル）右思ヒ付ノ儘

大臣ニ転電セリ

89 昭和7年2月15日 在南京上村總領事代理より
芳沢外務大臣宛（電報）

鎮江被傷事件に関する交渉状況について

南京 2月15日後発

本省 2月16日後着

第一七七号（暗）

本官發在支公使宛電報

第一七五号

（ハ七文書）
往電第一七三号ニ関シ

海軍側情報ニ依レハ十四日夜半公安局長ハ望月艦長ニ対シ（新聞並排日伝單ノ取締）一人ニ對シ一千円宛計三千円ノ医薬料ヲ支払フコト（二）公安局長部下責任者ノ処罰（四）犯人ノ逮捕处罚ヲ承諾セル外十五日中ニ省政府当局望月ニ来リ（一）

正式陳謝状ヲ提出シ且之ヲ新聞ニ發表スルコト（二）責任者ノ処罰（三）今後ノ保障（我方ニ対スル挑戦的防備ノ取止メヲ含ム）ヲ為サシムヘキ旨約束セラレ趣ナルカ十五日外交部員本官ヲ來訪シ唯今江蘇省政府主席ヨリ外交部長ニ対シ電話ヲ以テ望月艦長ハ（一）省政府主席自ラ望月ニ到リ陳謝スルコト

（二）新聞ノ排日記事取締（三）医薬料支払ヲ要求シ十五日午後六時迄ニ之カ回答ヲ求メタル趣報告アリタル處支那側トシテハ此種小事故ノ發生スル毎ニ各地ニ於テ最後通牒ヲ突キツケラルルコトモナラハ両国ノ關係益々悪化スヘキニ付今少シク外交的ニ事件ヲ處理セラレンコトヲ希望スル旨並今

回ノ事件ニ關シテハ同地責任者ノ陳謝、医薬料ノ支払、犯人ノ逮捕处罚等大体日本ノ要求ヲ容ルヘク出来得ル限り新聞ノ取締ヲモ為スヘキカ絶対ニ日本ニ不利ナル記事ヲ書カシメストノ約束及省政府主席自ラ軍艦ニ赴キ陳謝スルコトハ種々ノ困難ナル事情アルヲ以テ地方ノ責任者タル県知事ノ外ニ警備司令及商務総会々長ノ三名軍艦ニ至リ陳謝スヘキニ付此位ノ程度ニテ本件円満ニ解決方本官ヨリ海軍側説得アリタキ旨申出タルカ同時ニ沈覲鼎ヨリモ電話ヲ以テ特ニ右ノ趣旨ヲ申越セリ就テハ右ノ趣司令官ヘモ御伝ヘアリタク右ニテ本件円満ニ解決セハ直ニ館員ヲ派スル必要ナキヤニ存セラル

大臣ニ転電セリ

90 昭和7年2月17日 在廈門三浦領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

廈門抗日会の日貨封存について

本省 2月17日後発

91 昭和7年2月18日 在天津桑島總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

租界外にて演習中の日本軍に対する発砲事件

について

天津 2月18日後発

本省 2月18日後発

第七二号（暗）

当地増遣隊一個中隊ハ支那側ニ予告ノ上十七日租界外西南

方郊外ニ於テ演習ヲナシタル後帰路ニ就キ夜八時頃王連堤部落（兵營ヨリ約三「キロメートル」ノ地点）付近ニ差掛リシトコロ突然百数十発（空砲及実弾）ノ射撃ヲ受ケタルヲ以テ直ニ対抗ノ姿勢ヲ執ルト共ニ（但シ応射セス双方被

第七一號（暗）

往電第六五号ニ関シ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

害ナシ）日本軍ナル旨先方ニ伝ヘ約半時間後漸ク射撃熄ミタルカ現場ニ赴キ調査ノ結果右ハ該部落ノ自警團カ日本軍ヲ匪賊ノ來襲ト誤認シ発砲シタルコト判明セリ

軍部ニ於テハ右発砲ノ報ニ接スルヤ詳細ノ事情不明ナル為或ハ日支ノ衝突ニアラスヤト懸念シ不取敢駐屯部隊全部ノ出動準備ヲ命シ一方市政府ニ対シ事態拡大防止方ヲ要求シタルカ其内現場トノ間ニ応急軍用電話架設セラレ一切ノ事情判明セルニ付更ニ市政府代表者ヲ招致シ員立会ノ上実況ヲ説明シタルカ支那側ニ於テ誠意ヲ以テ発砲者ヲ探査ノ上処分スル旨宣明シタルニ依リ善後措置ハ改メテ交渉スルコトトシ一応引取ラシメ（午前三時）又現地ニアル部隊ハ我方ニテ探査シタル発砲者二名ヲ伴ヒ小銃十数挺等証拠物件ヲ押収シ帰營セシメタリ十八日當館ノ斡旋ニテ交渉ノ結果市長ノ陳謝、関係者（十数名アル見込）ノ处罚、押収武器ノ一時保管及再発ヲ防止スル為適當ナル手段ヲ講スルコトノ四個条ヲ承認セシメ本件ハ無事解決セリ（条件ハ発表セヌ了確ナリ）

公使、北平ニ転電セリ

戦シ又ハ侮辱ヲ加フルモノニシテ一月九日不敬記事事件解決条項ニ反スルノミナラス我海軍及居留民側ヲ刺戟憤慨セシメ又市民ヲシテ益々毎日挑戦的態度ニ出テシメ治安維持ニ有害ナルハ明カナリ又此儘ノ情勢ヲ放置スルコトハ過般來上海事件ノ波及防止ニ努力中ノ彼我ノ為極メテ危険ト認メラルニ付至急有効ノ取締ヲ励行スヘシ（三）目下本邦人居住区域ノ警備ハ相當努力ヲ認メラル処上海事件緊張ニ鑑ミ徹底的ニ学生及一般市民ノ輕挙妄動ヲ戒メ事前ニ十二分ノ警戒ヲ為スヘキ旨嚴重警告ヲ發セリ

右電話原稿ハ先方ノ希望ニテ之ヲ送リ届ケ置ケリ

支ヨリ上海へ転報アリタシ、支、廈門、汕頭、広東へ転電セリ

93 昭和7年2月20日 在福州田村總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

甘省党部宣伝部長の煽動に対し警告申入れに
ついて

福州 2月20日後発

本省 2月20日後着

第七〇号（暗）
往電（九二文書）第六九号ニ関シ

害ナシ）日本軍ナル旨先方ニ伝ヘ約半時間後漸ク射撃熄ミタルカ現場ニ赴キ調査ノ結果右ハ該部落ノ自警團カ日本軍ヲ匪賊ノ來襲ト誤認シ発砲シタルコト判明セリ

軍部ニ於テハ右発砲ノ報ニ接スルヤ詳細ノ事情不明ナル為或ハ日支ノ衝突ニアラスヤト懸念シ不取敢駐屯部隊全部ノ出動準備ヲ命シ一方市政府ニ対シ事態拡大防止方ヲ要求シタルカ其内現場トノ間ニ応急軍用電話架設セラレ一切ノ事情判明セルニ付更ニ市政府代表者ヲ招致シ員立会ノ上実況ヲ説明シタルカ支那側ニ於テ誠意ヲ以テ発砲者ヲ探査ノ上処分スル旨宣明シタルニ依リ善後措置ハ改メテ交渉スルコトトシ一応引取ラシメ（午前三時）又現地ニアル部隊ハ我方ニテ探査シタル発砲者二名ヲ伴ヒ小銃十数挺等証拠物件ヲ押収シ帰營セシメタリ十八日當館ノ斡旋ニテ交渉ノ結果市長ノ陳謝、関係者（十数名アル見込）ノ处罚、押収武器ノ一時保管及再発ヲ防止スル為適當ナル手段ヲ講スルコトノ四個条ヲ承認セシメ本件ハ無事解決セリ（条件ハ発表セヌ了確ナリ）

公使、北平ニ転電セリ

曩ニ西湖事件發生當時学生反日大会招集ノ責任者タル省党部宣伝部長甘澤ハ事件直後上海ニ逃れ政府当局モ同人ノ不都合ヲ中央ニ申告スル所アリ万帰来スルコトナカルヘシト申シ居リタルニ拘ラス同人ハ飄然一兩日前帰来シ第十九路軍ノ戰捷ヲ目擊シ來レリトテ各学校ヲ巡回講演シ義勇軍組織ト反（日）運動ヲ激励シ居ル旨ノ情報アリ又本官ノ再三省政府ヘノ警告ニ拘ラス各新聞紙ハ依然虚妄ノ戰捷ノ報道ヲ統ケ居ル処上海ニテ我要求提出事態緊張ノ際ナルニ鑑ミノ此種煽動ハ啻ニ西湖事件解決条項ニ違反シタルノミナラス上海事件ニ顧ミ最モ細心ノ注意ヲ以テ制止スヘク万一反日運動ノ再開ヲ見ルカ如キコトアラハ全責任ハ省政府ニ在リ（二）上海事変ニ關スル各新聞記事ハ虛妄ノ度ヲ超エ我ニ挑

（一）甘澤ニ對シテハ嚴重戒告シ又省及県党部ニ対シ萬一二モ反日運動再発ノ如キ不心得ナキ様直ニ夫々嚴重ナル警告ヲ発シ省政府ノ責任ヲ以テ飽迄制止スヘキニ付安心アリタク（二）新聞記事ニ付テハ十九日中央ヨリ省政府ニ對シ上海事件緊張シ居ルモ両國間ニ宣戰セル訳ニハ非サルニ付他地方ニテハ新聞等ニハ倭奴其他類似ノ文字ヲ使用セサル様取締方電報アリ又少シ以前ナルモ上海事件ハ和議進行中ニ付此際各地方ニ於テ事端發生スルカ如キコト無キ様治安維持ニ努力スヘキ旨ノ訓令アリタルニ付各新聞ニ對シテ重ネテ嚴達シ置キタル旨並ニ一兩日中ニ本官ヲ來訪委細説明スヘキ旨電話シ越セリ又邦人居住区域ハ最近公安局巡警ノ外支那海軍陸戰隊一營ニテ警備中ノ處本日ヨリ公安局武装保安隊二百名ヲシテ入レ代ハラシムルコトトナレル旨公安局長代理來館通知シ越セリ因ニ公安局ニテハ目下市内無頼漢狩リヲ行ヒ相當成績ヲ挙ケ居レリ

冒頭往電ノ通り転電セリ

94 昭和7年2月23日 在北平矢野參事官より
芳沢外務大臣宛（電報）

排日運動取締徹底方周市長に申入れについて

北平 2月23日後発
本省 2月23日後着

第九九号（暗）

往電第五一号ニ閔シ

其後嚴重交渉ノ結果當市内外ノ排日標語等ハ大体全部撤去又ハ抹消セラレ封鎖日貨モ漸次開封販売セラルニ至レルモ抗日会ハ依然存続シ殊ニ最近市党部ニ於テハ抗日宣伝隊、抗日將士慰勞義損金募集隊ヲ組織スル等反日運動再燃セントスルヤニ認メラレタルヲ以テ二十二日本官周市長ヲ

往訪シ支那側ノ反日運動取締不徹底ヲ問責シ今次上海事件モ反日運動ニ端ヲ發セル次第ニ付之カ徹底的取締ヲ励行シ

問題ヲ起ササルコト肝要ニテ之力為ニハ此際至急（）各種抗

日会ヲ即時解散、又ハ封鎖シ抗日宣伝隊等モ嚴禁シ又（）市

政府ヨリ封鎖日貨ノ開封販賣並日貨ノ輸送販賣ニ対シ何等妨害ヲ加フヘカラサル旨ノ布告ヲ發シ且之ヲ新聞紙等ニ掲

載公表セシメラレ度シト申入レタルニ市長ハ（）宣伝隊等ノ活動ハ今後絶対ニ禁止スヘク又抗日会ニ對シテハ從来共活動制止ニ付極力努力シ來レルカ御申出ノ次第モアリ近日中

政府ヨリ封鎖日貨ノ開封販賣並日貨ノ輸送販賣ニ対シ何等妨害ヲ加フヘカラサル旨ノ布告ヲ發シ且之ヲ新聞紙等ニ掲

載公表セシメラレ度シト申入レタルニ市長ハ（）宣伝隊等ノ活動ハ今後絶対ニ禁止スヘク又抗日会ニ對シテハ從来共活動制止ニ付極力努力シ來レルカ御申出ノ次第モアリ近日中

95 昭和7年2月(25)日 在天津桑島總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

排日團体解散方天津市府へ申入れについて
天津

本省 2月25日前着

第七八号（暗）

往電第七一号ニ閔シ

其後日貨ノ荷動キ及新規注文共漸次活發トナリ本邦ヨリノ入荷モ漸ク活發ノ傾向ニアリシ處上海事件ノ反響ト覺シク市党部ニ於テハ之ヲ以テ通敵取引ナリトコジツケ二十三日

付ヲ以テ日貨取引商ヲ検挙シ嚴重取締ヲ加フヘキ旨市商会ニ抗議シタル趣ナルカ一方各界自衛救國抗日会ヲ新ニ組織セシメ日貨抵制ノ手段トシテ跪哭団ナル新方法ヲ用ヒ各日貨取引商ノ店頭ニ於テ大声ニテ号泣セシメ其取引ヲ阻害スル行動ニ出テ折角好転シ来レル排日運動モ再ヒ逆転セントスル氣配アリ依テ市政府ニ對シ苟モ政府ノ公的機關タル市党部カスル不法措置ニ出ツル不都合ヲ抗議スルト共ニ此ノ種排（日）团体ヲ至急解散セシムル様嚴重交渉申

公使、青島、南京ニ轉電セリ、公使ヨリ上海ニ轉報アリ度シ

96 昭和7年2月25日 在福州田村總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）
台灣軍の福州出兵説等警戒すべき情勢について
て

福州 2月25日前着
本省 2月25日後着

第七三号（暗、極秘）

曩ニ北上艦長等ニ対スル暴行事件水戸訓導夫妻慘殺事件勃發當時台灣軍ハ直ニ馬公要港部司令官ニ對シ同軍ヨリモ連

ニ反日工作停止命令ヲ發スルコトスヘク（）ニ付テハ新聞等ニ發表セラレサルモ既ニ關係商人ニ日貨取扱差支ナキ旨示達済ナレハ日本商人ニ於テモ自由ニ支那商人ト取引ヲ行ハルヘク若シ之ヲ妨碍スルモノアラハ直ニ法ニ依リ制裁スヘシト答ヘタリ本官ハ貴方ノ努力ハ多トスルモ右ハ一般ニ周知セラレサル為支那商人モ日貨取扱ヲ躊躇シ居ル次第ニ付至急本官申入通り措置セラルル要アル旨嚴重申入ノ結果市長モ之ニ同意シ近ク右様実行ノ筈

支、奉天ヘ転電シ天津、張家口ヘ暗送セリ

516

等ニ反日工作停止命令ヲ發スルコトスヘク（）ニ付テハ新聞等ニ發表セラレサルモ既ニ關係商人ニ日貨取扱差支ナキ旨示達済ナレハ日本商人ニ於テモ自由ニ支那商人ト取引ヲ行ハルヘク若シ之ヲ妨碍スルモノアラハ直ニ法ニ依リ制裁スヘシト答ヘタリ本官ハ貴方ノ努力ハ多トスルモ右ハ一般ニ周知セラレサル為支那商人モ日貨取扱ヲ躊躇シ居ル次第ニ付至急本官申入通り措置セラルル要アル旨嚴重申入ノ結果市長モ之ニ同意シ近ク右様実行ノ筈

支、奉天ヘ転電シ天津、張家口ヘ暗送セリ

516

事項5 中國およびその他各地における排日状況

モ全然無シトハ申シ難ク内部的ニ相当油断無ク之ニ対シ出先領事ノ警戒ノミニテハ万一或ハ力及ハサルカ如キコト無キヤヲ慮ル今ニ於テ然ル可ク御配慮ヲ仰クコト緊要ナリト思料ス

公使ヘ転電ス

97 昭和7年2月25日 在廈門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

抗日会の排日行動について

廈門 2月25日前発
本省 2月25日後着

第八〇号(暗)
(六一六七文書)

往電第七七号ニ閲シ

廿四日鼓浪嶼側ニ於テハ国旗ヲ掲ケテ戦捷ヲ祝シタル者鮮カラス且午前中各所ニ於テ相当甚シク爆竹ヲ掲ケタリ(尤モ女子供ノ面白半分ニナセル者多シ)廈門側ハ大体平常ト変リ無ク時折爆竹ヲ鳴ラシタル者アル程度ナリシモ抗日会ニ於テハ同日午後一時幹部會議ノ結果海產物商李松齡ナル者ハ再三日貨ヲ取引セリトテ游街示衆処分ニ付スルコト当該商品ヲ沒收シ且其価格ノ五倍ニ相当スル罰金ヲ徵収スル

コト及向フ一ヶ月間同店ヲ封鎖スルコトヲ決議シタル上下午三時半例ノ奸商処分ノ紙帽ヲ被セ顔ニ「コールタール」ヲ塗リ付ケ貨物自動車ニ乗セテ市中ヲ引廻ハシ同四時過キ釈放シタリ右ハ抗日会ニ於テ上海ノ戦捷「ニユース」ヲ種ニ民衆ノ抗日氣分ヲ煽ラント予テ機会ヲ窺ヒ居タル折柄恰モ往電(六一六七文書)第七七号ノ如キ電報到達セルヲ聞込ミ尾ニ縛ヲ付ケテ伝ヘ之カ宣伝ニ努メ遂ニ斯ノ如キ大袈裟ナル御祭験ヲ演セシメ尚其民心ノ昂奮セル期ニ乘シテ俄カニ斯ル行動ニ出テタルモノナリ

支、北平、奉天、上海、南京、福州、廣東、汕頭へ転電セリ

98 昭和7年2月26日 在天津桑島總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

排日団体の組織および東北軍の動向などについて

天津 2月26日前発
本省 2月26日後着

第八〇号(暗)
往電第七六号ニ閲シ

各新聞ハ引続キ上海ニ於ケル戰況ニ閑シ虚構ノ報道ヲ為シ日本軍恐ルルニ足ラスト宣伝シ民衆ノ侮日的思想ヲ唆り居ルヲ以テ一時逼塞セシ經濟絶交會又ハ各種抗日救国会等ノ排日団体再ヒ組織セラレ日貨抵制ノ氣運ヲ煽ルト共ニ此機会ニ乘シ東北失地ノ武力回収ヲ為スヘシトノ輿論ヲ喚起シツツアリ殊ニ其後共中央ノ各団体ヨリ学良ニ対シ滿州新國家討伐ヲ密令シ或ハ東北ヘノ出兵ヲ督促シ來ル為今後ニ於ケル學良ノ態度ハ注意ヲ要スル處往電第六六号以降東北軍ノ動キヲ見ルニ南苑ニ移駐シタル砲兵第十三團ハ目下楊柳青ニ再ヒ移動中又軍糧城ノ第十五旅ト定州ニ在ル第一團第

冒頭往電補足旁御参考迄

支ヨリ上海へ転報アリタシ、支、北平、奉天へ転電セリ

99 昭和7年2月27日 在廈門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

抗日会の動静ならびに鼓浪嶼抗日救国会の成立について

廈門 2月27日前後
本省 2月28日前着

第八三号(暗)
(九七文書)

往電第八〇号ニ閲シ

備ナリヤニ付テハ第十五旅及第二十九旅カ反張分子ノ懷柔運動ニ対シ頑トシテ応セサリシ部隊ナリシニ拘ラス于学忠系軍隊ヲシテ之ニ代ラシメタル事實ニ鑑ミ甚タ疑問タル次第ナルカ兎ニ角上海ノ形勢意外ニ長引クニ於テハ目下對

日無抵抗ヲ看板トシ居ル學良ノ態度モ変更ヲ余儀ナクセラルニ至ル場合無キヲ保セス又反張運動ノ消長ニモ自然影響アル筋合ニシテ滿蒙新國家建設カ具體化スルニ伴ヒ國策上此際北支ニ於ケル政局ノ發展ヲ計ルコト肝要ト認メラル

事項5 中国およびその他各地における排日状況

タルカ同会ノ首領張聖才ノ如キハ司令部ノ命令ノ如キハ此ヲ無視スヘク又抗日会ハ既ニ充分其実力ヲ有ス等豪語シ居ル有様ナリ又鼓浪嶼ニ於テハ曩ニ成立セル抗日救国会ニ対シテハ工部局ヲシテ其首領株ニ警告ヲ与ヘシメタル結果（往電第三六号）其後何等ノ活動ヲ見サリシカ例ノ戰勝祝賀騒ノ翌日既ニ抗日団体組織ノ議起リ二十五日ニハ在鼓浪嶼ノ各学校各団体ヲ網羅シテ鼓浪嶼抗日救国会ナルモノヲ新ニ組織スル等最近ニナキ民心ノ悪化振ナリ上海方面ニ於ケル我方新作戦カ如何ナル影響ヲ齎スヤ不明ナルモ前記ノ情勢ニ鑑ミ軍艦トモ連絡ヲ密ニシ手配上万遺憾ナキヲ期シ居レリ

支、北平、奉天、上海、廣東、南京、福州、汕頭ニ転電セリ
100 昭和7年2月28日 在福州田村總領事より 芳沢外務大臣宛（電報）
水戸訓導殺害事件に関する台灣總督府、台灣
軍の対応について

福州 2月28日後発 在福州田村總領事より 芳沢外務大臣宛（電報）
本省 2月28日後着

協議ノ件骨子ノ協定ヲ見タルモ台灣總督府ニ於テ目下南部出張中ノ參謀長来る二十九日夜帰任ヲ待チ一応打合ノ上最後ノ確答アルコトナレリ從テ小官等一日ノ船ニハ出發間ニ合ヒ兼ヌ五日ノ長沙丸ニ変更セリ尚本件ハ事件ノ性質上本省ヨリ一應陸軍省ニ事實ヲ通告シ其ノ諒解ヲ求メ置カル要アルヤニ思料セラル旨懇談アリタリ

左記
101 昭和7年2月28日 在福州田村總領事より 芳沢外務大臣宛（電報）

水戸訓導殺害事件は普通刑事事件として移管
方竹内副領事に指示について

第七九号（暗）
(一〇〇文書)
往電第七八号ニ閔シ
右ハ從来ノ訓令ノ趣旨ニ鑑ミ申送レル次第ナル處之ニテ差支ナキヤ為念御回訓ヲ仰ク
支ナキヤ為念御回訓ヲ仰ク
左記
竹内副領事へ

前電ニ関シ元來當館トシテハ本件ハ普通ノ殺人事件被疑者四名ニ對シ國交上ノ必要ヨリ現在ノ儘審理ノ移管ヲ希望スル次ニシテ偶々予審進行中被疑者ノ一人力犯罪ノ動機ニ付軍部トノ關係ヲ申立テタリトスルモ之ハ恰モ当初ヨリ軍部ニ關係アル事項トシテ予審審理中ノ出來事ニ付外務省ヨリ陸軍省ニ通告ヲ為スコトハ穩カナラサルヤニ思料セラルルニ付右總督府當局トモ懇談ヲ遂ケラレ一先ツ普通ノ刑事事件トシテ移管ノ上若シ審理ノ進行上必要アルニ於テハ軍

水戸事件裁判打合ノ為台灣出張中ノ竹内副領事ヨリ台灣法院當局ニ於テハ一応關係調査全部閱覽研究ノ上決定スヘシトノコトニテ其結果ヲ待チ居タル處更ニ本日左記來電アリタルニ付不取敢竹内ヘハ本省ヨリ何分ノ回訓アル迄總督府ト參謀長トノ打合猶予方電報シ置ケル處予想通り本件ハ總督府ト台灣軍ノ機微ナル關係モアリ特ニ參謀長自身モ恐ラク關係アリシコトト察セラレ一寸簡単ニハ取運ヒ難キヤト存セラルル處竹内帰來ノ船便ノ都合モアルニ付至急何分ノ儀直接竹内ヘ御指示ノ上當方ヘモ措置方御回訓アリ度シ

第七八号（暗）

第五十号（暗）

事項5 中国およびその他各地における排日状況

説キ民衆ヲ実際運動ニ参加セシムルニ努ムヘキ旨ヲ決議セ
ル趣ナリ

三、此擧ニ対シ公安局ハ全市ノ戒厳ヲ嚴ニシ省市政府ニハ
学生ノ請願ニ依ル暴動ヲ制止スル為（脱）兵ヲ増派シ又共

産党ノ蠢動ヲ警戒スル一方大会予定ノ計画タル沙基（沙面
ノ対岸）大示威ヲ強制制止セシムル等異常ナル警戒振りナ
リ

四、主ナル口号左ノ通

全国民衆総動員ニ就ケ、対日宣戦ヲ準備セヨ、即日出兵方

政府ニ督励セヨ、十九路軍ヲ助ケヨ

尚伝單モ少カラサル処特ニ目ヲ引クモノナシ（郵送）

右不取敢

公使ヨリ上海へ転報アリタシ

公使、北平、奉天、南京、福州、廈門、汕頭へ転電シ、香

港へ郵送セリ

103 昭和7年3月1日 在上海村井總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

虹口方面を除く上海市中國商人のゼネスト解
除について

104 昭和7年3月1日 在廈門三浦領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

抗日会日貨封鎖の内情などについて

廈門 3月1日後発
本省 3月1日後着

第八六号（暗）
往電第八二号ニ関シ

（第九文書）

一、抗日会ニ於テハ二十九日ノ日貨封票ハ官憲ノ態度如何
ニ拘ラス最嚴重且積極的ニ行フヘク秘密裡ニ討議ヲ重ネ居
リタル處當館ニ於テハ本件ニ付最近二回ニ亘り司令部側ニ
注意ヲ与ヘ置キタル關係モアリ暫ク之ヲ靜觀スルノ方針ヲ
執リタルカ当日午後二時過張聖才等六七名ノ幹部指導ノ下
ニ出動票封ヲ開始セルモ当初ノ豪語ニモ似ス從來ト同様結

局大商店ハ見逃シ小商店ノミ四十数軒ニ対シ票封ヲ行ヒ約
二時間ニシテ引揚ケタリ

二、右抗日会行動緩和ノ内情ヲ探査シタルニ司令部及公安
局ニ於テモ前記抗日会ノ密議ノ次第ヲ探知シ二十七日及二
十八日ノ両日ニ亘り直接間接手ヲ尽シ抗日会側ニ対シ時局

緊急人心悪化シ殊ニ日本側ニ於テ機ニ乗セントシツツアル

此ノ際特ニ慎重ナル行動ヲ執ルヘキ旨或ハ懇談的ニ或ハ命
令

第四〇八号（暗）

往電第一五九号ニ閑シ

全市支那商ノ「ゼネラルストライキ」二月末日迄継続セラ
レ虹口方面ハ勿論共同租界仮租界及支那街共一部小売商ノ
外ハ全部閉店シ居リ復業ニ付各方面ニ於テ寄々協議中ノ処

二十九日蔡廷鍇ハ市商会ニ対シ市場及商民生計維持ノ為復
業方勧告シ來リ商會員中ニモ之ヲ希望スル者多ク市商会ハ
同日午後臨時監議會議ヲ開催本一日ヨリ復業ヲ決議シ此ノ
旨各同業会ニ通告スル為一部ノ反対（各路商人連合会及市
民連合会等ハ日本軍力撤退スル迄迄「ストライキ」ヲ継
続スヘシト主張セル由）アリタルニモ拘ラス虹口方面ヲ除
キ安全地帯支那商ハ開店シ初メタリ尚支那商人等ハ先般來
市府認可ノ下ニ旧年末節季ノ総決算期ヲ二月末日迄延期
中ノ處之ヲ更ニ五月末日迄延期スルコトトナレリ

北平、天津、青島、濟南、福州、廣東へ転電シ支ニ転報セ
リ

五、右司令部ノ遣口ハ福州發本官宛電報第六四号ノ事情ニ
モ依ルヘキ处何時モ乍ラ其ノ態度ハ相當誠意アルモノト認
メラル又抗日会ニ於テ前記ノ如キ態度ニ出テタルハ主トシ
テ司令部側ノ努力ニ依ルコト勿論ナルヘキモ他面往電第八

五号ノ如キ空氣ニ牽制セラレタル處鮮カラサルヤニ觀察セ
ラル

支、北平、奉天、上海、南京、福州、汕頭、廣東ニ転電セ
リ

105 昭和7年3月1日 在サン・フランシスコ若杉總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

サン・フランシスコにおける日本商品不貿易
況について

サン・フランシスコ 3月1日後発
本省 3月2日後着

第三一号（暗、極秘扱）

上海 3月1日後発
本省 3月1日後着

事項5 中国およびその他各地における排日状況

ト攻撃シ市街ニハ王ヲ銃殺セヨ等ト貼（紙シ）党部ニ於テ

ハ同日王ヲ市内ニ引廻シテ遊街ヲ行ハントシタルカ軍部ノ
禁スル所トナリ取止メ党部ハ却テ午後五時乱入セル軍人ノ

為窓硝子什器等ヲ破壊セラレ右遊街ヲ阻止スヘク党部ニ居

合セタル県政府科長（県知事漢口出張中ノ代理者）ハ面部ノ

ニ負傷セリ本件ハ商会ノ中堅トシテ平素反日会経費ノ分担

ヲ渢レル王ニ対スル腹癒セニ出テタルモノノ様ナルカ本件

ニ対シ軍部ノ措置嚴重ニシテ早速王ノ釈放ヲ命シ冬防弁事

署ノ名ヲ以テ群集ヲ率ヒテ遊街ヲ企テ治安ヲ妨害スル者ハ

死刑ニ処スル旨本日布告セリ

108 昭和7年3月2日 在廈門三浦領事より 芳沢外務大臣宛（電報）

糺察隊員の日貨封存について

廈門 3月2日後着 本省 3月2日後着

第九号（暗）

三月一日午後四時頃ヨリ張聖才以下数名ノ抗日会幹部ノ指揮スル約十名ノ糺察隊員ハ二手ニ分レ思明西路及南路ニ出动シ往雷第八六号ト同様ノ程度ニテ約六十戸ニ対シ票封ヲ

追テ副領事取調ノ程度ニ依レハ主犯者ハ犯罪ノ動機トシテ

台灣軍司令部付某將校ノ使嗾ヲ受ケタル旨自供シ居リ今後ノ取調ヲ待タサレハ真偽判明セサルモ此ノ点特ニ御含ミノ

上御考慮願タシ

110 昭和7年3月4日 在廈門三浦領事より 芳沢外務大臣宛（電報）

廈門市内不敬文字掲示に關する林司令との交渉について

廈門 3月4日後着 本省 3月4日後着

第九四号（暗）

三月一日夜廈門市内福山保民自治会（町内会ノ如キモノ）前ノ掲示板ニ上海戦況ヲ掲ケタル貼紙ノ終ニ朱書ヲ以テ「日本皇帝天ニ帰ル死的好敵國大ニ棄レントス」等ノ文字アルヲ発見シタル旨報告アリ依テ直ニ公安局側ヲシテ剝

キ取ラシメタルカ右ハ事皇室ニ関シ看過スヘカラサルモノナル一方今日本問題ヲ荒立ツルコトハ或ハ最近活動活発トナレル反動分子ノ思フ壺ニ嵌ル虞アリ然ラサル迄モ人心激動シ居ル昨今ニ於テハ如何ナル反動ヲ齎スヤ逆睹スヘカラス殊ニ右ニ倣ヒ隨所ニ此種不敬字句ノ樂書ヲ見ルカ如キニ至ラハ到底手ノ付ケ様ナキニ至ルヘキ处幸人通モ少ナキ小

路ニ於ケル出来事ナルニモ顧ミ出来得ル限り迅速且穩便ニ解決スルコト然ルヘク且ツ又右ハ結局予テノ御訓示ノ趣旨
解决スルコト然ルヘク且ツ又右ハ結局予テノ御訓示ノ趣旨

行ヒ六時頃引揚ケタリ

支、北平、奉天、上海、南京、漢口、福州、廣東へ転電セ

リ

109 昭和7年3月3日 南（弘）台灣總督より 芳沢外務大臣宛（電報）

水戸訓導殺害事件の取扱いに關し配慮方依頼

第六号（暗、至急）

一月二十六日付貴電水戸訓導殺害被告人移送ノ件ハ審理ノ進行如何ニ依リテハ本島統治上或ハ悪影響ヲ及ホス虞アル

ヤモ知レサルモ大正十年南部支那ニ於ケル領事官ノ裁判ニ関スル法律第四条ヲ適用シ移送セラルル事ハ已ムヲ得サル事ト思料ス

以上ノ解決案ニ付テハ政府ヨリ更ニ訓令アルヤモ知レス其節ハ改メテ交渉スヘキヲ断り置クト同時ニ成ルヘク之ヲ以テ打切りトスルコトニ努力スヘキ旨申聞ケアル處前記ノ事情ニモ顧ミ之ニテ御承認置キ相願度シ尚前記ノ趣旨ニ依リ本件殊ニ公安局長ノ公文ハ絶対ニ発表セサル旨申聞ケ置タルニ付御含置相成度シ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

111 昭和7年3月5日 在濟南西田總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

排日運動取締に関する韓山東省主席の談話について

第七二号(暗)
往電第六七号ニ関シ
本四日本官韓主席ニ会見シ上海総商会或ハ上海市民維持会ヨリ山東其他各省主要都市商会等ニ対日經濟絶交方懲誡並ニ青島発本官宛電報第九号ノ次第ヲモ説明シ山東方面ハ貴官ノ嚴重取締ニ依リ反日排貨運動ナク二三事件発生セシモ直ニ解決シ今日迄大体貿易順調ニ行ハレ居ル處上海事件モ一段落セントスル際万ニモ排日貨運動実行セラルルコトアランカ

自國商民ノ不幸ハ勿論山東治安ニモ悪影響ヲ來スヘキコト必然ニ付未然ニ嚴重取締ノ要アル旨申入レタル処

韓ハ右ハ初耳ナルカ斯ル事實ナキ筈ナリ或ハ貴國商人側ニテスル風説ヲ流布シ中國商人ヲシテ日貨ヲ至急購入セシム

ルノ手段ナラスヤ自分(韓)ハ昨年來種々ナル反対アルモ山東治安維持並ニ兩國ノ大局ヲ顧念シ極力排日運動ヲ取締リ居リ今後モ右方針ニ何等變化ナキカ更ニ為念地方當局ニ右取締方訓令スヘキニ付御安心アリ度シト答ヘタリ依テ本官ハ右排日貨説ハ從来貴國商人ノ一部カ先ツ流布シテ日本商ヲシテ急速ニ投売セシムヘク利用シタル事實度々アリタルニ付今回モ亦其手ナランカト察セラルモ何事モ未然ニ予防スルニ如カスト述ヘタルニ韓ハ直ニ秘書長ヲ呼ヒ濰県縣長ヲ始メ沿線各縣長ニ治安維持邦人保護並ニ對日經濟絕交ノ如キ行動禁止方ヲ發スヘキコトヲ命セシカ當地ハ實業府長及市長ヲシテ充分取締セシムヘシト答ヘタリ尚本四日ノ新聞ニモ韓ハ三日會議ヲ開キ省内ノ治安維持及日本人並ニ外国人ノ保護ヲ計リ擾亂者ヲシテ機ニ乗セシメサル様決セル旨ヲ報道シ居レリ

公使北平青島天津南京芝罘ニ転電シ坊子博山張店ニ暗送セリ

112 昭和7年3月5日 在濟南西田總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

対日經濟絶交説に關し事前取締方王実業庁長

に申入れについて
第七三号(暗)
(一一文書)
往電第七二号ニ関シ

濟南 3月5日後発
本省 3月5日後着

察セルハ主トシテ此種問題ノ為ニシテ當時濰県商會長等ニ篤ト訓示シ置キタル次第ニ付此種運動ハ發生スル憂無シト述ヘ更ニ自分ハ本日私用ニテ赴平シ(多分上海事件後ノ北平方面ノ狀況視察ノ為ナラント思考ス)北平、天津ニ數日滯在シテ帰済スル予定ナルカ留守中ハ府長代理ヲシテ處理セシムヘク尚文市長ニモ本件取締方ニ付注意シ置クヘキニ付安心アリタシト答ヘタリ

付ヨリ上海へ転報アリタン

支、北平、青島、天津、南京へ転電シ芝罘、坊子、張店、博山へ暗送セリ

113 昭和7年3月5日 在局子街田中分館主任より
芳沢外務大臣宛(電報)

局子街における排日運動取締状況について

局子街 3月5日後発
本省 3月5日後着

第六号(暗)

客月二十六日当地県立小学校内ニ於テ校長外六名ノ支那青トニ各商會アリタルカ目下之ヲ合シテ一トスルカ依然両商會トスルカニ付紛議中ナリ)商會關係者カ何等カノ意思表示ヲ為シタリトテ何等効力ヲ有スルモノニ非ス且現時ノ省党部ハ大体韓主席ノ意思通り動キ居リ主席ハ上海事件ノ拡大如何ニ拘ラス山東地方ノ治安維持ニ努メ現状維持ノ方針ヲ堅持シ居リ殊ニ上海事件モ一段落セントスル際対日經濟

絶交ノ如キハ具体化スル筈無シ又自分カ過般膠東方面ヲ視

事項5 中国およびその他各地における排日状況

等七名ヲ検束シ「内憂外患時局多端ナル今日妄ニ人心ヲ惑ハス謠言ヲ放ツモノハ容赦ナク検挙シ斯ノ如キ厳罰ニ処ス」ト記載シタル札ヲ背中ニ貼付ケ市内ヲ引廻シタリ
右ニ関シ当地商務會長実業局長等所謂排日領袖発起トナリ
同志約三十名本月一日当地山東会館ニ会合シ
(+)日本ノ威力ヲ恐レ甘シテ売国奴トナレル吉興啓彬等ヲ問責ス

(+)検束セラレタル七名ノ即時釈放請願

(+)今後斯ル憂國ノ士ヲ安ニ検束スルカ如キコトアラハ市民大会ヲ招集一大反対運動ヲ起シ

(+)延辯四県農商務會其他各団体ニ通告シ一般輿論ノ喚起ニ努ムルコト
等ヲ決議シタル後代表者警備司令部ヲ訪問シ協議會ノ状況ヲ報告シ被檢束人釈放ヲ要求シタル處全部放免セラレタリ
尚當地方支那人ノ大多数ヲ占ムル山東人ハ南方ヨリ来ル虚構逆宣伝ノ新聞ニ惑ハサレ新國家ノ永続性ヲ疑ヒ寄々新國家反対及排日ノ氣勢ヲ挙ケント策動シ居リ若シ新國家確立ノ上ハ郷里ニ引揚クヘントナスマノ多ク支那側當局者モ彼

況について

漢口 3月6日後発
本省 3月6日後着

第一七五号（暗）

往電第一五六号ニ関シ

其ノ後市中状況左ノ通り

一、四日午後当地支那側ニ上海ノ戰闘ハ支那ノ勝利ニ帰シ南京及上海ニ於テハ全市民衆爆竹ヲ鳴シテ祝意ヲ表セル旨

入電アリ支那側各機関トモ祝賀会ヲ催シ祝杯ヲ挙ケタル趣ナルカ夜ニ入りテ敵軍全部敗退敵將白川大將ノ首級ヲ挙ケ

タリトノ入電アリタル結果狂喜セル市民ハ戒厳中ニ拘ラス

午後十二時前後ヨリ盛ニ爆竹ヲ鳴シテ時ナラヌ戰勝氣分ヲ

漲ラン取締當局ヲ手古摺ラシタル由ニテ在留邦人此ノ物音ニ驚キ一時避難セル向アリタリ

一、五日ノ漢字紙ハ何レモ支那軍カ其ノ後日本軍ニ反撃ヲ加ヘ連戦連勝シ白川大將ハ為ニ戦死セル旨ヲ伝ヘ又瀏河ニ

上陸セル第十一師団ハ敗退シ一万七千名ノ戦死者ヲ出シタリ

一、謠言ハ其後益々盛ニシテ我陸海軍ハ上海事件落着次第

等ノ運動ヲ懼レ居ルカ如キ配アリ
間島、奉天、吉林へ転電シ琿春、百草溝、頭道溝へ暗送セス

ス」ト記載シタル札ヲ背中ニ貼付ケ市内ヲ引廻シタリ
右ニ關シ当地商務會長実業局長等所謂排日領袖発起トナリ
同志約三十名本月一日当地山東会館ニ会合シ
(+)日本ノ威力ヲ恐レ甘シテ売国奴トナレル吉興啓彬等ヲ問責ス

等ノ運動ヲ懼レ居ルカ如キ配アリ
間島、奉天、吉林へ転電シ琿春、百草溝、頭道溝へ暗送セス

ス」ト記載シタル札ヲ背中ニ貼付ケ市内ヲ引廻シタリ
右ニ關シ当地商務會長実業局長等所謂排日領袖発起トナリ
同志約三十名本月一日当地山東会館ニ会合シ
(+)日本ノ威力ヲ恐レ甘シテ売国奴トナレル吉興啓彬等ヲ問責ス

114 昭和7年3月5日 芳沢外務大臣より
在福州田村總領事宛（電報）

水戸訓導殺害犯人の台湾移送について

本省 3月5日後6時40分着

第一七号 暗

福州水戸事件移送ニ関スル件

往電第一六号ニ関シ

目下貴館ニ拘留中ノ李爐已黄天賜及王春旗（廈門ハ洪進玉）ニ係ル殺人被疑事件ハ大正十年南部支那ニ於ケル領事官ノ裁判ニ関スル法律第四条ニ依リ貴官ニ於テ管轄スヘカラサルコトヲ命ズ就テハ至急自立タザル方法ニ依リ右被告人ヲ台灣總督府監獄ニ移送セラルベシ

本電本大臣ノ訓令トシテ廈門へ転電アリ度シ

115 昭和7年3月6日 在漢口坂根總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

上海戰戰勝宣伝と対日空氣の悪化など市内状

長江沿岸都市ヲ順次ニ攻撃スヘク当地ニモ陸兵ヲ上ヶ武漢ヲ灰燼ニ帰セントシ居レリトノ風説行ハレ安全地帯ニ避難スル支那人相当多シト云フ

一、市中ノ反日「ボスター」ハ再ヒ増加ノ傾向ヲ示シ一方反日会解散後モ邦商ノ取引及營業妨害ハ依然潜行的ニ行ハレ居リ市中ノ反日空氣最近悪化セルヲ思ハシムルモノアリ

支那當局ニ対シ四日警告ヲ發スルト共ニ嚴重之方取締方申入レタリ

冒頭往電ノ通り転電セリ

116 昭和7年3月7日 在廈門三浦領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

公安局長の壁報禁止を不満とする暴動勃発について

厦門 3月7日後発
本省 3月7日後着

第一〇二号（暗）

往電第一〇〇号ニ関シ

一、公安局長ハ前夜ノ騒キニ鑑ミ五日午後四時各新聞社ノ首脳者ヲ招致シ壁報貼出シハ民心ニ動搖ヲ与ヘ公安ヲ害ス

事項5 中国およびその他各地における排日状況

ルモノト認ムルニ付之ヲ禁止スル旨申渡シタルカ各社ハ適當ノ理由ヲ付シ掲示シタルモ思明報社ノミハ公安局ノ禁止命令ニ依ル旨ヲ特筆シ且ツ前夜ノ如ク社前ニ集リ来レル民衆ニ対シ公安局ノ不当処置ヲ宣伝シ又此ノ間多数ノ学生及抗日会員群衆ヲ煽動シタル為群衆ハ益激昂スルト共ニ其数ヲ増シ八時半頃打倒蔣介石国民党打倒国民党等ノ口号ヲ絶叫シ約二千ノ群衆一団トナリテ県党部ニ赴キ之ニ闖入セリ

二、然ルニ同所ニハ党员ノ隻影ヲ認メサリシヲ以テ転シテ公安局ニ押寄セ閉鎖セル鐵門外ニ黒山ヲ築キタリ之ニ対シ公安局ニ於テハ門内ニ武装巡警ヲ配置シテ万一二備フルト共ニ付近ノ交通ヲ遮断シ之カ鎮静ニ努メタルモ群衆ハ打倒国民党公安局ハ売国賊ナリ日本ノ走狗ナリ等ノ口号ヲ連呼シ其勢ヒ益熾烈ニ赴キ消防栓ヲ抜キテ水ヲ浴セカクルモ其効ナク手ノ付ケ様ナキニ至リタルヲ以テ遂ニ代表四名ノ入門ヲ許シ公安局長ハ其提出セル壁報掲出ノ解禁等七項ノ要件ヲシテ威嚇発砲ヲ命シタリ

五日夜ノ事件高潮ニ達シタル頃公安局ノ責任ヲ問フヘク六日全市罷業スヘシトノ説伝ハリタルモ遂ニ実現ニ至ラサリシカ抗日会ハ六日午前十時ヨリ代表者大会ヲ開キ三時間ニ亘リ討論ノ上左記各項ヲ決議セルヲ譲知セリ

一、公安局ニ対シ書面ヲ以テ民衆圧迫ノ理由ヲ質問スルコトト

二、五日夜ノ事件ヲ各方面ニ通電スルコト

三、七日午前九時ヨリ大同小学校ニ於テ抗日会全体大会ヲ開クコト

四、七日学校及工人ノ罷業ヲ行フヘク学生及工人三、四名ヲ以テ一隊トスルモノ五十四隊ヲ市中ニ派遣シ勸導セシムルコト且成ルヘク六日ヨリ勸導ヲ開始スルコト

依テ之ヲ参考ノ為林震成ニ通知スルト共ニ当方ニ於テモ警戒ノ都合アルニ付之ニ対スル対策ヲ決定シ居ラハ参考迄内報アリ度キ旨申入置キ夜ニ入り更ニ督促セルモ明確ナル回答ヲ為ササリシカ昨夜ノ出来事モアリ問題極メテ「デリケート」ナルニ顧ミ未タ確タル方策モ決定シ居ラサルモノナルヤニ思料セラレタリ不取敢

三、右ト同時ニ公安局付近ニ於テ交通ヲ遮断シ居リタル巡警隊ト更ニ押寄セントスル群衆トノ間ニモ揉ミ合ヒヲ生シ之亦遂ニ発砲スルニ至リタルカ急報ニ依リ砲台ヨリ駆ケ付ケタル陸戦隊亦盛シニ発砲威嚇シタル為流石ノ群衆モ先争ヒテ遁レ十二時頃市内鎮静ニ帰セリ

四、右ノ騒キニ於テ公安局ノ探偵一名群衆ノ為射殺セラレ群衆側モ亦一二名ノ死者及三四名ノ負傷者ヲ出シタル趣ナルカ公安局ニ於テ逮捕セル者ノ一人ハ赤旗ヲ持シ且ツ多數ノ共産党伝單ヲ所持シ居ルヲ發見セル趣ナリ

公使、北平、奉天、天津、南京、福州、廣東、汕頭ニ転電セリ

117 昭和7年3月7日 在廈門三浦領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

118 昭和7年3月7日 在廈門三浦領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

第一〇五号(暗)
往電第一〇二号ニ関シ

公安部の壁報禁止に対する抗日会の決議について

厦门 3月7日前発 本省 3月7日後着

第一〇六号(暗)
往電第一〇五号ニ関シ

一、更ニ探聞スル處ニ依レハ六日官憲ノ首脳者司令部ニ參集シ前夜ノ事件ハ官憲党部ニ反感ヲ有スル抗日会及共産党策動ノ結果ト認メラレ此ノ際治安維持ノ成否如何ハ当地海軍ノ運命ヲ決スルモノト為シ極力善処ス可キヲ申合シタル由ナルカ以来今日迄ニ無キ嚴重ナル警戒ヲ行ヒ夜ニ入ルヤ更ニ警備力ヲ總動員シテ治安維持ニ努メタリ

二、然ルニ午後七時頃ヨリ例ノ如ク思明報社前ニ群集寄り集リ初メ九時頃ニハ其ノ数六、七百名ニ達シタルカ同社ハ前日ノ態度ヲ改メ口実ヲ設ケ壁報ヲ出ササリシ為群集中ノ学生等其ノ掲出ヲ迫リ同時ニ官憲ノ横暴ヲ叫ヒ群集ヲ煽動シタル結果形勢陥惡トナリ思明報社モ已ムヲ得ス一枚ノ壁報ヲ出セリ茲ニ於テ群集ハ転シテ江声報社ニ押シ掛け戸六

て

120 昭和7年3月8日

芳沢外務大臣宛（電報）

抗日会側要求による公安局長等の更迭について

在廈門三浦領事より

枚ヲ打壊シテ内部ニ闖入シ机器具等ヲ破壊シ更ニ約一千名以上ノ集団トナリ打倒国民党ヲ絶叫シツツ県完部ニ殺到シ入口ノ看板四枚、窓硝子器具等ヲ破壊ジタル上喊声ヲ挙ケテ再ヒ思明報社ニ引キ返シ硝子等ハ勿論營業用帳簿ヲ引キ裂キ印刷機ノ一部ヲモ破壊スル等乱暴狼藉ヲ働ケリ茲ニ於テ探偵隊長ハ断然主謀者ノ逮捕ニ着手シタル為十一時過キ群集ハ何レモ姿ヲカキ消スニ至レリ

三、一方抗日会及学生側ニアリテハ明（日）ノ罷業計画ヲ是非トモ実現セシム可シト討議シタルモ意見容易ニ一致セリ委員会ヲ招集シ本件ヲ討議シタルモ意見容易ニ一致セス然ルニ執行委員陳瑞清一派ハ前夜官憲側ノ執レル態度ヲ不满シ請願團ヲ組織シテ司令部及公安局ニ赴ク可シトノ動議ヲ提出シ遂ニ午後十時四十分約二十名一隊トナリ白布ニ請願理由ヲ認メタル旗ヲ押シ立テ商会ヲ出発日抜ノ道路ヲ練り歩キ司令部及公安局付近ニ至リタル處既ニ特別戒厳ヲ布カレ通行スルヲ得ス十一時五十分各自引キ揚グルニ至リ

四、前記ノ出来事ハ前夜ト同様抗日会ト共産党トノ巧妙ナ

枚ヲ打壊シテ内部ニ闖入シ机器具等ヲ破壊シ更ニ約一千名以上ノ集団トナリ打倒国民党ヲ絶叫シツツ県完部ニ殺到シ入口ノ看板四枚、窓硝子器具等ヲ破壊ジタル上喊声ヲ挙ケテ再ヒ思明報社ニ引キ返シ硝子等ハ勿論營業用帳簿ヲ引キ裂キ印刷機ノ一部ヲモ破壊スル等乱暴狼藉ヲ働ケリ茲ニ於テ探偵隊長ハ断然主謀者ノ逮捕ニ着手シタル為十一時過キ群集ハ何レモ姿ヲカキ消スニ至レリ

三、一方抗日会及学生側ニアリテハ明（日）ノ罷業計画ヲ是非トモ実現セシム可シト討議シタルモ意見容易ニ一致セリ委員会ヲ招集シ本件ヲ討議シタルモ意見容易ニ一致セス然ルニ執行委員陳瑞清一派ハ前夜官憲側ノ執レル態度ヲ不満シ請願團ヲ組織シテ司令部及公安局ニ赴ク可シトノ動議ヲ提出シ遂ニ午後十時四十分約二十名一隊トナリ白布ニ請願理由ヲ認メタル旗ヲ押シ立テ商会ヲ出発日抜ノ道路ヲ練り歩キ司令部及公安局付近ニ至リタル處既ニ特別戒嚴ヲ布カレ通行スルヲ得ス十一時五十分各自引キ揚グルニ至リ

四、前記ノ出来事ハ前夜ト同様抗日会ト共産党トノ巧妙ナ

枚ヲ打壊シテ内部ニ闖入シ机器具等ヲ破壊シ更ニ約一千名以上ノ集団トナリ打倒国民党ヲ絶叫シツツ県完部ニ殺到シ入口ノ看板四枚、窓硝子器具等ヲ破壊ジタル上喊声ヲ挙ケテ再ヒ思明報社ニ引キ返シ硝子等ハ勿論營業用帳簿ヲ引キ裂キ印刷機ノ一部ヲモ破壊スル等乱暴狼藉ヲ働ケリ茲ニ於テ探偵隊長ハ断然主謀者ノ逮捕ニ着手シタル為十一時過キ群集ハ何レモ姿ヲカキ消スニ至レリ

三、一方抗日会及学生側ニアリテハ明（日）ノ罷業計画ヲ是非トモ実現セシム可シト討議シタルモ意見容易ニ一致セリ委員会ヲ招集シ本件ヲ討議シタルモ意見容易ニ一致セス然ルニ執行委員陳瑞清一派ハ前夜官憲側ノ執レル態度ヲ不満シ請願團ヲ組織シテ司令部及公安局ニ赴ク可シトノ動議ヲ提出シ遂ニ午後十時四十分約二十名一隊トナリ白布ニ請願理由ヲ認メタル旗ヲ押シ立テ商会ヲ出発日抜ノ道路ヲ練り歩キ司令部及公安局付近ニ至リタル處既ニ特別戒嚴ヲ布カレ通行スルヲ得ス十一時五十分各自引キ揚グルニ至リ

四、前記ノ出来事ハ前夜ト同様抗日会ト共産党トノ巧妙ナ

枚ヲ打壊シテ内部ニ闖入シ机器具等ヲ破壊シ更ニ約一千名以上ノ集団トナリ打倒国民党ヲ絶叫シツツ県完部ニ殺到シ入口ノ看板四枚、窓硝子器具等ヲ破壊ジタル上喊声ヲ挙ケテ再ヒ思明報社ニ引キ返シ硝子等ハ勿論營業用帳簿ヲ引キ裂キ印刷機ノ一部ヲモ破壊スル等乱暴狼藉ヲ働ケリ茲ニ於テ探偵隊長ハ断然主謀者ノ逮捕ニ着手シタル為十一時過キ群集ハ何レモ姿ヲカキ消スニ至レリ

三、一方抗日会及学生側ニアリテハ明（日）ノ罷業計画ヲ是非トモ実現セシム可シト討議シタルモ意見容易ニ一致セリ委員会ヲ招集シ本件ヲ討議シタルモ意見容易ニ一致セス然ルニ執行委員陳瑞清一派ハ前夜官憲側ノ執レル態度ヲ不満シ請願團ヲ組織シテ司令部及公安局ニ赴ク可シトノ動議ヲ提出シ遂ニ午後十時四十分約二十名一隊トナリ白布ニ請願理由ヲ認メタル旗ヲ押シ立テ商会ヲ出発日抜ノ道路ヲ練り歩キ司令部及公安局付近ニ至リタル處既ニ特別戒嚴ヲ布カレ通行スルヲ得ス十一時五十分各自引キ揚グルニ至リ

四、前記ノ出来事ハ前夜ト同様抗日会ト共産党トノ巧妙ナ

ル連絡作戦ノ結果ト見ラレ今後ノ事態楽観ヲ許サスト認ム公使、北平、奉天、南京、廣東、福州、上海、汕頭ニ転電セリ

119 昭和7年3月8日 在福州田村總領事より 芳沢外務大臣宛（電報）

水戸訓導殺害事件審理に対する総督府側の態度について

福州 3月8日後発 本省 3月10日前着

第八六号（暗）

貴電第一六号ニ閑シ

本件移管方ニ就キテハ予テ貴電第一〇号御回訓ニ依リ審理進行ニ連レ自然ニ軍部トノ関係ニ亘ル事アルモ亦イムヲ得ストノ御趣旨ナリシ處被疑者ノ数モ其後四名ニ増加シ当地ト廈門トニ分レテ収容シ事件担任司法領事ノ出張往復其他ノ事情ニテ一応ノ取調ニモ相当日子ヲ要シ漸ク台灣總督府トノ打合ノ運トナリタルモ右打合ニ意外ノ日子ヲ要シ事件發生以来二ヶ月ヲ経過シ此間予審開始ト共ニ最重要ナル犯罪動機ニ閑スル被疑者ノ申立ニ依リ軍部トノ関係ヲ除外シ

第一〇八号（暗）
（一二文書）
往電第一〇七号ニ閑シ

今次事件ニ対スル商会側及抗日会方面ノ態度意外ニ強硬ニシテ今後ノ情勢逆賄シ難キモノアリシニ顧ミ林司令ハ治安維持ノ方針ヲ貫徹スル為余儀無ク彼等ノ要求ヲ容レ且其最

モ重要視セル公安局長ノ更迭ヲ断行スルニ決意シ張局長ニ因果ヲ含メタル結果同局長ハ七日朝引責辞職セリ依テ直ニ省政府側ノ承認ヲ取付ケホウザン海軍弁事处主任兼公安局秘書林震成ヲ局長ニ任シ同日午後四時事務引継ヲ了セリ尚同時ニ探偵隊長モ引責辞職セシメ形式的ニ司令部内ニ禁足中ナルカ右ニ閑シ一部ノ間ニハ福州人ノ一部分ヲ驅逐シ得タリト喜ヒ居ル者アルモ張カ人格手腕トモ相当秀レ居リタル次ニモアリ其部下並ニ穩健派ハ深ク之ヲ惜ミツツアリ後任林震成ハ華僑出身ナルモ原籍カ同安県ナルヲ以テ比較的好感ヲ以テ迎ヘラレ居ルモ一面ニ於テ同人ハ東大出身ニシテ今日迄司令部諂議トシテ彼我ノ間ヲ斡旋シ居タル関係モアリ此点却テ日本の色彩濃厚ナルモノトシテ禍ヲ為ス無

キヤヲ憂慮セラレ居レリ

冒頭往電ノ通転電セリ

121 昭和7年3月9日 在廈門三浦領事より

芳沢外務大臣宛(電報)

公安局長の更迭承認による事態の緩和について

本省 3月9日後着 厦門 3月9日後発

第一〇七号(暗)

往電第一〇六号ニ関シ

(一) 県商會請願團ハ戒厳令ニ阻止セラレ一応引返シテ南洋商

会ニ落付キタルカ此旨ヲ伝聞セル林司令ハ県長楊廷枢ヲ同

所ニ派シ同請願團ノ提出セル

一、公安局長ノ免職及处罚

二、探偵隊長ヲ殺人罪トシテ処分シ其他民衆ヲ傷害セル巡

警モ夫々処分スルコト

三、死傷者ニ対シ撫恤金及医薬費ヲ支給スルコト

四、拘留中ノ民衆代表ヲ釈放スルコト

五、将来此種事件ノ不発生ヲ保障スルコト

ノ五項ヲ承認セル結果商會側ニ於テモ満足シ翌七日早朝事

件解決セル旨ヲ各商店ニ通告スルト共ニ公安局側ニ於テ當日開店セサリシ三商店ニ對シ開店方ヲ触レ廻リタル為市中平常ト異ラサルニ至レリ尤モ二三中学校ハ之ヲ知ラサリシ為カ同盟休業ヲ敢行セリ

(二) 党部ハ七日正午各界ノ代表者ヲ招集シ前記官憲商會間解決条件ノ至急履行方ヲ官憲ニ督促スルコト外數項ヲ決議セリ

(三) 抗日会ハ前日ノ決議ニ基キ午後一時各界代表大会(參集者五十名)ヲ開キ入院中ノ民衆側負傷者死亡ノ件ヲ報告シ又大会ノ推薦ニ依リ陳瑞清等ハ事件当夜共産党嫌疑者トシテ捕ヘラレタル一名ノ釈放交渉ニ赴キ同五時之ヲ貰ヒ受ケテ帰リタル後愈討論ニ移リ前頭解決条件ト同内容ノ五項ノ外公安局長ノ処分方ヲ省政府ニ電請スルコト官憲ヨリ事件関係死者ニ三千元負傷者ニ一千元ヲ支出スルコト及其他十数代表ヲ出シ三五慘案援助委員会ヲ組織スルコト及其他十数項ヲ決議シ解散セリ

(四) 公安局ハ六日司令部ハ七日各々今回ノ事件ハ反動派ノ策動アルコト明カナルニ付特別戒厳令ヲ布キ事端ノ発生ヲ防止スルコトナレリ商民ハ謠言ニ迷ハサレス業ニ安ンスヘ

セリ

キ旨ノ布告ヲ発シ益々警戒ヲ厳重ニセル為七日夜ハ各新聞壁報掲示場ニハ各々数十名ノ群集集マリタルモ何等事ナク経過セリ

前電ノ通り転電セリ

122 昭和7年3月9日 在廈門三浦領事より

芳沢外務大臣宛(電報)

壁報復活など市内状況について

本省 3月9日後着 厦門 3月9日後発

第一一二号(暗)

一、其後壁報ノ貼出復活シ八日夕刻県党部ハ中山路掲示場

ニ日人息子溥儀偽政府執政ニ就任ノ為長春ニ向フ云々其他

上海戦況ヲ貼出シ又思明江声両社ハ上海日軍ハ盛ニ軍備ノ

拡大ト充実ヲ宣伝シ居ルモ我軍ハ永久的ニ日本ニ对抗シ之

ヲ膺懲スルノ準備アリ云々外數項ノ挑発的「ニュース」ヲ

貼り出シタルカ當夜ハ抗日会及左傾分子ノ出動ナク市内平

穏ニ経過セリ尤モ抗日会ハ午後七時ヨリ深更ニ至ル迄會議ヲ開催シ居リタリ

二、精探スル所ニ依レハ共産党ニ於テハ五六両日ノ暴動事

別電ト共ニ廈門へ転電アリ度シ

123 昭和7年3月11日 在福州田村總領事宛(電報)

水戸訓導殺害犯人の至急移送実施について

本省 3月11日後8時発 福州水戸事件審理移送ニ関スル件

貴電第八六号ニ関シ

当方ニ於テハ移送ノ結果台灣法院カ如何ニ決定スルヤニ付テハ何等予想シ居ラス予審免訴トナルモ右ハ已ムヲ得サル次第ナリ貴官ハ往電第一六号通り至急執行セラレ移送ノ日取決定次第電報アリ度

尚被告人護送ノ際ハ竹内副領事及水元書記生ヲ出張セシム

ルニ及ハス為念

事項5 中国およびその他各地における排日状況

124 昭和7年3月12日 在厦门三浦領事より

芳沢外務大臣宛(電報)

公安局長更迭後の厦门情勢について

本省 厦門 3月12日後着

3月12日後着

第一一四号(暗)
(^{一二文書})

往電第一〇七号ニ閑シ

一、三月五日ノ事件ニ関連シ林司令カ商民側ノ要求全部ヲ容レ且ツ公安局長等ノ更迭ヲ断行シタルコトハ治安維持ニ関スル当面ノ目的ハ達シ得タルモ之カ為鼎ノ輕重ヲ問ハレタルコトハ争フヘカラサル事実ナルカ一方抗日会側ニ於テハ益々付ケ上リ八日夜ノ會議ニ於テ(一)張公安局長ハ辞職ノミニ止メス法律ニ依リ処断スルコト(二)探偵隊長ハ民衆代表ヨリ成ル裁判委員ノ手ニテ審理処断スルコト(三)爾今司令部ハ民衆ノ愛國運動ニ一切容喙セサルコト等ヲ決議スルニ至レリ

二、然ルニ之レヨリ先公安局長ノ辞職ハ当地警察界ニ異常ナル衝動ヲ与ヘ反動分子ノ共産党的行動是認セラレ其不当ナル要求カ民衆ノ代表的意見トシテ取扱ハル有様ニテハ

ヨリ成ル裁判委員ノ手ニテ審理処断スルコト(二)探偵隊長ハ民衆代表ヨリ成ル裁判委員ノ手ニテ審理処断スルコト(三)爾今司令部ハ民衆ノ愛國運動ニ一切容喙セサルコト等ヲ決議スルニ至レリ

三、茲ニ於テ官憲側ノ立場再ヒ鞏固トナリ九日張聖才等力前項一、ノ要求ヲ提出シタル際ノ如キモ林司令ハ從来ト態度ヲ変ヘ断然之ヲ峻拒スルニ至リタルカ前記黃廷元ハ更ニ商会ノ穩健分子ト語り合ヒ此ノ際商会ハ抗日会ヨリ脱退スヘキヲ主張スルニ至リタルヲ以テ四困ノ状況全ク不利ニ転

開セルヲ自覺シタル張聖才及莊雪軒(建築公会幹部)ハ十

今後警察官トシテノ活動ヲ継続スル能ハストシ連袂辞表ヲ提出シ中ニハ彼等過激分子ヲ暗殺スヘシトサヘ執國ク者ヲ生シタルカ此ノ空氣ハ明カニ市民側ニ反映シ又現抗日会ニ反感ヲ有スル旧抗日会幹部並ニ建築公会ニ反感ヲ有スル(脱)側ニ於テ一般市民ハ反動分子ノ策動ニ愚弄セラレタルモノナルコトヲ宣伝ニ努ムル一方(右ハ當館警察ノ活動与ツテ力多シ)司令部側ニ於テモ同様ノ趣旨ヲ以テ抗日会ト民衆トノ離間ヲ策シ殊ニ支那人武力派ノ元老黃廷元(司令部ト特殊關係アル者)ヲシテ有力ナル穩健分子ノ説得並ニ過激分子内部ノ打壊シニ努メシメタル結果今回ノ事件ハ抗日会建築公会学会並ニ商会ノ過激分子ノ策動ト共産党側ニ於テ巧ミニ此ノ機ニ乘シタルニ依ルモノナルコト漸ク厦门ノ上下一般ニ徹底スルニ至レリ

日夜遂ニ抗日会及三五慘案委員会ヨリ脱退スル旨声明セリ

第二三三号
当地状況

四、以上ノ経過ニ依リ市中空氣モ好転シ又官憲側ノ立場モ一持チ直シタル次第ナルカ張聖才一派ハ抗日会内部ニハ自分等ノ勢力牢乎トシテ抜クヘカラサルモノアリ今後ハ裏面ニ於テ活動ヲ継続スヘキ旨洩シ居ル趣ニモアリ又既報共産党ノ機ヲ窺ヒツツアル次第モアリ旁今後ノ成行嚴重看視警戒中ナリ

支、北平、奉天、上海、南京、廣東、漢口、汕頭ニ転電セリ

(^二在漢口坂根總領事より)

125 昭和7年3月14日 芳沢外務大臣宛(電報)

長沙における排日状況について

漢口 3月14日後発

本省 3月14日後着

第一九五号(暗)

長沙発本官宛電報

第二六号

外務大臣へ転電アリ度シ

テモ強テ面会ヲ求メサル趣ナリ

五、本年一月末解散セラレタル湖南青年鉄血団ハ不逞分子ヲ多ク有シ上海事件ヲ口実ニ根強ク存続運動ヲ計リ居タルカ同団一大隊約四十名（内女子九名）ハ上海事件参加ヲ決シタルモノノ如ク省政府ニ於テハ体ヨク追ヒ払フ為旅費ヲ支給セシヲ以テ十三日汽車ニテ漢口ニ赴ク筈ニテ同地ニ於テ中央ノ命ヲ待ツ旨宣伝シ居レリ

支、北平、南京、廣東へ転電アリ度シ

126 昭和7年3月14日

在漢口坂根總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

日貨の取引状況について

漢口 3月14日後発
本省 3月14日後着

第一九八号（暗）
往電第六八号ニ関シ

排日貨ハ其後市党部指導ノ下ニ工会、救国会ノ職業的排日分子中心トナリ依然潛行的三行ハレ支那商人ハ沒收、罰金等ノ制裁及脅迫ヲ恐レ日貨ノ取引ハ渉々シカラサルモ上海事件發生直後ノ如キ取引杜絶ノ域ヨリハ漸次脱シツツアリ

右ハ當方ノ鞭撻ニ依リ支那側ノ取締カ表面的ニ多少奏効シタル結果ニシテ綿布ノ如キハ僅少ツツナカラ売行ヲ増シツツアリ昨今ニ於テハ一日約廿箱（四十四匹乃至六十四匹入り）前後ノ荷動ヲ示スニ至レリ（例年ノ十分ノ一二過キサルモ水災ニ依ル不況深刻ニテ需要半減シ居レリ）又邦商取扱ノ土貨輸出ハ相當持直シ之力回復ハ比較的近キ将来ニ期待セラレ居リ尚支那街ノ店舗ヲ一時閉鎖セル日本商ハ最近營業ヲ開始セリ

前電ノ通り転電セリ

127 昭和7年3月14日

芳沢外務大臣より
台灣總督代理宛（電報）

水戸訓導殺害犯人四名の移送日程について

本省 3月14日後7時35分発

第一二二号（暗）
往電第一〇号ニ関シ

在福州總領事館収容中ノ李ハ十四日福州発盛京丸ニテ外二名ハ十六日大球丸ニテ又在廈門領事館収容中ノ洪ハ十五日廈門発廣東丸ニテ護送ノ予定ナルニ就テハ右被告人受理方

御手配アリ度シ

尚本件ハ御承知ノ通り外交上其他當方ニ關係スル處大ナルヲ以テ審理ノ結果ニ就テハ出來得ル限り詳細御通報相成度シ

128 昭和7年3月16日
在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛（電報）

須磨總領事代理暗殺計画について

廣東 3月16日後発
本省 3月16日後着

第二〇一号（暗、極秘）

一、當方面對日空氣ノ惡化ニ關シテハ往電第一七七号等ニ依リ御承知ノ通ナル處当地要人ト最モ密接ナル關係ヲ有スル外人（支那側雇傭官吏）中當地排日團體ノ過激分子カ最近密ニ本官暗殺ノ計画ヲ廻ラシ居ル旨ヲ内報シ本官ノ注意ヲ促スモノ數日來二、三アリタルカ上海事件直後ニモ再三同様ノ無名脅迫状ニ接シ居リ又過般當館前面ノ仮租界内電柱ニ「日領ヲ殺セ」ト落書シ居リタルコトモアリテ旁今回ノ所謂計画モ同様無稽ノモノナルヘシト別段意ニモ介セサリシ處十五日三井「コンプラードール」ノ内報ニ依レハ右記報ス

殺計画ハ一万元懸賞付ニテ本官ノ人相書モ既ニ配布セラレ居リ相当具体的ニ進捗シ居ル趣ナリ

二、尚別途ノ聞込ニ依レハ支那側ニ於テモ本官ノ一挙手、一投足ニ細心ノ注意ヲ払ヒ當館ノ内情ヲ探クルニ努メ現ニ電話交換局ニハ日本語ニ堪能ナル支那人ヲ置キテ當館ト外部トノ通話ヲ悉ク傍受セシメ居ル趣ナルカ往電第一九五号ノ通り當方面政局ノ変転ニ伴ヒ陳濟棠ノ態度ニ懼ラサル孫科等ノ一派ハ盛ニ謠言ヲ捏造シ過激分子ヲ煽動シテ當局ヲ窮地ニ陥レントスル際ナルニモ鑑ミ前記計画ハ必スシモ一笑ニ付スルコト能ハス且ハ當館カ英租界ニ在ル關係上右計画ノ実行ニハ届強ノ場所ナルヤニモ思料セラルヲ以テ十六日公文ヲ以テ輕ク支那側ノ注意ヲ喚起シ且英國總領事ニモ内話シ置キタリ

三、本官ニ於テモ精々注意ヲ怠ラサルカ目下連盟調査團ノ來支並ニ上海事件ノ一段落ニ際シ公然政治的手段ニ出テ得サル所謂反動分子ハ當局ヲ窮地ニ陥レン為ニハ手段ヲ選ハサルヤノ徵アリ十九路軍ノ慘敗知レ渡ルニ從ヒ此ノ種ノ活動モ各方面ニ潛行蔓延スルヤニ思考セラルルニ付右特ニ電報ス

事項5 中国およびその他各地における排日状況

公使ヨリ上海へ転報アリ度シ

公使、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、南京、福州、廈門ニ転電シ、香港ニ暗送セリ

129 昭和7年3月16日 在広東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

日本浪人二名の廣東潜入目的に関する情報について

広東 3月16日後発
本省 3月17日後着

第二〇二二号(暗)

一、市長ヨリ十四日付公文ヲ以テ日本浪人石橋次郎及田中義ノ二名カ内地ニ潜入共産党ヲ誘惑シテ暴動ヲ起シ治安ヲ攪乱セント企図シ居リ且沙面ニ機関ヲ設ケ居ル旨探訪ニ接シタル趣ヲ以テ右取調ノ上制止アリ度キ旨照会アリタリ依テ本官ハ十五日付公文ヲ以テ斯ノ如キハ全然有リ得ヘカラス且本件類似ノ事実スラ之無キ旨回答シ置キタルカ一方

二、十六日往訪ノ仏國領事ハ本官ニ対シ市長ハ自分ニモ同様ノ情報ヲ齎シテ探査方依頼越セルカ右ニ依レハ「石橋ハ支那名ヲ陳石年ト称シ四十歳位中背面長ニテ支那語ニ通シ御参考迄

本信写送付先 在華公使 北平 南京 上海 濟南 青島

131 昭和7年3月17日 在芝罘内田(五郎)領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

青島、濟南方面における排日空氣緩和の傾向について

芝罘 3月17日後発
本省 3月17日後着

又田中ハ二十七、八歳支那名ヲ黃国萃又ハ黃日昇ト称シ支那語ニ通シ居ル由「ナリト語リタル上右ハ恐ラク貴官暗殺ノ計画(往電第二〇一号)ヲ薄々探知セル市長カ後日其ノ責任ヲ免ルル為先手ヲ打チタルニ非スヤトモ思ハル云々ト内話シ居タリ御参考迄

公使ヨリ上海へ転報アリ度シ

公使、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、南京、福州、廈門、汕頭へ転電シ香港へ暗送セリ

130 昭和7年3月16日 在天津桑島總領事より
芳沢外務大臣宛

北寧線路上に爆弾発見について

天津 3月16日付
本省 3月25日着

機密第二〇五号

昭和七年三月十六日 在天津
外務大臣 芳沢謙吉殿
北寧路ニ爆弾装置其他ニ閑スル件
総領事 桑島主計(印)

運再来ノ趣ナルヤニ関シ十日總商会长ニ就キ当地方ノ事情ヲ尋ネタル處總商会长ハ全然之ヲ否認シ一般不況日貨排斥ニ加フルニ上海事件以来商取引ノ杜絶ニ依リ最近閉店セルモノ百戸近クニ及フトテ商況不振ヲ唧チ居タルカ更ニ公安局長ヲ尋ネ予メ取締方要求シ居ル處早速取調ノ上必要ノ措置ヲ講ス可キ旨答ヘタルカ去十六日來訪取調ノ結果御心配ノ如キ事実ナシ反日團モ存在セス若シ日貨輸入ノ取扱ニ対シ妨害等ノ事アラハ之ヲ排除ス可キ旨申出テタリ其他各方面ニ就キ内査セルモ当地ニハ排日激励電等アリシ模様モ見エス寧ロ幾分ナリトモ反日空氣漸次緩和ノ傾向見ユ
支ヨリ上海ニ転報アリタシ

支、青島、濟南、坊子、張店ニ転電シ博山ニ暗送セリ

132 昭和7年3月19日 在漢口坂根總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

漢口における日貨差押え、反日会の動向など
市内状況について

漢口 3月19日後発
本省 3月19日後着

第一七号(暗)

第二二八号(暗)

青島、濟南方面ニ於テハ上海ヨリノ通電ニヨリ日貨排斥

往電第一九九号ニ関シ

其後ノ市中状況左ノ通

一、上海ニ於ケル停戦ニ引続キ我陸軍一部ノ撤退ヲ見タル
結果市中ノ謠言減少シ一般ニ多少落着キヲ呈シタルカ如キ
モ党部筋ノ対日悪宣伝衰ヘス反日「ボスター」及図画等ハ
当方ヨリ見当リ次第支那側ニ交渉剥取ラセ居ルモ次々ト貼
出サル有様ナリ

一、日貨ノ売行ハ漸次好転ノ傾向ニアルモ之ニ伴ヒ日貨差
押等ノ事故増加シ居レリ

一、邦商ノ土貨輸出ハ尚多少不便アル程度ナル処予テ當館
ヨリ何成瀬ニ保護手配ヲ求メタル上武穴ニ出張セル当地亞
麻同業組合員數名ハ何レモ無事麻ノ買付ヶ及輸出ヲ了シ帰
来セルカ其報告ニ依レハ同地ノ人気ハ昨今全ク回復シ何等
異状アルヲ認メサリシト云フ

一、最近邦商骨粉取扱業者ヨリ内々旧反日会本部ニ対シ取
引ヲ妨害セサル様申入レタル處元幹部タリシ一員ハ反日会
解散後対日經濟絶交関係事務ハ總商會ニ於テ取扱フコトト
ナリ居リ反日会ハ活動シ居ラサルニ付總商會ニ交渉スヘキ
旨挨拶セル趣ナルカ旧反日会員ハ尚取締官憲ノ目ヲ掠メテ

133 昭和7年3月24日

在漢口坂根總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)漢口市党部、武漢民衆救国会などの反日動向
とその取締りについて漢口 3月24日後発
本省 3月25日前着

(1) 第二三一号(暗)
排日排貨取締方ニ閑シテハ當館ニ於テ隨時支那側當局ヲ鞭
撻シ居ル為支那側ニ於テモ表面ニ現ハレタル実行運動ニ對
シテハ比較的の容赦ナク彈圧(シ)居ル次第ハ累次電報ノ通
ナル處最近日貨ヲ取扱タル支那商ヲ脅迫シ收賄シタル市党
部委員ヲ武漢警備司令部ニ於テ逮捕監禁セル結果他ノ市党
部委員一同ハ猛烈ナル釈放運動ヲ起シ其拳句參謀長葉蓬ニ
弁明ヲ求メ夏斗寅宛請願書ヲ提出スル等両者対立ノ形トナ
リ遂ニ市党部委員ハ全部中央党部宛辞職ヲ表明シタルヲ以
テ警備司令部ニ於テハ今次省政府改組ノ結果夏斗寅ノ警備
司令辞職ヲ見後任者未定ナル折柄ニモアリ(往電第二二九
号)又夏斗寅及何成瀬トモ南京出張中ナル関係モアリ極力
党部ノ官憲ニ対スル反対運動ヲ表面化セシメサル様努メ新

工作ヲ統ケ居ル模様ニテ支那人牛皮廠ノ如キハ曩ニ鉄血青
年團ノ名ヲ以テ日人ニ軍需品タル牛皮ヲ売ル者ハ暗殺スト
ノ脅迫ヲ受ケテ以来急ニ邦商ニ対スル供給ヲ断ツニ至レ
リ
一、漢口市商會救國募捐會ニ於テハ抗日ノ為飛行機及「ヘ
ルメット」帽寄贈ノ為十万元募集中ナルカ寄付金額既ニ四
万元ニ達セリトノ事ニテ此ノ外新聞社、学校、其他武漢医
師会等各方面ニ於ケル抗日寄付金ノ募集盛ナル処有産階級
及商家ノ多クハ之ニ対シ意外ニ冷淡ナル態度ヲ取り居ル処
大中学生ハ宣伝班ヲ組織シ寄付ノ勧説ニ努メ一方小学生ヲ
シテ「跪念團」(泣ク団体)ナルモノヲ組織シ各戸ニ泣付
キ寄付ヲ求メシメ居ル趣ナリ
一、往電第一八四号ノ省立各学校教職員ノ總罷業ハ未タ解
決セス武漢各校学生團代表ハ洛陽ニ陳情員ヲ派シ給料全額
ノ即時支給ト學校再開ヲ要求シ十七日ニハ大學生政府ニ押
寄セ何成瀬ニ會見ヲ求メ同様要求シタル結果當局ハ十八日
不取敢各教職員ニ対シ月俸ノ二割ヲ支払ヒタル趣ナルモ當
分開校ノ見込ナシト
冒頭往電ノ通り転電セリ

聞掲載ヲモ禁シ居ルモ其成行次第ニ依リテハ意外ノ政治的
反響ヲ招ク虞アリテ場合ニ依リテハ支那側之迄ノ排日取締
態度多少軟化セサルヲ保シ難ク成行キ注視中ナリ
然ルニ本月廿一日武漢民衆救国会(最近支那側官憲ニ於テ
抗日又ハ反日ノ文字ヲ嚴禁シ居レルハ既報ノ通)ナルモノ
成立シ商會ヲ中心トシテ律師公會武漢中華兩大學新聞界公
會救国会ヲ實行機關ニ推シ毎週二回代表者ノ会合ヲ催ス予
定ノ趣ナルカ其排日排貨ヲ目標トシテ設置セラレタルモノ
ナルコトハ略想像ニ難カラサルヲ以テ当地官憲ハ從來ノ方
針通り表面其組織ヲ認可スルコトナカルヘキモ常ニ此種組
織ノ中心ヲナス市党部委員カ其總辭職前ナリシニ拘ラス一
名モ参加シ居ラサル点ヨリ見テ右ハ市党部カ官憲ニ対スル
嫌カラセノ為俄ニ作り上ケタル芝居トモ見ラレ居リ從來
夏斗寅ハ警備司令在任中排日ヲ取締過クトテ市党部及工
会方面ヨリ相当攻撃ヲ受ケタルカ現在当地ニ於テハ塩沢司
令官ノ來漢ニ関連シテ種々恐怖的謠言盛ナル関係モアリ本
官ハ明廿五日一遣司令部ノ來航ヲ機会ニ海軍側トモ相談ノ
上租界周囲ノ鉄条網及各種防護設備ヲ取去リ同時ニ支那側
ニモ速ニ同様ノ設備ヲ撤去セシメテ武漢民衆ノ恐怖的猜疑

事項5 中国およびその他各地における排日状況

心ヲ一掃シ以テ対日感情ノ好転ニ資スル一方支那側民衆ノ恐怖心ヲモ適當ニ誘導シテ最近日貨取引弗々恢復ノ曙光此エ始メタル此機会ヲ失セス夏斗寅ノ帰来後省政府主席ニ就任スルヲ待チ徹底的排日取締ヲ求ムル所存ナルカ往電第二二九号ノ如キ新省政府委員ノ顔触レニテ其寿命モ長カラサルヘキ見込ニテハ省政府当局力當館ト党部トノ板挟ミトナリタル揚句所期ノ結果ヲ得難キヤモ計ラレサルモ兎ニ角之上共機会アル毎ニ精々支那側ヲ鞭撻シ行ク心組ナルニ付御含ミ置ヲ請フ

冒頭往電ノ通転電贈送セリ

134 昭和7年3月25日 在天津桑島總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

天津における学生・商民衝突による戒厳令発 布について

	天津	3月25日後発	本省	3月25日後着
第一三四号(暗)				

二十三日唐山交通大学及農業中學生二百余名ハ市党部委員指揮ノ下ニ棍棒斧等ノ兇器ヲ携ヘ市内日貨取扱商ヲ襲撃シ

シ又同八時頃支那町綿糸商同徳号ノ門前ニモ爆弾ヲ投シタル事件(死傷者ナシ)アリ右ハ之等商店カ何レモ日貨ヲ取扱ヒ居ル關係上威嚇ノ為商民救国会ニ於テ秘密裡ニ組織セル暗殺団ノ所為ナルヤニテ二十七日公安局ニ於テハ団長崖永安ヲ犯人トシテ逮捕シタル由ナリ尚一、三排日新聞ハ之ヲ以テ日貨取扱商ニ対スル好個ノ警告ナリト報道シ居リ

支ヨリ上海ニ転報アリ度シ

支、北平、奉天、青島ニ転電セリ

136 昭和7年3月29日 在牛莊荒川領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

日本人船員解雇取締方中國側に要請について

	天津	3月28日後発	本省	3月28日後着
第一三七号(暗)				

二十六日午後七時半頃仮租界ノ最繁華ナル地点ニアル支那商華竹(吳服商)ノ店頭ニ爆弾ヲ投下シ負傷者二名ヲ出

組船舶ニ対スル抗日会等ノ荷役妨害及荷主ノ積荷忌避漸次激甚ヲ極メ荷主側ヨリ船主ニ邦人船員ノ解職ヲ強要シ居リ昨今ニテハ邦人ノ乗組メル限り南支諸港ヘノ航行不可能トナレリトノ理由ヲ以テ船主側ヨリ邦人乗組員ハ漸次解雇セラレツツアリ此ノ状勢ニシテ持続センカ南支航路支那船乗組メル多数邦人船員ハ全ク排斥セラルニ至ルヘシトテ救濟方願出アリタルニ付船主側ヘ邦人船員保護方交渉ノ筈ナルカ貴公使並ニ南支各地領事ニ於テ支那側ニ対シ右不法ナル邦人船員排斥取締方御嚴談アリタク尚当方参考迄ニ排斥ノ原因御取調ヘ御回電ヲ請フ

大臣、廣東、福州、廈門、汕頭へ転電セリ

137 昭和7年3月31日 在青島川越總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

青島在留日本人小商工業者に対する資金供給 方について

	天津	3月31日後発	本省	3月31日後着
--	----	---------	----	---------

南支航路ニ從事スル支那船乗組ノ邦人船長ノ談ニ依レハ上海事件以来南支一帯ニ於ケル抗日運動熾烈化ノ結果邦人乗

本官発支宛電報
第一号

合第一六号(暗)

営口 3月29日前発
本省 3月29日前着

方について

137 昭和7年3月31日 在青島川越總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

青島在留日本人小商工業者に対する資金供給

第六九号(暗)
普通第六四号拙信ニ関シ

心ヲ一掃シ以テ対日感情ノ好転ニ資スル一方支那側民衆ノ恐怖心ヲモ適當ニ誘導シテ最近日貨取引弗々恢復ノ曙光此エ始メタル此機会ヲ失セス夏斗寅ノ帰来後省政府主席ニ就任スルヲ待チ徹底的排日取締ヲ求ムル所存ナルカ往電第二二九号ノ如キ新省政府委員ノ顔触レニテ其寿命モ長カラサルヘキ見込ニテハ省政府当局力當館ト党部トノ板挟ミトナリタル揚句所期ノ結果ヲ得難キヤモ計ラレサルモ兎ニ角之上共機会アル毎ニ精々支那側ヲ鞭撻シ行ク心組ナルニ付御含ミ置ヲ請フ

冒頭往電ノ通転電贈送セリ

134 昭和7年3月25日 在天津桑島總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

天津における学生・商民衝突による戒嚴令発 布について

	天津	3月25日後発	本省	3月25日後着
第一三四号(暗)				

二十三日唐山交通大学及農業中學生二百余名ハ市党部委員指揮ノ下ニ棍棒斧等ノ兇器ヲ携ヘ市内日貨取扱商ヲ襲撃シ

シ又同八時頃支那町綿糸商同徳号ノ門前ニモ爆弾ヲ投シタル事件(死傷者ナシ)アリ右ハ之等商店カ何レモ日貨ヲ取扱ヒ居ル關係上威嚇ノ為商民救国会ニ於テ秘密裡ニ組織セル暗殺団ノ所為ナルヤニテ二十七日公安局ニ於テハ団長崖永安ヲ犯人トシテ逮捕シタル由ナリ尚一、三排日新聞ハ之ヲ以テ日貨取扱商ニ対スル好個ノ警告ナリト報道シ居リ

支ヨリ上海ヘ転報アリタシ

支、北平、奉天、南京へ転電セリ

135 昭和7年3月28日 在天津桑島總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

日貨取扱い中国商店に爆弾投下について

	天津	3月28日後発	本省	3月28日後着
第一三七号(暗)				

二十六日午後七時半頃仮租界ノ最繁華ナル地点ニアル支那商華竹(吳服商)ノ店頭ニ爆弾ヲ投下シ負傷者二名ヲ出

組船舶ニ対スル抗日会等ノ荷役妨害及荷主ノ積荷忌避漸次激甚ヲ極メ荷主側ヨリ船主ニ邦人船員ノ解職ヲ強要シ居リ昨今ニテハ邦人ノ乗組メル限り南支諸港ヘノ航行不可能トナレリトノ理由ヲ以テ船主側ヨリ邦人乗組員ハ漸次解雇セラレツツアリ此ノ状勢ニシテ持続センカ南支航路支那船乗組メル多数邦人船員ハ全ク排斥セラルニ至ルヘシトテ救濟方願出アリタルニ付船主側ヘ邦人船員保護方交渉ノ筈ナルカ貴公使並ニ南支各地領事ニ於テ支那側ニ対シ右不法ナル邦人船員排斥取締方御嚴談アリタク尚当方参考迄ニ排斥ノ原因御取調ヘ御回電ヲ請フ

大臣、廣東、福州、廈門、汕頭へ転電セリ

門戸窓硝子ヲ破壊シ日本品ヲ搬出封鎖シタルモノ少カラス警官ノ勧阻モ効果無キヲ以テ全市商店ハ罷市ヲ行フト共ニ一千余名ノ商民ハ又棍棒等ヲ以テ学生隊ト衝突スルニ至リ依テ戒嚴令ヲ宣布シ軍警ニ依リ弾圧ヲ加ヘ首謀者タル党部員等ヲ逮捕拘禁シタル為事態ハ漸ク鎮定シタルモ一時商民側ニテハ将来ノ保障ヲ得サル限り開店セスト主張シ公安局長ノ調停斡旋ニ依リ兎モ角二十五日ヨリ復業スルコトトナリタル趣ナリ

支ヨリ上海へ転報アリタシ

支、北平、奉天、南京へ転電セリ

135 昭和7年3月28日 在天津桑島總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)

日貨取扱い中国商店に爆弾投下について

	天津	3月28日後発	本省	3月28日後着
第一三七号(暗)				

二十六日午後七時半頃仮租界ノ最繁華ナル地点ニアル支那商華竹(吳服商)ノ店頭ニ爆弾ヲ投下シ負傷者二名ヲ出

組船舶ニ対スル抗日会等ノ荷役妨害及荷主ノ積荷忌避漸次激甚ヲ極メ荷主側ヨリ船主ニ邦人船員ノ解職ヲ強要シ居リ昨今ニテハ邦人ノ乗組メル限り南支諸港ヘノ航行不可能トナレリトノ理由ヲ以テ船主側ヨリ邦人乗組員ハ漸次解雇セラレツツアリ此ノ状勢ニシテ持続センカ南支航路支那船乗組メル多数邦人船員ハ全ク排斥セラルニ至ルヘシトテ救濟方願出アリタルニ付船主側ヘ邦人船員保護方交渉ノ筈ナルカ貴公使並ニ南支各地領事ニ於テ支那側ニ対シ右不法ナル邦人船員排斥取締方御嚴談アリタク尚当方参考迄ニ排斥ノ原因御取調ヘ御回電ヲ請フ

大臣、廣東、福州、廈門、汕頭へ転電セリ

当地方在留邦人ハ多年兵乱、排日貨、不当課税等ニ惱マサレ居リタル處最近ノ情勢ハ他地方ニ比シ稍々小康ヲ保チ商取引モ円滑ニ行ハレツツアリ此ノ機会ヲ利用シ從来邦人力失ヒツツアル経済的地盤ヲ盛返サシムルコト極メテ肝要ニシテ小商工業者ニ対スル少額資金供給ノ如キハ最モ必要且ツ有意義ナル事項ナルニ鑑ミ是非稟請案全部ノ御認可ヲ希望スルモ御詮議手間取ル様ナラハ不取敢利拵一箇年間延期ノ件タケ至急電報ニテ御認可相成度シ

138 昭和7年4月1日 在汕頭戸根木領事館事務代理より
芳沢外務大臣宛（電報）

排日による中小商人の困窮救済策について

第二七号（暗） 汕頭 4月1日後発 本省 4月1日後着

当地排日ノ実情ハ南支各地中最モ激烈ヲ極メ從来トハ異ナリ邦商殊ニ内地人及名ノ知ラレタル台灣籍民商店ハ取引皆無ノ儘半歳ヲ経過シ売込代金ノ回収不能引揚婦女子ヘノ送金等モアリ一般ニ經營困難ニ陥リツツアル處排日ノ前途未タ見通シモ付カス此ノ儘継続シ行カハ倒産又ハ内地引揚等

ハ
一、民会側ニテハ從来天災事件等ニ際シテノ救助資金トシテ銀三千弗（水災義捐金ノ積立）ヲ所持シ居リ右金額ハ客年小学校校舎新築費ニ一時流用シ将来渡台證明手数料ノ収入ヲ以テ補填スル筈ナリシカ滿州事件ニ依リ右収入杜絶工且課金收入モ激減シタル結果急速ニ商民ニ対スル救濟困難ナル状況ニ在ルモ前記金額ニシテ政府ヨリ小学校建築費増額補助又ハ適當ナル名目ヲ以テ補給ヲ仰キ得ルニ於テハ自當商人ノ救済資金ノ一部トシテ貸出ス等ノ途モ講シ得ヘシト為シ

二、商人側ニアリテハ一般困窮者同様ノ支助ヲ仰キ得ルニ於テハ右ヲ基礎トシ金融組合ヲ組成シ救済ノ一助トモ為シ旁排日終熄後ノ發展ヲモ期シ得ヘシ
等ト為シ居ル處當地邦商ハ其ノ資本モ少ク滿州事件以来南支中殊ニ苦境ニ在ル次第ナルヲ以テ特ニ此ノ際中小商人ノ途モ講シ得ヘシト為シ

救済ニ付テモ何等カノ方法御詮議相仰キ度不取敢右申達ス

139 昭和7年4月1日 在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛

広東抗日諸団体の活動情況について

機密公第四〇三号

昭和七年四月一日

在広東

総領事代理 須磨弥吉郎

外務大臣 芳沢謙吉殿
抗日諸団体ノ活動ニ関スル件

三月十五日付機密公第三三三二号拙信所報後ニ於ケル本件活動情況左ニ報告申進ス

本信写送付先

在華公使、北平參事官、奉天、上海、南京

一、日貨沒收

抗日会ノ日貨沒收ハ上海事變以來比較的寛大ナル処置ヲ執リ居タルモ其ノ後奸商ノ日貨密輸著シクナリタル趣ヲ以テ最近又々積極的ニ活動シ出シ没收日貨ハ多ク競売ニ付スル

ノ余儀ナキニ至リ商業地盤ノ放棄ハ單ニ時日ノ問題トナルヘシトテ内地人及台灣籍民自営商店各組合ヨリ地盤維持上排日ニ対スル持久救済策ヲ講セラレタシトノ請願アリ目下當業者並ニ民会側ニテ対策考究中ナルモ差当リノ案トシテハ

（1）広東省市党部ノ肝入りニ依リ成立セル広州市救護隊委員会ハ三月二十日各公立醫院ノ男女職員ニ依ル救護隊總動員ノ「デモンストレーション」ヲ挙行セリ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

(2) 連陽化粧局ニ於テハ粧民族ニ対シテモ盛ニ抗日ヲ宣伝シ

「殺絶倭奴、誓報國仇」等ノ口号ヲ練訓セシ居ル趣ナリ

(三月二十六日民国日報)

(3) 全広州抗日学生連合会ニ於テハ目下各活動写真館ニ於テ

開演中ノ上海事変ノ映画ヲ成ルヘク公共ノ場所ニテ無料

公開スル様社会局ニ請願セリ (三月二十一日民国日報)

(4) 広州市立博物館ハ上海事変ニ於ケル戰利品ヲ一部貰ヒ受

ケ衆覽ニ供スルコトナリタル趣ナリ (三月二十一日民

国日報)

三、其ノ他

(1) 抗日会ハ三月二十七日ノ會議ニ依リ國際連盟調査団ニ対シ公道ヲ主持スル様電請スルコトナリタル一方広州市

商會モ同様趣旨ノ電報ヲ發セリ (三月二十四日民国日報)

(2) 最近各県ノ警衛隊等ニ於テ大刀隊ヲ組織スルモノ多く市内ノ鍛冶屋ハ二尺ノ大刀ヲ作ルニ忙殺セラル有様ナリト

(三月二十一日民国日報)

(尚對外協會ノ上海事変ノ辱國喪權的解決反対及廣東總動員抗日救國連合会ノ大会開催ノ件ハ夫々別報セリ)

140 昭和7年4月5日 在福州田村總領事より
本省 4月5日後着 芳沢外務大臣宛(電報)

福州における排日再燃の形勢について

第九五号(暗)

其後引続キ平穩一時台灣ニ避難セル邦人婦女子モ大部分帰来シ在留民ノ気分モ落着キツツアリ反日会工作停止以来表面上ノ排日運動無ク「ボスター」、掛幕、標語等跡ヲ絶チ新聞紙上ニハ上海事變等ニ關シテハ依然虚構ノ宣伝記事ニ

満タサレ居ルモ当地ノ地方的排日記事ハ掲載セス学生等ニ對スル取締モ相當行渡リ居ル模様ナリ在留邦人ハ依然成ルヘク外出ヲ差控ヘ居ルモ市中往来等ニモ最早注意ヲ引カサルニ至レリ日貨取引ハ台灣ヨリ石炭、砂糖等多少ノ輸入アリ二日入港ノ大球丸ニテ当地宛五百余噸ノ積荷アリ又台灣向木材モ其後四、五万本ノ仕向アリ大体良好ノ形勢ニアリタル處上海事變ノ和平解決ノ見越付クト共ニ黨部方面ニテ裏面ヨリ排日ヲ蒸返サントスル形勢アリ諜報ニ依レハ數日前中央党部ヨリ永久抗日策トシテ排貨運動ノ継続方訓令シ

本省 4月5日後着

550

来レリ(薬品等文化的材料ヲ除ク由)國貨提唱ノ名目ニテ各商人ヲシテ日貨ヲ取扱ハシメサル様脅迫手段ヲ廻ラシ居ルモノノ如シ中ニハ日貨トノ競争ノ為殊更斯ル空氣ノ醸成ニ努ムル者モアリテ日貨ノ荷捌ハ氣迷ノ為一時停止狀態ニ

在リ六日党政軍連席會議ニ於テ対日外交後援会ヲ設置ストノ報道アリ排日ノ変形ニ非スマト注意中

支ヨリ上海へ転報アリ度シ
支、廈門、汕頭、廣東へ転電セリ

141 昭和7年4月7日 在上海牛井總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

中國船乗組日本人船員の解雇について

上海 4月7日後着
本省 4月7日後着

142 昭和7年4月11日 在廈門三浦領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

最近の日貨排斥状況について

廈門 4月11日後着
本省 4月11日後着

(1) 第一三七号(暗)
往電第一二三号ニ関シ

(1) 三五事件以後民衆対司令部側トノ関係ハ相当憂慮スヘキモノアリタル處司令部側ニ於テハ公安局長問題ニ付テハ省政府ノ任命セル蘇某ヲ遂ニ就任セシメス林振成ヲ其ノ儘居坐ラシメテ多数ノ要望ニ副ヒ又同事件ニ於ケル死傷者ニハ相当ノ撫恤金ヲ与ヘテ民意ヲ鎮メ且同事件ニ依リ

張聖才一派ノ司令部排斥運動乃至抗日運動カ共産系分子ト関係アルヲ暴露シ其ノ人氣ヲ墜シタルニ際シ利ヲ以テ當方面ニ於ケル支那船乗組船員ノ排斥ハ滿州事變以來急ニ

尖銳化シ海通公司靜順号乗組船長以下六名三友漁輪局元東

之ヲ懷柔スル等極メテ巧妙ニ善処シタル結果一般ノ反日的空氣モ可成リ緩和サルニ至リ爾來引続キ市面平穏ナリ

(二) 之ト同時ニ久シキ經濟絶交ニ依リ在庫品拠底ヲ来セル多數支那商ハ停戦會議ノ危機ヲ伝ヘラルコト屢々ナルニ拘ラス当初ヨリ結局曲リナリニモ成功スルモノト見越シ氣構ヲ為シ居タルモノノ如ク其ノ結果トシテ三井ノ如ク確実ナル大手筋ヲ相手トスル者ヲ除キ夫レ以外ノ中小ノ邦商方面ニハ幾分裏面的ニ荷捌ヲ生シ又台灣籍商ノ如キハ小口先物注文ノ引受ニ奔走シ居ルモノ鮮カラサル外可成リ有力ノ支那商モ漸ク動キ出シ最近ニ於テハ有数台灣商ノ名義ヲ借りテ稍々大口ノ注文ヲ台灣及内地方面ニ發スル向アリ最近ノ便船ニ依リ漸次輸入サル予定ナルカ尚三月下旬ニハ漳州、泉州方面ニ台灣方面ヨリ戒克ニ依ル可成リ大口ノ密輸入アリタリトノ噂アリ旁市中ニ於ケル円為替ノ需要ハ相當増加シ台銀ニ於テ一、二万程度ノ為替ヲ取組ム者モ弗々出テ来レル趣アリ

(三) 他方抗日会側ニ於テハ幹部ノ軟化並停戦會議開催ト共ニ

其ノ運動モ露骨ニ營業化スルニ至リ當館ニ判明セル者ノ

ル可成リ大口ノ密輸入アリタリトノ噂アリ旁市中ニ於ケル円為替ノ需要ハ相當増加シ台銀ニ於テ一、二万程度ノ為替ヲ取組ム者モ弗々出テ来レル趣アリ

尚三月下旬ニハ漳州、泉州方面ニ台灣方面ヨリ戒克ニ依

ル可成リ大口ノ密輸入アリタリトノ噂アリ旁市中ニ於ケル円為替ノ需要ハ相當増加シ台銀ニ於テ一、二万程度ノ為替ヲ取組ム者モ弗々出テ来レル趣アリ

スル向アリ最近ノ便船ニ依リ漸次輸入サル予定ナルカ尚三月下旬ニハ漳州、泉州方面ニ台灣方面ヨリ戒克ニ依ル可成リ大口ノ密輸入アリタリトノ噂アリ旁市中ニ於ケル円為替ノ需要ハ相當増加シ台銀ニ於テ一、二万程度ノ為替ヲ取組ム者モ弗々出テ来レル趣アリ

ミニテモ張聖才ノ関係セル日貨ノ取引三件（台湾糖一千俵、空壟十五万本、酒精一万五千罐）其ノ他幹部ノ関係セルモノ四件（除虫菊千五百元、金物六百元、紙二百元等）アリ前者ハ台灣人ノ名義ヲ借りテ輸入シ且抗日会ニ

於ケル地位ヲ利用シテ日貨ニ非ストノ認定ヲ下シ之ヲ販売利得セルモノ、後者ハ内台人ヨリ收賄シテ其ノ取引ヲ默認セルモノナルカ末輩ノ連中モ從来ノ如キ日貨ノ検査票封等差当リ利得無キ行動ヲ廃シ路上ニ於テ日貨購入支那人ヲ捉ヘ賄賂ヲ提供スル者ハ票封品タルト否トヲ問ハス其ノ儘之ヲ默認シ然ラサル者ハ現品ヲ没収シ居ル模様ナリ然ルニ抗日会ニ反感ヲ有スル旧反日系ノ工界抗日会ハ最近右ノ内情ヲ探知シ一、三ノ日貨取引者ヲ摘発シ且前記抗日会ノ醜状ヲ吹聴セル為抗日会側ニ於テモ余儀ナク再ヒ積極的ニ出テ調査隊員ノ出動ヲ開始シ一、三遣り過キタル商店ヲ槍玉ニ拳ヶ店舗ノ票封、罰金ノ徵収及商品ノ没収ヲ手厳シク行ヒタルカ之トテモ票封ヨリ寧ロ罰金及没収ヲ主眼トシ居レルカ如ク見受ケラルル處以上硬軟何レノ遣口モ共ニ停戦會議ノ成功ト抗日運動ノ寿命長カラサルヲ見越シ此際出来得ル丈ケ私腹ヲ肥サントスル

魂胆ト観測セラル

(四) 然ルニ當館トシテハ此際支那官憲ニ対シ更ニ峻厳ナル取締ヲ要求スルヨリモ寧ロ暫ク靜觀シ事態ノ推移転換ヲ待

ツヲ得策ト認メ大体此方針ヲ執リツツアル次第ナル処余り放任シ置クニ於テハ彼等ノ驕慢ト横暴ヲ助長スル恨アリ殊ニ沒収或ハ罰金等ノ外甚シキハ兌器ヲ持シテ脅迫ケ

間敷キ行動ニ出ツル者アリトノ聞込ミモアリタルニ付四月八日公安局長ノ深甚ナル注意ヲ喚起シタル処同局長ハ自分ニ於テモ最近氣付キ居ルニ付取締ノ方法時期ニ付折角考慮シ居リタル処ナルカ直ニ何分ノ手配ヲ為スヘキ旨答ヘタリ

(五) 尚邦商側ニ對シテハ現下ノ大勢ヨリ推シ停戦交渉ハ結局成立スヘク從テ大シテ樂觀ハ出來サルモ大体ノ見当トシテハ上海ニ於ケル空氣ハ相当ニ好転シ之ト同時ニ邦貨ノ荷動モ活発トナルニ至ルヘク廳テハ当地ニモ波及スヘキ處之ニハ相當時日ノ「ギャップ」アルヘキニ付此過渡的

時期ニ於テハ特ニ自重スルコト大局上極メテ緊要ナルヘキ旨諭達シ置キタリ

以上最近ノ状勢何等御参考迄

143 昭和7年4月15日

※在上海村井總領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

排日運動、上海事変の貿易に及ぼした損失額
推定について

上海 4月15日後発
本省 4月15日後着

第五九一号(暗)
貴電第一四六号ニ閲シ

加藤商務官代理ヨリ

昨年七月ヨリ三月末迄排日並ニ上海事変ニ依リ当地中心貿易ノ影響額算出ハ至難ナルモ近年不況時ニ於ケル「ノーマル」ノ場合ヲ基礎トシ強ヒテ推定額ヲ示セハ大体左ノ通りトナル

(単位円)

(イ) 約定品ノ受渡不履行ニ依ル積止乃至滯貨トナリ居ル輸入本邦品二千九百四十五万内当地在庫ニ対スル値下り為替差等損失八百三十万予定利益損失八十八万四千輸出品百

昭和七年五月一日

在廣東

南京政府ノ招請ニ応セス当地ニ在リテ秘密裡ニ政治的策動ヲ続ケ居ル孫科ハ廿五日新聞記者トノ会談ニ於テ自己ノ進退問題ヲ述ヘ立法院長、鐵道部長乃至駐米公使ニモ就任せスト説キ抗日救國綱領ナルモノヲ發表セルカ其内外交方針ニ関シテハ抗日ノ徹底ヲ以テ当面ノ急務ナリトシ抗日ノ為ニハ連米並ニ連露政策ヲ採用スヘシト主張シ右原案ニハ胡漢民モ略同意シ來レリ云々ト述ヘ李石曾カ右連米、連露政策ヲ不可能ナリト言ヘルニ対シ反駁ヲ加ヘタル趣ナリ

北平、奉天、天津、青島、漢口、南京、廣東へ転電シ支ヘ転報セリ

147 昭和七年五月二日 在廣東須磨總領事代理より
芳沢外務大臣宛

機密公第五二二一號

滿州・上海事變の廣東在留邦人におよぼした影響について

付屬書 右に関する廣東總領事館作成の報告書

廣東 5月2日付
本省 5月19日着

南京、香港、汕頭、上海商務官
公使、北平、奉天、天津、青島、濟南、上海、漢口
(付屬書)

一、前言
(昭和七年三月末日現在)

1 客年九月十八日滿州事變突發ノ報ハ二十日ノ当地新
聞ニ特筆掲載セラレ各紙共筆ヲ揃ヘテ日本ノ横暴ヲ鳴
ラシ排日氣勢ヲ煽リタルカ一方当地工会中最有力ナル

機器總工會ノ如キハ早クモ同日党部ニ對シテ抗日大會開催方ヲ督促スル等抗日運動ノ實現ニ務メタリ

2 斯くて九月二十三日ニハ省党部大礼堂ニ於テ中央非常會議、省市兩党部等主催ノ下ニ「各界合同反日大會」開催セラレ学生亦「學界抗日大會」ノ盛大ナル示威運動ヲ挙行。爾来一般市民ノ対日感情ハ日ヲ逐ウテ悪化ノ傾向ヲ示セリ

3 是カ為メ華街居住邦人ハ九月末頃ヨリ自發的ニ安全地帶タル租界沙面ニ避難ヲ開始スルニ至リ自然營業所ヲ一時閉鎖スル者続出セルヲ以テ當館ニ於テハ中國側官憲ニ對シ留守宅ノ財產保護方ヲ申入ルト共ニ一般邦人ノ生命財產ノ保護並ニ排日運動取締方等ニ關シ隨時嚴重交渉セリ

4 然ルニ抗日会ヲ中心トスル排日運動ハ益々橫暴露骨トナレル一方官憲モ愛國運動ナリトノロ実ノ下ニ是カ取締ニ手加減ヲ加ヘ居タル矢先偶々十月十日ノ双十節當市内永漢馬路雜貨商新世界(華商)ニ於ケル日貨貿易事件發生、所轄公安分局ハ巡警ヲ急派シタルモ遂ニ制止シ得ス群衆ハ暴動化シテ同分局ヲ襲ヒ警官ハ発砲

シテ之ニ応酬。群衆側ニ數十名ノ死傷者(中死者二)ヲ出タスニ至リ付近一帯ハ一時無警察狀態トナリ保安隊ノ出動ニ依テ辛シテ秩序ヲ回復シ得タリ

5 斯くて事態ノ悪化ニ頗ル狼狽シタル當局ハ同日夜ヨリ約一週間ニ亘リ臨時戒嚴令ヲ布ク一方排日貨運動ノ牽制策トシテ爾後同運動ハ省市兩党部ヲシテ指導セシメ「ボスター」類ノ如キモ公安局ノ許可ヲ受ケシムルコトトシ且学生ノ集会ヲ禁止スル等其ノ取締振り漸ク嚴重トナリ自然抗日排貨運動モ表面稍々下火トナルヤノ觀ヲ呈スルニ至レリ

6 尤モ夫レトテ決シテ樂觀ヲ許ササルハ勿論却テ内面的ニ組織化セラレ益々根強クナラムトシ居タル折柄一月二十八日ノ上海事變トナリ殊ニ第十九路軍ハ大部分當方面出身ナル為メ一般抗日的感情ハ茲ニ再ヒ硬化シ中國各紙ハ筆ヲ揃ヘテ第十九路軍ノ戰捷ヲ報道。市民ハ爆竹ヲ打揚ケテ熱狂スル等一時ハ御祭り騒ギヲ演シタルモ間モ無ク停戦トナリ今日ニ及ヘリ

7 其ノ間排貨運動ハ益々深刻化シ邦人使用華人ニ對スル脅迫、華商手持日貨ノ検査等隨處ニ行ハレ為メニ邦

本件ニ關シ別紙ノ報告書一部進達ス御查閱相成度シ尚本件ハ邦商ノ信用ニ関スル部分モアルニ付外部ヘノ發表ハ御差扣ヘ相成様致度此ノ段為念申添フ
本信写送付先
外務大臣 芳沢謙吉殿
滿州及上海事變ノ廣東在留邦人ニ及ホシタル影響
報告ノ件

本件ニ關シ別紙ノ報告書一部進達ス御查閱相成度シ

尚本件ハ邦商ノ信用ニ関スル部分モアルニ付外部ヘノ發表ハ御差扣ヘ相成様致度此ノ段為念申添フ
本信写送付先
外務大臣 芳沢謙吉殿
滿州及上海事變ノ廣東在留邦人ニ及ホシタル影響
報告ノ件

事項5 中国およびその他各地における排日状況

出正株式会社 張所銀行	支店	株式会社 台湾銀行	商号	主ナル商業					（備考） 上海事変以 降現事變取 較トノ就業人 員比現在
				貸 貸 保 護 函 五 割	預 金 八 割 五 分	替 金 九 割 減	八 割 五 分	減	
業外國 務 五 割	"	"	"	"	"	"	"	"	ヲ算シタル当地邦人営業者中其ノ後排貨運動永続ノ結果宮
七割	"	"	"	"	"	"	"	"	十六（何レモ個人商店）ニ達スル一方銀行会社等亦極度ニ
二名	減	一割	減	五割	八割五分	減	八割五分	減	人員ヲ整理シ緊縮ヲ図リツツアリ

今重ナル商社ニ就キ取調ヘタル本年三月末日現在ノ状態ヲ
示セハ次表ノ如シ（満州事件直前ノ業務ヲ十割トス）

ヲ算シタル当地邦人営業者中其ノ後排貨運動永続ノ結果宮
業ヲ支へ得シテ帰国シタルモノ四、店舗ヲ閉鎖中ノモノ
十六（何レモ個人商店）ニ達スル一方銀行会社等亦極度ニ
人員ヲ整理シ緊縮ヲ図リツツアリ

会社数	医院数	個 人					商 店				
一二	二	三〇	一	一	一	一	二	三	四	五	六
同 百 分 率	昭和六年 六月末 日トノ 比較	前 期 増 減 △ 増 減 △ 増 減	計	其 他	广 州 市	广 州 市	其 他	广 州 市	广 州 市	广 州 市	广 州 市
0.毛	×	× 三 五 × 六 九 ×	一 二 四 一 三 五	三	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	九	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.圓	×	× 七 二 × 一 〇 六 ×	一 二 三 一 三 五	一	五 二 一 八 五	一 二 三 一 三 四	九	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	×	× 一 八 四 ×	一 二 三 一 三 五	二	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	七	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	×	× 二 九 〇 一 ×	一 二 三 一 三 五	三	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	五	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	×	× 一 七 七 一 ×	一 二 三 一 三 四	三	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	七	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	×	× 一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	五	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四

三、邦人営業者ノ被レル影響 客年九月末日現在

調査期別	地方別	内 地	人	人	人	人	人	人	人	人	人
昭和六年 六月末 在	廣州市	一 八 四	三 九	二 三	〇	四 五	九	三 三	二 二	七	一 九
昭和六年 十二月末 在	廣州市	一 九 六	四 二	二 三	七	四 七	八	三 四	八	一 三	〇
現 在	廣州市	一 九 六	四 二	二 三	七	四 七	八	三 四	八	一 三	〇
同 百 分 率	同 百 分 率	前 期 増 減 △ 増 減 △ 増 減	計	其 他	广 州 市	广 州 市	其 他	广 州 市	广 州 市	广 州 市	广 州 市
0.毛	△ 一	△ 三 八	一 二 三 一 三 四	三	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	九	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.圓	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一	五 二 一 八 五	一 二 三 一 三 四	七	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	二	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	五	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	三	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	三	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	五	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	二	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	六	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	七	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	八	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	九	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一〇	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一二	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一三	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一五	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一六	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一七	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一八	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一九	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一〇	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一二	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一三	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一五	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一六	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一七	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一八	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一九	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一〇	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一二	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一三	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.五	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四
0.六	△ 一 ×	△ 一 三 八	一 二 三 一 三 四	一五	一 二 三 一 三 四	一 二 三 一 三 四	一	一 二 三 一<br			

事項5 中国およびその他各地における排日状況

六、銀行業及邦人ノ金融ニ及ホセル影響
当地邦人金融業者ハ正金銀行出張所、台湾銀行支店及華南銀行出張所ノ三銀行ニシテ為替、預金、貸出等一般銀行業務ヲ取扱フ處時局ノ為メ中国人間ニ種々謠言流布セラレ客年九月二十一日朝ヨリ三銀行共中国人預金ノ引出者殺到シ同月二十三、四日頃ニハ相当深刻ナル取付状態ヲ演シ（尤モ小口預金ヲ取扱ハサル正金ハ左程ノ影響ヲ被ラス）タルモ兎ニ角支払ニ支障ヲ来サス之ヲ切抜ケ同月末ニハ殆ント常態ニ復シタリ而シテ此期間中ニ於ケル

種別 月 月末在籍 童 数	月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月 一月 二月 三月											備 考
	入学 童 数	児童 退学 数	児童 死亡 数	児童 数								
四八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五年度三月末現在在籍児童（三字不明）名ナリ
四七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
四八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
四六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
四六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二六	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二六	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

得サル窮状ニ逢着セリ

五、小学校ノ被レル影響

当地日本人小学校ハ沙面内ニ在リテ居留民会ノ經營ニ係リ在学児童数ハ時局前ニ於テ四十六名ヲ算シ男教員二名

（台灣總督府派遣）女教員一名（居留民会雇傭）計三名ヲ以テ教務ヲ担当セシメ來レルモ前頭在留民引揚ノ結果見是カ為メ前年度剩余金全部ヲ歳入ニ充当セサルヘカラサル状態トナリ已ムヲ得ス歳出ニ於テモ極力緊縮方針ヲ採リ節約スルモ尚臨時事件費、予備費等ノ費目ヲ計上シ左表ノ如シ

明華洋行	東亞洋行	平田洋行	松尾洋行	時達洋行	前田洋行	薦行	岳陽堂	株式会社	伊藤商行	支店	加藤洋行	合資会社
輸出入業	雜貨	販諸業品原料輸入	等輸品、工業品輸入	雜貨、吳服類輸入	化學工業品輸入	雜貨輸入小物	器械販賣	倉庫業一般	販葉煙草紙	綿布、原綿、雜貨	十割	
七割	七割	六割	四割	八割	六割	五割二分	八割一分	八割	八割一分	六割	十割	減
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	日本三名ヲ二名減
九割五分"	八割	八割	六割	八割五分"	一名	七割一分減	变化ナシ	支那人一名	支那人一名	支那人一名	九割五分	日本三名ヲ二名減
時局前廿四人ヲ全部解雇	時局直前三名ノ事務員ヲ	支那人一名	日本人一名	日本人一名	日本人一名	五割	九割八分	時局前十二人ヲ四人ニ減ス	時局前三名ヲ二名ニ減ス	時局前三名ヲ二名全	九割	日本三名ヲ二名減

会院	医	業	医	業	医	会院	医	業	医	業	医	業	
廣東博愛	加藤所	河村洋行	中華洋行	靜岡洋行	錦華洋行								
滿州事變	壳般活版印刷一	書籍、軍用药品	工具ゴム原料玩	反物、雜貨	工业製品類	八割	九割五分	九割五分	十割	八割	十割	減	十割
患者數	五割	九割八分	九割八分	十割	九割	八二	九二	八一	九一	八二	九一	二名	二名
上海事變	"	"	時局前十二人ヲ四人ニ減ス	時局前三名ヲ二名ニ減ス	時局前三名ヲ二名全	部解雇	時局前三名ヲ二名全	時局前三名ヲ二名全	時局前三名ヲ二名全	時局前三名ヲ二名全	時局前三名ヲ二名全	減	減
患者數	九割八分	九割八分	十六二十九名ヲ三名ニ減ス	十六二十九名ヲ三名ニ減ス	十六二十九名ヲ三名ニ減ス	名ナリ	名ナリ	名ナリ	名ナリ	名ナリ	名ナリ	二名	二名

三銀行ノ払出総額ハ約五百三十八万弗ニ達シ預金現在高ハ約六百七十五万弗トナレリ一方右取付開始以来中国人ノ新規預金ハ皆無トナリ且輸入信用状等ノ發行モ排日貨運動ニ因ル輸入杜絶ノ為メ漸次其ノ数ヲ減シ十月中旬頃ヨリハ全ク停止ノ状態トナリ為替取極メノ如キモ主要会社筋ノ先約輸入品ニ対シ華商側ニ於テ取引ヲ履行セス仮リニ引渡シヲ了スルモ是カ代金ノ回収不能ノ為メ為替ノ支払停頓シ混沌タル状態ニ陥リタリ

一方一般邦商ノ金融状態ヲ觀ルニ台銀、正金ハ担保物件

事項5 中国およびその他各地における排日状況

ニ対スル貸付ノミヲ取扱ヒ邦人ノ金融ニハ左迄影響無キ

モ華南銀行カ時局以来個人商店ヘノ貸出ヲ停止セルト中國人ヨリノ借入不能ニ陥レル為メ邦商殊ニ個人商ハ金融頗ル逼迫ノ有様ナリ

強硬ニシテ成行相当重要視セラレ居レリ

尚司令部ハ勿論商會及党部其他関係者ハ總テ事件ノ真相ヲ極秘ニ付シ居ルモ右ハ竜カ其地位ヲ利用シ主トシテ日貨取扱ノ証人ヲ恐喝シタル為ナリト察セラル委細郵報

往電第三三七号ノ通転電暗送セリ

148 昭和7年5月6日

在漢口坂根総領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

党部、警備司令部の対立状況について

漢口 5月6日後発
本省 5月6日後着

第三四一号(暗)

襄ニ当地支那商ヲ恐喝シテ金錢ヲ捲キ揚ケ武漢警備司令部ニ捕ヘラレタル市党部秘書董驥ナル者ノ釈放方ニ関シ同党部委員一同ハ躍起運動ヲ続ケタルモ商会側ヨリハ之カ嚴重処断ヲ要求セル結果竜ハ遂ニ軍法ニ依リ死刑ヲ宣告セラレ一昨日銃殺セラレタル處市党部側ハ警備司令カ党員ヲ妄ニ逮捕処刑セルハ国民党ヲ侮辱シ且党權(国民党ノ権利)ニ対スル保障ヲ無視スルモノト為シ再ヒ中央党部ニ總辞職ヲ申出ツルト共ニ司令ノ更迭ヲ要求シタルカ司令部側ハ中央ニ請訓ノ上決行セルモノナリトテ之ニ取合ハス双方ノ態度

第六五九号(暗)
予テ反蔣系指導ノ下ニ種々停戦交渉ノ妨碍ヲ試ミ来レル当地抗日救国連合会(最近郭代表ヲ負傷セシメタルハ本会ノ策動ニシテ各団体ノ大部分ヲ網羅組織セラル)ハ昨八日第十次大会ヲ開キ停戦協定反対ノ氣勢ヲ揚ケ左記諸件ヲ議決シタル趣ナリ
一、國權喪失ノ中日停戦協定ニ反対ス
之カ為

150 昭和7年5月10日

※在漢口坂根総領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

排日運動取締に関する何鍵談話について

第三四八号(暗)
長沙発本官宛電報
第四九号

漢口 5月10日後発
本省 5月10日後着

イ、大字広告ハ民衆ノ絶対否認ヲ表示スルコト
ロ、宣言ヲ発表シ全国民衆ニ通告シ並東北及上海ニ於ケル日本軍カ完全ニ撤退セザル以前ハ日本側ト如何ナル會議ヲモ開カサルコト
ハ、中日停戦交渉否認ヲ国際連盟ニ電報スルコト
ニ、協定内容カ郭カ本会代表ニ開示シタルモノト相違スルヲ以テ民衆カ郭泰祺ヲ信任シ能ハサル次第ヲ通知スルコト

二、上海停戦協定調印ハ東北義勇軍ノ士氣ヲ沮喪セシムル

虞アルヲ以テ馬占山ニ対シ民衆ノ本協定否認ノ意向ヲ打電シ抵抗継続方各義勇軍ニ伝達ヲ依頼スルコト

三、政府ノ十九路軍解散乃至移駐計画ニ対シ同軍ノ現駐地駐防方ニ付各軍將領ニ依頼ノ通電ヲ發スルコト

四、阿片ノ公売(最近仮国租界ニ於ケル阿片公売、賭博公開セラレ居ルヲ以テ杜月笙等ハ吳鉄城ヲ動カシ南市ニ於テ之カ営業ノ許可ヲ受ケタル事実アリ)遊税引上ニ反対ス

五、全国ヨリ救国基金ヲ募集シ武備ヲ整備ス
北平、奉天、南京、廣東、漢口へ転電シ支へ転報セリ

九日本官何鍵ヲ往訪シテ停戦協定調印ノ次第並ニ本流方面ニ於ケル排日運動緩和ノ模様ヲ縷々説明ノ後当地ニ於ケル該運動尚盛ニシテ抗日会学生等カ依然邦人店舗付近ニ佇立シテ營業ヲ妨害シ居ル事實ヲ指摘シ本協定成立ヲ機トシテ嚴重排日運動取締方ヲ要求シタル處何ハ春秋以來日支關係幾度カ危殆ニ瀕シタルニ拘ラス湖南ノ如キ排外思想濃厚ナル所ニ於テ無事経過スルヲ得タルハ全ク互ニ協力(脱)維持シタル結果ニシテ本日協定成立ヲ見タルハ欣快ニ堪ヘス今後成ルヘク速ニ講和會議ヲ開催シ公平ニ一切ヲ解決シ兩國ノ関係改善セラレン事希望ニ堪ヘスト述ヘ停戦協定ノ成

立ニ依リ取締上便宜ヲ得タレハ右不法行為ヲ取締ルト共ニ漸次排日運動ノ緩和ニ努力スヘシト語レリ

支、北平へ転電アリタシ

支ヨリ南京ニ転報アリタシ

151 昭和7年5月11日

在北平中山書記官より

芳沢外務大臣宛(電報)

市政府の抗日救国会に対する日貨検査停止命

令について

北平 5月11日後着
本省 5月11日後着

第二三三号(暗)

今回市人民政府ハ公安局ヲシテ北平各界抗日救國(会)ニ対シ

「本国商人力各國貨物ヲ運銷シテ通商貿易ヲ為スハ條約ニ明記セラルル所ニシテ東西洋ノ貨物ヲ問ハス皆自由ヲ与ヘ居レリ現下國際交渉嚴重ノ際ハ事々ニ條約ニ從ヒ弁理スルヲ要スルニ付本市抗日救国会ノ日貨検査工作ハ當ニ停止スヘシ」ト発令シタル旨新聞ニ掲載セラレタルカ十日周市長ハ往訪ノ館員ノ質問ニ對シ右ハ事實ニシテ今回中央ヨリ反日工作停止方ノ正式命令ニ接シタル為右發出セル次第ナレ

ハ若シ反日会ニシテ之ニ反抗スレハ直ニ彈圧ヲ加フル筈又右中央ノ命令ハ停戦協定成立ニ伴ヒ恐ラク全国ニ一律ニ通達セラレタルモノナルヘシト答ヘタル趣ナリ

支ヨリ上海ニ転報アリタシ

支、天津、南京、奉天ニ転電セリ

152 昭和7年5月15日

在上海村井總領事より

芳沢外務大臣宛(電報)

上海停戦協定成立後の市況回復の状況について

北平 5月15日前着
本省 5月15日前着

第六七六号

⁽¹⁾停戦協定成立並ニ我軍撤兵ニ依リ当地一般市況ハ逐次回復ニ向ヒツツアル處支那商方面ハ旧年末ノ決済五月末ニ延期セラレタル儘ナルト今次事件ニ依ル損害ノ跡始末容易ニ付カサル際ニテ殊ニ債権債務ノ整理家賃税金保険金等ノ問題並ニ雇傭關係ニ依ル貸銀問題等各方面ニ於テ紛糾ヲ來シ居リ抗日会ノ組織的貨物抑留ハ停止セラレタルモ封存日貨問題モ尚解決セス抗日会ノ改名セル救国会ナル団体又ハ排日

ツツアリ郵船商船大連汽船等船繰リハ事件前通りトナレルモ日本人關係以外積荷無シ殊ニ郵船ニテハ歐米航路船ニ支那向ヶ積荷皆無ナリ

五、輸出入業、紙、砂糖、雜貨類等輸入商ニ対シ支那人顧客ヨリ密カニ小口ノ商談ハアルモ大口ノ取引無シ輸出ニ在リテハ歎カ僅カニ積出サルルニ止マリ他ノ商談無ク会社個人商店共店舗ノ縮小ヲ計リツツアリ業態恢復ニハ尙余白アリト見ラル

六、小売商、旧英租界方面ノ邦商店舗ハ一部開店セルモ支那人顧客ナシ虹口方面ノ邦人相手ノ小売商ハ軍隊ノ増派ニ依リ稍潤ヒタル模様ナルモ陸軍全部撤兵ニ依リ直接ノ影響ヲ受クルハ當然ニテ之等方面ハ行先悲観セラレツツアリ

公使ニ転報シ北平、奉天、天津、青島、南京、漢口、廣東ニ転電セリ

153 昭和7年5月(17)日

安井(源吾)上海居留民團行政委員より

芳沢外務大臣宛(電報)

困窮日本人中小商工業者に対する資金貸与方

請願について

二、各種工業、八ヶ所ノ工場ハ兵火ニ依リ全焼シ他ノ工場モ其所在地方カ戰場トナリ又ハ近接シ居リタル為何レモ多少ノ被害ヲ蒙リ居リ印刷工場ノ外ハ急速復活困難ナルモノ多キ模様ナリ

三、銀行業、支那人トノ取引ハ未タ開始セラレス邦商ノ輸出入モ活発ナラサル為引続キ閑散ナリ

四、船舶業、日清汽船ハ繫船十八隻長江航路ハ外務省儲船二隻海軍御用船一隻丈ヶ就航シ月八、九回ノ往復ヲ為スモ支那人船客積荷共皆無沿岸航路ハ南北各二隻宛就航シ

各界連合議国会の動靜について

上海

上海居留民團行政委員

天津 5月18日後發
本省

會長代理 安井源吾

卷之三

但単機定、ノ謂曰、ノ是久々今日時局ノ和好轉、ノ而二月五日ノ、ノ徐々ニ復活セントスルノ徵候認メラルルニ至ル此ノ時ニ當

各界連合懇親会ハ十六日日暮橋會館二十級（人員百名）ニ
糾合シ正ニ出發セシメントスル際公安局ノ為制止セラレタ
前同ニモニ公ニハ更ニ失也、日復夕フ見ナノ良ノ日進作（ドコ）

疲弊困憊其ノ極ニ達シ居リテ折角ノ此ノ好機会ニ復活スヘキ資力ト氣力トヲ欠如セリ而カモ排日運動ノ終帰迄ニハ尙幾多ノ難関ト時間トヲ要スヘシ若シ此ノ儘ニ放置セハ永年築キ上ケタル商工業上ノ地盤ハ遂ニ根底ヨリ覆サレ再ヒ起

卷之三

ノ貸下ヲ為シ以テ之カ復活ヲ計ルハ最大ノ急務ナリト思考

モ此ノ祭特ニ貴下ヲ頬ハシ右頬ノ趣旨ノ貫徹ヲ期シ度シ可

卒特別ノ御配慮ヲ御願ヒス

54
昭和7年5月8日 在天津桑島總領事より

一切の抗日運動禁止申入れ方金曜会の講演は
ついて

15 昭和7年5月1日

在天津桑島總領事より
芳沢外務大臣宛（電報）

付記
五月二十日付吉田政治上海商工會議所金曜会代表
より在上海重光公使、在上海村井總領事他宛
右請願書

二於テモ充分注意交渉經過其他殊更ニ宣伝スルコトナク実効ヲ収ムルコトヲ心懸クル要アル旨申聞ケリ

第七〇〇号（暗）

拜啓 益々御隆昌奉賀候

排日運動対策研究ノ為商工会議所其他ノ同業組合ヨリ成ル
金曜会ニ於テハ停戦協定成立派遣軍引揚ノ機会ヲ捉ヘテ一
月二十八日吳市長ノ約束ヲ履行シ排日運動取締励行方中國
官憲ヘ再応申入レアリ度キ旨公使、商務參事官並ニ本官ヘ
請願スルコトナリ同会代表者商工会議所副会頭吉田政治
外二名右趣旨ノ請願書ヲ携ヘ二十日當館ニ出頭今回ノ請願
ハ事件前ト異ナリ建設的ナリ即チ今回ハ形式ノ如何ヲ問ハ
ス中國官憲ノ事実上不法行為ノ文書ヲ勘定ノ吳ノ商民カラ署

陳者当地最近ノ状態ハ已ニ停戦協定成立シ派遣軍總引揚ヲ
見ルニ至リタルモ反日氣勢ハ一向緩和ノ兆ナク寧ロ事變前
ヨリ悪化セルモノ有之候 就テハ曩ニ上海市長吳鉄城氏ノ
約諾シタル排日取締ヲ徹底セシメ此際両国民ノ緩和接洽ヲ
計ルコト緊要ト認メ當所内金曜会ニ於テ別紙写ノ通り当地
帝国官憲ニ請願致候間何卒目的達成方御配慮賜ハリ度此段
御通知旁々得貴意申候

昭和七年五月二十日

トナル可ク自分等ニ於テモ極力努力スヘキモ官憲側ニ於テ

モ尽力アリ度キ述ヘタルニ付拂日運動取締要求ニ付元ハ

当方ニ於テモ考慮中ニシテ孰レ機ヲ見テ可然方法ニ依リ支那側ニ申入ル所存ナルカ唯中国政府対内的關係複雜シ居

日本工商會議所 御中

ノ総引揚ヶヲ見ルニ至リタリト雖モ、一般事態ハ毫モ緩和セズ、日支間通商ハ依然トシテ梗塞シ、殆ド絶望ノ姿ニアリ、各種ノ抗日運動ハ今尚一般商民ヲ恐怖セシメ、現ニ邦人通行者ノ被害ノ如キモ頻々トシテ熄マズ、交戦終熄シテ既ニ二個月余トナルモ居留邦人ハ戦争行為ト異ルナキ抗日運動ノタメニ引続キ多大ノ危険ト困難ニ遭遇シ、反日氣勢ハ寧ロ事變以前ヨリモ悪化セルモノアリ。

斯ノ如キ事態ノ存続ハ支那側ノ国内政争或ハ金融窮迫等ノ事情ニ基因スル所歟カラズト雖モ、其根本原因ハ支那官憲ガ不法ナル排日行為ヲ徹底的ニ禁止スルノ擧ニ出デズ、又両国民ノ和平通商ヲ真ニ誘導打開セントスルノ誠意ナキガタメト謂ハザルベカラズ。

曩ニ一月廿八日吳市長ハ、我ガ總領事ニ対シ、抗日運動ノ取締リヲ確約シタリ、當時上海ノ事態ハ市長ノ約言履行ヲ許サザリシナランモ、今ヤ已ニ停戦協定確立シ、帝国政府ハ派遣軍ノ急遽総引揚ヶヲ断行シ、一意和平ノ復旧ニ努メントセルニ鑑ミルモ、支那官憲ハ此機ヲ逸セズ断乎トシテ一切ノ抗日運動ノ禁止ヲ即行スペク寸刻ヲ争フベキ時ナリ、我居留民ガ支那側民間ト交渉協力シ、以テ打開ノ策ヲルコト

易所ニ於ケル対日本人取引ノ自由

- (2) 昨年抗日会ガ発シタル各國商業會議所宛ノ日貨、日本船舶及ビ邦人埠頭忌避ノ通告ヲ取消サシムルコト
(3) 支那新聞ニ日貨或ハ日本人ノ廣告掲載ヲ自由ナラシムルコト

右請願ス。

昭和七年五月二十日

上海日本商工會議所内

金曜会代表 吉田 政治

^(マ) 在特命全權公使

重光 葵 殿

在上海帝国總領事

村井倉松殿

上海駐在商務參事官

横竹平太郎 殿

昭和七年五月二十一日

在廈門三浦領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

上海停戦協定成立後の排日状況について

廈門 5月21日後発
本省 5月21日後着

第二七五号(暗)
往電第一三九号ニ関シ

講ズベキハ勿論ナリト雖モ、帝國官憲ニ於テモ此際支那当局ニ向ツテ吳市長ノ約言履行ヲ迫リ、具体的ニ抗日運動ノ取締リヲ励行セシメ以テ一日モ速カニ正常状態ノ復帰ヲ計支那側ニ交渉要求シテ、左記事項ヲ貫徹セラレン事ヲ切望ス。
依ツテ吾人ハ此際我ガ公使、總領事、商務官等在支官憲ガルベキモノト信ズ。

支那側ニ交渉要求シテ、左記事項ヲ貫徹セラレン事ヲ切望ス。

一、一切ノ抗日運動ノ禁止

(1) 抗日ヲ目的トスル諸団体ノ解散

(2) 抗日記事並ニ抗日的廣告商標等ノ禁止

(3) 日貨取扱商人或ハ邦商使用支那人ニ對スル脅迫行為及び支那人ノ雇傭セル邦人ニ對スル圧迫ノ取締

(4) 抗日的教育ノ禁止

(5) 抗日運動取締令ノ布告並ニ民国十八年公布ノ人権保障令ノ施行

二、和平通商ノ復興

(1) 封存並ニ抑留日貨ノ解放

(2) 日本人トノ既存契約ノ尊重

(3) 紗布交易所ニ於ケル邦人紡績製品工場ノ復活並ニ各交

(1) 支那地界ニ於ケル日本人ノ通行並ニ日貨運搬ヲ安全ナラシムルコト

(2) 昭和七年五月二十日

(3) 上海日本商工會議所内

(4) 金曜会代表 吉田 政治

(5) ^(マ) 在特命全權公使

(6) 重光 葵 殿

(7) 在上海帝国總領事

(8) 村井倉松殿

(9) 上海駐在商務參事官

(10) 横竹平太郎 殿

(11) 昭和七年五月二十一日

(12) 在廈門三浦領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

(13) 兹ニ於テ抗日会ニ於テモ之カ対抗策ヲ廻ラシ之カ為党部

主席王錚民ハ辞職ノ余儀無キニ至リタルカ旧反日会側ニ於テハ更ニ十八日陳其美殉難紀念会ニ於テ一氣ニ改組問題ヲ解決セント計画セル処抗日会ニ於テモ之ヲ察知シ当日ハ例ニ無ク張聖才以下多数ノ幹部出席シ異常ノ緊張振ヲ示セルカ当日ノ紛糾ヲ予想シテ特ニ多数派遣セラレタル警官隊ニ阻止セラレ僅ニ事無キヲ得タリ

(3) 一方共産軍入滬當時抗日会内ニ張聖才ヲ始メ共産的色彩ヲ有スル建築公会モアリ同軍ニ於テ之ヲ利用スルコト無キヤヲ惧レラレ實際張モ同軍ノ規律厳正ナリトノ噂ニ依リ其ノ主義ニモ深ク共鳴スル所アリト伝ヘラレ居リタルカ其ノ後時日ノ経過ニ連レ其ノ暴逆行為ハ彼ノ期待ヲ裏切り且公安局長ヨリハ彼ノ岳父許春草ヲ通シ懇談的(或ハ威嚇的)ニ治安維持ニ対スル協力ヲ求メラレ活動停止ノ余儀無キニ至リタル上自己從来ノ裏面的行為ニ顧ミ身辺ノ危険ヲ感シ引退セントノ意向ナリシモ從来抗日会トノ関係乃至面子ノ上ヨリ今更俄ニ退クコトモナラス進退兩難ニ陥レリ

(4) 然ルニ工界反日会ヨリハ前記ノ通非難攻撃ノ矢ヲ向ケラレ已ムヲ得ス最近折々日貨ノ沒収罰金ノ賦課等ヲ決議シ

主席王錚民ハ辞職ノ余儀無キニ至リタルカ旧反日会側ニ於テハ更ニ十八日陳其美殉難紀念会ニ於テ一氣ニ改組問題ヲ解決セント計画セル処抗日会ニ於テモ之ヲ察知シ当日ハ例ニ無ク張聖才以下多数ノ幹部出席シ異常ノ緊張振ヲ示セルカ当日ノ紛糾ヲ予想シテ特ニ多数派遣セラレタル警官隊ニ阻止セラレ僅ニ事無キヲ得タリ

(3) 一方共産軍入滬當時抗日会内ニ張聖才ヲ始メ共産的色彩ヲ有スル建築公会モアリ同軍ニ於テ之ヲ利用スルコト無キヤヲ惧レラレ實際張モ同軍ノ規律厳正ナリトノ噂ニ依リ其ノ主義ニモ深ク共鳴スル所アリト伝ヘラレ居リタルカ其ノ後時日ノ経過ニ連レ其ノ暴逆行為ハ彼ノ期待ヲ裏切り且公安局長ヨリハ彼ノ岳父許春草ヲ通シ懇談的(或ハ威嚇的)ニ治安維持ニ対スル協力ヲ求メラレ活動停止ノ余儀無キニ至リタル上自己從来ノ裏面的行為ニ顧ミ身辺ノ危険ヲ感シ引退セントノ意向ナリシモ從来抗日会トノ関係乃至面子ノ上ヨリ今更俄ニ退クコトモナラス進退兩難ニ陥レリ

(4) 然ルニ工界反日会ヨリハ前記ノ通非難攻撃ノ矢ヲ向ケラレ已ムヲ得ス最近折々日貨ノ沒収罰金ノ賦課等ヲ決議シ

居レルカ張トシテハ既ニ之以上積極的行動ニ出ツルノ意向無ク又反日会側トシテモ抗日会ヲ切崩セハ足ルモノニシテ自ラ之ニ代ツテ更ニ活発ナル行動ニ出テントノ野心モ無キカ如キニ付抗日運動モ此ノ際些シテ悪化スルカ如キコト無カルヘシト観測セラル

公使、上海、南京、北平、奉天、廣東、福州、汕頭へ転電セリ

157 昭和7年5月23日 在漢口坂根總領事より

芳沢外務大臣宛(電報)

夏斗寅主席らの排日運動取締り状況などについて

第三七七号(暗)
漢口 5月23日後発
本省 5月23日後着

当地治安ノ第一責任者タル何成濬始メ夏斗寅及徐源泉等ハ平素本官ト頗ル親密ノ間柄ニ在ル關係モアリテ最近ノ時局重大ノ際ニモ常ニ当地方ニ於ケル日支關係ニ深ク考慮ヲ払ヒ三者共克ク本官ト連絡ヲ保チテ出来得ル限り事端ヲ發生セサル様當方ト協力努力シ來レル次第ハ屢次ノ電報ニ依リ

御承知ノ通ナルカ蔣介石直系タル夏斗寅ハ本年四月迄武漢警備司令トシテ蔣ノ意ヲ体シ何成濬徐源泉ト協力シ事件ヲ当地ニ波及センメザリン功劳ニ依リ今次省政府主席ニ任せラルニ至リタリト伝ヘラレ居リ(楊貴一夏斗寅及楊芳ハ李金波徐源泉及公安局ハ周德仁市政府側ハ李博仁ヲ使用シ居レルカ何レモ日本語ニ堪能ナル本邦留学生出身ナリ)一方又省政府ノ改組ニ伴フ綏靖公署警備司令部市政府公安局等責任者及重要職員ノ更迭ニ当リテモ右三者相談ノ上特ニ日本側トノ關係ヲ考慮シ日本側ノ氣受ケ良キ人物ヲ配シタルハ見遁スコト能ハサル事實ニシテ更ニ當方トノ日常連絡ノ為特ニ何成濬ハ(脱)新警備司令楊芳モ最近迄夏斗寅ノ許ニ參謀長タリシ關係上克ク夏ノ意ヲ体シテ日本側ニ對スル協調ニ努メ居ル誠意ヲ認ムヘク楊貴一モ綏靖公署參謀長トシテ各機關ヲ督励シ民衆ノ反日運動殊ニ日支人間ノ取引關係ニテ表面ニ現ハレタル妨害等ハ自發的ニ取締ルコトトシ居リ其ノ結果支那側各機關共相當嚴重ニ取締ノ手ヲ加フルノ態度ヲ示スニ至リ警備司令ニ於テ最近党部其ノ他工人救国会等ノ目ニ余ル不良分子ニ対シテハ仮借無ク处罚ヲ加ヘタル事実モアリ之カ結果トシテ砂糖小麦粉綿糸布

事項5 中国およびその他各地における排日状況

158 昭和7年5月26日 在漢口坂根總領事より
斎藤外務大臣宛(電報)

銀行公会側の対日取引拒絶緩和方省政府に申入れについて

漢口 5月26日後発
本省 5月26日後着

第三八八号(暗)

当地日支人間商業取引小規模ナカラ目下着々回復ノ一途ヲ
辿リ居ルコト既電ノ通リナル処獨り銀行公会側ノ対日取引
拒絶ノ申合今以テ緩和セラレサル為代金取立其他ニ不便甚
シキ趣ヲ以テ本邦人商社ヨリ本官ノ助力ヲ願出テタルニ付

昨二十五日高井ヲ省政府ニ派シ夏斗寅ニ会见セシメタル上

上海事件モ全ク解決ヲ見タル今日銀行業者ノミ依然トシテ

此種態度ヲ統ケ居ルハ甚タ了解ニ苦シムノミナラス日支人

双方ノ蒙ル損失少シトセス依テ此際夏主席ヨリ進テ銀行公

会側ノ主ナルモノニ対シ日本側ト取引スヘシト勧誘セラル

ルコト迄ハ御願シ難シトスルモ切メテ各銀行ニ於テ右取引

ヲ開始スル場合脅迫等ニ依リ之ヲ阻止セントスルカ如キモ

ノアラハ當局ニ於テモ断シテ仮借セサルヘキ旨充分一般ニ

徹底セシムル様至急取計ラハレタシト懇談シタルニ夏ハ右

ハ誠ニ御尤モナル御申出ナリト答へ就テハ近ク明令ヲ發シ
テ極力貴意ニ副フ様手配スヘシト約束シタル趣ナリ果シ
テ如何ナル程度迄真ニ改善ヲ見得ヘキヤ疑問ナルモ不取
敢

支、北平、南京、天津、廣東、濟南、長沙へ轉電シ、宜
昌、九江へ暗送セリ

159 昭和7年5月29日 ※在漢口坂根總領事より
斎藤外務大臣宛(電報)

学生抗日救国会の解散など長沙における取締
振りについて

漢口 5月29日後発
本省 5月29日後着

第三九六号(暗)

長沙発本官宛電報

第五六号

外務大臣へ轉電アリタシ

第五一号

何鍵ハ二十五日夜教育庁長ヲシテ各公私學校長ニ対シ学生
抗日救国会カ全市学生ヲ招集シ任意日貨ノ検査ヲ行フハ愛

支、北平、南京へ轉電アリタシ

160 昭和7年5月29日 在廣東須磨總領事代理より
斎藤外務大臣宛(電報)

十九路軍戦死者の追悼会開催について

廣東 5月29日後発
本省 5月29日後着

第四三七号(暗)

十九路軍戦死者ノ追悼会ハ二十八日正午ヨリ挙行セラレタ
ルカ鄧沢如、鄒魯等要人ヲ始メ党、政、軍各界代表等数千
名參集、司祭者譚啓秀ノ報告、鄒魯ノ演説、譚及陳濟棠ノ
祭文朗誦等アリ例ニ依リ十九路軍ノ戰功ヲ称ヘ永久抗日ヲ
主張シ極メテ盛会ナリシ由ナリ

北平ヨリ天津へ轉電アリ度シ

支、北平、奉天、濟南、青島、漢口、南京、廈門、福州、
汕頭ニ轉電シ香港ニ暗送セリ

支ヨリ上海へ轉電アリ度シ

優柔不断ノ何鍵ニ似ス今回ノ处置ハ抗日会ノ横暴如何ニ深

刻ナルカヲ示シ執拗ナル当地抗日運動モ漢口地方緩和ト共
ニ漸次緩和スル事ト思考セラル

事項5 中国およびその他各地における排日状況

廈門 5月29日後発
本省 5月29日後着

第二九二号（暗）
本官発台湾総督宛電報

第一七号（極秘）

三月十五日付貴府へ送致シタル福州ニ於ケル水戸訓導殺害犯人洪進玉ノ共犯者砂魚事張根ハ最近当地ニ入込ミ拳銃ヲ携帶シ無頼漢ノ間ヲ往来シ水戸訓導ヲ殺シタルハ自分ナリトテ国交上甚々危険ナル自己宣伝ヲ為シ居ルニ付五月廿九日之ヲ逮捕シタリ令状発布囁託相成ト共ニ身柄受領員派遣アリタク何分ノ御回電ヲ請フ

大臣、支、福州へ転電セリ

162 昭和7年5月31日 在漢口坂根總領事より 斎藤外務大臣宛（電報）

武穴における対日感情好転の情報について

漢口 5月31日前發
本省 5月31日後着

第四〇二号（暗）

最近武穴ニ麻買付ノ為赴ケル当地邦人麻輸出組合員數名ハ

バンコク 6月1日後発
本省 6月1日後着

第五一号（暗）

当地華僑「ボイコット」ハ最近漸次下火トナリツツアルヤニ観察セラレ居タル処先月末ヨリ俄然再燃ノ徵アリ有力紹布商中心トナリテ二十七日一味ノ会合ヲ催シ排日勵行ノ決

163 昭和7年6月1日 在シャム國矢田部公使より 斎藤外務大臣宛（電報）

華僑による排日ボイコット再燃の状況について

支、北平、南京、九江へ転電セリ
人モ極メテ好感ヲ以テ迎ヘタルノミナラス反日「ボスター」類モ殆ト其ノ跡ヲ絶タル有様ナルニ付組合員ハ夫々來月ヨリ店員ヲ同地ニ常置スル計画ナル旨届出アリタリ御参考迄

議ヲ為シ二十九日組合員ニ印刷物ヲ配布シテ日貨抵制ノ勵行ヲ期スルト共ニ印度商人ノ日貨取扱ヲモ抑制スルノ擧ニ

出テントスル旨聞込アリタルニ付本使ハ直ニ外務大臣ニ面会シ嚴重取締方ヲ要求シ尚警察首腦部ノ注意ヲモ喚起シ置ケルカ右運動ノ内容ハ未タ明カナラサルモ主要雜貨ニ迄波及スル危険ナシトセス事態樂觀ヲ許ササルモノアリ或ハ支那方面ヨリ煽動者ノ潛入シタルコトナシテセス運動ノ背景乃至首謀者ニ就キ突止メノ為調査スルト共ニ極力対策攻究中ナルモ右不取敢

支へ転電シ、新嘉坡、西貢、「バタヴィア」、「スラバヤ」、「メダン」へ暗送セリ

外務大臣子爵 斎藤 実殿

排日ニ関スル行政院密令ニ関スル件

四月九日付貴大臣発在奉天森島總領事代理宛亞一機密合第三三四号ニ閲シテハ客月十日付在哈爾賓長岡總領事代理発在奉天森島總領事代理宛機密第一〇〇号ヲ以テ本使宛交付方申越アリタルニ付本月二日林出書記官ヨリ調査委員隨員「モス」總領事ニ行政院密令ノ原本ヲ示シ写真（撮影ノ際東省特別区行政長官公署ノ字句ヲ紙片ニテ掩ヒ置キタリ）ト比較セシメタル上別紙甲号（省略）「リットン」卿宛本使書翰前記写真右原文ノ写（別紙乙号）及仮訳文（別紙丙号）ト共ニ手交シ置キタル処其ノ後「モス」ハ本使ニ対シ左ノ通語リタリ

余「（モス）」ハ即刻「リットン」卿ニ付属書ト共ニ書翰提出シタルカ其ノ節同卿ニ対シ中華民国及国民党ノ組織ハ今日排日ヲナシ居レルモ何カノ事故ノ為ニ一度「スキッチ」ヲ動カセハ一切ノ仕掛けハ反英運動トモナルヘク甚々危険ナリト述ヘ置キタリ

右報告ス

連盟支那調査委員参与委員
特命全權大使 吉田伊三郎

164 昭和7年6月3日 吉田（伊三郎）連盟調査委員参与委員
斎藤外務大臣宛

排日に関する行政院密令について

付属書 中華民国二十年九月二十五日付密令

機密支調参与第一一九号

昭和七年六月三日

本信互送付先 公使 北平 哈爾賓 奉天 天津 長春

連盟事務局長

(付属書)

別紙乙号

- 甲、指導
- 各級党部應指導當地原有之民衆團體組織反日救國會
 - 各地反日救國會應斟酌當地情形擬訂實際行運計画商
 - 承當地高級党部之允許後努力實行

行政院密令字第四八五二号
令
為抄發各級党部指導反日救國行動工作綱要仰密飭

所属知照由

行政院密令字第四八五二号
令

為密令事現准国民政府文官處第七八六三号函開逕密啓者頃

准中央執行委員會秘書處特字第九四一号密函開茲經中央制定各級党部指導反日救國行動工作綱要除電令頒行外特抄同全文函達即希查照轉陳密飭各省市政府知照為荷等由付工作綱要一份准此經即轉陳奉主席諭密交行政院照弁等因除函復外相應抄同原工作綱要密達查照即希迅予弁理等由准此除已先行電達並函復外合行抄發原件令仰知照並密飭所屬一体知照此令

計抄發各級党部指導反日救國行動工作綱要一份

中華民国二十年九月二十五日

院長 蔣中正

各級党部指導反日救國行動工作綱要

高級党部密令頒發之
二、各地宣傳隊應編製劇本組織新劇團及化裝演講隊描寫日本在華暴行以喚起人民之注意
丁、通訊

一、各級党部及反日救國會應特設一通訊組負通訊之責
二、各地通訊組應負責將該地工作情形隨時報告上級党部
三、通訊組應將各地反日消息彙編新聞發表喚起民衆之注意

165 昭和7年6月7日 在上海重光公使より
斎藤外務大臣宛(電報)

排日運動取締に關する吳鉄城との会談につい
て

上海 6月7日後発
本省 6月7日後着

往電第九二六号ニ関シ
第九三六号(暗)

七日前船津吳鉄城ヲ訪ヒ右往電ノ趣旨ヲ述ヘタル処吳ハ
排日禁止ニ關シテハ自分ハ一月二十八日總領事ニ言明セル
如ク參加抗日団体ノ解散ヲ命シタルカ現ニ此種結合体ハ存

在セサル次第ニシテ御話ノ如ク現ニ租界内ニ於テ新聞紙上ニ排日ヲ宣伝シ居ル者アル模様ナルカ右ハ一派ノ國家社會主義者カ南京政府ノ政策ヲ妨害スル為運動シ居ル者ニテ當局トシテ之カ取締ノ必要ヲ認メ居ル次第ナリト答ヘタルニ付船津ヨリ現ニ中國商人力紡績等ニ品物ヲ注文スル者アレハ之ニ對シ何者カ匿名ニテ脅迫状ヲ寄セル者アリ之カ為自由ニ取引シ得サル事情ナレハ之ニ對シテモ適當ノ取締方法ヲ講セラレタシト述ヘタルニ吳ハ右ノ如キ秘密運動ハ取締頗ル困難ナルモ出來得ル丈ヶ取締ルヘシト云ヘリ依テ船津ヨリ邦人側ニ於テハ種々意見アルモナルヘク中國側ヲ刺戟セサル様自重ヲ勧メ居リ當局ヘノ陳情ノ如キモ一切新聞等ニ發表セサルコトト為シ居ル次第ナレハ吳市長ニ於テモ此上トモ充分取締ラレタシト希望シタルニ吳ハ右邦人側ノ態度ハ今後モ同様維持セラレタク御互ニ空氣ヲ良クスル為両國民ノ接觸ヲ計リタント述ヘタル趣ナリ尚其節吳ハ空氣ノ改善ノ為ニハ滿州問題ノ解決必要ナルコト勿論ナルカ之ハ自分ノ仕事ニ非ス自分トシテハ上海ノ閔スル限り排日ヲ無クスルコトニ努力スル考ヘナリト述ヘ且日本陸軍カ案外速ニ全部撤退セルコトハ南京政府ニ於テモ好感ヲ以テ之

- 四、各地反日救國會活動時對於日本商店及日人不能搗毀
作 殴擊
- 乙、調查
- 一、各級党部暨各地反日救國會應嚴密組織日本在華工廠洋行公司各地領館及其他機關服務之中國員工偵察日人一切行動及其詭謀隨時密報
- 二、各級党部暨各地反日救國會應指派幹員成立秘密調查團體偵察消息並注意當地日本人行動及其他特務工作
- 三、擔任調查工作之人員於各種集會時負糾察責任並嚴緝奸細

丙、宣伝

一、各級党部暨各地反日救國會與各民衆團體應組織宣伝隊輪流分發演講及散發宣傳品其宣傳大綱或要点由當地

事項5 中国およびその他各地における排日状況

遣ヲ命スルト共ニ目下同地ニアル堅田ニ宜昌行ヲ発令シタルカ当分此ノ上ノ大事ニハ至ラサルヘキヤニ察セラル
尚海軍側ニ於テハ将来適当ノ時期ニ堅田若クハ保津ヲシテ重ネテ重慶ニ遡航セシムルコトトナルモノノ如シ御参考迄
支、北平、南京、天津、青島、廣東、宜昌へ転電セリ

169 昭和7年6月13日 在上海村井總領事より 斎藤外務大臣宛（電報）

抗日陣没將士罹災同胞の追悼大会開催状況に
ついて

上海 6月13日後発 本省 6月13日後着

第七五四号

当地各種団体等主催ノ「抗日陣没將士罹災同胞の追悼大會」ハ十二日午前十時ヨリ共同租界内北蘇州路ノ上海市商會内ニ於テ開催蔡廷鑑及十九路軍師長、旅長初メ当地官民有力者及各団体ノ代表等約一千余名ノ來会アリ儀式型ノ如ク主席王曉籲及蔡廷鑑等ノ弔辞並ニ演説アリ十一時半無事散会セリ

第一三七号（暗）

本省 6月14日後着

十三日方声濤ニ面会其ノ後廈門情報ニ依レハ第六十一師毛師長來着ノ際モ余程注意セル模様ナルカ当地ハ廈門ト異リ十九路軍一部來駐スルコトニモアリ又省政府省黨部更ニ綏靖公署ヲ加ヘ政治的ニ複雜ナルコト廈門林司令ノ獨天下ノ比ニ非サルニ付テハ万一同軍來駐ノ為反日禁遏取極ヲ無視シ人心ヲ動搖シテ事態逆転スルカ如キコトアリテハ双方ノ為不幸ニシテ万遺漏無キ様善処方要望セルニ對シ方ハ何時ニ無キシンミリトセル調子ニテ我方ノ意ハ十二分ニ了解セリ上海事件モ全ク十九路軍アリン為誤解ニ依リ大事ニ至リタル訳ナルモ一日事件ニテ当地モ略同様ノ危険ニ瀕セル際貴官ノ冷靜機宜ノ措置ニテ無事解決ヲ見大事ニ至ラシリハ当地上下官民一般ニ徳トセル所ナルヲ以テ（素ヨリ世辞ニハ相異無キモ上海事件ノ為幾分ハ斯ル買被リノ印象ヲ与ヘタルモノノ如ク英米領事モ同様ノコトヲ各階級支那人ヨリ聞クト言ヘリ之カ為本官ハ相當苦境ニ立ツモノト予期セル水戸事件モ案外無事ニ経過セリ）友人トシテモ決シテ此ノ好意ニ反スルカ如キコト無キ様善処スヘク反日取締取組

171 昭和7年6月15日 在シャム国矢田部公使より 斎藤外務大臣宛（電報）

シャム政府の排日貨運動に対する取締状況について

バンコク 6月15日後発 本省 6月15日後着

第五三三号（暗）
（六三文書）
往電第五一号ニ閲シ

当日ハ共同租界工部局警察ニ於テ会場付近ヲ嚴重警戒シ入場者ヲ查察シタルカ仮租界ニ於テハ支那街境界トノ鐵門ヲ閉鎖スル等取締ヲ嚴ニシ居タリ
他方南市ノ公共体育场ニ於テモ同種ノ追悼大会挙行ノ筈ナリシモ公安局ハ共産党员等ノ不穏計画ヲ慮リテ主催者タル團体カ社会局ニ未登録ナルヲ理由トシ開会ヲ許サス十一日夜ヨリ南市一帯ニ臨時戒厳令ヲ布キテ武装巡警ヲ多数配備シ警戒セルカ当日学生及労働者風ノモノ数百名降雨ヲ冒シテ会場ニ押掛け伝單ノ散布等ヲ為シタル由ナルカ公安局巡警ニ彈圧セラレ解散シ事ナキヲ得タル趣ナリ
尚当日支那商店ハ多ク半旗ヲ掲ケ「抗日ヲ統ケ復讐ヲ計レ」等ノ標語ヲ記セル「ポスター」ヲ店頭ニ貼り出セルモノアリ
支ヘ転報シ北平、奉天、南京へ転電セリ

170 昭和7年6月14日 在福州田村總領事より 斎藤外務大臣宛（電報）

十九路軍來駐に鑑み排日取締方方声濤に申入れについて

福州 6月14日後発

閩ニ依リ此ノ種運動ノ激化スヘキヲ憂慮シ逡巡勝ナルハ
明ニ看取シ得ル所ナルヲ以テ抗日会ニ於テモ此ノ機ヲ利
用シ対日經濟絶交ノ徹底ヲ期スヘク六月十五日協議ノ結
果所謂拡大抗日計画トシテ(一)廿一日ヨリ向フ二週間内ニ
各商店ハ抗日会ノ經濟絶交計画ヲ遵守スヘキ旨ヲ刻セル
看板ヲ掲タルコト(二)民衆ハ前記看板ヲ掲ケサル商店ト取
引スヘカラサルコト(三)日本ヨリノ荷役ヲ禁止スルコト
右各項ニ反セル者ハ嚴罰ニ処スヘキ旨ヲ決議シ之ニ詳細
ナル理由ヲ付シ二十日各商店ニ通告セリ

四、尚之ヨリ先抗日会ハ二十日没収日貨ヲ一律焼却スヘキ
旨発表シ荷主立会ヲ求メタルカ当日之ニ応スル者無ク又
官憲側ノ制止モアリタリトカニテ新聞記者幹部五人等ニ
対シ都合ニ依リ海中ニ投スヘシトテ「トラック」ニテ禾
山方面ニ運ヒ去リタル事實アリ右ニ付張聖才カ昵懇者
(当館諜報者)ニ漏シタル所ニ依レハ約五千元ニ達スル
没収日貨ノ多數ハ抗日会幹部ノ手ニ依リ抜取ラレタル處
今更其ノ事實ヲ被フ能ハサルニ至リタル結果帳簿ト辻證
ヲ合セ表面ヲ糊塗スルノ底意ニ出テタルモノナル由ナル
カアワヨクハ之ニ依リ抗日氣勢ヲモ煽ラントシタル虫ノ

良キ計画ハ見事失敗ニ帰シ当初ノ宣伝振ニ似ス新聞記事
ニモ現ハレスニ終レリ

五、然ルニ抗日会トシテハ十九路軍ノ入閩カ商民ニ対シシ今
尚疑惧ノ念ヲ与ヘ居ルノミナラス同会ノ活動ヲ刷新スル
上ニ於テ唯一無二ノ好機会ト観ルノ外無ク又此ノ際相当
ノ活動ヲ為サレハ全然其ノ立場ヲ失フヘキヲ以テ前記
拡大抗日計画ヲ中心トシテ或ル程度ノ迂余曲折ハ有之ル
ヤモ計ラレス張聖才ノ如キモ内心ハ兎モ角表面ハ毛ノ如
キ師長輩ノ言動ハ問題トスルニ足ラス蔡軍長ノ來夏ヲ待
テ活動ヲ開始スヘシト敦園キ居ル由ナルカ今日迄ノ處往
電第三二〇号ノ観測ヲ変更スヘキ新事態ヲ發見セス
支、北平、上海、南京、福州、汕頭、廣東、奉天、漢口ヘ
転電セリ

173 昭和7年6月27日 在廈門三浦領事より
斎藤外務大臣宛(電報)
抗日團幹部に対する林公安局長の諭告について

本部及各指導者ト覺シキ者ノ私宅ニ手ヲ入レ日貨抵制盛返
シノ出足ヲ挫キタル為綿布商ノミナラス雜貨商ノ結束モ頓
ニ乱レ排日ハ却テ之ヲ転機トシテ崩壊スル形勢ニ有ルモノ
ノ如ク目下ノ處特殊事態ノ發生セサル限り漸次鎮静ニ帰ス
ヘキヤニ想像セラル尚警視長官自身今次取締ニハ特ニ意氣
込ミ居ル模様ナルカ其言ニ依レハ支那方面ヨリ煽動者ノ潛
入セル形跡無シトノ事ニシテ結局華商相互間ノ嫉妬輒轍カ
今回事件ノ主因ナルヤニ認メラル委細公信
支へ転電シ、新嘉坡、西貢、「バタヴィア」、「スラバヤ」、
「メダン」へ暗送セリ

172 昭和7年6月26日 在廈門三浦領事より
斎藤外務大臣宛(電報)
抗日運動と十九路軍との関係について

第三三三号(暗)
抗日運動近況ト十九路軍トノ関係左ノ通御参考迄
本省 6月26日後着 厦門 6月26日後着

一、往電第二七五号抗日会反日会間ノ紛争ハ累々党部ニ及
ホシ省党部ハ六月七日整理委員ヲ派シ当地党部職員全部

二、然ルニ台灣人名義隆裕洋行(実ハ支那人經營)ナルモ
ノ排貨ノ緩和ヲ見越シ相當多量ノ日本綿布ヲ輸入シタル
ニ対シ予テ籍民商人ノ火事泥の収益ヲ嫉視スル同業者ヨ
リ抗日会ヲ小突キタル為同会ハ六月一日之力検査ニ赴キ
タルモ隆裕ハ籍民ノ故ヲ以テ断然之ヲ拒絶セルノミナラ
ス其ノ後ノ呼出ニモ応セス依テ抗日会ハ余儀無ク同店ニ
対シ経済絶交ヲ各店ニ通告セルモ本来抗日会ニ反感ヲ有
スル商人側ニ於テハ在来ノ排日運動ノ場合ト異リ同会ノ
手モ遂ニ籍民ニ及フ能ハストノ非難ヲ浴スルニ至レリ

三、茲ニ於テカ抗日会ハ所謂抗日ノ神十九路軍ノ來夏ヲ待
構ヘ居タル次第ナルカ毛六十一師長ノ態度ハ案ニ相異ス
ルモノアリ彼等ノ落胆セルコト往電第三一九号ノ通ナル
處彼等トシテハ毛ノ態度ヲ以テ直ニ十九路軍全体ノ態度
ト断シ能ハサルヘク且又一面ニ於テ一般商人カ同軍ノ入

ヲ罷免セルカ其ノ後何等進行ヲ見サルノミナラス多数党
員公然之ニ反対シツツアリ一方商人側ニ於テハ金融極度
ニ逼迫ノ折柄排日団体ノ足並揃ハサルニ乘シ五月三十一
日封存日貨処分ニ関スル具体案ヲ抗日会ニ提議セリ(拙
信機密第二二六号参照)

十九路軍移駐後の蘇州の状況について

蘇州 7月9日後発

本省 7月10日前着

⁽¹⁾ 第一八号（暗）
本官帰任後ノ当地状況左ノ如シ

一、当地ニ残留中ノ十九路軍モ全部出発シ一般市民ハ五ヶ月振りニ日本人ノ面容ニ接シタルコトトテ何トナク親シ氣ニ迎ヘ中ニハ態々來訪シテ久闊ヲ叙スルモノアリ話題ハ孰レモ上海ノ戰局ニ向ケラレ居ル處戦果ヲ云々スルモノハ支那側ノ宣伝ニ魅セラレ日本軍ノ敗退ヲ信シ居ルモノ或ハ勝敗五分五分説等主張スルモノアルモ（日本軍優勢ナリセハ必スヤ崑山以西ヲ突破セル筈ナリトハ事情ニ通セサル一般人ノ所論ナリ）我飛行機ノ活躍ニハ非常ノ恐怖心ニ捉ハレタルラシク殊ニ米人飛行機ヲ打落シタルト數次ノ爆弾投下トニハ住民生キタル心地ナク財産家ハ悉ク田舎ニ避難セリトニテ我空軍ノ威力ニハ其実際ヲ目撃シタル丈頗ル驚嘆シ居レリ

邦人ニ対シテハ抗日宣伝ニ拘ラス概シテ悪感ヲ抱ク者無ク租界外ノ居住者モ帰着即日自宅ニ帰リテ業務ヲ開始シ如キモ四月以降未払ノ儘ニテ財政ノ遭縁ニ窮シ居ル趣ナリ

一、商務会ヲ中心トスル団体ノ軍費立替二十万元ニ達シ県政府ノ如キモ軍費調達ニ絡ミ吳江県ヨリ転任間モ無キ吳縣長ハ三月辞職シ軍人出身タル公安局長ト交替セルカ県政府モ軍費ノ立替鮮カラサルヤニテ公安局巡警ノ給料ノ

⁽²⁾ 同軍ニ対スル怨嗟ノ声高ク地方民ハ皆厄介扱ヲ為セリト

テ彼等ノ醜態ヲ非難シ頗ル不評判ナリ

ハ隠密ニ行ハルモノノ外引続キハカバカシカラサル現状ナリ

一、長江沿岸ニ於テハ抗日団体ノ活動依然活発ニシテ漢口動ヲ統ヶ最近上海方面ヨリ荷動キヲ始メタル日貨ノ抑留ニ懸命トナリ被害鮮カラス商人等ハ過去半歳ニ亘ル軍隊ノ為被レル疲弊ヲ挽回ス可ク苦心シ日貨モ相當ノ需要有ルニ拘ラス反日会ノ妨害ニテ公然取引モ出来サル為内々不平ヲ溢シ居ル向鮮カラス

支ヨリ上海へ転報アリタシ
支、南京へ転電セリ

177 昭和7年7月13日

内田外務大臣より
在ジュネーヴ沢田連盟事務局長、在
米国出席大使宛（電報）

長江沿岸および華南各地における排日状況について

合第一五三一号（暗）

排日運動近況

往電合第一〇五九号ニ関シ

其後ノ長江沿岸及南支各地ノ排日状況左ノ如ク日貨ノ取引

本省 7月13日發

市内ノ通行ニモ何等不安ヲ感セス在留民ハ一同予想ニ反スルナゴヤカナル気分ニ満足シ居ルヲ以テ復帰者モ漸次増加スヘク察セラル工場方面ノ職工連モ一日モ速ニ操業開始方ヲ迫リ雇入申込者殺到ノ有様ナル為貝釦原料及敷物製造ノ二工場ハ不敢数日中ニ開業ノ筈ナリ

一、中国商人側ハ十九路軍ノ駐屯中軍費ノ誅求ニ遣切レス目ボンキ商店ハ何レモ商品ヲ隠匿シ門戸ヲ縮小シテ（店構ニ依リ軍費徵収ノ多寡ヲ定メタルニ由ル）取引殆ント休止ノ状況ナリシカ本官等帰任数日前漸ク同軍出払ヒタル為始メテ愁眉ヲ開キ店舗ヲ飾リツケ商品ヲ陳列スル等俄ニ活氣付キタリトノ事ナリ十九路軍ハ駐屯中軍費物資ヲ徵發セルノミナラス其ノ出発ニ際シテハ幹部等ヲ始メ将校連カ身受セル醜業婦ヲ同伴セル者多カリシヤニテ同軍ニ対スル怨嗟ノ声高ク地方民ハ皆厄介扱ヲ為セリトテ彼等ノ醜態ヲ非難シ頗ル不評判ナリ

二、南支ニ於テハ六月中旬十九路軍共匪掃蕩ノ任務ヲ帶ヒテ福建ニ移駐セルヲ機トシテ一時廈門、福州等各地反日團体ノ活動ヲ見タルカ其後余リ氣勢揚ラサル模様ナリ一方広東ニ於テハ前記往電二包運公司ト同地抗日会幹部トノ連絡暴露シ最高幹部ノ一名ハ仇貨密輸帮助ノ廉ニ依リ極刑ニ処セラレ抗日会ハ之ヲ機トシテ改組セラレタルモ依然抗日排貨ヲ続行シ居ル由ナリ

三、香港ニ於テハ五月四日偶上陸中ノ我海軍一下士官ニ對シ群集ノ投石セルコトアリシカ六月十七日白昼支那人怪漢一名我領事館ニ来リ領事ニ面会ヲ求メ（領事不在）応待ノ邦人雇及居合セタル書記生ヲ狙撃重傷ヲ負ハシメタ

事項 5 中国およびその他各地における排日状況

180 昭和7年7月21日

在南京上村総領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

ル後自殺セルカ取調ノ結果犯人ハ上海抗日会ニ属シ重要日本人暗殺ノ役目ヲ引受ケ勝手知リタル香港ニ於テ帝国領事ヲ血祭ニセント試ミタルモノノ如シ

前記往電同様転報アリタシ

漢口市党部役員銃殺事件の結着について

漢口 市党部役員銃殺事件の結着について

漢口 7月16日後発 在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛(電報)

第五〇〇号 (暗)

往電第三四三号ニ関シ

本年二月中日貨取扱ノ支那商ヲ脅喝セル市党部役員劉驥ヲ

武漢警備司令部ニ於テ銃殺シタル結果市党部委員一同ハ大イニ憤慨シ司令部ノ執レル処置ヲ以テ越権ニシテ党ヲ侮辱スルモノト為シ党権ノ擁護ヲ高調スルト共ニ司令部重要職員ノ糾弾ニ努メタルモ司令部ノ圧迫加ハリタル為終ニ中央ニ總辞職ヲ願出テ爾來双方睨合ノ姿ナリシカ(往電第三四三号)客月末ニ至リ市党部側ハ監察院ニ司令部重要職員數名ノ査弁方ヲ願出タル結果中央ハ当地滯在中ノ蔣ニ実地調

支、南京へ転電セリ

支ヨリ上海へ転報アリ度シ

ルヤニテ蘇州高級中学生取扱ノモノニテ現存セル分ニテモ八百数十件アリトノコトナルカ折角復帰シテ業務再開ノ緒ニ就キタル邦商カ反日会ノ為妨害ヲ受クルハ(直接行動皆無)甚タシキ苦痛ナルヲ以テ本官ニ於テハ事件ノ都度公安局ニ対シ反日会員ノ不法行為取締方ヲ申入ルルト共ニ本邦人ノ通商保全方要求シ居ル処公安局側ニ於テモ反日会ノ不法ハ黙過シ難キヲ以テ現ニ県政府商会側トモ協議シ取締方考究中ニシテ右決定次第勵行ス可ク決シテ放任シ居ル訳ニ非サル旨弁明シ居レリ一方反日会ニ於テハ日商復業ノ対策トシテ宣伝隊ヲ組織シ仇貨勿購ヲ講演スル外伝單ヲ散布シテ之カ目的ノ達成ヲ期スルコトニ決議セル趣ナリ

支、南京へ転電セリ

モ可成リ多キ為店主モ喜ヒ居ル矢先反日会ノ感知スル所トナリ薬店(租界外ニ有リ)ノ付近ニ見張番ヲ置キ出入者ヲ監視シ購買者ヲ見付ケ次第現品ヲ没収シ反抗者ハ反日会ニ連行シ或ハ公安局ニ送リ居レリ差押日貨モ相当数ニ達シ居

救国会の日貨取扱い商人に対する懲戒処分について

南京 7月21日後発 在蘇州川南領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

第五二六号

近來当地日貨取扱商人ハ商人団体ノ差給スル許可書ヲ楯ニ既ニ当地封存中ノ日貨ヲ内密販売スル外引続キ上海日貨ヲ輸入シ居ル模様ニテ救国会ハ躍氣トナリ城門其ノ他ニ検査員ヲ配置シ日貨ノ搬入ヲ阻止シ居ルモ検査員ハ却テ商人側ヨリ買收セラレ効果充分ナラサル為今回新ニ日貨販運懲戒規約ナルモノヲ規定シ市党部ニ備案シタル上各商店ニ通告シタル趣ナルカ右ニ依リ日貨ヲ取扱タルモノニ対シ該日貨ヲ没収スル外二倍乃至三倍ノ違約金ヲ徵シ又ハ其ノ全財産ヲ没収スルコト成リ居レリ(尤モ右規約ハ民衆相互ノ意思ニ依リ制定セルコトヲ明カニシ且從来ノ制裁ニ罰金ト称シタルモノヲ違約金ト改メ居レリ)委細公信

支、北平、漢口、天津、青島、濟南、廣東へ転電セリ

在蘇州川南領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

178 昭和7年7月16日

在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛(電報)

前記往電同様転報アリタシ

冒頭往電ノ通転電転報セリ

查方ヲ依嘱シタルカ蔣ハ司令部軍法處ノ作成セル一件書類ヲ取調ノ上湖北高等法院當局ノ法律的解釈ヲ求メタルニ劉ノ行為ハ持兌器強盜罪ヲ構成ストノ答申アリタルニ依リ蔣ハ其ノ旨中央ニ報告シ漢口特別市党部ヲシテ訴訟ヲ取下ケシムル事トシ同事件ヲ円満ニ調停セル趣ナリ

179 昭和7年7月19日

在蘇州川南領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

反日会員の不法行為取締方申入れについて

蘇州 7月19日後発 在蘇州川南領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

本省 7月20日前着

蘇州 7月19日後発 在蘇州川南領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

第二三三号 (暗)

当地反日会検査員ハ学生(従来日貨検査ニハ中等学校生交代ニ從事シ日下成烈体育専門学校生之ニ当リ居レリ)ノ援助ヲ求メ市内ノ要所ニ検査處ヲ設ケ日貨ヲ差押ヘ会則違反者ニハ罰金ヲ課シ居レル処當地方ハ日下虎列刺猾獵シ死亡者毎日數十人ヲ出シ居ル為邦人薬店ノ復帰後薬品ノ品切ニ苦メル医師連中(當地ニハ日本留学出身者多数有リ)ニハ医師界ノ決議ヲ潜リ竊ニ注文ヲ發スル者有リ売藥類ノ小買者

蘇州における反日会の日貨差押え状況について

て

蘇州 7月21日後発

本省 7月21日後着

182 昭和7年7月22日 在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛(電報)

漢口市党部と武漢警備司令部の軋轢について

漢口 7月22日後発

本省 7月23日前着

反日会ニ於テハ二十日各商店ノ支配人ヲ県党部ニ招集シ党部県政府地方法院県商会ノ各代表者臨席日貨不売ノ宣誓式ヲ挙行セルモ商店側ノ參加者僅カニ二十數名ニテ頗ル振ハ

サリシ趣ナルカ最近日貨ノ検査ハ益々峻烈ヲ極メ水陸ノ要所ヲ初メ停車場ニハ絶ヘス検査員ヲ配置シテ貨物ヲ差押ヘシメ連日被害鮮カラス中ニハ反日会ヲ裝ヒ甘キ汁ヲ吸ヒ居ル者アリ商人連ハ其ノ識別ニ苦シミ不平ダラダラ乍ラモ荒立テル勇氣無ク何レモ泣寝入ノ儘ナリ尚邦人復帰後ニ於ケル民衆ノ氣受ケハ別シテ變化無ク租界外ノ商店ヲ除キ何レモ支障無ク營業ヲ続ケ居レル處四五日前ヨリ夜間本官官舎ニ電話ヲ掛ケ取次ノ被傭人ヲ強迫罵倒スル者アリ連(続)三夜ニ及フ處其ノ發話者ヲ突留メタル結果右ハ中国体育学校ノ学生ナル事判明セルヲ以テ目下公安局ニ通知内偵中ナリ

蔣介石カ過般漢口特別市党部対武漢警備司令部ノ軋轢ヲ調停スルニ当リ警備司令部ノ摘發ニ依リ市党部管轄内ノ党員中ニ不良ノ徒輩意外ニ多ク昨年ノ水災救済金ヲ一部着服セル者排日ニ名ヲ藉リ私利ヲ營ミ若ハ地位ヲ利用シテ私慾ヲ遂ケタル者有ル事實ヲ知リ蔣ハ武漢警備司令部申出ノ通告部ヲシテ党員百二十數名ノ処分方ヲ中央党部ニ稟請セシメタルカ中ニテ之迄排日ノ度毎ニ反日会ノ蔭武者トシテ排日貨ノ牛耳ヲ取レル者數名有リ右ハ結局夏斗寅及楊灑カ嘗テ本官ニ対シ反日運動ヲ根本的ニ切崩スニハ漸次不良分子ヲ目立タサル方法ヲ以テ葬り去ルヲ要シ現ニ着々計画中ナル旨内話セル處ヲ実行セルモノニ外ナラスト認メラル

第二五号(暗)

蘇州 7月21日後発

本省 7月21日後着

第五〇九号(暗)
(七八文書)
蔣介石カ過般漢口特別市党部対武漢警備司令部ノ軋轢ヲ調

停スルニ當リ警備司令部ノ摘發ニ依リ市党部管轄内ノ党員

中ニ不良ノ徒輩意外ニ多ク昨年ノ水災救済金ヲ一部着服セ

ル者排日ニ名ヲ藉リ私利ヲ營ミ若ハ地位ヲ利用シテ私慾ヲ

遂ケタル者有ル事實ヲ知リ蔣ハ武漢警備司令部申出ノ通告

部ヲシテ党員百二十數名ノ処分方ヲ中央党部ニ稟請セシ

メタルカ中ニテ之迄排日ノ度毎ニ反日会ノ蔭武者トシテ排

日貨ノ牛耳ヲ取レル者數名有リ右ハ結局夏斗寅及楊灑カ嘗

テ本官ニ対シ反日運動ヲ根本的ニ切崩スニハ漸次不良分子

ヲ目立タサル方法ヲ以テ葬り去ルヲ要シ現ニ着々計画中ナ

ル旨内話セル處ヲ実行セルモノニ外ナラスト認メラル

リ

本日ノ当地漢字紙ニハ処分ヲ受クヘキ人名詳細ニ発表セラレ居ル処内党權ノ停止ノ上党籍ノ永遠剝奪ヲ稟請セラレタル者十五名党權ヲ一ヶ年間停止セラレタル者十名執行委員及監察委員ノ職ヲ免シ党權ヲ停止ノ上党籍ノ永遠剝奪ヲ稟請セラレタル者計二名嚴重戒告ヲ受ケ今後ノ自重振りニ依リ処分ノ猶予ヲ受クル様稟請セラレタル者百名有リ冒頭往電ノ通転電セリ

183 昭和7年7月23日 在上海村井總領事より

内田外務大臣宛(電報)

上海における排日運動の状況について

上海 7月23日後発

本省 7月23日後着

当地方ニ於ケル排日運動ハ之ヲ主宰シ居リタル抗日救国会等不法団体ノ解散ニ依リ検査員等ノ活動止ミ又時局平静ニ帰シ我軍ノ撤退完了ニ依ル支那人対日感情ノ好転等ノ為事件後一時殆ト皆無トナリタルヤノ感アリ四五月頃ハ日貨ノ荷動弗タ始マリ日貨取扱ノ支那商モ漸次邦商ト商談ヲ開始シ來リ当地邦人紡績工場製品ノ地廻り荷捌キモ別段支障ナ

キニ至リ邦商ハ稍愁眉ヲ開キ来リタル處六月ニ入ルヤ前記日貨商況活氣ヲ呈シ来レリトノ新聞報道頻々トシテ伝ヘラルニ刺戟セラルルト共ニ大連海關問題滿州國承認問題等ノ情報ニ依リ排日貨運動再ヒ擡頭ノ形勢ヲ馴致シ抗日救国会ノ後身ナル救國連合会(市商会ヲ中心トスルコト抗日救国会ト同様ナリ)ヲ始メ各種同業公会各大学自動救国会等ノ排日ヲ目的トスル團體並ニ東北義勇軍後援会ハ宣伝及各方面ニ對スル通告等ノ形式ニ依リ排日運動ノ継続ヲ高調シ潛行的ナリシ運動ハ茲ニ再ヒ表面化セントシ就中各種同業公会ハ一部同業競争者ノ煽動ニ依リ猛烈ナル排貨運動ノ挙ニ出テ或ハ無賴漢ヲ使嗾シテ匿名投書ニ依ル強迫ヲ邦商關係ノ支那商ノ許ニ送リ或ハ新聞ニ投書シテ邦商トノ取引者名ヲ發表スル等ノ方法ニ出テタル為支那商ハ怖ラナシ邦商トノ商談ヲ中止スルニ至レリ殊ニ七月十日前後支那商締系布取引所ヲ中心ニ配布セラレタル強迫状ハ数軒ノ石炭商ニ對スル爆弾ノ贈物送付ト共ニ一般ニ多大ノ衝動ヲ与ヘタルモノノ如ク之ヲ機会ニ邦商ノ大口取引商談ハ再ヒ停止ノ状態ニ陥レリ次テ上海市商会ハ十七日ニハ日本綿糸布排斥ニ関シ又十九日ニハ封存日貨处置ニ関シ排日貨繼續ヲ各同業

185 昭和7年7月28日 在広東吉田(丹一郎)総領事代理より

内田外務大臣宛

広東における反日運動の近況について

機密公第八四五号

昭和七年七月二十八日

在広東

総領事代理 吉田丹一郎 (印)

外務大臣伯爵 内田康哉殿

当地方対日感情一般ニ関シ報告ノ件

当地方ニ於ケル対日感情ノ種々相乃至排日運動ノ諸情況ニ

関シテハ從来屢報致置タル處爾後ノ本件諸狀況ニ関シ一般的觀測ヲモ加へ御参考迄左記報告申進ス

記

一、対日感情

当方面民衆ノ対日感情ハ素々組織ナク團結力ニ乏シキ彼等トシテ從来ニ於テモ党部等ノ煽動ニ依リ醸生セラレタルモノナリト云フヲ至当トスヘク即チ為政家ヲ信頼シ若クハ之ニ依リ大衆ノ福利増進ヲ計リ得サル実情ナルノ

二、反日工作

最近ニ於ケル反日工作情況ハ一般ニ活氣ヲ欠キ稍々狂奔ニ疲レタル觀ヲ呈シ居ルモ折角各種ノ計画ヲ樹テ一意貫徹ヲ國民ニ誓ヘル手前乗り出セル船ハ今更後戻リモ出来ス一種惰性的ニ其ノ工作ヲ繼續シツツ何等新題目ヲ捉ヘテ氣勢ヲ挙ケムトモカキ居ルモノノ如ク恰モ熱河事件ノ勃発ハ彼等ニ好餌ヲ与ヘタルヤノ感ナキニアラサリシモ少クモ表面的ニハ彼等ノ欲スル程ノ氣勢ヲ添フルコト能ハス一般民衆ハ未タ俄ニ動カサルモノノ如ク見ラル新聞雑誌等ノ論調ハ此ノ間ノ消息ヲ雄弁ニ物語ルモノニシテ孰レモ筆致ヲ揃ヘテ中国人ノ「三日坊主」的氣質ヲ責メ永久抗日ヲ絶叫シ居ルト雖モ何等格段ナル展開ヲ見ル場合ハトモカク茲當分活發ナル反日工作ハ見ラレサルヘキ

ヤニ觀測セラル

三、日貨排斥

日貨排斥工作ハ日本ノ死命ヲ制スルニ足ル手段トシテ彼等力最モ力瘤ヲ入レ其ノ組織統制等ヲ充分整ヘタルモノナルカ元來内国工業未發達ノ域ニ在リ加フルニ人智尚低クシテ国貨提唱説ヲ充分味得シ得サル等ノ環境ヲ有スル

ミナラス其ノ智識ノ低劣ナル為民衆ノ大部分ハ時事問題ニ對シテ無関心ナルモ唯々是カ例外ヲ為スモノハ例へハ日本品ノ中國流通力已ニ不利ヲ招ク地位ニ在ル一部商人若シクハ排日運動ヲ行フコトニ依リテ一種ノ銜氣ヲ満足セシメ得ル学生輩ヲ挙ヶ得ヘシト雖モ要スルニ對日惡感情ノ如キハ謬レル革命外交ニ眩惑セラル政客軍人党部員又ハ彼等ノ笛ニ踊ル学生連、職業排日屋等ノ製造發散スルモノニシテ一般民衆ハ斯カル閑事業ニ関心スルモノニ非ス實力者ニ對スル畏怖或ハ時流ニ順応スルコト保身上策ノ得タルモノトシテ民衆ハ其ノ役割ヲ果スニ過キサルナリ

昨今ニ於テハ煽動者側ノ稍々疲レ氣味ナルト又ハ一種ノ諦メヨリ来る抗日工作ノ萎微忽チ民衆ニモ反映ノ状アリ其ノ後邦人ノ支那街出入ハ依然頗ル警戒シ居レルモ遇々支那街ニ出入スル邦人等ニアリテモ直接行動乃至悪罵等ヲ蒙レルコトナキニ至リ事變前ノ状態ニ立至ル迄ニハ尙相当ノ時日ヲ要スヘキモ漸次改善ノ徵ハ明カニ認メラレツツアリ（一方党部抗日会等ノ連中ハ目下躍起トナリテ抗日排日貨ノ繼續運動ニ努メツツアリ）

四、最近ノ反日感情美例

(1) 抗日路命名建議（七月二十六日付機密公第八三三号）

当市河南ニ於テ最近完成ヲ見ルヘキ一道路ニ對シ該局ニ請願セリ

(2) 自動車賃借困難
七月五日新任馬公要港部司令官山内少将広東視察ニ際

落花生、落花生油、麸皮、牛骨、骨粉ノ六種ニ付観察スルニ本年上半期ノ総輸出量ハ約七万三千噸ニシテ前年同期ニ比シ約三万六千噸ヲ減シ輸入品綿糸布、紙類、燐寸、染料、砂糖、海產物ノ七種ハ本年上半期ノ輸入数量約三万五千噸ニシテ前年同期ニ比シ約千四百噸ノ増加ヲ示セリ右輸出品ノ減退ハ作柄不良又ハ日本内地需要減少セシニ依ルコト多キニ付全般的ニ觀察スレハ時局ノ著シキ影響無シト見ルヲ至当トスル趣ナリ

(d) ⁽⁸⁾邦人商業組合ノ内報ニ依レハ
昭和六年九月ヨリ本年六月迄ヲ前年同期ト比較スルニ売上状況ハ全般的ニ不況ナリシカ殊ニ呉服類ハ前年七万三千元ハ二万一千元ニ、電機器具類ニ付二十六万八千元ハ十万三千元ニ、食糧、雜貨十五萬元ハ九万六千元ニ、又護謨底靴九万七千元ハ五万三千元ニ激減セリ唯海產物類ハ統計無キ為表示シ難キモ上海市場ヨリノ輸入杜絶ト銀相場ノ騰貴ニ依リ他ノ商品ニ比シ稍々好況ヲ呈セリ

(e) 济南銀行側ノ内報ニ依レハ
濟南銀行側ノ内報ニ依レハ

金貸出シ居レリ)ノ融通ヲ受ケ維持スル外無カルヘシトノ意見多シ右ノ如キ状態ニテ当地邦人ハ滿州事變發生以来相当苦難ニ陥リ殊ニ資金難ハ不況ヲ助成シ居ルニ付此ノ状態ヲ繼續セソカ遂ニ年来拮据經營セル地盤モ根柢ヨリ覆ラントスル惧アルヲ以テ各自經營方針ヲ立直スハ勿論最近政府ハ天津方面ニ事業復興ニ資スヘキ所謂低資貸下ノ噂ヲ伝聞シ出来得レハ此ノ際資金ノ内多少ナリトモ貸下ニ均霑シ此ノ不況ヲ切抜ケ度キ意向ヲ洩ラシ居ル処

三、御来訓ノ趣旨ハ事変ニ依リ重大ナル排日影響ヲ受ケタル地方ニ対シ貸下クル資金ニシテ時局ニ依ル一般的排日関係ノ普及ニ依ル窮状ニ付スル貸付ノ意ヲ含マサルヘキニ付當方面邦商ノ苦況ハ右範囲ニ入ラサルヘク且又当地ハ濟南事件ニ依ル業務復活資金借受ノ恩典ニ浴シ居ル關係上今回更ニ復興資金ノ貸下ヲ受クルコトハ至難ナリト思考セラル処当地ハ濟南事件以来昭和五年ニハ中央軍ト山西軍ノ当地争奪戦二回迄発生シ在留民ハ其都度避難ノ口ムナキニ至リ右避難ニ要セシ実費丈ハ政府ヨリ支給ヲ受ケシカ當時邦人中ニハ事業復興ニ付スル資金貸下ニ

当地邦人ノ引揚ニ依リ同銀行ノ預金吐出シ又ハ知人等ニ融通セル金額ヲ回収セル結果枚数ヶ月間ニ既ニ預金十五万円其他市中ヨリ五万円合計約二十万円ハ邦人市場ヨリ影ヲ没セシ為ニ銀行モ貸出シノ引締メ回収ニ努メ居ル趣ニテ邦商ノ金融ハ極度ニ逼迫シ居レリ
(二) 料理店ハ昭和六年九月末ニハ十一戸芸酌婦数六十人ニシテ其売上高月約一万二千元ナリシカ本年六月末ニハ七戸(内二戸休業)芸酌婦二十九人売上高四千七百余元ニシテ殆ト三分ノ一二減少セリ
(f) ⁽⁴⁾民団ニ於テハ邦人ノ他所ヘノ転住ニ依リ營業及所得課金ハ相當減少シ殊ニ料理店ノ減少ニ依リ遊興課金予算四千八百元ノ内約三千元雜種課税予算一千二百元ノ内約九百元減少ノ見込ナリ
(g) 当地邦商ノ比較的有利ナリシ中国人相手ノ質屋業モ最近中國側ノ官宮質屋開設セラレシ為邦商側ハ相当打撃ヲ受ケ居ルニ付之カ經營維持ニ種々考慮中ナルカ対策トシテハ質屋業者ハ大多數銀行其ノ他ヨリ借入金ヲ以テ營業シ居ル関係上利息等ニ追ハルニ付低利ナル資金(目下邦人質屋ニハ濟南銀行ヨリ約六万円ノ低利資付請願ノ儀アリシモ之ヲ抑ヘ來リタル次第ナルカ次テ滿州事變發生ニ依リ對日感情ノ悪化ニ基ク營業ノ一般的不況ニ依リ當地邦商復興ノ機ナク此ノ状態ハ當分繼續セラルモノト思考セラル処其影響ハ上述ノ如ク相当深刻ナルヲ以テ本官ニ於テハ禁制品關係者ノ行詰ニ付テハ致方ナシトシテ顧慮スル要ナク此ノ機會ニ於テ正業ニ転換セシムルカ困甚シキ者ハ退去セシムルノ方針ヲ執ルト共ニ他方正業ニ付シテハ此ノ窮境ヲ切抜ケシメ度種々考慮シ居ル次第付各地ノ被害及影響程度等ト比較御考慮ノ上出来得レハ本件資金多少(十五万乃至二十万円程度)ナリトモ當方面ニ振當方特ニ御詮議相仰キ度シ(委細公信)

~~~~~  
在漢口坂根總領事より  
内田外務大臣宛(電報)  
188 昭和7年7月31日 漢口 7月31日後発  
学生等の郷村における反日宣伝活動について  
第五三四号(暗)  
本省 7月31日後着

織セラレタル青年反日救國歩行郷村宣伝団ハ三月中全国各地ニ向ツテ発足シタルカ長江上流一帯ノ宣伝工作ヲ担任スル北平大学生羅春林、程嘉遡、周沢湘ノ三名ハ三月上海ヲハ沿道各地ニ於ケル軍、政、党ノ各機関ハ其壯圖ヲ称揚シ物質的援助ヲ惜マサリシ趣ニシテ今後右団体ハ武長鉄道ニ沿ヒ湖南ニ入り廣東ニ転シ広東、福建、浙江ヲ経テ北上スヘシトノコトナリ對外問題ニ関シ殆ト無関心ナル地方農村ニ於ケル宣伝ノ効果ニ付テハ疑無キ能ハサルモ御参考迄支、北平、南京、奉天、天津、濟南、廣東、福州、汕頭、廈門ヘ転電シ蘇州、蕪湖、杭州、長沙、宜昌ヘ暗送セリ

189 昭和7年7月31日 在漢口坂根總領事より 内田外務大臣宛（電報）

漢口における日本商品取引の状況について

第五二五号（暗）

漢口 7月31日後発  
本省 7月31日後着

血魂除奸団ノ活躍ハ日ヲ逐ウテ猛烈ト為り日貨取扱停止ヲ警告スル為綿布公所、紗布交易所、永安、先施、新々ノ三大百貨店等日貨取扱關係向ニ対シ爆弾ヲ贈リ中ニハ爆弾店頭ニ爆破シタル事件モ起リ一般ニ非常ノ恐怖ヲ与ヘ居リ為ニ折角好転ニ向ヘル排日貨モ又モヤ悪化ノ兆アリ右ハ支那側紡績屋辺ノ使嗾ニ係ルトノ風説モアリ内情探査中ナルカ今日迄ノ情報ヲ綜合スルニ左ノ通

一、本団ハ上海事件當時反蔣目的ヲ達センカ為孫科カ為対外及救國ノ為ニハ壳国的行為アル軍閥、官僚、不良党员、奸商、奸漢ヲ先ツ葬ラサル可カラストテ主トシテ青年学生（公人、小商人、無賴漢モ含マレ居ル由）ヲ集メ組織セル暗殺團ニシテ三月上旬頃ニハ此種團体十七ヲ算へ就中有力ナルモノニ血華社、國魂救國、精忠鋤奸隊、光社等アリ団員ハ數クトモ四五十人ヨリ多キハ数百ニ達シ其組織ハ南京、漢口、北平、天津、廣東、重慶、香港ニ行亘リ數箇月來秘密裡ニ積極活動ヲ統ケ來リタルモ適當ナル口実無カリシ為最近迄表面的活動ヲ見ルニ至ラサリキ<sup>(2)</sup>二、然ルニ最近蔣介石ノ對日直接交渉アリシノミナラス蒋ノ組織セル中国「ファシスティ」ハ其外交政策ニ於

テ親日ヲ標榜シツツアリ蔣ノ日本側トノ妥協ハ反蔣派ニ  
取り致命的打撃ナルニ鑑ミ孫ハ何等口実ヲ設ケテ蔣ノ親  
目的傾向ヲ妨ケ蔣ヲ窮地ニ陥レント機ヲ窺ヒ居タル折柄  
近來日貨ノ輸入モ漸次増加シ一般支那商館ニ於テモ日貨  
ヲ取扱フ者弗々現ハレ來リ又日本軍ノ熱河侵入説モアリ  
上海事件ノ余憤冷メ遣ラヌ一般民衆ノ對日感情再ヒ頓ニ  
悪化シ來リタルヲ以テ之ヲ機會ニ奸商征伐ヲ標榜シテ本  
團ヲシテ積極的反蔣活動ヲナサシムヘク指令ヲ發シ七月  
十日前記諸団体ノ代表者會議ヲ開キ協議ノ結果中華革命  
先鋒隊ノ名ノ下ニ統一シ對外的ニハ血魂除奸団（總部ヲ  
上海ニ置キ分部ヲ全国各地ニ設クルコトトナリ居ル由）  
ノ名ヲ以テ猛烈ナル排日貨運動ヲ開始スルニ至レルモノ  
ノ如シ

三、之ニ對シ蔣介石側ニ於テハ右ハ完全ニ反動的反政府的  
運動ナリトシ殊ニ中國「ファシスティ」ノ親日政策ヲ  
破壞スルモノナリトシ之カ徹底的彈圧ニ決シ至急顧順章  
(前共産党特務隊長ニシテ後蔣ニ買収サレシ暗殺ノ名人  
最近「ファシスティ」鐵血隊長ニ就任セル由) 谷建中  
等ヲシテ鐵血隊及探偵隊ヲ率ヒ來滬セシメ在当地軍事探

テ親日ヲ標榜シツツアリ蔣ノ日本側トノ妥協ハ反蔣派ニ  
取り致命的打撃ナルニ鑑ミ孫ハ何等口実ヲ設ケテ蔣ノ親  
目的傾向ヲ妨ケ蔣ヲ窮地ニ陥レント機ヲ窺ヒ居タル折柄  
近來日貨ノ輸入モ漸次増加シ一般支那商館ニ於テモ日貨  
ヲ取扱フ者弗々現ハレ來リ又日本軍ノ熱河侵入説モアリ  
上海事件ノ余憤冷メ遣ラヌ一般民衆ノ對日感情再ヒ頓ニ  
悪化シ來リタルヲ以テ之ヲ機會ニ奸商征伐ヲ標榜シテ本  
團ヲシテ積極的反蔣活動ヲナサシムヘク指令ヲ發シ七月  
十日前記諸団体ノ代表者會議ヲ開キ協議ノ結果中華革命  
先鋒隊ノ名ノ下ニ統一シ對外的ニハ血魂除奸団（總部ヲ  
上海ニ置キ分部ヲ全国各地ニ設クルコトトナリ居ル由）  
ノ名ヲ以テ猛烈ナル排日貨運動ヲ開始スルニ至レルモノ  
ノ如シ

三、之ニ對シ蔣介石側ニ於テハ右ハ完全ニ反動的反政府的  
運動ナリトシ殊ニ中國「ファシスティ」ノ親日政策ヲ  
破壞スルモノナリトシ之カ徹底的彈圧ニ決シ至急顧順章  
(前共産党特務隊長ニシテ後蔣ニ買収サレシ暗殺ノ名人  
最近「ファシスティ」鐵血隊長ニ就任セル由) 谷建中  
等ヲシテ鐵血隊及探偵隊ヲ率ヒ來滬セシメ在当地軍事探

織セラレタル青年反日救國步行鄉村宣伝団ハ三月中全国各地ニ向ツテ発足シタルカ長江上流一帯ノ宣伝工作ヲ担任スル北平大学生羅春林、程嘉遡、周沢湘ノ三名ハ三月上海ヲ徒步ニテ出発シ江蘇、安徽、江西三省ノ鄉村ニ於ケル宣伝ヲ終ヘ數日前武漢ニ來着セルカ其新聞記者ニ語ル處ニ依レハ沿道各地ニ於ケル軍、政、党ノ各機関ハ其壯圖ヲ称揚シ物質的援助ヲ惜マサリシ趣ニシテ今後右団体ハ武長鉄道ニ沿ヒ湖南ニ入り廣東ニ轉シ廣東、福建、浙江ヲ経テ北上スヘシトノコトナリ対外問題ニ關シ殆ト無関心ナル地方農村ニ於ケル宣伝ノ効果ニ付テハ疑無キ能ハサルモ御参考迄

支、北平、南京、奉天、天津、濟南、廣東、福州、汕頭、廈門ヘ転電シ蘇州、蕪湖、杭州、長沙、宜昌ヘ暗送セリ

昭和7年7月31日 在漢口坂根總領事より  
内田外務大臣宛（電報）

漢口における日本商品取引の状況について

189  
漢口 7月31日後発  
本省 7月31日後着

漢口特別市党部ハ熱河問題ニ関スル中央党部ノ密令其他各方面ヨリノ排日的檄文ニ刺戟セラレ二十九日漢口市商会宛書面ヲ以テ当地ニ於ケル日貨取引ノ復活振リヲ指摘シテ大的ニ難詰シ速ニ各業商人ヲ督励シ対日經濟絶交ヲ実行スヘキ旨命令スル處アリ支那側商人中ニテ幾分警戒シ居ル向アル趣ナルモ市党部ハ過般警備司令部ノ彈圧ニ遇ヒ更ニ又蔣介石ノ御声掛リニテ關係党員ヲ多数一時ニ懲戒セラレタル結果大ニ其勢力ヲ失墜セル經緯アリ（往電第五〇九号）（一八二文書）商人側ニテハ概シテ樂觀シ居リ今日迄ノ處日貨取引及邦商關係土貨ノ荷物ニ何等ノ影響ヲ認メス

支、北平、南京、奉天、天津、青島、濟南、廣東、福州、廈門、九江、長沙へ転電セリ

~~~~~

190 昭和7年8月4日 在上海村井領事より
内田外務大臣宛（電報）

血魂除奸団の組織および活動振りについて

上海 8月4日後発
本省 8月4日後着

往電第八八八〇号
⁽¹⁾ 第八九八号
（一八六文書）
ニ閔シ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

偵隊長王柏齡狙撃隊長楊虎等ト協議ノ上該団機関ノ破壊及主要人物ノ暗殺ニ從事セシムルコトニナリタリ

四、之ヲ要スルニ血魂除奸団ノ活躍モ結局外敵共匪ヲ前ニシ内戦ノ口実ヲ失ヒタル反蔣及蔣派ノ対立抗争ノ現ハレ

ニ外ナラス日本ハ之カダシニ使ハレ居ルモノト見ルヲ得

ヘク尚本除奸団ノ背後ニ当地青帮領袖杜月笙アリトノ説

アル處本団ノ組織及其ノ計画等ヨリ見テ杜月笙トノ諒解無キ筈ナシトハ一般ノ観測ナリ

北平、奉天、天津、南京、漢口、廣東へ転電セリ、支へ転報セリ

191 昭和7年8月4日 ※在漢口坂根總領事より

内田外務大臣宛（電報）

救国会による日本綿布の引取妨害について

漢口 8月4日後発
本省 8月4日後着

第五三〇号（暗）

宜昌発本官宛電報

第五六号

大臣公使ヘ転電アリ度シ

福州 8月4日後発
本省 8月4日後着

第一七一號（暗）

往電第一六五号ニ関シ

八月四日台灣總督府總務長官宛銀五万弗邦貨換算金三万七千円（銀百弗ニ付金七十四円換）台灣銀行ニテ為替送金手續セリ又當地小学校ニ対スル寄付金一万弗ハ同時ニ教育基金トシテ民会長ニ交付済為念

193 昭和7年8月5日 在南京上村總領事代理より

内田外務大臣宛（電報）

南京血魂除奸団の組織について

第五五七号

当地抗日救国会下関検査所ノ検査員等ハ貨車ニテ上海ヨリ輸入スル日貨ニ対シ關係支那商ヨリ一件ニ付五元乃至十元

ノ賄賂ヲ取り日貨輸入ヲ庇護シ居タル事最近発覚シ救国会ニ内訂ヲ起シタルカ一方上海血魂除奸団ノ活動振り新聞ニ報道セラルルヤ當地ニテモ南京血魂除奸団ナルモノヲ組織

七月二十四日入港ノ信陽丸ニ漢口ヨリ支那人船客約二百名アリ其ノ上陸ニハ何等干渉無カリシカ同船ニテ到着セル上海支那商ヨリ当地支那商宛ノ日本綿布二箱ノ引取ヲ救国会ニテ妨害シ居ル趣二十七日日清ヨリ届出アリタルニ付日本船ニテ運送セルヲ理由トシテ貨物ノ引取ヲ拒ムハ即チ日本行為ハ即刻禁止セラレ度キ旨書面ヲ以テ県長へ申入レ一面公安局及軍部ヘモ本件ニ関シ必要ノ場合県長ノ勵行ヲ支援アリ度キ旨懇談ヲ遂ケ二十九日県長ニ会談シタル處県長ハ

本件ニ付早速取調ヘシメタル結果救国会ニテハ右日貨ノ引取ニ干渉シタル事実無キ由復命アリタル旨弁解シ該貨物引取差支無キ旨ヲ答ヘ且今後モ日本人關係ノ此ノ種問題ニテ

当地ニ於テ紛糾ヲ生スルコト無カラシムヘキ旨答ヘタルニ付日清ヲシテ受荷主ニ右ノ旨ヲ伝ヘシメ同時ニ漢口支店ヘ報告セシメ置キタリ

公使ヨリ上海ヘ転報アリ度シ

192 昭和7年8月4日 在福州田村總領事より

内田外務大臣宛（電報）

水戸訓導遺族への弔慰金送付完了について

シ商人ニ対シ日貨ヲ販売スル者ニハ爆弾及拳銃ヲ以テ報酬シ且其ノ全財産ヲ焼払フヘキ旨通告シタル趣ニテ關係商人ハ恐慌ヲ来シ居レリ

支、北平、青島、天津、漢口、廣東へ転電セリ

194 昭和7年8月5日 在天津桑島總領事より

内田外務大臣宛（電報）

秦皇島における朝鮮人にたいする暴行事件について

天津 8月5日後発
本省 8月6日前着

第三二三号（暗）

往電第三二一号ニ関シ

天津 8月5日後発
本省 8月6日前着

秦皇島支那街ニ料理店ヲ開業セントシテ居住セル朝鮮人家屋ニ対シ七月三十一日及八月一日ノ二回ニ亘り數名ノ支那人投石セル事件アリシカ四日午後五時約三十名ノ支那人右朝鮮人家屋ニ暴行セントスル形跡アリシヲ以テ戸ヲ閉メタルニ忽チ二百名内外ノ支那人襲来シ屋内ニ闖入シ鮮人女三名、男一名ニ打撲裂傷ヲ負ハシメタリ急報ニ依リ我守備隊

<p>敢 現ハレ來レリ籍民中ニハ未タ被害無キモ成行注視中右不取 フ排日運動再燃ヲ懸念シ支那商中ニハ商談解約ヲ為スモノ 現ハレ來レリ籍民中ニハ未タ被害無キモ成行注視中右不取 シ支那人一名巡警一名ヲ逮捕セリ</p> <p>本件調査ノ為五日警部一名、巡查一名、巡捕一名ヲ現地ニ 派遣セリ</p>	<p>尚山海關ヨリ憲兵二名、通訳一名、巡查一名「ハンドカ ー」ニテ応援ニ向フ途中秦皇島駅東方一千米ノ地点ニ於テ 支那人百余名及巡警ハ鉄路ニ石ヲ乗セ顛覆ヲ計レルヲ發見</p>
<p>196 昭和7年8月11日 在福州守屋(和郎)總領事より 内田外務大臣宛(電報)</p>	<p>上海 8月8日後発 本省 8月8日後着</p>
<p>十九路軍到着に伴う排日団体の活動について</p>	<p>往電第八六〇号ニ閲シ</p>
<p>第一七四号(暗)</p>	<p>第九〇四号 (八三文書)</p>

<p>197 昭和7年8月12日 在漢口坂根総領事より 内田外務大臣宛(電報)</p> <p>血魂除奸団の日貨取引禁止勧告等について</p> <p>第五四七号(暗)</p> <p>上海発閣下宛電報第八六九号ニ関シ</p> <p>数日前八名ノ青年上海方面ヨリ当地ニ乗込ミ來リ血魂除奸団ノ名ヲ以テ總商会ノ主ナル役員數名ニ面会ヲ求メ其來漢ノ使命ヲ告ケタルモ各役員ハ武漢警備司令部始メ当地支那側官憲カ是迄排日ヲ嚴重取締リ來レル結果今ヤ日貨ノ取引ハ何等ノ干渉モ無ク公然行ハレツツアル現状ニ顧ミ殆ト相手ニセス其場限りノ応対ヲ為シ追返シタル趣ナルカ同団員ハ昨十日ニ至リ各業公会宛日紛争未解決ノ折柄商人ハ愛國的良心ニ訴ヘテ日貨ヲ買ハサル事ヲ要スル旨ノ微温的ナル勸告書ニ血魂除奸団ノ名ヲ付シ送付セル趣ナリ</p> <p>総商会始メ当地支那側商人ノ大部分ハ左シテ之ヲ問題トシ居ラサル由ナルモ支那側綿糸商組合ノミハ上海ニ於ケル同</p>	<p>漢口 8月12日後発</p> <p>本省 8月12日後着</p>
--	-------------------------------------

ヨリ一個小隊、騎兵一名現場ニ至リ犯人二名ヲ逮捕シタリ
尚山海閥ヨリ憲兵二名、通訳一名、巡查一名「ハンドカ
ー」ニテ応援ニ向フ途中秦皇島駅東方一千米ノ地点ニ於テ
支那人百余名及巡警ハ鉄路ニ石ヲ乗セ顛覆ヲ計レルヲ發見
シ支那人一名巡警一名ヲ逮捕セリ

本件調査ノ為五日警部一名、巡查一名、巡捕一名ヲ現地ニ
派遣セリ

支ヨリ上海ヘ転報アリ度シ

支、北平、奉天、南京、青島、濟南ヘ転電セリ

昭和7年8月8日

在上海村井總領事より
内田外務大臣宛(電報)

血魂除奸団の活動と排日貨風潮の悪化について

195

本省 8月8日後発

上海 8月8日後発

第九〇四号
(八三文書)
往電第八六〇号ニ関シ

一、血魂除奸団ノ活動ハ其後益々甚シキヲ加ヘ日貨取扱支
那商ノ許ニハ強迫状頻リニ舞込ミ之ニ脅ヘ切りタル商人

ハ邦商ニ接近スルコトヲ避クルニ至リ綿糸布ノ如キハ支那製品トノ間ニ二割五分乃至三割ノ値開キアルニ拘ラス日貨ノ取引全然停止スルニ至レリ

二、七日朝共同租界一支那商綿布問屋ハ手榴弾ノ贈物ヲ受ケ又同日夜仏租界ト支那街トノ境界ノ道路ニアル一支那商洋品雜貨店ハ爆弾ヲ見舞ハレタル事件アリ犯人タル支那青年一名公安局ノ手ニ捕ヘラレ審理中ナルカ各團体ハ右青年ヲ愛國者トシテ称ヘ釈放方請願シツツアリ租界当局並ニ公安局側ハ除奸団検挙ニ付手配中ナルモ未タ何等効果現レス

三、市商会ハ六日付ヲ以テ再ヒ各種營業者ニ対シ対日經濟絶交貫徹方ニ関シ通告ヲ發シ各種同業組合例へハ紡績業組合、鮮魚商組合、石炭商組合等ハ夫々会合ヲ催シテ排日貨ニ關スル決議ヲナシ支那新聞紙上ニ之ヲ發表シテ一般ノ排貨氣分ヲ煽動シツツアル狀況ニシテ近日來排日貨風潮頓ニ悪化シ来レリ

支ヘ転報セリ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

團ノ惡辣ナル脅迫ニ稍々恐ヲ為シ本十二日ニ至リ売約済ノモノ以外本日ヨリ当分日本品ノ取引ヲ中止スヘキ旨ヲ申セ（支那側紡績工場ノ策動アルコト勿論ナリ）他ノ各同業組合ニテハ當分様子ヲ見定ムルコトヲ約シタリト云フ右組合側ヨリ内報アリタルニ付不取敢因ニ本日ノ一般日本品市況ニ付各社ニ問合セタルニ大手筋ニテハ未タ左シタル影響ヲ認メストノ事ナルモ支那側ニ對シテハ嚴重取締方申入ル所存ナリ

冒頭電報ノ通転電セリ

198 昭和7年8月13日 在上海村井總領事より 内田外務大臣宛（電報）

除奸団取締対策について

上海 8月13日後発 本省 8月13日後着

第九一五号（暗）

十一日夜他用ニテ吳市長ト会見ノ際（市參事殷汝耕同席）最近市商会ノ排日布告ノミナラス除奸団ナルモノ活躍シ日貨取扱商人ヲ威嚇シツツアル處排日運動ノ取締ニ付先ニ殷汝耕ヲ通シ貴市長ノ注意ヲ喚起シ置キタルカ其後除奸団ニ針ニテ進ミツツアリ

支へ転報セリ
北平、奉天、南京へ転電セリ
スルト共ニ自ラ秘密探偵式ノ機関ヲ設ケ具体的証拠ヲ握リタル上支那側又ハ工部局ノ手ニ依リ逮捕セシムル等ノ手段ニ依リ漸次除奸団ノ防圧ヲ計ル事然ル可シト認メラレ右方針ニテ進ミツツアリ

199 昭和7年8月15日 在天津桑島總領事より 内田外務大臣宛（電報）

鉄血除奸団の日本租界内中國百貨店爆破について

いて

天津 8月15日後発 本省 8月15日後着

第三三一号（暗）
天津 8月15日後発 本省 8月15日後着

第三三七号（暗）
天津 8月16日後発 本省 8月16日後着

200 昭和7年8月16日 在天津桑島總領事より 内田外務大臣宛（電報）

鉄血除奸団による爆破事件統発について

いて

天津 8月15日後発 本省 8月15日後着

第三三一号（暗）
天津 8月16日後発 本省 8月16日後着

十四日午後五時二十分頃日本租界支那百貨店中原公司ニ顧客ヲ装ヒ入り込ミタル支那人ハ店員ノ隙ニ乘シ硝子張飾机ノ上ニ爆弾一個ヲ置キタル儘逃亡シタルカ間モ無ク炸裂シ支那人店員一名微傷シタル外器物及商品ノ損害モ意外ニ輕微ナリ右ハ上海方面ヨリ入込ミタル鉄血除奸団ノ日貨取扱商ニ対スル脅迫手段ニ出テタルモノト思料セラル租界内ノ

爆弾事件ノ犯人未タ検挙ニ至ラサル処十五日周司長宛北平ヨリ小包郵便トシ手榴弾一個ヲ（木箱ニ容レ書画ト表書シ）送付シタルモノアリ右ニハ「天津市政府ハ抗日排日運動ヲ圧迫シ日貨ノ輸入ニ干渉ヲ加ヘサルヲ以テ爆弾ヲ寄贈シテ警告ス今後ハ愛國運動ヲ扶助シ日貨ノ輸入ニ干渉ヲ加ヘシ」云々ノ脅迫状ヲ添付シ居レル由又十六日午前九時天津総商会ノ門前ニ於テ爆弾ヲ置キ炸裂セシメタルモノア

対シ貴方ノ執ラレタル御措置ヲ承知シ度シト切出シタルニ吳ハ除奸団ノ正体明瞭ナラサルモノアルモ自分ハ誠意ヲ以テ出来ル丈ケノ取締ヲ為シツツアリ唯何ヲ言フモ排日運動ノ原因ハ満州問題ニアルヲ以テ之アル限り排日運動ノ取締却々困難ニテ殊ニ近時熱河問題カ排日熱ヲ煽リ又日本商ノ「ダンビング」モ油ヲ注キタル觀アリ除奸団ノ暴行ノ大半ハ共同仮租界ノ中ニテ行ハレ之ニ対シテハ市政府トシテモ手ノ着ケ様無キモ支那町ニ閑スル限り自分ハ発見次第彈圧ヲ加フ可シ現ニ先般仮租界ニテ爆弾威嚇ヲ行ヘル支那人カ支那町ニ逃走セルヲ公安局ニテ捕ヘ特別法院ニ送レル事実アリ（二年ノ懲役ニ処セラル但シ執行猶予）排日カ之以上悪化スル事無カル可キハ之ヲ言明シ得可シト述ヘタルヲ以テ本官ヨリ公共団体タル市商会等ノ取締ハ当然之ヲ行フ義務アル可ク暴行カ租界内ニテ行ハルト言フモ除奸団本部ニ対シ彈圧ヲ加フレハ可ナル可キ旨反駁シ置キタルカ差当リ除奸団ニ付工部局警察ニ対シテ田島ヲ通シ犯人ノ逮捕处罚及犯行予防ニ付申入ル所アリタルカ何分工部局公安局警察トモ犯人逮捕等ノ衝ニ当ル者ハ支那人巡警ナレハ實行疑惑シク結局我方トシテハ一方ニ於テ支那側及工部局ヲ督励ハシク

事項5 中國およびその他各地における排日状況

リ又同九時三十分頃城内北馬路ニ至ル支那綿糸布商同聚興

ノ店頭ニ爆弾ヲ投シタルモノアリ支那側ニテハ臨時戒厳ヲ
布キタルモ未タ手掛リナシ犯人ハ何レモ鐵血除奸団ノ所為

ト認メラル引続キ警戒中

支、北平、南京へ転電セリ

支ヨリ上海へ転報アリタシ

201 昭和7年8月17日 在蕪湖柴崎(白尾)領事より

内田外務大臣宛(電報)

血魂除奸団の日貨取扱商に対する脅迫等について

蕪湖 8月17日後発
本省 8月17日後着

上海 8月18日後着

第二二号(暗)

最近蕪湖安慶蚌埠等管内各地ニ於テモ血魂除奸団支部ノ匿名ヲ以テ商務会初メ各種日貨取扱商ヲ脅迫スルモノ頻出シ商人間ニ相当恐慌ヲ来タシ何レモ日貨不買決議等ヲナシ警戒シツツアルタメ昨今幾分恢復シツツアル日貨取引モ又復停頓スルモノト観測セラル尚支那側ニ対シ之カ取締方嚴重交渉中

(綿織物 砂糖 石炭 紙 千噸)	一九三一年一五月		一九三一年一五月	
	数量 (単位一千円)	価額	数量 (単位一千円)	価額
一六四・〇八四	二七・〇五八	一一・九五〇	一九・三九〇	
一・〇九三	六・八三四	七一八	三・七九二	
五・四八	八・五一	二三二	三・一一四	
			二・二九六	(香港 閩東州ヲ含ム)

表面排日暴行跡ヲ潜メ幾分緩和ノ氣味アリタルモ
七月中旬ニ至リ上海市商会ノ排日貨勧告ニ刺戟セ
ラレ各同業公会ハ排日貨ヲ決議シ日貨ヲ取扱フ者
ヲ非国民ナリトシ次テ日貨取扱者ヘ爆弾並ニ脅迫
状ヲ送ル血魂除奸団等暴力団カ活躍ヲ始メタル為
一般日貨取扱華商ハ恐怖ノ余リ日貨取引再ヒ中絶
ス(尚別記最近ニ於ケル排日状況参照)

(D) 今次排日運動ノ特徴

從前ノ排日ニ比シ組織的ニシテ脅迫状私刑罰金等嚴辛ヲ極

メタリ尚上海ニ於テ日本商人所有貨物ノ抑留件数七月以降
十二月末迄ニ三十五件価格約二十八万七千弗ニ昇リ取戻未

清ノモノ八件アリ

(E) 排日ノ日支貿易ニ関スル影響

支那海關統計ニ依リ各國別貿易額ヲ表示シ一九三一年十月
以降日本品輸入激減ニ引替ヘ米国品輸入激増シ同年輸入額
日本品ヲ凌駕スルニ至リタルハ排日ノ影響ヲ如実ニ示スモ
ノト云フ可ク尚昨年十月以後日清汽船ノ長江及南北沿岸航
路ニ於ケル支那人荷積皆無トナレリト注記ス

202 昭和7年8月18日 在上海村井總領事より

内田外務大臣宛(電報)

排日貨の影響、排日運動の趨勢に關する連盟
調査団への回答について

第九二七号
貴電第三〇七号ニ關シ

「ドルフマン」ニ對スル回答ハ略成案ヲ得不日発送ノ筈ナル
カ其ノ要旨左ノ通

第一質問

(A) 本年一月乃至五月ノ日支貿易月別額
各地方別輸出入額ヲ月別ニ表示シ(滿州ニハ閩東州ヲ含ム)
北支那及滿州貿易カ比較的良好ナルハ排日貨運動稀薄ナル
為ニシテ中南部支那及香港貿易ノ不振ハ排日貨ノ影響ニ依
ルモノナル旨注記ス

(B) 排日ニ依リ特ニ打撃ヲ受ケタル貨物

右ノ内綿織物ハ既ニ支那ニ輸入セラレタルモ受渡不能ノ為
滯貨トナリ居ルモノ上海丈ニテモ約六百万円アリ此ノ外約
定品ノ積止二万箱約四百七十万円アリ砂糖ハ上海滯貨約二
万俵約定品ノ積止並契約取消約三万俵アリ紙ハ積止品百一
十万円石炭約百五十万円アリ既輸入約定品ノ受渡モ大ニ渋
滯シ居レリ

尚上海ニ於ケル邦人經營紡績其ノ他ノ工場製品ニシテ排日
貨ニ依リ受渡延期乃至不能ニ陥レルモノ約五十万円ニ上ル
有様ニテ値下予定利益損失等極メテ巨額ニ上ル

(C) 最近ノ排日運動ノ趨勢

日本軍ノ撤退後ト雖モ排貨運動ハ左シタル変化無ク只一時

日本品ハ他国品ニ比シ有利トナリ需要ヲ喚起セシカ如キモ
中南部支那地方ニ於テハ代価ノ低廉モ日貨取扱カ安全ニ遂
行出来ルカ否カノ虞アル為取引上殆ント影響ヲ及ホシ居ラ
ス寧口排日ハ円価低落ニ寄与スル処アリト云ヒ得可シ

(G)付記トシテ最近ニ於ケル排日状況ニ付詳述セリ既報ノ累
次拙電参照アリタシ

第二質問 支那ニ於ケル日本ノ投資額

日本ノ対支投資額ハ一九二九年十月正金小田切取締ノ発表
セルモノヲ引用ス

追加質問

一、大蔵省発行ノ統計ニ依リ減少率ヲ表示シ右減額ノ總テ
カ排日ニ依ルモノトハ断スヘカラサルニ属ス例ヘハ新嘉坡
及香港地方ニ於テ日本産海產物燐寸及陶磁器等カ大激減ヲ
示シ居ルカ如キ事實ニ見ルモノ排日貨ノ存在カ貿易減少ノ有
力ナル一因タルヲ知ル

二、排日運動ハ潛行的ニ国民党支部或ハ国民党遊説員及學
生等ニ依リ行ハレ居ル模様ニテ又夫等ヲ中心トスル一種ノ
結社ニ依リ脅迫的勧誘ヲ為スモノノ如シ

三、日本商社ニ対スル排日団体ノ直接的妨害行動殆トナク

又各地当局トモ地方治安維持ノ立場ヨリ露骨ナル運動ヲ取
締リ居ルヲ以テ在留邦商トシテハ目下ノ所何等不安ナキモ
ノノ如シ（尚香港ニ於テ起レル邦人一家殺傷事件ヲ説明
セラ）

ス

四、一九〇五年米國ニ於ケル移民問題ニ関連シ新嘉坡ヲ中
心トシ米貨排斥行ハレ延ヒテ廣東ニ於テ米人殺傷事件發生
セル顛末ヲ挙ケ明治四十年ノ辰丸事件以降支那本土ニ惹起
セル數度ノ排日運動ハ其都度香港新嘉坡馬尼刺「スラバ
ヤ」暹羅等ノ各地ニ伝播シ程度ノ差コソアレ邦品販売ニ影
響ヲ及ホシタリ

五、支那本土ニ於ケル排日運動回避策トシテ日本品ヲ一度
香港ニ送リ改装等ヲ施シ再ヒ支那港ニ「外國品」トシテ輸
入ヲ試ミラレシコト無キニシモ非斯然シ現在ノ排日組織ハ
支那税關員通関業者ト連絡シ商品ノ鑑定ニモ相當眼カキキ
居リ一時的ニ極ク少量ノモノヲ搬入スルコトハ兎モ角繼續
的ニ纏マリタル數量ノ輸入ハ到底困難ナリ

尚支那ノ對外貿易上ニ於ケル香港ノ地位ヲ數字ニ依リ説明
シ香港貿易カ排日貨影響緩和ニ干与スル程度ニ殆ント問題
トナラサルヲ述フ

六、支那ノ排日運動ヲ終煩セシムルニハ

(1)支那官憲ヲシテ不法行為ノ取締ヲ嚴重ナラシムルコト

少ナクトモ排日運動ノ中心地タル上海ニ於テ共同租界ノ
司法権ヲ独立セシメ

(2)国際間ノ協定又ハ連盟規約ニ於テ不法排外運動ヲ禁止
スルニ在リ然リト雖モ根本問題トシテハ支那ニ強力ナル
組織アル中央政府ヲ確立セシムルコトヲ必要トシ国民カ
不法ナル脅迫ニ惧レス正義ヲ主張シ得ルニ至ルコト又甚
タ必要ニシテ且諸外国カ支那ノ実情ニ付充分ナル認識ヲ
有シ淺薄ナル対支同情的言辞ヲ慎ムコト最モ望マシキ処
ナリ

北平ニ転電シ吉田大使ニ転報セシム

203 昭和7年8月18日 在上海村井總領事より
内田外務大臣宛(電報)

血魂除奸団の活動取締方吳市長に正式申入れ
について

別電 同日在上海村井總領事より内田外務大臣宛第九三
二号
右抗議書翰

上海 8月18日後着
本省 8月19日後着

第九三一號(暗)
往電第九一五號ニ閑シ

(一九八文書)

吳市長ニ対シ正式抗議ノ提出ハ之迄差控ヘ居リタル次第ナ
ルモ事態悪化ノ傾向著シキヲ以テ八月十七日付ヲ以テ要旨
別電第九三一號ノ通書翰ニテ正式申入ヲ為スコトシ同午
後本官吳市長ヲ市政府ニ往訪シ右書翰ヲ手交シ之ヲ敷衍説
明シタルニ吳市長ハ滿州問題未解決ノ今日人民ヨリノ非難
ヲ甘受シツツ誠意ヲ以テ排日取締ニ當リ居り事態ハ上海事
件(脱?)ヨリモ改善セラレ居リ又斯カル大事變後急ニ事
態ノ改善ヲ望ムモ無理ナリトノ趣旨ヲ陳弁セルカ本官ハ當
方ノ要求スルハ商元ノ回復対日感情ノ改善ト云フカ如キ無
理ナル注文ヲ為ス次第ニハ非ス市長ノ當然ノ責任タル不法
行為ノ取締ヲ要求スルモノナルヲ力説シ尚形勢重大ナルヲ
印象スルニ努メタルカ結局市長ニ於テ充分責任ヲ以テ取締
ルヘシト答ヘタルモ其ノ口吻ヨリ察スルニ市商會等ニ對シ
テハ鞏固タル措置ヲ執リ得サルカ如シ尚又市長ハ頻リニ正
式抗議ヲ苦ニシ不平ヲ並ヘタルニ付先方ノ立場ヲ考慮シ

抗議文内容ハ発表セサルコトニ約束セルニ付右御含ヲ請
フ

別電ト共ニ公使ニ転報セリ

別電ト共ニ北平、奉天、南京、天津、青島、漢口、廣東、
長春へ転電セリ

(別電)

上海 8月18日後発
本省 8月18日後着

第九三二号(別電)

上海市商会並ニ各種同業公会ノ排日通電及通告、血魂除奸
團ノ横行ニ依リ排日貨風潮再燃シ來リタル處之カ取締方既
ニ市長ノ注意ヲ喚起シ其誠意ニ信頼シ居タルニ近來漸次熾
烈トナリ市商会ノ十二日付脅迫的言辭ヲ含ム通電ト為リタ
ルカ通商條約ニ依ルモ日貨取引ハ自由タル可ク何人モ妨害
阻止スルヲ許ササルモノナルニ市商会ノ如キ公的団体カ不
法越軌ノ行動ニ依リテ排日貨ヲ強制実行セシメ居ルヲ中國
官憲カ放任スルハ條約違反ナリ殊ニ一月二十八日付ノ誓約
アルニ於テヲヤ、サレハ取締ノ実効果無キニ於テハ本官ハ
私人又ハ団体ノ不法行為ヲ非議スルニ止マラズ中國官憲ノ

条約違反並ニ誓約無視トシテ市長ノ責ヲ問ハサル可カラサ
ルニ至ル可シ依テ市商会及各種団体ノ不法行為ヲ禁止シ之
ヲ再發セシメス通電通告等ヲ取消サシメ血魂除奸団ノ捜索
検挙ヲ一層努力スル等適切有効ノ方法ヲ實行アリ度結果回
答アリ度シ

204 昭和7年8月19日 在南京上村總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

日貨輸入に關し収賄の抗日會員処分について

南京 8月19日後発
本省 8月19日後着

第五八一号(八〇文書)
往電第五二六号ニ関シ

首都各界抗日会ハ曩ニ支那商人ヨリ賄賂ヲ取り日貨ノ輸入
ヲ帮助シ居タル同会下閔検査處主任陳家樹及検査員井然等
ヲ過日來訊問シ居タルカ十八日ノ各新聞ニ依レハ陳及井ノ
両名ハ懲戒条例ニ依リ死刑ニ處シ又張英ナル者ニハ罰金千
弗ヲ課スルコトナリタル趣ナリ
支、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州へ
転電セリ

205 昭和7年8月19日 在南京上村總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

抗日會員収賄事件に關する市党部、司法院長
の態度について

南京 8月19日後発
本省 8月19日後着

第五八三号(四〇文書)
往電第五八一号ニ関シ

收賄者ヲ死刑ニ處スル旨ノ記事新聞ニ記載セラルルヤ關係
商人ノミナラス一般ニ少カラス衝動ヲ与ヘ贊否ノ議論沸騰

シ居レルカ市党部ニ於テハ十八日新聞記者ヲ招集シ事件ノ
内容ヲ説明スルト共ニ陳等カ從来收賄セル額ハ一萬元ニ達

シ居リ曩ニ廣東ニ於テ此種收賄者ヲ銃殺セル先例モアリ陳
等ノ死刑ハ當然ナルカ中央党部トシテハ政府ニ於テ本件ヲ

執行スル場合ニハ法律的根拠ナク且外交上ノ惡感情ヲ惹起
スルコトヲ怖レ居リ去リトテ市民大会ニ於テ執行スルコト

ニモ贊成セサル為未タ決定スルニ至ラサル旨述ヘタル趣ナル
カ一方司法院長兼最高法院院長タル居正ハ本件ハ當然法院
ニ移シ審議スヘキモノナリトノ意見ヲ發表シ又江寧地方法院
ハ無意味ナルニ付委員等總辞職スヘント息捲キ居リ二十一

206 昭和7年8月21日 在南京上村總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

抗日會員収賄事件の處理をめぐる中央党部と
救国会の意見対立について

南京 8月21日後発
本省 8月21日後着

第五八五号(五〇五文書)
往電第五八三号ニ関シ

救国会員収賄事件ニ関シ中央党部ハ法治精神ヲ維持スルト
共ニ悪例ヲ貽ササル為市党部ニ對シ救国会ヲシテ速ニ事件
ヲ法院ニ移サシムル様命令セル趣ナルカ救国会ハ飽迄自ラ
事件ヲ處理スヘク若シ目的ヲ達セサルニ於テハ民衆ノ抗日
ハ無意味ナルニ付委員等總辞職スヘント息捲キ居リ二十一

事項5 中国およびその他各地における排日状況

日ノ新聞ニ救国会ハ組織アリ規律アル民衆団体ニシテ政府
カ其ノ成立ト存在トヲ認メ乍ラ其ノ規約（懲戒条令）ヲ否
認スルハ不当ナリトノ趣旨ヲ発表セリ
〔九三文書〕
尚往電第五五七号血魂除奸団ノ外最近愛國除奸団又ハ鉄血
十人団等ノ排日団体ヲ組織シ頻リニ商民ヲ強迫シ居ル模様
ナリ

冒頭往電ノ通り転電セリ

207 昭和7年8月25日 在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛（電報）

日貨封鎖に関する総商会より各同業公会に對
する通告について

第五六六号
〔九七文書〕
往電第五四七号ニ閑シ

当地總商会ハ血魂除奸団ノ脅迫ヲ受ケタル結果遂ニ十九日

付ニテ各同業公会ニ対シ
〔）従前登記シアル日貨ハ一週間内ニ封鎖シ其ノ種類数量ヲ
報告スルコト

本省 8月26日前着 漢口 8月25日後発

（）再度日貨ヲ売買セサル旨ノ誓約書ヲ商会宛提出スルコト
（）日貨封鎖競売後翌ニ日貨ヲ販売シハ日貨ノ商標ヲ取り
換ヘタルモノハ人格的破産ヲ宣告シ道徳的制裁ニ依リ一切
取引ヲ中止セシムルコト

ノ通告ヲ発シタル由ニテ漢口綿糸布同業公会ハ二十一日臨

時總会ヲ開会対策ヲ協議シ

（）約定品ハ本月末日迄ニ引取ヲ完了スルコト

（）本月末日再ヒ總会ヲ開キ各商店手持チ日貨ノ種類数量ヲ
總商会ニ報告スルコト

（）九月一日ヨリ日貨取引ヲ停止スルコト

（）四月一日以後同業公会ニ未加入ノ綿糸布商カ日商ト取引
シタル時ハ其ノ事實ヲ新聞ニ掲載シ血魂除奸団ニ通知スル
コト

（）四項ヲ決議シテ總商会ニ報告スル處アリ又綿布卸商同業
公会ハ二十二日會議ヲ開キ

（）即日日貨取引ヲ停止スルコト

（）約定品ニ付テハ手付金ヲ交付シタルモノハナルヘク速ニ
引取り然ラサルモノハ引取ヲ拒絶スルコト
ヲ決議シ又海產物、砂糖同業公会モ右ト略同様ノ決議ヲ為

シタル趣ナルカ今後ノ成行キ注視中ナルモ不取敢
冒頭往電ノ通り転電、転報セリ

208 昭和7年8月26日 在上海村井總領事より
内田外務大臣宛（電報）

全國各団体救国連合会成立大会の挙行について

本省 8月26日後着 上海 8月26日後発

第九五一号（暗）

全国各団体救国連合会成立大会ハ昨二十五日当地四馬路中
央西菜社ニ於テ工部局警察ノ嚴戒裡ニ挙行セラレ來会者七

十余名其内廈門、南京、北平、天津、福建、安徽、東三省
等ヨリ參会セル代表二十四人ニ上リ主席團ニハ鉢伝善李次
山王搏沙褚慧僧褚輔成李剛席上東三省抗日会代表閻玉

衡ノ東北義勇軍真相報告等アリ會議ハ引続キ三十日迄続行
セラレ抗日關係各種提案ニ付協議ヲ重ヌル由

本会ハ熊希齡ヲ首班トスル國家主義派各連中カ王曉籟等ノ
主宰スル在来ノ各団体救国連合会トノ間ニ過般來抗日運動
「ヘゲモニ」ノ争奪ヲ行ヒツツアリンカ結局（脱）王等

ス
在支公使ヘ転報シ

北平、天津、濟南、青島、南京、漢口、福州、廣東、廈門
へ転電セリ

209 昭和7年8月27日 在蘇州川南領事代理より
内田外務大臣宛（電報）

各種除奸団の活動について

蘇州 8月27日後発
本省 8月27日後着

当地反日会ハ幹部職員ガ私利ヲ計リ居ル事實暴露シ県当局ヨリ工作停止ヲ命セラレ省党部ヨリ派員調査ノ結果関係者ハ目下地方法院ニ於テ審理中ナルカ一時影ヲ潜メタル排日運動モ新幹部ノ就任ト同時ニ擡頭シ來リ一方上海ニ於ケル

血除奸団ハ当地ニ分團ヲ設ケ活動シ始メタル外鉄血誅奸団縱火滅奸団蘇州啜血鋤奸団等ト称スルモノ出現シ日貨販売嫌疑ノ商店ニ對シ期限内ニ日貨ノ封存ヲ実行セサレバ手榴弾乃至砲火ヲ以テ報復スベシトノ脅迫状ヲ送り中ニハ小銃弾ヲ同封セルモノアル為商人ハ恐怖心ニ驅ラレ居レリ去ル二十五日ノ如キハ縱火滅奸団ヨリ租界外居住邦人薬店隣家ノ寢台商ニ對シ「三日以内ニ日貨ヲ封存スヘク然ラザレバ店舗ヲ焼払フベシ尚隣家薬店（邦商ノ家号ヲ明記セリ）ノ薬品ヲ代売シ居レリトノコトナルガ之亦注意ヲ要ス」トノ脅迫状ヲ送リ來リタルガ店主ハ日貨販売ノ事實ナキ旨ヲ以テ公安局ニ申告セル趣ナリ

支ヨリ上海、杭州へ転報アリ度シ
支へ転電シ南京へ暗送セリ

210 昭和7年8月29日 在濟南西田總領事より
内田外務大臣宛（電報）

ハ聞知セルカ該團體員ハ未タ當地方ニ潛入シタル報告ナキモ本件ハ韓主席ニモ報告シ警備司令部及公安局等ニ於テ嚴重取締リヲナス答ナリト答へ居タリ

(二)一方韓主席ハ二十三日雷警備司令及王公安局長ニ對シ各種救國團體ノ名義ニテ不良分子當地朝鮮人共產黨ト連絡シ

機會ニ乘シ地方治安ヲ亂サム傾向モアルニ付嚴重取締ヲナスヘキ事ヲ言明シタル趣ナルカ韓ハ二十七日付ニテ最近当

地方ニ各種救國團體ノ名義ヲ利用シ種々宣伝ヲナスモノアル處此國難ニ際シ救國心ハ諒トスルモ徒ラニ無益ノ宣伝ヲ

ナスハ紛糾ヲ惹起シ治安ニ影響スルコト大ナルニ付嚴重取締ヲ勵行シ省党部又ハ省政府ノ認可ヲ得ルニ非サレハ其ノ

名義ノ如何ヲ問ハス本地ニ於ケル宣伝者ハ武力ヲ以テ彈圧スヘキ旨ヲ布告シ市政府、警備司令、公安局、各縣長各民團等ニモ訓令ヲ發セル趣ニテ右訓令及布告（委細公信）ハ昨二十八日ノ新聞ニ發表セリ

(三)右除奸団ハ目下ノ処邦人ニ對シ直接行動ナク又通商上ニモ差当リ特別ノ影響ナキモ強迫状ヲ受ケタル華商側ニテ新

聞紙上ニ日貨ヲ自ラ封鎖セル弁明的廣告ヲ掲載スルモノ弗々現ハレ居レルカ本件ハ各地ノ状況如何ニ依リテハ相當反

除奸団による排日活動取締方韓主席に申入れ

について

濟南 8月29日後発
本省 8月29日後着

第二三五号（暗）

本月十三日頃ヨリ上海抗日團體タル鉄血又ハ血魂等ノ名称ヲ付セル除奸団ヨリ当地公会並ニ華商有力筋等ニ日貨排斥ニ關スル強迫文ヲ送付セル趣聞知セルニ付

(一)本官十六、十八両日韓主席ニ會見シ山東方面ハ今日迄大体治安維持セラレ反日排貨等ノ重大ナル紛糾モナク経過セルカ最近除奸団ノ名義ヲ有スル私の團體ハ華商側ニ日貨排斥ヲ強要スル聞込アリ右ハ現在ノ處威嚇程度ニ止マラムモ愈实行ノ際ハ其両國ノ通商經濟ノミナラス治安維持上ニモ影響甚大ナルニ付此種行動ノ取締ヲ嚴ニシ紛糾ヲ未然ニ防止スル要アルヘシト篤ト申入レ注意ヲ促カシタル處

韓ハ除奸団ノ名義ニテ華商側ニ強迫状ヲ送致セルコトハ聞込アルモ之ニ對シテハ充分取締ヲ励行シ不法ノ行動ヲ阻止スル方針ニ付之カ實行スルカ如キコトナカルヘシト答へ又二十二日王實業廳長ニモ本件申入レタルニ王モ強迫状ノ事

211 昭和7年8月30日 在上海矢野臨時代理公使より
内田外務大臣宛（電報）

響アルヤモ計リ難シト思考スルニ付注意中ナリ不取
在支公使ヨリ上海へ転報アリタシ
在支公使、北平、青島、天津、南京、漢口へ転電シ
芝罘、張店、博山、坊子へ暗送セリ

第一一四〇号（暗、極秘）

最近除奸団ノ横行ニ從ヒ排日熾烈ニナリ居ルハ汪精衛一派及孫科等カ蔣介石ノ地位ヲ困難ナラシムル為煽動シ一部実業家カ利己的立場ヨリ之ヲ援助シ居ルトノ說アリ二十七日

堀内唐有壬ト会談ノ節夫トナク事情ヲ質シタル處唐ハ汪精衛ハ此ノ際日本トノ間ニ新シキ事端ヲ起スコトハ極力之ヲ避クヘシトナシ居リ現ニ除奸団ノ跋扈ニ對シテモ大ニ憂慮シ直ニ吳鐵城ニ對シ彈圧方命令シタルニ對シ吳ヨリ容易ニ返事来ラサリシヲ以テ更ニ督促セル處吳ヨリハ除奸団ノ取

事項5 中国およびその他各地における排日状況

締ハ充分遣り居ルモ之カ徹底的彈圧ニ付自ラ責任ヲ取り難シ返事シ来レリ右ニ依レハ相当有力者カ之ニ関係シ居ルモノト認メラレ汪ニ於テモ対策ニ腐心シ居ル次第ナリ更ニ堀内ヨリ党部ニ於テ積極的排日ヲ訓令セルヤニ伝ヘラルルハ事実ナルモ其ノ者カ自分ニ対シ訓令ヲ出シタルコト無ク政府トシテハ排日運動ヲ全然禁止スルコト不可能ト考ヘ居ルモ其ノ運動力不法越軌ニ亘ラサル様充分ノ注意ヲ加エ居リ例ヘハ南京ニ於テハ抗日団体ノ要求スル死刑ノ如キニ付テモ政府ハ其ノ処置ニ苦心シ居リ結局政府ニ於テ不法ニ日貨ヲ取扱ヘルモノヲ制裁スルノ建前ヲ執ルニ至ルヤモ知レス之ニ依リ表面ノ制裁ハ如何様ニ重クスルモ實際之ヲ保護シ置クコトモ出来得ヘク又例ヘハ日本ノ満州國承認ノ方針ニ対シ政府トシテハ激烈ナル抗議ヲ発表スルヤモ知レサルカ之モ民心緩和ノ見地ヨリスルモノニ過キスト述ヘタリ尚唐ハ日本側ニ於テハ近ク滿州國ヲ承認スヘシト伝ヘラルルカ此ノ場合ニハ全國ノ排日運動熾烈トナルヘク政府ハ之ヲ徹底的ニ取締り難ク其ノ結果或ハ日本側ノ反対手段ヲ喚起シ上海事件ノ如キモノヲ繰返ス危険アリトテ政府ハリ

其後血魂除奸団ノ脅迫状ハ日貨取扱商ノ殆ト全部ニ配布セラレ爆弾又ハ銃剣ノ送付ヲ受ケタル例モ數件ニ上レル結果九月一日ヨリハ日本品ノ取引殆ト杜絶スヘキ惧アリ現ニ之ヲ見越シテノ見込取引ニヨリ數日來日貨ノ需用急ニ増加セル奇現象スラ呈シ居ル有様ニシテ事態憂慮セラレタルヲ以テ廿六日武漢警備司令楊晟ニ対シ当地ニ於ケル除奸団ノ跳梁振リヲ指摘シ嚴重取締方申入タルニ楊ハ一々諒承シ斯クテ治安維持ノ職責ヲ果スト共ニ日支通商條約ヲ擁護スヘシトノ固キ決意ヲ示シ更ニ自分ハ同團ノ來漢当初既ニ排貨各機関ニ対シ同團ノ根城ヲ突キ止ムルコト並ニ團員ノ不法ナル活動ヲ制止スヘキコトヲ命シタル結果同司令部督察處長及偵糾處長ハ多數ノ密偵ヲ市中ニ放チ捜索網ヲ張リ居リ刻ノ状況ヲ報シ居ル處其活動ハ新聞報道程大袈裟ナラサルモ彼等ノ行動潜行的ナルタメ遺憾乍ラ今日ノ處其正体ヲ突キ止ムルコトヲ得サルカ同團ハ仏國租界ニ本拠ヲ有スル疑入ル所存ナリト云ヒ又漢字紙カ同團ノ活動ヲ宣伝的ニ報道スルコトモ甚タ面白カラサルニ付記者團ニ対シ警告ヲ發スヘキ旨応答スル処アリタリ

之カ防止方ニ付色々考慮シ居ルカ同時ニ政府部内ニハ事茲ニ至レハ必スヤ第三國（米、英等）ノ干渉ヲ招キ日本ト之等第三國トノ争トナリ結局時局ハ支那ニ有利ニ解決サルヘシトノ説ヲ為スモノアリ（賀耀組ノ如キ其ノ一人）自分ハ斯ノ如キ事態トナレハ日本カ勝ツモ英米カ勝ツモ結局支那ハ亡國ノ途ヲ辿ルヨリ外無シト反対シ居ル次第ナリト述べ居タリ

本件内話ハ唐ノ立場モアリ取扱上特ニ御注意ヲ請フ
北平、奉天、長春、天津、青島、南京、漢口、廣東、福州へ転電セリ
上海へ転報セリ

212 昭和7年8月30日 在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛（電報）
往電第五四七号ニ閔シ
　　いて

南京 8月30日後発
本省 8月31日前着

第五七一号（暗）
（二二文書）
第五四七号ニ閔シ

213 昭和7年8月30日在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛（電報）
　　いて

漢口 8月30日前発
本省 8月30日後着

第五七二号（暗）
（二二文書）
第五七一号ニ閔シ

血魂除奸団の本拠、組織等に關する情報について

血魂除奸団ノ本拠ハ漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛（電報）
往電第五四七号ニ閔シ

在ル疑アル旨楊司令ヨリ聞込ミタルヲ以テ本日仏國領事ヲ往訪シ同團ノ本拠調査方申入レタルニ同領事ハ早速租界當局ニ命シ調査セシメ判明次第租界外追放方取計フ可キ旨約シタル上無名ノ投書ヲ示シタルカ之ニハ血魂除奸団員ノ行動ハ愛國運動ナルヲ以テ仏國租界當局ニ於テ同情アル庇護ヲ加ヘラレ度トノ趣旨ヲ認メタルモノニシテ同領事ハ其書振ノ幼稚ナル点ヨリ推シ團員ハ恐ラク青年学生ナルヘシト付言セルカ一方連合通信記者小川ノ旧知タル漢口特別市党部職員蔡孟余カ極秘ノ含トシテ小川ニ語ル所ニ依レハ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

(1) 当地ニ於ケル血魂除奸団ハ省市両党部ヲ中心トシテ組織
セラレ主トシテ市党部カ其衝ニ当リ上海又ハ南京方面ヨ

リ入込ミタル学生ノ所為ニ非ストスルモ

(2) 其活動ニ対シテハ当地豫鄂贛三省剿匪司令部ニ於テ充分
了解シ居リ爆弾ノ如キモ其取扱ヲ慎重ニシ断シテ爆発セ

シム可カラストノ条件ヲ付シテ總司令部ヨリ貸与シタル
モノナル趣ナリ

尚蔡ノ内話ニ依レハ全国ニ亘ル除奸団ノ活動ハ蔣介石系ノ
中央党部委員カ「ファッショ」運動ニ資セントシテ計画シ

タルモノニテ近ク除奸団ノ工作指導ノ為中央党部委員ハ南
京ヨリ各地ニ向ケ出発スルコトト為リ居リ蔣系中央委員ハ

各地ニ於テ小手調トシテ本運動ヲ指導シ旁「ファッショ」
運動ノ素地ヲ作ラントスルモノノ趣ナリ真偽不明ナルモ聞

込ノ儘

前電通転電暗送セリ

214 昭和7年8月30日 在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛(電報)

共産党員による大工場労働者の煽動等について

て

第五七六号(暗)
(二二文書)

往電第五七二号ニ関シ

当地ニ於ケル除奸団ノ正体ニ關シテハ情報区々ナルモ一説
ニハ反蔣介石派カ蔣虐メノ方便トシテ行ヒ居ルモノト謂ヒ
又学生及旧反日会員等カ小使錢ヲ稼クカ為合体シテ反日会
ヲ復活シ市党部員之ヲ操縦シ居レリト謂フモ武漢警備司令
部ニテ調査ノ結果同団ハ当初國家主義派青年ニ於テ計画セ
ルモノナルカ共産党員ハ之ヲ好機トシテ下級党部員ヲ手先
トシテ除奸団ノ工作ヲ拡大シ武漢ノ擾乱ヲ企画シ居タルモ
ノト認メラルル趣ナリ

前電通転電暗送セリ

216 昭和7年8月30日 在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛(電報)

除奸団員に対する取締励行により日貨取引増

加について

漢口 8月30日後発
本省 8月30日後着

第五七七号(暗)
(二二文書)

往電第五七六号ニ関シ

漢口 8月30日後発
本省 8月30日後着

第五七五号(暗)

武漢ニ於ケル各種工場労働者ニ対シ不穏ノ伝单ヲ配布スル
者統出スルヲ以テ公安局ニ於テ探索セシ処市内ニ潜入セル

共産党員カ武漢三鎮ノ電燈公司ヲ爆破シテ市内ヲ暗黒化シ
一挙ニ暴動ヲ起サントシ又大工場ノ労働者ヲ煽動シ暴動ニ

参加セシメントシ相当手広ク魔手ヲ延ハシ居ル事實略々判
明セル趣ニテ支那側警備当局ハ急ニ緊張振ヲ示シ嚴重警戒

中ナルカ公安局ニテハ右不穏伝單カ当地外国租界内ニテ印
刷セラレタル疑アリトシ當館ニ対シテモ日本租界内ノ注意

視察方申入レ来レリ

支、北平、南京、奉天、天津、青島、廣東、濟南へ転電シ
長沙、宜昌、九江へ暗送セリ

215 昭和7年8月30日 在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛(電報)

除奸団の組織などに關する情報について

漢口 8月30日後発
本省 8月30日後着

武漢警備司令部ニテハ昨二十九日以来市中ヲ十五区ニ分ケ
テ警戒シ徹底的ニ除奸団ノ檢挙ニ当ラシムルコトセル
結果同団ハ急ニ鳴ヲ鎮メ市中ノ日貨取引ハ公々然ト行ハル
ルニ至リ本邦商社ニ対シ新規注文頓ニ増加シ荷渡モ昨日來
活氣ヲ呈シ日支商人共奇異ノ感ヲ抱キ居ル有様ナルカ之ニ
テ往電第五七一号ノ楊晟警備司令ニ申入ノ件ハ確實ニ履行
セラレタル訳ニテ昨二十九日漢字紙ニテ除奸団關係記事ヲ
掲ケタル者無キヨリ觀ルモ支那側ニ於テ誠実ニ取締ヲ為
シ居ルモノト認メラル尤モ支那側カ斯ク急ニ取締ヲ励行ス
ルニ至レル裏面ニハ往電第五七五号共産党關係トモ相當牽
連スル處無キニ非サルカ如シ

前電通転電暗送セリ

217 昭和7年8月30日 在福州守屋總領事より
内田外務大臣宛(電報)

省党部による拡大記念週の開催と活動について

福州 8月30日後発
本省 8月30日後着

第一八九号(暗)

事項5 中国およびその他各地における排日状況

往電第一八三号ニ関シ

諜報者ノ報告ニ依レハ省党部ハ二十九日午前九時ヨリ大礼堂ニ於テ省政府以下各機関ノ代表者三名宛ヲ出席セシメ（約二百人）拡大記念週ヲ催シ其際省党部委員詹調元ハナ九路軍ハ共匪討伐ノ上ハ日本ニ抵抗スルモノナリトノ趣旨ヲ演説シ中央党部派遣ノ戴愧生ハ党部省政府及軍艦ニ密接ノ連絡ヲ欠ク為排日工作ノ見ルヘキモノナキヲ批難シタル後詹ト同様ノ事ヲ述へ日貨排斥及反日宣伝ノ急務ナル事ヲ力説シ党部指導員甘漢ハ福州人ノ日貨取扱ノ尚熄マサルハ非爱国的ナリト述へ且二三日前中央ヨリ密電ノ次第モアリ九月十八日ノ国恥記念日ニハ国民トシテ爱国的ナル何等力ノ行動ヲ為ササルヘカラストノ趣旨ヲ力説セル趣ナリ察スルニ党部ハ盛ニ当地ニ於テ排日工作ヲ擡頭セシメント努メツツアルモノナルヲ以テ上海ニ於ケル除奸团ノ活動等ニ刺戟セラレンカ常ニ上海ノ真似ヲシ来レル当方ニモ意外ノ事故ヲ発生セストモ計ラレス現ニ当地不良分子ハ曩ニ劉ヲ日貨取扱ノ廉ヲ以テ血祭ニ挙ケタル如ク更ニ六名ノ奸商ヲ殺シ（六名ハ劉ヲ殺シタル當時既ニ（脱）居タルモノト伝ヘラル）日貨取引ノ跡ヲ絶ツヘク計画シ居ルトノ情報ア

茲ニ全文訳出電報ス
尚右原文ノ写真及英訳文連盟調査団ニ提示シ置ケリ
公使ヨリ上海へ転報アリ度シ
本電別電ト共ニ支、南京、廣東、漢口、福州、青島、濟南、天津、奉天、長春へ転電セリ

（別電）

北平	8月31日後発
本省	8月31日後着

第五四九号（別電）暗

⁽¹⁾ 中央宣伝委員会ヨリ公信第一六九三号密令ヲ以テ
「各地人民力抗日運動ニ折角努力スルモ一時ノ興奮ニ驅ラ
レ軌外ノ行動及言論ニ出テ一時ノ快ヲ貪リ現ニ事実ノ如何
トモ為シ難キヲ想ハス且種々不良ノ結果ヲ惹起シ殊ニ新聞
記載ノ抗日消息ハ常ニヨリ誇大的ニシテ例へハ某軍ハ某地
ニ集中シ又某人ハ某方面ヨリ東北義勇軍ニ大量ノ武器食糧
ヲ供給セリ等此等新聞ノ宣伝ヲ見ル時我国軍隊ノ勢力ハ大
イニ日本軍ヲ超過セル模様ナルカ是即チ國軍及国人ノ心理
ヲ驕慢ニ導キ敵ニ其軍民ヲ激励スル口実ヲ与フルナリ、且
我軍事行動ハ秘密ナル可キモノナルニ何故ニ之ヲ公開宣示

リ（党部其他排日分子ハ直接日本人ニ手出ヲセス支那人ヲ

強迫スル事ニ依リテ日貨排斥ノ目的ヲ達スル事トシ不必要ニ日支間ノ紛争ヲ起ス事ヲ回避スル方針ニ出テ居ルモノナリ）警戒ヲ要スルモノト認ム

在支公使ヨリ香港へ転報アリタシ

廣東ヨリ香港へ転報アリタシ

在支公使、南京、北平、漢口、天津、奉天、青島、汕頭、

廈門、廣東へ転電セリ

218 昭和7年8月31日 在北平中山書記官より内田外務大臣宛（電報）

中央宣伝委員会の反日工作密令について

別電 同日在北平中山書記官より内田外務大臣宛第四
九号

右密令

北平 8月31日後発
本省 8月31日後着

第五四八号（暗）
北平市党務整理委員会ハ今回中央宣伝委員会ノ命ヲ奉シ別電第五四九号ノ如ク反日工作密令ヲ八月廿六日付ニテ各人民団体及新聞通信社ニ発セルカ右原文秘密ニ入手セルニ付

シテ敵ニ一切ヲ知ラシムルヤ又最近ニ於ケル上海ノ魂除奸团ノ挙動及各重要商埠ノ排日貨運動ハ實地ニ就キ秘密ニ積（極）的ニ日人經濟上ノ死命ヲ制止スヘク新聞紙ハ之ヲ鼓吹シ人民亦恐慌シ從テ排日貨運動ニ却テ障礙ヲ生セシメ且日商及奸漢ヲシテ却テ藉口争端ヲ起サシムルカ如キコト有ル可カラス凡ソ此等ハ深ク考ヘサルモノニ属ストシ憤慨シテ以テ事ニ從フ為動機ハ愛國ヨリ起レトモ實際ハ多ク國ヲ誤ル結果ニ至ルモノナレハ今後直ニ之ヲ改正シ流弊ヲ免レ実効ヲ增加スヘシ外患日ニ急ナルノ時日本人各所ニ事ヲ構ヘ争端ヲ開キ機ニ乘シテ中國ヲ破壊シ深ク侵入占拠セントル際ナレハ吾人ハ事変ノ誇張宣伝或ハ日本人ニ口実ヲ与フルカ如キ挙動ヲ惹起スル事ハ極力避ク可キナリ但シ実際抵抗ノ便法ヲ極力実行スルニ當リテハ敵ヲ見テ怯ム可カラス又偽瞞セントシテ却テ自ラ欺カル可ラス各地ニ於ケル同胞同志ハ犠牲ノ決心ヲ懷キ堅忍ナル奮闘ヲ為シ且ツ自己ノ國力及國家ノ地位ヨリ其ノ他ノ環境ヲ詳悉シ隱忍自重誇ラス騒カス党部ヨリ中央ノ意思ヲ人民ニ与ヘ次テ人民ハ自ラ動作シ計画ノ組織及進行アラハ党部ハ秘密ニ之ニ正当ナル支持ヲ与ヘ上下一心團結シ共ニ國難ニ赴キ一致ヲ以テ

事項5 中国およびその他各地における排日状況

実際抗日ノ工作ニ從事シ敵ニ乗ス可キ機会ヲ与フ可カラス即チ日貨抵制ニ付テ論スルニ商人ヲ勧導シテ日貨ヲ販売セシメス人民ヲ勧導シテ日貨ヲ買ハシメス且ツ奸商ヲ検査シ断シテ日本人ト直接衝突セシム可カラス是吾人ノ日貨抵制及抗日ノ意義ニ対スル宣伝ニシテ目前ノ急務工作ナリ但シ我日貨抵制ノ方法及抗日ノ実情ヲ新聞紙上ノ宣布ニ依リ敵ニ一切告ク可カラス尚其ノ他ノ事ハ本趣旨ヲ体シ實際ニ努力シ事半ニシテ功倍スルノ効果ヲ納ム可キ事ヲ切望ス之ヲ要スルニ敵貨ニ対スル方法殊ニ血魂除奸團ニ対シテハ須ク慎重ヲ要シ誇張的ナル宣伝ヲ為ス可カラス本文到達ノ上ハ所属機關ニ令シ遵守セシメラレ度シ且ツ此ノ意ヲ各人民団体及各新聞通信社ニ密告シ遵守セシメラレ度キ」

旨申越アリタルニ付茲ニ貴会（社）ニ通知ス
公使ヨリ上海ヘ転報アリタシ

219 昭和7年8月31日

在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛（電報）

排日状況の悪化と鉄血除奸團の跋扈について

漢口 8月31日後発
本省 8月31日後着

220 昭和7年9月1日

在天津太田（知庸）總領事代理より
内田外務大臣宛（電報）

日貨検査、除奸團行動等の報道禁止に関する

党部の密令について

天津 9月1日後発
本省 9月1日後着

第三五〇号（暗）

八月三十一日市党部カ常務委員ノ名ヲ以テ各新聞社ニ對シ経済絶交ハ暴日ヲ抵制スル唯一ノ有効弁法ニシテ現実実行

ヲ要スル處近來各新聞ハ徒ラニ之カ宣伝ニ努メ外交上ノ紛糾ヲ惹起シ却テ日貨抵制運動ヲ阻害スルコト鮮カラサルヲ以テ爾後日貨ノ検査、抑留、抵制及除奸團ノ行動等対日策略ニ関スル消息ハ一切發表スヘカラストノ旨公文ヲ以テ密令セリ

支ヨリ上海ヘ転報アリタシ

支、北平、奉天、南京ヘ転電セリ

221 昭和7年9月1日 外務省

中国における最近の排日状況について

最近ノ支那排日運動状況

（昭和七年九月一日）

支那ニ於ケル排日運動ハ大体ニ於テ連盟調査團渡支ノ頃ヨリ漸次緩和ニ向ヒ停戦協定成立シ次テ我軍ノ上海撤退完了スルヤ支那人ノ対日感情頓ニ好転シ各地抗日救国会等ノ排日団体モ次第ニ解散セラレ地方ニ依リテハ排日運動一時殆ト皆無トナリタルノ感アリ邦貨ノ荷動キハ排日ノ緩和ニ始シ得ル情態トナリ上海殊ニ漢口方面ニ於ケル邦貨ノ荷動合ヲ為シ排日貨ヲ決議シ之ヲ新聞ニ發表セリ茲ニ於テ日貨

第五七八号（暗）

鄭州領事館留守居文案案ノ報告ニ依レハ同地ニテハ八月中旬以来排日状況急ニ悪化シ鉄血除奸團ノ跳梁甚タシク脅迫状又ハ爆弾ノ送付ヲ受ケタル者ノ氏名ハ同団ノ活躍ト共ニ連市中ヲ引廻サレタル上反日会事務所前ノ木ノ檻ニ監禁セラレ日貨又ハ類似ノ商品ヲ有スル商人ハ同団ヨリ封存ヲ要求セラレ大恐慌ヲ来シ居ル趣ナリ

前電ノ通転電、暗送セリ
捕セラレ奸商ノ文字ヲ付シタル帽子並ニ日本服ヲ着セラレ市中ヲ引廻サレタル上反日会事務所前ノ木ノ檻ニ監禁セラレ日貨又ハ類似ノ商品ヲ有スル商人ハ同団ヨリ封存ヲ要求セラレ大恐慌ヲ来シ居ル趣ナリ

然ルニ六月ニ入り邦貨ノ荷動キ活況ヲ呈シ来レリトノ新聞報道頻ニ伝ヘラレ他方大連海關問題本邦ノ滿州國承認問題等ノ情報ハ鎮靜ニ傾ケル支那各地ノ排日運動ヲ痛ク刺戟セリ就中上海ニ於テハ各種同業公会ハ一部同業者ノ煽動ニ依リ猛烈ナル排貨運動ニ出テ或ハ無賴漢ヲ使嗾シテ匿名投書ニ依ル脅迫状ヲ邦商關係ノ支那商ニ送り或ハ新聞ニ投書シテ邦商トノ取引者名ヲ發表スル等ノ方法ヲ取り又上海市商會ハ七月十七日排日貨ノ繼續ヲ各同業者ニ通告シタルカ七月下旬ニハ血魂除奸團ナル暴力團ノ發動ヲ見ルニ至リ二十七日中國綿業公会及綿糸布取引所ニ對シ日貨ノ売買者ヲ皆殺ニスヘシトノ脅迫状及爆弾ヲ投入シ翌二十八日ニハ日本炭取扱支那商ニ爆弾ヲ投シ店員重傷セル等ノ事件アリテ日貨取扱支那商ヲ戰慄セシメタルカ綿糸布取引所ノ如キ同日日本品ヲ上場シ居ラス又邦商トノ取引關係ナキ旨声明書ヲ発セリ其ノ後血魂除奸團ノ活動ハ愈々甚タシク爆弾投入相繼テ起リ市商会ハ再ヒ各種同業者ニ對シ對日經濟絶交貫徹ヲ通告シ又各種同業組合鮮魚商組合石炭商組合等ハ各会合ヲ為シ排日貨ヲ決議シ之ヲ新聞ニ發表セリ茲ニ於テ日貨

事項5 中国およびその他各地における排日状況

取扱商ハ極度ニ脅エ邦商ニ接近スルヲ避ケ邦商ノ出入ヲ禁シ之カ為上海ニ於ケル日支商間ノ取引ハ今ヤ全ク杜絶シ形勢頓ニ悪化セリ

上海ニ於ケル排日運動ハ激化ニ伴ヒ支那各地ノ運動モ漸次

表面化シ血魂除奸団鐵血除奸団等各地ニ組織セラレ上海其

ノ他ノ同種団体ト連絡シ排日運動ノ激化ヲ計リ之カ為各地

ニ於ケル邦貨ノ荷動キハ漸次杜絶セントスルノ状態ニ在

リ

血魂除奸団ナルモノノ実体ニ付テハ或ハ之ヲ以テ上海事件當時反蔣目的ヲ達セんカ為ニ孫科カ主トシテ青年学生ヲ集メ救国ノ為ニハ壳国奴ヲ葬ルヲ急務ナリトシテ組織セル暗殺団ナリトナス者アルモ又之ヲ以テ蔣系ノ中央党部カ「ファッショ」運動ニ転セントシテ計画セルモノナリトノ説モアリ真疑未タ明ナラサルカ大体党部方面トハ何等カノ連絡アルモノノ如ク察セラル

222 昭和7年9月2日 在上海村井總領事より 内田外務大臣宛(電報)

血魂除奸団等取締に関する吳市長の布告について

い

北平、奉天、南京へ転電シ、支へ転報セリ

223 昭和7年9月3日 在上海村井總領事より 内田外務大臣宛(電報)

吳市長布告發布後の状況について

上海 9月3日後発
本省 9月3日後着

第九七八号(暗)
往電第九五三号ニ関シ

三日殷汝耕吳市長ノ命ニ依ル趣ヲ以テ本官ヲ來訪シ市長ニ於テハ引続キ市商会及新聞社ニ対シ排日運動阻止方諭示シツツアリタルカ此ノ際政府ノ態度ヲ明瞭ナラシムルコト必要ナリト認メ一日ノ布告並声明ヲ為シタル次第ナルカ之ニ

依リテ排日会越軌行動モ終熄スヘク時局モ安定スヘシト申出テタルニ付市長布告並声明ハ誠ニ結構ナルカ之ヲ空言ニ終ラシメサル様一段ノ努力ヲ望ム旨伝フル様申聞ケ置キタリ

因ニ布告ハ三日新聞紙上ニ公告トシテモ掲ケラレツツアリ之カ実効果如何ニ関シテハ未タ詳細知悉シ得サルモ過日來

新聞紙上ヲ賑ヤカシ居リタル血魂除奸団ニ関スル記事並同

上海 9月2日後発
本省 9月2日後着

626

第九七〇号
(二〇三文書)
往電第九三一號ニ関シ

市長吳鐵城ハ一日付ヲ以テ布告並ニ市民ニ告クルノ書ヲ發出シ二日ノ当地諸新聞ニ之ヲ掲載セル処布告ノ要旨左ノ通

一月廿八日ノ事件以来人民ハ愛國ノ熱誠ニ義起シ国家社会ノ為自ラ救ハシコトヲ計レルカ其ノ義憤ノ及ホス處激烈ノ行為ナシトセス惟フニ愛國運動ハ法律ノ範囲ヲ嚴守スヘク

社会ノ安寧ヲ害シ他人ニロ実ヲ与フルカ如キコトアルヘカラス然ラサレハ愛國運動モ國ヲ誤ラシムヘク國ヲ救ハントシテ却テ民ヲ害スルニ至リ近來屢々血魂除奸団或ハ其ノ他ノ名義ヲ以テ脅喝状ヲ發出シ甚タシキハ租界内ニ於テ爆弾ヲ投擲シ人ヲ傷付ケ治安ヲ擾乱シ秩序ヲ破壊スルモノアリ本市長ハ地方治安維持ノ為累次之カ取締ヲ諭達シ来レルカ尚若シ國家社会ノ安寧ヲ顧ミサルモノアラハ法ニ依リ廻断スヘキニ付全市人民ハ共ニ此ノ趣旨ヲ遵守シ違ヘサランコトヲ望ム

224 昭和7年9月3日 在濟南西田總領事より 内田外務大臣宛(電報)

除奸団取締に関する韓主席の内話について

濟南 9月3日後発
本省 9月4日前着

北平、奉天、長春、天津、青島、南京、漢口、廣東へ転電シ公使ニ転報セリ

第二二八号(暗)
(二〇文書)
往電第二二五号ニ関シ

二日本官韓主席ニ会見ノ際韓ハ除奸団ニ対シテハ貴官ヨリノ注意モアリ特ニ取締ニ努メ紛糾ヲ未然ニ防止ゼンカ為軍政各機關ニ訓令スルト共ニ一般布告ヲ發シ置キタル次第ナルカ當地方ニハ此種団体ノ不法行為無キ様充分取締ルヘキ

ニ付御安心アリ度シト述へ居タリ

右除奸団ハ省政府側ノ取締モアリタル為カ其後發展ノ模様
無ク邦商側ヨリモ何等申出無キ状態ナリ

公使ヨリ上海へ転報アリ度シ

公使、北平、青島、天津、漢口、南京へ転電シ、芝罘、張
店、博山、坊子へ暗送セリ

225 昭和7年9月3日 在漢口坂根總領事より

内田外務大臣宛（電報）

「セントラル・チャイナ・ポスト」あての宣

昌除奸団の脅迫状について

漢口 9月3日後発
本省 9月4日後着

第五八四号（暗）

当地英字紙「セントラル・チャイナ・ポスト」ハ社主及主
筆共ニ本官及館員トモ昵懇ノ間柄ニアル関係モ有リ日支間
ノ諸問題ニ付常ニ我方ニ好意アル記事ヲ掲ケ来レル事ハ累

次ノ報告ノ通ナルカ最近各地ニ於ケル血除奸団ノ暴行ニ
対シテモ社説及記事ニ於テ大イニ攻撃スル處有リ之カ為本
三日ノ同紙ニ依レハ宣昌除奸団ハ同紙主筆ニ宛テ二十九日

認ト否トハ形式問題ニ過ギス之ニ依リ我失地回復ノ主張ハ
政府ノ態度ヲ表明シ居レリ日本ノ育テ上ケタル滿州國ノ承
認セサルノミカ更ニ一層振興スヘシ

二、最近ノ上海ノ謡言ニ對シテハ政府トシテ絶対ニ挑発的
行為ナシ人民カ日本貨物ヲ消極的ニ抵制セルハ其自由ニシ
テ越軌行動無キ限り政府トシテハ干涉ヲ加フル能ハス

三、三中全会ハ延期ニ決セリ（理由南京発閣下宛電報第六
〇九号ト同様）

四、孫科ノ中央常務委員就任ニ付テハ現在ノ所何人ヨリモ
提議無シ

北平、奉天、天津、漢口、南京、廣東へ転電シ、支ヘ転報
セリ

227 昭和7年9月5日 在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛（電報）

血魂除奸団嚴重取締りに關する蔣介石の方針

付ヲ以テ大要左ノ通ノ脅迫状ヲ送致シタル趣ニシテ同主筆

ハ本日ノ紙上ニ於テ右書翰ノ末尾ニハ短刀ニ赤「インキ」
ヲ滴ラシタル慘酷ナル絵ヲ描キアル旨ヲ伝ヘ若シ右書翰ノ
書キ主力事実宜昌ノ如キ遠隔ノ地ニアルナラハ汽船又ハ飛
行機ニテ來漢セラルヘキ旨應酬スル処有リタリ

「貴紙ノ社説ハ常ニ吾々ノ行動ニ對シ公平ヲ失シ日本ノ對
支行動ヲ支持スル傾向有ル処日本ハ吾人ノ仇敵ニシテ吾人
ハ之ニ好意ヲ寄スル者モ等シク仇敵ト看做ス者ナリ此ノ手
紙ハ貴下ニ対シ最初ニシテ且最後的警告ヲ意味ス若シ貴紙

ニシテ再ヒ不公平ニシテ仇敵日本ニ好意ヲ寄セタル論調ヲ
用フルニ於テハ直ニ鉄器ト血ノ刑罰ヲ以テ報ユルノ外無シ
云々宜昌鐵血除奸團啓」

支、北平、南京、奉天、天津、青島、濟南、廣東へ転電シ
長沙、宜昌、九江へ暗送セリ

226 昭和7年9月5日 在上海村井總領事より

内田外務大臣宛（電報）

日本の満洲國承認、排日貨等に關する汪兆銘

の新聞記者に対する談話について
上海 9月5日後発

支那側ヨリノ情報ニ依レハ蔣介石ハ血魂除奸団ノ跋扈カ當
地治安ニ及ホス脅威ノ大ニシテ且漸次外國人間ノ注意ヲ惹
クニ至レル事情アルニ鑑ミ三十日省黨部及市黨部並ニ公
安局首腦者ヲ其私邸ニ招致シ詳細其事情ヲ聴取シタル後目
下三省剿匪ニ全力ヲ擧ケツツアル重大時期ニ当リ除奸団ノ
如キ暴力團ノ存在ハ仮令愛國運動ナルニモセヨ結局治安ヲ
紊シ延テハ對日關係ヲ益々悪化セシムルニ付至急適宜ノ取
締方法ヲ講スヘク殊ニ右運動ノ裏面ニ共產黨員カ潛在シ居
ル氣配有ルハ看過シ難キ所ナルニ付充分嚴重ナル警戒ヲ為
スヲ要スト訓示シタル趣ニシテ黨部及公安局ニ於テハ直ニ
所屬各機關ニ其旨密令トシテ嚴達セル趣ナリ

冒頭往電ノ通転電転報セリ

228 昭和7年9月5日 在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛（電報）

公安局の除奸団取締措置について

本省 9月6日後着

漢口 9月5日後発

第五八七号
(三二七文書)
往電第五八六号ニ関シ

蔣介石ヨリ除奸団取締ノ訓令ヲ受ケタル当地公安局ハ二日市内各警察署ニ対シ左記事項ニ該当スルモノハ即座逮捕スヘシトノ密令ヲ発シタル趣ナリ

(一)爆弾其他凡ソ人命ニ危害ヲ及ホスカ如キ危険物ヲ装置シタルモノ

(二)短銃ヲ以テ商人ヲ脅迫シタルモノ

(三)日貨(何レノ所有者タルヲ問ハス)ヲ抑留シタルモノ

前電ノ通り転電転報セリ

229 昭和7年9月6日 在上海村井總領事より
内田外務大臣宛(電報)

血魂除奸団の横行等上海における排日状況について

上海 9月6日後発

第九八五号(暗)

本省 9月6日後着

一、八月中当地方ノ排貨及一般市中ノ形勢ハ血魂除奸団ノ横行並支那新聞及通信ノ虚構ナル煽動記事ニ依リ支那商民ニ極度ノ脅威ヲ与ヘ邦商取引ノ阻害ハ勿論一般社会ニ甚シキ不安ヲ醸シ日支再戦説スラ生ムニ至レリ

二、血魂除奸団ノ行動ハ支那人ノ性質心理状態ヲ捉ヘタル巧妙ナル手段ナル為(脅迫ヲ受クルモ之ヲ秘シテ脅迫ノ儘ニ新聞紙ニ廣告スル為暴力団ハ愈勢ヲ得ルニ反シ官憲ハ却テ検挙シ得サルコト人攫団ノ行動ノ如シ)排貨運動上当地ニ在リテハ貨物ノ検査抑留等以上ニ有効ナル結果ヲ齎シタリ

三、彼等ノ魔手ハ何商売ニ限ラス邦貨取扱ノ支那商全般ニ行亘リ次テ支那人ヲ顧客トスル邦人商店ニ迄延ヒ又邦商ノ買弁(表面上客年来辞職セル儘トナリ居レリ)其ノ他使用支那人ニ迄及ヒ停止スル所ヲ知ラサル有様ニテ啻ニ邦商ノ新シキ商談荷物引取無キニ止マラス事件前ト等シク邦人生活ニ差支ヲ来スニ至ルカ如キ状態ヲ呈セリ四、他方各種新聞紙ハ我方に對シ凡ユル誹謗中傷ヲ事トス

ル記事ニ依リ煽動ニ努メタル結果邦人ノ感情モ昂フリ來リ陸戦隊方面モ邦人側ノ越軌行動牽制ノ一手段トシテ邦字新聞上ニ海軍側トシテ強硬ナル決意ヲ有スル旨示ス所アリ一時事件前ニ似タル緊張味ヲ示スニ至レリ

五、九月一日市長ノ告示ニ依リ右事態ハ稍緩和セラレタル感アルモ熱河問題解決セス北支ノ形勢不安ナルト満州国承認時期及九、一八記念日近付キ又連盟総会ノ開催ヲ目前ニ控ヘ居ル為支那商一般ハ何レモ時局見送リノ態ニテ今ノ処邦商側ニ於テハ告示ノ前後ニ於ケル排貨熱ノ変化ヲ認メ得サル状態ニ在リ

六、市長告示カ必シモ我方ノ要請ニ依リテ為サレタルモノニ非サルコトハ漢口、濟南等各地ニ於テ殆ト時ヲ同シウシテ排日取締命令出テタルニ觀又北平方面ノ情報ニ依リテ観ルモ中央ノ意ニ出テタルモノナルコト推察ニ難カラス(中央トシテハ連盟総会ニ対シ一ノ「ジェスチュア」トシテ之ヲ行ヘルモノトモ觀ラル)當地方排貨ノ前途ハ容易ニ染觀ヲ許ササルモノアルヘシ

七、何レニセヨ當地方一般ハ滿州國承認並連盟総会ノ結果ヲ俟ツテ対目的ニ一切ノ去就ヲ決セントシツツアルモノ

230 昭和7年9月6日 在廈門三浦領事より
内田外務大臣宛(電報)

共産党の暴動計画に関する情報について

第三八七号(暗)
本省 9月6日後発

九月四日共産党記念日ニ於テ全市的暴動計画アル旨予テ省政府ヨリ当地公安局ニ密電アリタル趣ニテ前夜來公安局ニ於テハ偵探隊ヲ総出動シ且ツ武装警察十名宛二隊ヲ特ニ増派シ市内要所ヲ巡邏通行人ノ身体検査ヲ行ハシムル等警戒ニ努メタル結果何等事端ヲ見ス経過セルカ尚同日公安局長林震成ノ當館署長ニ内話セル處ニ依レハ來ル十六、七、八

事項5 中国およびその他各地における排日状況

ノ三日間ニ亘リ更ニ共産党ノ全国的暴動計画アル旨省政府ヨリ密電アリタル外当地抗日会ニ於テ来ル十八日中山公園ニ於テ閩南各地抗日連合大会若クハ民衆大会開催ヲ計画スルト共ニ去ル三日各学校ニ対シ路傍演説並ニ示威遊行ヲ行フヘキ旨通報シタル次第ニモアリ彼等左傾分子ニ一層乘スルノ機会ヲ与フルモノトシテ引続キ嚴重警戒ヲ行フコトトセル趣ナリ

奉天ヨリ駐満全權へ廣東ヨリ香港へ転報アリタ支、上海、北平、奉天、福州、汕頭、廣東、南京へ転電セリ

231 昭和7年9月7日 在上海村井總領事より 内田外務大臣宛（電報）

上海市商会の対日經濟封鎖実行に関する動向について

第九八七号 上海 9月7日後発 本省 9月7日後着

六日及七日ノ当地新聞所報ニ依レハ上海市商会ニ属スル綿糸砂糖石炭及薬業等七十余ノ同業公会ハ過般來新対日策動

ルカ大要左ノ通

八十日「デイリー・ニュース」ハ同業公会ノ声明ヲ攻撃シタルカ大要左ノ通

七十ノ支那同業公会カ新聞ヲ通シ声明ヲ発シ日本ト經濟絶交ヲ誓約シ且全國民ノ援助ヲ要望シタルハ各方面ニ多大ノ懸念ヲ生セシメタルカ右ハ市商会ノ指揮ヲ仰キ居ルモノニシテ兩者ノ合作ハ「ボイコット」運動ヲシテ殆ト「オフィシアル」同様ト為スモノナリ支那ニ於ケル同業組合ノ勢力ハ甚タ強ク殊ニ九月三日ノ立法院同業組合法ニ依リ組合ニ入ラサレハ商業ヲ營ムヲ得サルニ至リテ更ニ甚タシク支那ノ事情ニ熟知セサル者ニハ同業公会ノ行動ハ「オフィシア」ルナラサル様見ユヘキモ事実ハ然ラス其脅迫ハ事実上官辺ヨリ來ル脅迫ト同様ノ効果ヲ有ス

同業公会ハ連盟乃至支那政府トハ無関係ニ率先連盟規約第十六条經濟絶交ヲ实行スヘシト謂フモ此種主張ハ去年九月以来種々「トラブル」ヲ惹起セリ日本ハ連盟ニ訴フル手続ヲ取ラスシテ世界ノ非難ヲ招キタルカ支那ハ此行動ニ依リ同様ノ非難ヲ招来スル危險ヲ侵シツツアリ「ボイコット」ハ柄ノ無キ刀ノ如シ振廻サル者モ振廻ス者ニモ危険ナリ

ニ付協議中ナリシ處今回「連盟規約擁護委員会」ナルモノヲ組織シ対日經濟封鎖ヲ強調シ支那ハ連盟規約第十六条（經濟封鎖）ヲ援用スル権利アリ而シテ之ヲ為スカ為ニハ支那先ツ自ラ經濟封鎖ヲ實行セサルヘカラストスル趣旨ノ宣言書ヲ發表スルト共ニ各地ノ市商會及同業公会宛ニ参加方ヲ通電シタル趣ナルカ右ハ最近支那官憲カ除奸團等ニ対シ彈圧政策ヲ取りタル為排日貨運動幾分緩和ノ形勢アル為一部支那商カ市商會内ノ職業的排日家連ト連絡シ苦肉策ニ出テタルモノナルヘシト想像セラル

駐満全權ヨリ奉天ヘ転報アリタシ支ヘ転報シ駐満全權奉天、北平、天津、青島、漢口、濟南、南京、廣東、福州へ転電セリ

232 昭和7年9月8日 在上海村井總領事より 内田外務大臣宛（電報）

対日經濟絶交説に対する英字紙の批判について

第九九七号 上海 9月8日後発 本省 9月8日後着

尚支那有力團體カ熱望シ居ル連盟ノ第十六条適用ハ殆ト絶望ト知ルヘシ

「ボイコット」カ多數ノ團體ニ分レテ行動スル場合ト唯一ノ連合統制ノ下ニ行動スル場合トハ全然性質ヲ異ニス前者ノ場合政府ハ取締励行不可能ト謂ヒ得ヘキモ後者ノ場合ハスル「エキスキューズ」ハ許サレス結局同業公会ノ行動ハ支那政府ヲシテ困難ナル立場ニ置クニ過キス右停止ハ支那ノ利益ノ為切望ニ堪ヘス支那ノ利益ト謂フハ支那自身ニ起ルヘキ結果ヲ惧ルルノミナラス現在迄良好ナリシ支那ニ対スル世界ノ評判ヲ悪化セシメムコトヲ惧ルルナリ云々

尚同日ノ「タイムス」モ「今迄ニハ流石ノ支那商モ対日「ボイコット」及依テ起ルヘキ貿易阻害ニ嫌惡ノ感ヲ抱ケルモノト想像シ居リタル処今回七十有余ノ實業公会カ驚クヘキ宣言書ヲ發表シタリ其ノ内容ノ矛盾多キハ別トシテ当國ノ知識階級ト目セラル公会ノ人々カスル愚拏ニ依リ政治的ニ國家ヲ益スヘシト思フ態度ハ実ニ了解ニ苦シム支那經濟界カ極度ニ沈滯シ居ル此ノ際敢テ日本ト云フ最大ノ顧客ヲ失ハントスルナリ此ノ種所謂愛國的行動ハ決シテ満州問題ニ好影響ヲ与フルモノニアラス商人ハ売買ト云フ商人

ノ仕事ヲ為セハ足ル外交ハ政治家ニ任スヘキナリ支那ハ此ノ種「ボイコット」ニ依リ決シテ益スルコトナシ」ト論シ居レリ

支へ転報シ北平、南京、駐満全権へ転電セリ

233 昭和7年9月8日

在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛(電報)

血魂除奸団取締りに関する漢口市商会より蔣介石への陳情について

別電

同日在漢口坂根總領事より内田外務大臣宛電報第

五九二号

排日団体取締りに関する蔣介石の指示について

往電

(二八文書)

第五八七号ニ関シ

第五九一号(暗)

(二八文書)

本省 9月8日後着 漢口 9月8日後着

当地血魂除奸団ノ裏面ニ共産党ノ魔手延ヒ居ル嫌疑濃厚ナルノミナラス同団ノ活躍ニ依リ当地治安脅威セラレ延ヒテ在留外国人間ニ非難高マルニ鑑ミ武漢警備司令部ハ客月廿六日当方抗議及取締要求ヲ受クルヤ直ニ彈圧命令ヲ発シ次テ蔣介石モ客月三十一日三省剿匪總司令ノ名ヲ以テ当地党

部及関係官憲ニ同団取締方ヲ厳達セル結果当地ニテハ爾來同団ノ活動終熄セルモ党部ニテハ右官憲ノ命令ヲ快シトセス本月五日同団ノ名ヲ以テ漢口市商会宛「国難期間ニ於テ対日経済絶交ヲ促進シ支那ノ革命外交ヲ助成スルコトハ國民全体ノ義務ナルニ付貴商會ハ商民ヲ領導シ我等ノ主張貫徹ニ努ムル責任アリ」トノ旨書面ヲ以テ警告セル趣ノ處商會側ニ於テハ此ノ間ノ事情ヲ知悉シ居ル為左シテ之ヲ問題トシ居ラサルモ我方ニ於テ滿州國承認ノ曉ニハ九一八紀念日ヲ切掛ケトシ相当排日風潮熾烈トナリ党部ノ策動ヲ予想セラレ商會トシテハ其際党部側ヨリ我滿州國承認等ノ口実ヲ付シテ排貨ヲ強要セラルルニ於テハ表面之ニ反対シ得サル破目ニ陥リ延ヒテハ折角取引中ノ日貨ノ没収乃至封存等ニ依リ大打撃ヲ蒙ムル惧アル為商會側代表者ハ本月五日蔣介石ニ対シ更ニ陳情シタル趣ナルカ蔣ハ之カ為ニヤ排日團体取締方ニ関シ別電第五九二号ノ通り命令スル処アリタル趣ナリ

本電別電ト共ニ支、北平、駐満全権大使、南京、濟南、廣東、天津、青島へ転電セリ

長沙、宜昌、九江へ暗送セリ

(別電)

漢口 9月8日後発 本省 9月8日後着

第五九二号(暗)

(別電)

漢口 9月8日後発 本省 9月8日後着

現在各地ニ於ケル排日団体ノ種別ハ大体左ノ通十種類ニ亘

リ殊ニ当地ニ於テハ団体ノ背後ニ共産党ノ策動シ居ル疑ヒ

アルカ為蔣介石ハ本月六日全国各軍事機関ニ対シ除奸団其

他ノ排日団体ノ行動ハ充分詳細ニ内查ヲ遂ケ充分之力取締

ヲ為シ以テ治安維持ノ責ヲ果シ商民ノ保護ニ任スヘキ旨通

令ヲ発シタル趣ナルカ蔣カスル命令ヲ発スルニ至リタル動機那辺ニ在ルカハ知悉シ難キモ恐ラク之ニ依リ連盟ノ手前

ヲ繕ヒ内政的ニハ党部ノ彈圧ニ対シ反対ノ声ヲ抑ヘ排日運動力反蔣派ニ依リ利用セラルコトヲ防カントスルニアル

ヤニ思料セラル
総司令部調査ニ係ル全国反日団体ノ種類左ノ通(各地方名
ヲ名称ノ上ニ冠ス)

血魂鋤奸団、救國除奸団、熱血滅奸団、碧血除奸団、鐵血

鋤奸団、霹靂殺奸団、決死除奸団、救國血魂団、救國暗殺

同団ノ活動終熄セルモ党部ニテハ右官憲ノ命令ヲ快シトセス本月五日同団ノ名ヲ以テ漢口市商会宛「国難期間ニ於テ対日経済絶交ヲ促進シ支那ノ革命外交ヲ助成スルコトハ國民全体ノ義務ナルニ付貴商會ハ商民ヲ領導シ我等ノ主張貫徹ニ努ムル責任アリ」トノ旨書面ヲ以テ警告セル趣ノ處商會側ニ於テハ此ノ間ノ事情ヲ知悉シ居ル為左シテ之ヲ問題トシ居ラサルモ我方ニ於テ滿州國承認ノ曉ニハ九一八紀念日ヲ切掛けトシ相当排日風潮熾烈トナリ党部ノ策動ヲ予想セラレ商會トシテハ其際党部側ヨリ我滿州國承認等ノ口実ヲ付シテ排貨ヲ強要セラルルニ於テハ表面之ニ反対シ得サル破目ニ陥リ延ヒテハ折角取引中ノ日貨ノ没収乃至封存等ニ依リ大打撃ヲ蒙ムル惧アル為商會側代表者ハ本月五日蔣介石ニ対シ更ニ陳情シタル趣ナルカ蔣ハ之カ為ニヤ排日團体取締方ニ関シ別電第五九二号ノ通り命令スル処アリタル趣ナリ

本電別電ト共ニ支、北平、駐満全権大使、南京、濟南、廣

東、天津、青島へ転電セリ

長沙、宜昌、九江へ暗送セリ

234 昭和7年9月8日

在福州守屋總領事より
内田外務大臣宛(電報)

日貨取扱商に対する救國鉄血団の傷害事件について

団、民魂禁奸団、國魂尽奸団、一二八尽奸団、青年義勇誅奸団、青年血魂尽奸団、中華救國除奸団

長沙、宜昌、九江へ暗送セリ

第二〇一号(暗)

福州 9月8日前発 本省 9月8日後着

排日行動ニ対シテハ從来トモ省政府委員林知淵ト密接ナル關係ヲ保チ些細ナル事件ノ發生ニモ之ヲ切掛け嚴重取締方ヲ申入レ居ル處昨日午後二時頃洋服ヲ着ケ拳銃ヲ携ヘタル支那青年八名自動車ニテ綿布取扱支那商協興号ニ乗着ケ店主張康鑑(五十三歳)ノ耳ヲ切り今後日貨ヲ取扱フニ於テハ慘殺スヘシト称シ引揚ケタルカ右ト同時ニ付近ノ大通ニ福州市救國鐵血団ノ名ヲ以テ「奸商協興ハ秘密ニ仇貨ヲ売買スルニ依リ本团ヨリ屢次警告セルモ効目ナキニ付經理

張康鑑ノ耳ヲ削ギ衆ニ示シ壳國者ノ戒ト為ス」旨ノ警告文

ヲ貼付セルモノアリ日貨取扱者ニ鮮カラサル「ショック」ヲ与ヘ居ル模様ナリ

支ヨリ上海へ広東ヨリ香港へ転報アリ度シ

支、駐満全権、北平、南京、天津、青島、漢口、廣東、汕頭、廈門へ転電セリ

235 昭和7年9月9日 在上海村井總領事より 内田外務大臣宛（電報）

対日經濟封鎖実行に関する連盟擁護委員会の動きについて

上海 9月9日後発
本省 9月9日後着

第一〇〇〇号
(二三一文書)

往電第九八七号ニ関シ

連盟擁護委員会ハ七日來會議ヲ開キ対日經濟封鎖ノ實行ニ付名士及専門家ヲ招合シ研究セシムル事トシタル趣ナルカ八日更ニ国民政府中央執行委員会及外交部宛大要左ノ如キ電請ヲ為シ又上海市商会ニ對シテモ右ニ付共助方申入ヲ為シタル由ナリ

日本ハ滿州事變以來國際公法及慣例ヲ顧ミス宣戰セスシテ

236 昭和7年9月9日 在福州守屋總領事より 内田外務大臣宛（電報）

日貨取扱商傷害事件の事後措置について

福州 9月9日後発
本省 9月9日後着

第二〇三号（暗）
(二三四文書)

往電第二〇一号ニ関シ

日本ハ滿州事變以來國際公法及慣例ヲ顧ミス宣戰セスシテ

西湖事件解決ノ際省政府側ニ於テ排日取締ヲ約束セルコトニ言及シ本件類似ノ事故ノ再発ヲ防止セラレ度キ旨ヲ掲記

セル公文ヲ九月九日付ニテ省政府宛ニ提出スルコトトセル一方從来ヨリ當方ト隔意ナク接觸シ居ル林知淵ニ談合セントシタル處同人ヨリ進テ本九日本官ヲ來訪シタルヲ以テ前記公文ノ趣旨ヲ篤ト説明シ深甚ナル注意ヲ喚起シタルニ林ハ非常ニ恐縮シテ省政府へハ今回ノ如キ事件ノ發生ヲ未然ニ防止スヘク絶ヘス注意シ來リ当日モ其問題ニ付テ綏靖公署鄧參謀長ト協議中事件ノ報告ヲ受ケタル始末ナリト語リ

同様ノ事件カ二度モ繰返サレタルコトニ付省政府トシテ陳弁ノ余地ナキ次第ナルモ今後ハ必スノ如キ事件ノ發生ヲ防止スヘシト述ヘタリ林ノ談話及當方探査ノ結果等ヨリ察スルニ省政府ハ實際ニ於テ誠意排日運動ノ取締ヲ為シ居リ現在迄学生及民衆等ノ宣伝遊行等カ比較的尠ナカリシハ右取締ノ結果ト認メサルヲ得ス（党部方面ニ於テ此点ニ閑シ省政府ヲ非難シ居ルコトハ曩ニ電報セル處ノ如シ）然レ

トモ九、一八記念日ノ催其他ニ付テ最近中央党部ノ訓令シ

來リタル處ハ大々的ニ氣勢ヲ揚クヘシト云フニアリ又現ニ來福中ノ中央党部派遣員ニ於テ潜行的ノ各種排日工作ヲ

戦争手段ニ出テ連盟兩度ノ決議ニ拘ハラス未タ撤兵ヲ實行セサルノミナラス近ク滿州國ヲ正式ニ承認セントシ居レルカ若シ今ニシテ日本ニ制裁ヲ加ヘスハ世界ノ公理ハ蹂躪セラルヘシ本会ハ貿易自由ノ原則ト和平奮闘ノ精神ニ基キ連盟規約擁護ヲ唯一ノ主旨トシ日本ニ對スル経済上一切ノ關係ヲ断絶セントス察スルニ規約第十五条ノ規定ハ侵略者ニ對スル締約國ノ義務ニシテ本会ハ右ヲ以テ日本制裁ノ有効手段ト認メ死ヲ誓ヒテ之カ實現ヲ期セントスルニ付連盟出席ノ中國代表ニ對シ速ニ右建議方訓電アリタシ云々

駐満全権ヨリ奉天へ転報アリタシ

北平、南京へ転電セリ

支へ転報セリ

237 昭和7年9月10日 在福州守屋總領事より 内田外務大臣宛（電報）

冒頭往電ノ通転電セリ

支ヨリ上海へ広東ヨリ香港へ転報アリ度シ

在福州守屋總領事より 内田外務大臣宛（電報）

福州における日貨排斥状況について

福州 9月10日後発
本省 9月10日後着

第二〇五号（暗）
(二三六文書)
往電 第二〇三号ニ関シ

一、其後日貨排斥ニ関連セル不良分子ノ活動ハ漸次増加シ
遂ニ九月七日ノ耳切事件迄進展シタル次第ナルカ探査ノ結
果ニ依レハ脅迫状ハ九月七日ニ至リテ綿布商ノミナラス自
動車店（日本石油及車輪等ヲ使用スル向）ニモ送付セラレ
タルモノナルモ十九路軍側ニテハ直接此等不良分子ト連絡
有リトハ認メラレス不良分子ヲ教唆シ居ルモノハ党部ニシ
テ派遣員ハ地方首脳者ト共ニ省政府側ヲ出抜キツツ根強ク
活動ヲ続ケ耳切事件モ其指嗾ニ係ルコト昨九日林知淵ノ本
官ニ打明ケタル処ニ依リ明瞭ナリ本官ノ印象ニ依レハ現在
ノ省政府ヲ以テシテハ到底党部ヲ抑ヘル力無キモノノ如ク
事実不良分子ノ活動ハ終熄シ難キモノト思ハル林知淵ハ又
党部主催ノ九、一八記念日ノ催ニ付九月十八日前後ノ治安
ハ責任ヲ以テ維持ス可キモ中央ヨリノ命令ニ依リ大々的ニ
行ハル可キ記念式ノ影響ハ後日不良分子ノ跋扈ヲ誘発スル

二、耳切事件ノ影響ハ相当大ナルモノアリ綿布商連ハ自發
的ニ会合シテ日本品ヲ目立タサル處ニ片付クルコトヲ協議
シ其他商人モ日本品ノ商イヲ自然手控フルニ至レリ綿布商
ニ次キ不良分子ノ脅迫ノ的トナルモノハ石炭、海産物及青
果ト予想セラル處日本石炭大口ノ需要者ハ馬尾ノ海軍ニ
シテ之ニハ手ノ付ケ様無ク依テ付近一帯ニ出入スル無数ノ
小蒸汽ニ対シテ脅迫ヲ為ス予定ラシ

三、不良分子ノ策動ノ裏ニ日貨取扱ノ支那商ト商壳敵ノ地位ニ在ル者カ介在シ之ヲ利用シ居ルコトハ留意ノ要有リ綿布ニ付テハ英國品ヲ取扱フ者石炭ニ付テハ開平炭取扱者、
海產物ニ付テハ支那海產物販売業者ハ折角仕入レタル商品

ノ売行思ハシカラサル為手持品ノ売捌ノ為ニ不良分子ノ策
動ヲ援助シ居ル事実アリ

駐満全權ヨリ奉天ヘ、支ヨリ上海ヘ、廣東ヨリ香港ヘ轉報
アリ度シ
駐滿全權、支、北平、南京、廈門、汕頭、廣東、漢口、天津、青島ヘ転電セリ

238 昭和7年9月10日 在香港桑折(鉄次郎)總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

日本の滿州國承認後の警備に関する香港總督
代理の談話について

香港 9月10日後発
本省 9月10日後着

239 昭和7年9月10日 在シンガポール田村總領事より
内田外務大臣宛(電報)
排日暴動情報に対する警戒振りについて
シンガポール 9月10日後発
本省 9月10日後着

シ又本總領事官邸ニハ特ニ二名ノ巡查ヲ常時派遣シ居ル等
ノ事実有リ

第九一号
香港學生排日暴動ノ報ニ當局ハ俄ニ緊張シ昨日來本館官舍
ノ非常警戒ヲ為シ十八日ヲ中心ニ一般警戒中ノ由ニテ邦人
側ニモ注意方申出テ有リ滿州國承認問題ヲモ控ヘ又英字新聞
記事論調モ油ヲ注ク虞有リ旁々在留民ニ対シテモ夫々手
配中ナルカ目下ノ處特ニ險惡ノ兆無シ

第一五八号（暗）
本官昨九日他用ヲ以テ總督代理ヲ訪問シタル處談偶々日本
ノ滿州國承認及之カ當地支那人側ニ及ホス反響ヲニ居留本
邦人保護等ノ問題ニ及ヒタルカ右總督代理ノ興奮ヨリ察ス
ルニ当政事側トシテハ承認發表後ノ反響ヲ相當重大視シ不
祥ナル事態ノ發生ヲ未然ニ防ク為最善ノ警戒ヲ加ヘントス
ルモノノ如ク既ニ市中ニハ數日前ヨリ警察巡査隊ノ數ヲ増

240 昭和7年9月12日 在福州守屋總領事より
内田外務大臣宛(電報)
抗日拡大週間の設置など省党部の計画について
福州 9月12日後発
本省 9月13日前着

事項5 中国およびその他各地における排日状況

第二〇七号（暗）
(三七文書)

往電第二〇五号ニ関シ

九月十八日前後ニ於テ排日氣勢ヲ挙ケントスル党部側ノ計画ハ学生団ノ応援ニ依リ着々進行シ省政府側ニ於テハ其ノ計画力地方治安ヲ攪乱シ外交上ノ問題ヲ起ササルモノタラシメンカ為ニ苦心シ居ル模様ナリ諜報ニ依レハ本計画ハ抗

日拡大週間ヲ設ケ学生ニ一週間ノ休暇ヲ与ヘ其ノ間ニ演説伝單ノ配付及団体的游行ヲ行ハントスルモノニシテ又同時ニ学生団及不良分子カ日貨取扱者（閩江上ノ船舟ニモ及

フ）ニ押掛け之ヲ脅迫シ日貨取引ノ中止ヲ命シ且商店等ヲシテ目立チタル箇所ニ自發的ニ仇貨ヲ燒棄テタル旨ノ伝單ヲ貼付セシムル仕組ナリ日貨商脅迫ノ行動ハ既ニ十一日ヨリ開始セラレ居リ南街方面ノ日貨取扱商數軒ニハ同日中ニ

前記掲示貼付セラレタルノミナラス綿布商英華和号カ九日不良分子ノ脅迫ヲ惧レテ自發的ニ二、三百弗程度ノ綿布ヲ燒棄テタル事件ヲ利用シタル右商店名ノ「自發的ニ仇貨ヲ燒棄セリ」ノ伝單（横三寸縦五寸位ノ西洋紙）ハ市中各所ニ配付セラレ居レリ聞込ニ依レハ省政府林知淵ハ学生ニ一週間ノ休暇ヲ与フルコトヲ阻止セン為ニ教育庁長ト協議シ

第一〇二四号
往電第一〇〇一号ニ関シ

本省 9月13日後着
上海 9月13日後発
内田外務大臣宛（電報）

連盟規約擁護委員会の連盟締約国あて電報について

ツツアリ又游行ニ関シ南台即チ外国人ノ群居シ居ル地域及城内ニテハ学生ノ游行ヲ禁シ郊外ノミニ於テ之ヲ許スコトトナリ居ルモ一旦游行ヲ許可セハ群衆ハ此ノ勢ニ乘シ是等ノ地域ニ迄侵入シ巡警等ノ力ヲ以テシテハ防止シ切レサル事態發生スヘシト為シ極力游行ヲ全部差止ムルコトニ各方面ト懇談中ノ趣ナリ

駐満全權ヨリ奉天ヘ、公使ヨリ南京ヘ、北平ヨリ天津ヘ、汕頭ヨリ廣東及香港へ轉電アリ度シ

駐満全權、公使、北平、廈門、汕頭へ轉電セリ

駐満全權ヨリ奉天ヘ、公使ヨリ南京ヘ、北平ヨリ天津ヘ、汕頭ヨリ廣東及香港へ轉電アリ度シ

駐満全權、公使、北平、廈門、汕頭へ轉電セリ

駐満全權ヨリ奉天ヘ、公使ヨリ南京ヘ、北平ヨリ天津ヘ、汕頭ヨリ廣東及香港へ轉電アリ度シ

駐満全權、公使、北平、廈門、汕頭へ轉電セリ

駐満全權ヨリ奉天ヘ、公使ヨリ南京ヘ、北平ヨリ天津ヘ、汕頭ヨリ廣東及香港へ轉電アリ度シ

駐満全權、公使、北平、廈門、汕頭へ轉電セリ

本省 9月13日後着
上海 9月13日後発
内田外務大臣宛（電報）

連盟規約擁護委員会の連盟締約国あて電報について

本省 9月13日後着
上海 9月13日後発
内田外務大臣宛（電報）

經濟封鎖ノ方法等ヲ講究シツツ在ル由ナルガ今回連盟締約國ニ対シ大要左ノ如キ電報ヲ発シタル趣ナリ

日本ノ東三省武力侵略並ニ滿州國ノ組織等ハ明カニ連盟規約第十条ノ違反ニシテ且ツ該偽組織ヲ承認セントスルガ如キハ啻ニ規約ヲ破棄スルノミナラス加盟國ニ挑戦セントスルモノト謂フ可シ連盟ハ一年以来未ダ日本ニ対シ果斷ナル处置ヲ執ラサル処年月ヲ経過セバ日本ノ滿州ニ於ケル勢力ハ鞏固トナリ太平洋上ノ大戦ハ避ケ難キニ至ル可キニ付早キニ及シテ制裁ヲ加フルニ如カス連盟ハ調査団ノ報告書接到了後若シ厳正ナル処断ヲ為シ得サルニ於テハ惡例ヲ開クニ至ル可シ本会ハ連盟規約擁護ノ立場ト貿易自由ノ原則ニ基キ対日經濟封鎖ヲ行ハントスルモノナルニ付援助アリ度シ云々

冒頭往電ノ通り転電、転報セリ

242 昭和7年9月13日 在上海村井總領事より 内田外務大臣宛（電報）

九・一八記念日に対する共産黨の活動計画に

ついて

上海 9月13日後発

第一〇二六号（暗）
往電第一〇〇七号ニ関シ

所謂九、一八記念日ノ近ツクニ連レ相変ラス種々共産党暴動計画伝ヘラレ租界當局陸戰隊方面ニ於テモ相當神經過敏トナリ居ル處共産党特務隊員タル當館諜報者ノ館員ニ語ル所ニ依レハ全然斯ル計画無ク現ニ上海ニ在ル共産党員ハ幹部及下級党員ノミニシテ直接暴動ヲ指導スル中堅所ハ殆ント「ソビエット」区域ニ入込ミ居ル実情ニシテ且一般党員情勢モ暴動ヲ起ス状態ニ至リ居ラストノ事ナルカ中国共産党中央ノ指令ニ基キ決定セル江蘇省委ノ本記念日ニ対スル具体的工作（委細郵送セリ）ハ大体左ノ程度ノモノナリ御参考迄

一、大規模ノ反日反帝運動ヲ為シ九、一八以前ニ江蘇全省反帝代表大會ヲ完成ス

二、北上決死團ヲ組織シ東北義勇軍ヲ援助シ工人ヲ募集シテ同軍ニ参加セシメ其無產階級的領導ヲ強化ス

三、排日貨運動ヲ強化シ公開的活動ヲ為サシメ各種民衆運動ヲ成立シ並拡大ス

事項5 中国およびその他各地における排日状況

四、血魂除奸団ノ如キ個人的恐怖行為ハ統治階級ニ利用セラル惧有ルニ依リ反対ス

五、「ソ」連擁護及紅軍援助ノ為具体方法ヲ講ス

六、上海ニ於ケル内戦廃止代表大会ニ反対ス

七、上海特ニ滬西及滬東ノ日本紡績工場及各外国ノ企業ニ

対シ計画的且具体的ニ各種罷業工機閑停止及争議ヲ佈置シ

且現ニ争議中ノ虹橋「バス」ノ罷工ヲ利用之ヲ發展セシム

八、失業工人ノ闘争ヲ組織領導ス

九、上海以外ノ省内各地ニ於テハ都市ノ工人、貧民、兵士、農民ノ各種日常闘争ヲ開展シ領導シ遊撃戦争ヲ發展シ

テ江蘇ニ新「ソ」区ヲ創造ス

前電ノ通転電転報セリ

駐満全権ヨリ奉天ヘ転報アリタシ

243 昭和7年9月14日 在上海村井總領事より 内田外務大臣宛(電報)

上海における各除奸団の動静について

第一〇四一号(暗) 上海 9月14日後発 本省 9月14日後着

嚴重注視中ナリ
支ニ転報セリ

北平、駐満全権、天津、濟南、青島、漢口、南京、廣東、福州へ転電セリ

244 昭和7年9月15日 在上海村井總領事より 内田外務大臣宛(電報)

上海綿布商店に爆竹投入について

上海 9月15日後発 本省 9月15日後着

料セラル
支ヘ転報セリ

全権ヨリ奉天ヘ転報アリタシ
全権、北平、南京、天津、濟南、青島、漢口、廣東、福州、廈門、香港へ転電セリ

245 昭和7年9月16日 在上海村井總領事より 内田外務大臣宛(電報)

除奸団による中国人商店への爆弾投下について

第一〇四四号
十四日午後八時共同租界嘉興路(虹口)四十三号綿布商潮崎洋行内ニ道路上ヨリ点火シタル爆竹ヲ投入セル支那人有

リ右爆竹ハ店内ニ於テ爆裂シ同店使用支那人一名輕傷ヲ負ヒタルカ幸ニシテ他ニ被害無ク急報ニ依リ當館ニ於テハ警察署員ヲ現場ニ急派シ調査セシメタルカ犯人ハ逸早ク逃走シタル後ニシテ逮捕スルニ至ラサリキ因ニ同店ハ普通ヨリ支那人顧客ノ出入多ク當時モ十五、六名ノ支那人同店内ニ

於テ買物ヲナシ居リタル由ナレハ除奸団一派ノ排日不良分子カ一般支那人ノ同店出入ヲ妨害セントセル悪戯ナリト思

当地各種除奸団ハ官憲側ノ取締ニ依リ此處約十日程殆ト其影ヲ潜メ来リ居ルモ情報ニ依レハ右ハ彼等内部ニ愛國団体ノ面目ヲ毀クルカ如キ如何様団体アリ内紛ヲ続ケ来リタルモノナルカ世ノ疑惑ヲ避クル為不良団体ヲ一掃シ且ハ共同ノ目的ノ為ニ戰線ヲ統一スルノ必要ヲ感シ自発的ニ二週間ヲ限りテ一切ノ直接行動ノ休止ヲ申合セ唯只管内部整理ニ努力シ居タルニ起因スルモノニシテ右二週間ノ休止期限モ明後金曜日ヲ以テ満期トナリ且足並モ大体揃ヒタルヲ以テ同日前除奸団ノ總会ヲ開キ直接行動再開ノ可否ニ付討議ヲ為ス筈ニテ直接行動再開ト決セラル場合発表スヘキ(四)排日貨ノ必要(二)除奸団ノ警告ヲ無視スル奸商ニハ直接行動ノ絶対必要ナル旨(三)奸商名簿ニ基キ個別ニ警告ヲ發スル旨(四)民衆ノ同情援助ヲ請フ旨ノ内容ヲ有スル宣言文ニ付テモ審議スル事トナリ居ル趣ナルカ仮令彼等カ活動ヲ再開スルニセヨ支那官辺工部局側共同ノ嚴重ナル取締下ニ於テハ今後果シテ何程ノ事ヲ為シ得ルヤ疑問ナリ只我滿州國承認九、一八記念日之ニ加フルニ共產党及暗雲低迷ノ時局ニ直面シ四面何トナク騒然タル折柄何者カノ為利用操縦セラレ如何ナル暴挙ニ出ツルヤモ計リ難キヲ以テ該団今後ノ行動ニ付

事項5 中国およびその他各地における排日状況

官憲ノ取締周密ナルハ嘗テ見サル処ナリ
冒頭往電ノ通転電、転報セリ

當日市中ノ状況ハ平常ト異ル所無シ
駐満全權ヨリ奉天へ転報アリ度シ

料セラル

246 昭和7年9月18日 在廈門三浦領事より
内田外務大臣宛(電報)

日貨運搬の中国解焼却事件について

廈門 9月18日後発
本省 9月18日後着

第四〇八号(暗)

十六日ノ抗日会執行委員会ニ於テ日貨ヲ運搬セル支那船ヲ
焼却スヘキ旨決議シタル趣聞知シタルニ付十七日水上公安
局ニ取締ヲ要求シタル處同局ニ於テハ夫ハ甚タ不都合ナル

ニ付禁止スヘシト答ヘタルカ当日午後二時ヨリ同船ノ所有
者ニ奸商ノ紙帽ヲ被セ「モーター、ボート」ニ乗セ三十分
余海岸ヲ廻リタル後紙帽ヲ取り更ニ同船ノ櫂及舵等三件ヲ
積ミ沖合ニ出テテ之ヲ焼却セリ本件ニ關シ十八日ノ新聞ハ
民衆之ヲ見テ拍手喝采セリ等伝ヘ居ルモ海岸ヨリ相当遠距
離ノ冲合ニテ行ヒタルコトニモ有リ實際ハ之ヲ現認シタル
者無キ由ナリ水上公安局ニ於テ十八日ノ記念日ヲ控ヘ且抗
日会方面ニ於テ興奮シ居ル際トテ手心ヲ加ヘタルモノト思

支、北平、駐満全權、上海、南京、福州、廣東、汕頭、漢
口へ転電セリ

247 昭和7年9月19日 在南京上村總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

血魂除奸団員による中国商店への爆弾投下事
件について

南京 9月19日後発
本省 9月19日後着

第六四七号(暗)

譲報者ノ情報ニ依レハ十八日午前中血魂除奸団員ナリト名
乗ル一青年城内目抜キノ場所ニ在ル支那商中法藥房ニ至リ
罐詰様ノ爆弾ニ点火シ退出セルカ右爆弾ハ忽チ破裂シ同店
陳列棚ノ一部並ニ付近ニ居合セタル店員一名傷キタル事件
アリ該犯人ハ爆音ヲ聞キ駈付ケタル巡警ノ為直ニ逮捕セラ
レタル趣ナルカ支那側ハ時節柄本件ノ新聞掲載ヲ禁止シ居
レリ

支、北平、駐満全權、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福
州、長春ヘ転電セリ

248 昭和7年9月19日 ※在漢口高井(末彦)總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

南昌商務總会の除奸団取締方請願について

漢口 9月19日後発
本省 9月19日後着

尚南昌剿匪司令部機関紙掃蕩日報ハ十五日ノ社説ニ於テ除
奸団ノ行為ハ結局愛國ノ愛情ヨリ出テタルモノナレハ必シ
モ悪シトハ言ヒ難キモ一、二奸商ヲ殺害シタリトテ到底日
貨ノ徹底的抵制ヲ期シ得ルモノニ非ス宜シク斯ル直接行動
ヲ止メ大局ニ注目シテ先ツ中國ヲ現下ノ危急ヨリ救出スヘ
シト述ヘタリ御参考迄

支ヨリ上海ヘ転報アリ度シ

支、漢口ヘ転電シ南京へ暗送セリ

249 昭和7年9月20日 在廈門三浦領事より
内田外務大臣宛(電報)

水上糾察隊の動静と取締り方針について

廈門 9月20日後発
本省 9月21日後着

第四一三号(暗)

南昌商務總会ハ該事件發生後直ニ緊急會議ヲ開催シ凝議ノ
結果省政府警備司令部及公安局ニ對シ除奸団ノ嚴重ナル取
締ヲ請願スルコトナリ既ニ夫々代表者ヲ派遣シ陳情スル
處アリタル趣ナルカ同地公安局ニ於テハ局長ノ名ヲ以テ新
聞ヲ通シ(除奸団ノ所在不明ノ為)該団ニ警告ヲ發スルコ
トトナレル由

同時ニ折柄来館中ノ海軍側ニ対シテハ満州國ノ承認九、一八等ノ影響ヲ受ケ各地トモ多少形勢ノ悪化ヲ來スコトアルモ大勢上已ムヲ得サル所ニシテ此際余リ潔癖ノ態度ヲ取ラトハ思考スル旨内話シタルニ海軍側モ同感ノ意ヲ表シ不取サル方得策ナルヘク尤モ彼等ヲ付ケ上カラスモ面白カラス敵軍艦ヨリ郵便物ヲ受取ニ赴ク内火艇ニ平素ヨリ三、四名余計ニ水兵ヲ乗込マシメ一、二回船ノ周囲ヲ廻ラセ帰艦セシムルコトトスヘシトノコトナリシヲ以テ賛成シ置キタリ

然ルニ当日当館ヨリ「ボート」ヲ出シ夫ト無ク警戒セシメタルモ水上糾察隊出動ノ模様無ク（一説ニハ鼓浪嶼側ニテ機会ヲ窺ヒ居タリト）何等故障ヲ生セサリシカ抗日会側ニ於テハ陸上ケ貨物並ニ送先ヲ監視シ居タル趣ナリ

尚十九日民船公会ハ所属會員ニ対シ爾今日貨ヲ運搬スヘカラサル旨ノ通告ヲ発セリ今日迄ノ態度ニ微シ実現スルヤ否ヤ又同種ニシテ別個ノ組合タル「ライター」公会船舶公会等如何ナル態度ニ出ツルヤ明カナラサルモ時節柄成行ニ注意ヲ加ヘ必要ニ応シ支那官憲ノ手ニテ取締ノ実ヲ挙クル様督励スル積リナリ御参考迄

一、鋤奸團組織ノ計画アルニ至レル経過

当地抗日会ハ客年九月成立以来主謀者タル社団間ニ軋轢絶ヘス此間ニ党部介在シテ抗日会本家争ヒノ醜態ヲ暴露シ官憲側ニ取締ノロ実ヲ与ヘ商人側ニモ乘スルノ機会ヲ与ヘタルカ此間張聖才等一派ノ躍気トナリテ運動ヲ統ケ来レルモノナル處抗日モ余リニ長日月ニ亘レルト円価下落ノ関係モアリ最近商人中ニハ抗日会ノ目ヲ掠メ日貨ノ仕入ヲ行ハントスルモノ不勘一方九一八紀念日満州國承認問題モアリ張聖才莊雪軒王連元黃幼垣等ノ硬派ハ八月下旬頃ヨリ上海ノ例ニ做ヒ先ツ当地ニ於テ鉄血青年鋤奸団ヲ組織漸次拡張シテ全福建ニ及ホサントノ計画ニテ密議ヲ凝シ居タルモノナルカ先般張聖才王連元赴滬ノ際

地除奸団トノ連絡ナリタルモノノ如ク右両人着滬十数日後福建省指導委員トシテ姚雲外一名ノ來滬ヲ見タリ

二、当地ニ於ケル計画

右両人ノ來滬ヲ得ルヤ莊雪軒黃幼垣林瑞鼎等其ノ組織ニ着手セルモ官憲ノ目光り出シタル為一応張等ノ帰滬ヲ俟ツコトトシ姚外一名ハ義勇軍トシテ十九路軍ノ指揮ヲ受ケタルコトアリ同軍ニ同志モアル趣ニテ漳州ニ赴キタリ

同時ニ折柄来館中ノ海軍側ニ対シテハ満州國ノ承認九、一八等ノ影響ヲ受ケ各地トモ多少形勢ノ悪化ヲ來スコトアルモ大勢上已ムヲ得サル所ニシテ此際余リ潔癖ノ態度ヲ取ラトハ思考スル旨内話シタルニ海軍側モ同感ノ意ヲ表シ不取サル方得策ナルヘク尤モ彼等ヲ付ケ上カラスモ面白カラス敵軍艦ヨリ郵便物ヲ受取ニ赴ク内火艇ニ平素ヨリ三、四名余計ニ水兵ヲ乗込マシメ一、二回船ノ周囲ヲ廻ラセ帰艦セシムルコトトスヘシトノコトナリシヲ以テ賛成シ置キタリ

然ルニ当日当館ヨリ「ボート」ヲ出シ夫ト無ク警戒セシメタルモ水上糾察隊出動ノ模様無ク（一説ニハ鼓浪嶼側ニテ機会ヲ窺ヒ居タリト）何等故障ヲ生セサリシカ抗日会側ニ於テハ陸上ケ貨物並ニ送先ヲ監視シ居タル趣ナリ

尚十九日民船公会ハ所属會員ニ対シ爾今日貨ヲ運搬スヘカラサル旨ノ通告ヲ発セリ今日迄ノ態度ニ微シ実現スルヤ否ヤ又同種ニシテ別個ノ組合タル「ライター」公会船舶公会等如何ナル態度ニ出ツルヤ明カナラサルモ時節柄成行ニ注意ヲ加ヘ必要ニ応シ支那官憲ノ手ニテ取締ノ実ヲ挙クル様督励スル積リナリ御参考迄

支、北平、駐満全權、上海、南京、漢口、福州、廣東、汕頭へ転電セリ
駐満全權ヨリ奉天へ転報アリ度シ

在廈門三浦領事より
内田外務大臣宛

250 昭和7年9月21日 在廈門三浦領事より
内田外務大臣宛

について 厦門抗日会による福建省鋤奸團の組織計画に

機密第三七三号
昭和七年九月二十一日 在廈門
機密第三七三号
昭和七年九月二十一日 在廈門
領事 三浦義秋（印）
外務大臣伯爵 内田康哉殿
福建省愛國熱血鋤奸團組織計画ニ閑スル件

廈門抗日会ニ於ケル鋤奸團組織計画ニ付テハ往電第三八五号ヲ以テ報告ニ及ヒ置キタルカ其後更ニ謀者ヲシテ其ノ内情ヲ調査セシメタル處左ノ通リナルニ付委細右ニ依リ御承知相成度

（當時一名ハ病氣ニテ帰滬シ代リニ沈宏鐘ナルモノ來夏セリ）一方張王帰來スルヤ莊雪軒ハ九月十八日ヲ期シ當時來夏中ノ福州代表ヲモ加ヘ閩南各縣抗日会代表會議ヲ招集シ同団ノ成立式ヲ挙クル計画ナリシカ同日參会セルハ前記姚沈莊及王水龍（調查隊主任ニシテ武力派ノ一首領）並竜溪県、晉江縣、石碼、集美學生等數名ニシテ予定數ノ半數ニ達セス且沈宏鐘ヨリ上海ニ於テモ鋤奸團ノ檢挙ヲ始メタルカ如ク自分ニ対シ慎重行動方電報アリ當地海軍官憲ハ我々ト連絡モナキニ付漳州ニ於テ成立式ヲ挙クルコト可然旨ヲ述ヘ結局十日以内ニ挙式ノ日取ヲ定メ各代表ニ通知スルコトシ解散セリ

三、組織法草案

本鋤奸團ノ組織ハ福建全省ニ及フモノトセルモ実現ノ見込ハ閩南即チ廈門漳州泉州安海同安集美等ノ數ヶ所ニ止マルモノノ如ク団員ハ約百名トスルノ予定ナルカ同志三名紹介ヲ要スルコトトナリ居レリ、団ニハ調査、審査、覆査、警告、執行ノ五股ヲ置クモ全然日貨ノ押収検挙等ヲ為サス商人ニシテ抗日会側ノ処分ヲ受ケ乍ラ尚日貨取扱ヲ繼續スルモノヲ調査シ直接暴力制裁ヲ加フルモノト

シ従テ彼等ノ行動ハ絶対極秘ニ付シ且表面抗日会トハ関係ナキモノトセリ

四、其他

当地ニ於テ最モ鋤奸団ノ組織ニ奔走シ居レルハ莊雪軒及王水竜ナルカ団員ノ給与等ニ付テ未タ確タル財源ノ目当ナク不取敢成立費及給与トシテ各地抗日会ヨリ百五十元ヲ借受ケ後各地抗日会ニ於テ篤志家ヨリ募捐シ之ヲ以テ埋合ス予定ナリ

尙前記指導員姚雲ハ江蘇人、本年二十歳位ニシテ惠蘭

中学卒業後援馬義勇軍及十九路軍抗日救國義勇軍ニ参

加セルコトアリ沈宏鐘ハ本年廿五歳復旦大学ヲ中途退

学シ同地義勇軍ニ参加シ居タル由ナリ

本信写送付先 駐満大使、在華公使、北平、奉天、上海、

南京、福州、廣東、汕頭

第五八七号（暗）

往電第五八六号ニ関シ

第一〇七三号

二十日午後九時頃共同租界馬崔路、大沽路「コイナー」ニ於テ日本製綿布六十巻ヲ運搬中ノ支那商人力排日団ニ襲ハレ貨物ノ大部ヲ奪取サレタル事故アリ犯人四名ハ現場ニ於

テ工部局警察ノ手ニ依リ捕ヘラレ第一特区法院ニ起訴セラレタル結果法院ハ二十一日頃之ヲ強盜罪トシテ四名ヲ禁錮八箇月ニ処スル旨判決セリ從来排日運動者ニ対スル判決冤枉公正ヲ欠キ居タル處該法院カ斯ク厳罰ニ出テシ為一般ノ注意ヲ惹キ居レリ

支へ転報セリ

駐満全權ヨリ奉天ヘ転報アリ度シ

駐満全權、南京、北平、天津、青島、漢口、廣東、福州ヘ

轉電セリ

252 昭和7年9月22日 在廣東吉田總領事代理より

内田外務大臣宛（電報）

民国日報掲載不敬記事取消方市当局に申入れ

について

上海 9月22日後発 本省 9月22日後着

廣東 9月22日後発 本省 9月22日後着

ニ従ヒ解決スヘキニ付夫レ迄御猶予相願度シト述ヘ夫レヨリ種々論議ヲ繰返ヘセルカ時間無クシテ一応引取りタリ

三、同日午後吳秘書各種ノ新聞紙ヲ抱ヘテ來訪百方陳謝弁解ニ力メ尚極力調査中ナルニ付本官ハ前述ノ通り本件ノ重大ナル所以ヲ繰返シ調査ニ名ヲ藉リ解決遷延セハ如何ナル不測ノ事故發生スヘキヤ知リ難キヲ以テ調査ハ三日ヲ出ツルヘカラスト言渡セルニ吳ハ其期間内ニ完了スヘシト答ヘ更ニ若シ右様ノ事実無カリシトセハ如何ニスヘキヤト問ヘルニ付本官ハ其際ハ

(一)記事取消ヲ掲載セシムルコト

(二)本件報道ニ付市長ニ於テ海員工会乃至新聞社ノ意ヲ表セル信書ヲ取付ケ之ヲ市長ヨリ本官ニ取次クヘキコト等ヲ履行スルコト必要ナル旨述ヘタル処吳ハ新聞殊ニ党部新聞ニ對シ市長ハ頗ル機微ナル關係ニ在り事甚々困難ト存スルモ以上市長ニ復命シ速ニ解決ヲ計ルコトニ努力スヘシト答ヘ引取レリ

支、北平、駐満全權、漢口、南京へ転電セリ

二、市長ハ頗ル当惑ノ面持ニテ陪席ノ吳秘書ニ對シ斯ル事アリタルヤト問ヒ吳ヨリ游行ニ參加セルカ其様ナ仮装ヲ目撃セスト答フルヤ本官ニ對シ右ハ民國日報ニ掲載セラレ居ルノミニテ他ノ新聞ニハ掲載セラレ居ラス（此点ヨリ察シ市長ハ本官ト会見前本件新聞記事ヲ見内々調査ヲ進メ居リタル模様ナリ）尚真相取調ノ上事実ナルニ於テハ勿論貴意

事項5 中国およびその他各地における排日状況

- ケル上海ト同様ノ道程ヲ辿リツツアリトモ見ラレ憂慮ニ堪
エサルニ付此ノ際早キニ及ンテ適切ナル处置ヲ採ラレンコ
トヲ切望スル旨述ヘタル処同局長モ遺憾ノ意ヲ表シ早速林
司令ニ伝ヘ適當ノ方法ヲ講スルコトトスヘク又自分モ海上
ノ方ハ権限外ニアルモ抗日会ニ対シ出来得ル限り手ヲ尽シ
見ルヘキ旨答ヘタリ
- 駐満全權ヨリ奉天ヘ転報アリタシ
支、北平、駐満全權、上海、南京、漢口、福州、廣東、汕
頭ニ転電セリ
- 256 昭和7年9月24日 在廈門三浦領事より
内田外務大臣宛（電報）
水上糾察隊に対する公安局の取締りについて
- 第四一六号（暗）
(二五五文書)
往電第四一五号ニ関シ
- 二十三日林公安局長ニ対シ其後ノ成行ヲ質シタル処早速林
司令ニ伝達シタルニ同司令ハ能ク了解セラレ水上公安局ニ
命令シタルニ付御懸念ノ如キコトハ生スマント答ヘタルヲ
- 257 昭和7年9月27日 在福州守屋總領事より
内田外務大臣宛（電報）
日貨運搬の絆および同所有者保護に関する省
政府回答について
- ヲ了シ正午出港セリ
前電ノ通転電セリ
- 駐満全權ヨリ奉天ヘ転報アリ度シ
- 258 昭和7年9月27日 在廈門三浦領事より
内田外務大臣宛（電報）
水上糾察隊の動静ならびに水上公安局の監視
振りについて
- 第四一八号（暗）
(二五六文書)
往電第四一六号ニ関シ
- 一、其後探査スル処ニ依レハ水上糾察隊ハ矢張付近海上ニ
出動シ泰久丸ノ荷役ヲ監視シ居リタルコト判明セルカ翌廿
五日ニ至リ同船ノ石炭荷役ニ当レル砂舟廿二隻ノ内二、三
隻石炭ノ陸揚ヲ終ヘテノ帰途糾察隊ニ抑留セラレタル旨ノ
報アリタリ
- 二、依テ本官ヨリ林公安局長ニ対シ電話ヲ以テ右ノ次第ヲ
述ヘ斯ノ如キ有様ニテハ水上公安局ニテ警戒ハ為シ居レリ
トハ云フモ單ニ現場ニ於テ手ヲ下ササル迄ノ話ニテ何等取
締ノ実ヲ挙ケ居ラス就テハ林司令ノ手ニ於テ果シテ之レ以
上取締リ得サル次第ナリヤ否ヤ明答ヲ得度キ旨簡潔且嚴重
ニ申入レタル処翌廿六日同局長ハ委曲林司令ニ報告セル処

有り右等不良分子ノ活動ハ全部党部又ハ十九路軍ノ指金ニ
依ル組織的ノモノトハ認メ難ク共産分子ノ攪乱行為及純然
タル強盜行為ト認ム可キモノ有り後二者ニ対シテハ省政府
及公安局方面ニテハ充分責任ヲ以テ取締ヲ為シ居レルモ党
部ト関係有ル者ニ対シテハ異常ナル越軌行為ヲ制止スル程

度ノ事ハ為シ得可キモ事件ヲ根本的ニ追究スル事ハ到底至
難ノ様見受ケラル事耳切事件ノ例ニ徵シテ明カナリ
前電通り転電セリ

支ヨリ上海ニ駐満全權ヨリ奉天ニ転報アリ度シ

~~~~~

## 事項六 国民政府との交渉

1 昭和6年12月30日 在天津桑島總領事より

犬養外務大臣宛（電報）

張学良の閨内撤兵はランプソン英公使の勧告

によるとの情報について

天津 12月30日後発  
本省 12月31日前着

第七二一六号（暗）

廿日沈同午ノ内話左ノ通

今次学良カ中央ノ命令及国民ノ期待ニ反シ錦州ヨリ閨内ニ

撤兵スルニ至リシハ「ランプソン」ノ指金ナリ学良ハ十数

万ノ兵ヲ保持シ華北ニ蟠居スル限り韓及蔣ト相並ンテ地方

実力派ノ一首領トシテ存在シ得ヘク又日本ニ対シ飽ク迄無

抵抗主義ヲ執ル以上何人モ敢テ犯ス者ナク且ツ河北省ノ全  
收入月額約五百万元トセハ現有軍隊ヲ養フニ足ルヘキヲ以  
テ内部的兵變ニシテ防止セハ保身上極メテ安全ナル立場ニ  
在リ殊ニ最近改組セラレタル南京政府ハ實力ナク内部不統

一ノ為其寿命モ長カラス蒋介石ノ再起モ遠カラサルニ依リ  
夫レ迄隱忍シテ専ラ実力保持ニ努ムヘキ旨「ラ」ヨリ建議  
シタル結果ナリ云々

尚姚震等ニ於テモ同様ノ聞込アル趣語レル處安福派ニ於テ  
ハ東北軍内面ニ相当反学良ノ氣運醸釀シ居リ殊ニ熱河ノ湯  
玉麟ノ如キハ代表ヲ段祺瑞及閻錫山ノ許ニ派シ接洽シツ  
アルヲ以テ近ク内部ヨリ瓦壊ヲ起シ学良ノ没落モ近カルヘ  
シト観測シ居レリ

公使ヨリ上海ニ転報アリ度シ

公使、北平、奉天、南京、濟南、青島ニ転電セリ

2 昭和6年12月31日 在上海重光公使より

犬養外務大臣宛（電報）

犬養總理の密使と称せられる壹野長知の動静  
について

上海 昭和6年12月31日後発  
本省 昭和7年1月1日前着